

多治見市人権に関する市民意識調査

報 告 書

平成 31 (2019) 年 1 月

多治見市

目 次

第 I 章 調査概要

1	調査目的.....	1
2	調査設計.....	1
3	回収結果.....	1
4	報告書の見方	1
5	標本誤差.....	2

第 II 章 調査結果の要約

1	人権全般についての意識.....	3
2	女性の人権についての意識.....	4
3	子どもの人権についての意識	5
4	高齢者の人権についての意識	5
5	障がい者の人権についての意識.....	6
6	同和問題についての意識.....	7
7	アイヌの人々の人権についての意識	7
8	外国人の人権についての意識	8
9	感染症患者等（エイズ患者、H I V感染者、ハンセン病患者等）の人権についての意識	8
10	刑を終えて出所した人の人権についての意識.....	9
11	犯罪被害者とその家族の人権についての意識.....	9
12	インターネットによる人権侵害についての意識	10
13	性的指向を理由とする人権問題についての意識	11
14	性自認を理由とする人権問題についての意識.....	11
15	東日本大震災に起因する人権問題についての意識.....	11
16	人権教育・人権啓発の方法についての意識.....	11
17	国連で採択されてから 70 周年を迎える世界人権宣言についての意識.....	12

第 III 章 調査結果

1	回答者の属性.....	13
1-1	性別（問 1）	13
1-2	年齢（問 2）	13
1-3	家族構成（問 3）	14
1-4	職業（問 4）	14
2	人権全般について	15
2-1	関心のある人権問題（問 5）（問 6）	15・19
2-2	人権侵害をされた経験（問 7）	22

2-3	差別をされた経験（問8）	26
2-4	人権侵害を受けた場合の対応（問9）	30
2-5	参考：岐阜県調査との比較（人権侵害を受けた場合の対応）	34
3	女性の人権について	36
3-1	「男女共同参画推進条例」について（問10）	36
3-2	女性の人権問題について特に問題だと思うこと（問11）	39
3-3	女性の人権を守るために必要なこと（問12）	43
4	子どもの人権について	47
4-1	「子どもの権利に関する条例」について（問13）	47
4-2	子どもの人権問題について特に問題だと思うこと（問14）	50
4-3	子どもの人権を守るために必要なこと（問15）	53
5	高齢者の人権について	56
5-1	高齢者の人権問題について特に問題だと思うこと（問16）	56
5-2	高齢者の人権を守るため必要なこと（問17）	60
6	障がい者の人権について	64
6-1	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」について（問18）	64
6-2	障がい者の人権問題について特に問題だと思うこと（問19）	66
6-3	障がい者の人権を守るために必要なこと（問20）	69
7	同和問題について	72
7-1	「部落差別解消の推進に関する法律」について（問21）	72
7-2	同和問題について特に問題だと思うこと（問22）	74
7-3	同和問題についての諸課題（問23）	77
7-4	同和問題を解決するために必要なこと（問24）	79
8	アイヌの人々の人権について	82
8-1	アイヌの人々の人権問題について特に問題だと思うこと（問25）	82
8-2	アイヌの人々の人権を守るために必要なこと（問26）	85
9	外国人の人権について	88
9-1	外国人の人権問題について特に問題だと思うこと（問27）	88
9-2	外国人の人権を守るために必要なこと（問28）	92
10	感染症患者等（エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病患者等）の人権について	96
10-1	感染症患者等の人権問題について特に問題だと思うこと（問29）	96
10-2	感染症患者等の人権を守るために必要なこと（問30）	100

11	刑を終えて出所した人の人権について	104
11-1	刑を終えて出所した人との付き合い（問 31）	104
11-2	参考：岐阜県調査との比較 （職場の人や近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき）	107
11-3	刑を終えて出所した人の人権を守るために必要なこと（問 32）	109
12	犯罪被害者とその家族の人権について	112
12-1	犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題だと思うこと（問 33）	112
12-2	犯罪被害者とその家族の人権を守るために必要なこと（問 34）	116
13	インターネットによる人権侵害について	120
13-1	インターネットによる人権侵害について特に問題だと思うこと（問 35）	120
13-2	インターネットによる人権侵害を解決するために必要なこと（問 36）	124
14	性的指向を理由とする人権問題について	128
14-1	性的指向の異なる人の人権問題について特に問題だと思うこと（問 37）	128
14-2	性的指向の異なる人への人権問題を解決するために必要なこと（問 38）	132
15	性自認を理由とする人権問題について	136
15-1	性同一性障がい等の性自認を 理由とする人権問題について特に問題だと思うこと（問 39）	136
15-2	参考：岐阜県調査との比較 （性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題について）	140
15-3	性同一性障がい等の性自認を 理由とする人権問題を解決するために必要なこと（問 40）	142
16	東日本大震災等に起因する人権問題について	146
16-1	大規模災害による人権問題について（問 41）	146
17	人権教育・人権啓発の方法について	150
17-1	人権問題についての理解を深め、人権意識を高める取組み（問 42）	150
17-2	人権を尊重しあうための今後の市民の取組みについて（問 43）	154
17-3	人権侵害に対する相談や救済について必要なこと（問 44）	158
18	国連で採択されてから 70 周年を迎える世界人権宣言について	162
18-1	世界人権宣言について（問 45）	162

第 IV 章 自由意見の要約

自由意見	164
------------	-----

資料 調査票	172
--------------	-----

第I章 調査概要

1 調査目的

本調査は、人権尊重に対するご意見をいただき、市民一人ひとりの人権が尊重されるまちの実現をめざして来年度改定する「多治見市人権施策推進指針」と、今後の人権施策の検討資料とするものです。

2 調査設計

(1) 調査地域	多治見市全域
(2) 調査対象	多治見市在住の 18 歳以上の男女
(3) 標本数	2,000 人
(4) 抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
(5) 調査方法	郵送法
(6) 調査時期	平成 30(2018)年 7 月

3 回収結果

(1) 発送数	2,000 件
(2) 返却数	12 件
(3) 有効発送数	1,988 件
(4) 回収数 (回収率)	853 件 (42.9%)
無効回答数	0 件
(5) 未回収 (返却含む)	1,147 件

4 報告書の見方

- (1) n は、設問に対する集計対象総数で、割合算出の基準です。
- (2) 割合は、n に対する各項目（選択肢）の百分率（%）で小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。そのため割合の合計が 100.0%にならないこともあります。
- (3) 一人の回答者が 2 つ以上回答することができる設問では、比率算出の基数は回答者（n=853）の合計としました。
- (4) 各設問【全体】の項目名の最後に記載した（数字）は、H30(2018)の各項目の回答者数です。

5 標本誤差

市民意識調査を実施する場合、本来は全市民を対象とすることが望ましいですが、実際には適当な人数を選んで精度の高い調査結果（全数調査の結果に近い調査結果）を得ることになります。今回は多くの市民の皆様のご協力により 853 人からの回答を得ました。

この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるかは、アンケート調査結果に対する標本誤差を算定し、検証できます。

統計学的には、標本誤差が 3 % 以下であれば精度の高い調査結果であるとしています。

標本誤差が 3 % ということは、調査結果が母集団の真値に対しプラス・マイナス 3 % の範囲にあるということです。

標本誤差 σ は次の式で算定されます

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

記号の説明

記号	項目	内容
σ	標本誤差	上記による
M	母集団	全人口数：111,292 人 平成 30(2018)年 4 月 1 日現在
n	有効回収数	853 人
κ	信頼度による定数	信頼度 95% の時、1.96
p	結果の比率	50% の時が最も大きな値となる

標本誤差算定結果

結果の比率	50% : 50%	40% : 60%	30% : 70%	20% : 80%	10% : 90%
標本誤差 (%)	3.34	3.28	3.06	2.67	2.01

標本誤差の算定結果は、最もバラツキが大きくなる回答比率の 50% : 50% で 3.34% でした。

この結果、今回の調査結果は、精度の高い調査に近い結果（全数調査の結果に近い調査結果）を得ることができました。

第II章 調査結果の要約

1 人権全般についての意識

(1) 特に関心のある人権問題について

- 特に関心のある人権問題については、「子どもの人権問題」が 38.7%で最も高く、次いで「高齢者の人権問題」が 35.6%、「女性の人権問題」が 31.7%の順になっている。一方で「アイヌの人々の人権問題」が 0.9%で最も低く、次いで「同和問題」2.9%、「性自認を理由とする人権問題」3.6%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると増加した項目が 11 項目、減少した項目が 5 項目となっている。増加項目では、「子どもの人権問題」が前回より 5.8 ポイント増加している。減少項目では、「高齢者の人権問題」が前回より 4.6 ポイント減少している。この結果、前回調査と比較して、「高齢者の人権問題」と「子どもの人権問題」の順位が入れ替わる結果となった。
- 性別の特性では、男性は「高齢者の人権問題」が 35.3%、女性は「女性の人権問題」が 45.4%と最も高く、次いで「子どもの人権問題」が男性は 34.5%、女性は 42.6%と男女ともに続いている。
- 年代別の特性では、「子どもの人権問題」は 30 歳代から 40 歳代の年代で高く、「高齢者の人権問題」が 60 歳代から 70 歳代以上の年代で高いなど、各年代とも身近な問題ほど、関心が高い傾向にある。

(2) 人権侵害を受けた内容について

- 人権侵害を受けた内容については、「事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口」が 34.1%で最も高く、次いで「人権侵害を感じたことがない」が 30.1%、「職場における差別待遇」が 16.5%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると増加した項目が 6 項目、減少した項目が 4 項目となっている。増加項目では、「事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口」が前回より 8.3 ポイント増加している。減少項目では、「人権侵害を感じたことがない」が前回より 5.3 ポイント減少している。
- 性別の特性では、男女ともに「事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口」が最も高く、次いで「人権侵害を感じたことがない」が続いている。「セクシュアル・ハラスメント」は男性より女性が 9 ポイント高く、女性の割合が多くなっている。
- 年代別の特性では、10 歳代、60 歳代以上の年代では「人権侵害を感じたことがない」が最も高く、20 歳代から 50 歳代の年代では「事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口」が最も高くなっている。

(3) 差別をされた経験について

- 差別をされた経験については、「差別をされたことはない」が 42.4%で最も高く、次いで「学歴・出身校」が 12.4%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると増加した項目が 7 項目、減少した項目が 8 項目となっている。増加項目では、「容姿」が前回より 2.6 ポイント増加している。

(4) 人権侵害を受けた場合の対応について

- 人権侵害を受けた場合の対応については「家族に相談をする」が 38.7%で最も高く、次いで「黙って我慢をする」が 34.5%、「友人に相談をする」が 29.2%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると増加した項目が 5 項目、減少した項目が 6 項目となっている。増加項目では、「黙って我慢をする」が前回より 8.1 ポイント増加している。減少項目では、「家族に相談をする」が前回より 5.0 ポイント減少している。

- 性別の特性では、男性は「相手に抗議する」が 33.2%、女性は「家族に相談をする」が 47.5%と最も高くなっている。「相手に抗議する」は女性より男性が 16.7 ポイント、「家族に相談をする」は男性より女性が 18.7 ポイントそれぞれ高く、男女の差が顕著となっている。
- 年代別の特性では、10 歳代では「家族に相談をする」と「黙って我慢をする」が最も高くなっている。20 歳代、50 歳代以上の年代では「家族に相談をする」が最も高く、30 歳代から 40 歳代の年代では「黙って我慢をする」が最も高くなっている。

2 女性の人権についての意識

(1) 多治見市が制定している「男女共同参画推進条例」について

- 多治見市が制定している「男女共同参画推進条例」については、「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が 43.0%で最も高く、次いで「名称も知らない」が 42.1%、「内容はある程度知っている」が 10.0%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。前回との差をみると「内容を知っている」と「内容をある程度知っている」を合わせた「男女共同参画推進条例」の認知度は、前回同様、約 1 割という結果であった。また、「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が前回より 2.0 ポイント、「内容はある程度知っている」が前々回より 1.4 ポイント増加している。また「名称も知らない」が前回より 2.0 ポイント減少し、前々回より 4.3 ポイント減少していることから、認知度は増加傾向となっている。

(2) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「家事・育児や介護などを男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が 35.6%で最も高く、次いで「職場において、採用や昇進・昇格などで男女の待遇に差があること」が 26.6%、「『男は仕事、女は家庭』など性別による固定的な役割分担意識があること」が 24.7%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると増加した項目が 5 項目、減少した項目が 6 項目となっている。
増加項目では、「強姦・強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春があること」が前回より 5.2 ポイント増加している。減少項目では、「家事・育児や介護などを男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が前回より 7.0 ポイント減少している。

(3) 女性の人権を守るために必要なことについて

- 女性の人権を守るために必要なことについては、「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が 35.3%で最も高く、次いで「職場において、採用や昇進・昇格などの男女の待遇の差をなくす」が 27.3%、「女性が被害者となる犯罪の取り締まりを強化する」が 20.2%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 6 項目、減少した項目が 4 項目となっている。増加項目では、「女性が被害者となる犯罪の取り締まりを強化する」が前回より 3.4 ポイント増加している。減少項目では、「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が前回より 7.7 ポイント減少している。

3 子どもの人権についての意識

(1) 多治見市が制定している「子どもの権利に関する条例」について

- 多治見市が制定している「子どもの権利に関する条例」については、「名称も知らない」が 41.5%で最も高く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が 41.3%、「内容はある程度知っている」が 12.0%の順になっている。
- 前回との差をみると「内容はある程度知っている」が前回より 2.2 ポイント、前々回より 1.9 ポイント増加している。また「名称も知らない」が前回より 3.7 ポイント、前々回より 3.0 ポイント減少している。「内容を知っている」と「内容をある程度知っている」を合わせた「子どもの権利に関する条例」の認知度は、増加傾向である。

(2) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「子ども同士のいじめ」が 68.8%で最も高く、次いで「親による子どもへの暴力や虐待」が 47.5%、「子どもを成績や学歴だけで判断すること」が 18.5%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 6 項目、減少した項目が 3 項目となっている。増加項目では、「親による子どもへの暴力や虐待」が前回より 3.5 ポイント増加している。減少項目では、「子どもを成績や学歴だけで判断すること」が前回より 4.8 ポイント減少している。

(3) 子どもの人権を守るために必要なことについて

- 子どもの人権を守るために必要なことについては、「家庭・学校・地域の連携意識を高め、三者が連携して活動に取り組む」が 31.3%で最も高く、次いで「親の家庭でのしつけや教育力を向上する」が 27.8%、「子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる」が 27.0%の順になっている。
- 前回との比較では、「親の家庭でのしつけや教育力を向上する」項目を除いて、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 6 項目、減少した項目が 4 項目となっている。
増加項目では、「わからない」が前回より 2.9 ポイント増加している。減少項目では、「親の家庭でのしつけや教育力を向上する」が前回より 11.5 ポイント減少している。

4 高齢者の人権についての意識

(1) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「経済的に自立が困難なこと」が 43.8%で最も高く、次いで「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が 30.7%、「悪徳商法の被害が多いこと」が 29.0%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 7 項目、減少した項目が 3 項目となっている。増加項目としては、「経済的に自立が困難なこと」が前回より 2.6 ポイント増加している。減少項目としては、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が前回より 9.4 ポイント減少している。

(2) 高齢者の人権を守るために必要なことについて

- 高齢者の人権を守るために必要なことについては、「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」が 54.3%で最も高く、次いで「高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する」が 34.1%、「高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる」が 24.7%の順になっている。

- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。

前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 5 項目となっている。増加項目では、「わからない」が前回より 2.3 ポイント増加している。減少項目では、「高齢者が知識を生かして活動できるよう、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」が前回より 5.5 ポイント減少している。

5 障がい者の人権についての意識

(1) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」について

- 平成 28 年 4 月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」については、「名称も知らない」が 57.9%で最も高く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が 28.0%、「内容はある程度知っている」が 9.1%の順になっている。

(2) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「就労の機会が少ないこと」が 39.9%で最も高く、次いで「道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること」が 28.6%、「障がい者の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」が 23.1%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 4 項目、減少した項目が 6 項目となっている。増加項目では、「わからない」が前回より 4.1 ポイント増加している。減少項目では、「道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること」が前回より 6.4 ポイント減少している。

(3) 障がい者の人権を守るために、必要なことについて

- 障がい者の人権を守るために必要なことについては、「障がい者の就労機会を確保する」が 39.5%で最も高く、次いで「障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」が 38.9%、「障がい者が必要とする福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」が 29.3%の順になっている。一方で「特に必要だと思わないこと」が 2.3%と低くなっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 5 項目となっている。増加項目では、「わからない」が前回より 3.1 ポイント増加している。減少項目では、「障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」が前回より 2.1 ポイント減少している。

6 同和問題についての意識

(1) 「部落差別解消の推進に関する法律」について

- 平成 28 年 12 月に施行された「部落差別解消の推進に関する法律」については、「名称も知らない」が 65.9%で最も高く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が 21.3%、「内容はある程度知っている」が 6.9%の順になっている。

(2) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「わからない」が 35.1%で最も高く、次いで「同和問題についての理解や認識が十分でないこと」が 22.3%、「差別的な言動」が 21.1%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 6 項目、減少した項目が 5 項目となっている。増加項目では、「わからない」が前回より 5.7 ポイント増加している。減少項目では「就職・職場での差別・不利な扱い」が前回より 2.8 ポイント減少している。

(3) 自分の子どもが同和地区出身の人と結婚するとした場合の対応について

- 自分の子どもが同和地区出身の人と結婚するとした場合の対応については、「わからない」が 35.5%で最も高く、次いで「同和地区の人であるかないかは関係なく祝福する」が 25.8%、「こだわりはあるが、子どもの意思を尊重する」が 25.6%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 4 項目、減少した項目が 2 項目となっている。増加項目では、「同和地区の人であるかないかは関係なく祝福する」が前回より 2.3 ポイント増加している。減少項目では、「こだわりはあるが、子どもの意思を尊重する」が前回より 3.4 ポイント減少している。

(4) 同和問題を解決するために必要なことについて

- 同和問題を解決するために必要なことについては、「わからない」が 34.6%で最も高く、次いで「学校教育、生涯学習を通じて人権を大切にする教室・啓発活動を積極的に行う」が 19.0%、「同和地区の生活環境をよくする」が 15.5%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 6 項目、減少した項目が 3 項目、増減の無い項目が 1 項目となっている。増加項目では、「わからない」が前回より 4.6 ポイント増加している。減少項目では、「学校教育、生涯学習を通じて人権を大切にする教室・啓発活動を積極的に行う」が前回より 5.8 ポイント減少している。

7 アイヌの人々の人権についての意識

(1) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「わからない」が 44.4%で最も高く、次いで「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が 36.1%、「独自の文化や保存、伝承が図られていない」が 15.2%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 4 項目となっている。増加項目は、「わからない」が前回より 3.2 ポイント増加している。減少項目は、「就職・職場での差別・不利な扱い」が前回より 1.0 ポイント減少している。

(2) アイヌの人々の人権を守るために必要なことについて

- アイヌの人々の人権を守るために必要なことについては、「わからない」が 44.3%で最も高く、次いで「アイヌの人々の独自の文化や伝統について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が 38.6%、「アイヌの人々のための人権に関する相談体制を充実させる」が 12.5%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 1 項目、増減の無い項目が 1 項目となっている。増加項目は、「わからない」が前回より 1.6 ポイント増加している。減少項目は、「アイヌの人々のための人権に関する相談体制を充実させる」が前回より 0.8 ポイント減少している。

8 外国人の人権についての意識

(1) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと」が 34.1%で最も高く、次いで「わからない」が 25.9%、「宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」が 24.7%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 3 項目、減少した項目が 6 項目、増減の無い項目が 1 項目となっている。増加項目では、「差別的な言動」が前回より 4.4 ポイント増加している。減少項目では、「就職・職場での差別・不利な扱い」が前回より 2.5 ポイント減少している。

(2) 外国人の人権を守るために必要なことについて

- 外国人の人権を守るために必要なことについては、「外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が 31.4%で最も高く、次いで「わからない」が 22.5%、「外国人のための適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する」が 22.4%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 4 項目、増減の無い項目が 1 項目となっている。増加項目では、「外国人のための相談体制を充実させる」が前回より 3.1 ポイント増加している。減少項目では、「外国人のための適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する」が前回より 2.8 ポイント減少している。

9 感染症患者等 (エイズ患者、H I V感染者、ハンセン病患者等) の人権についての意識

(1) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「エイズ患者、H I V感染者、ハンセン病患者等についての理解や認識が十分でないこと」が 45.3%で最も高く、次いで「感染症患者等であるというだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」が 34.9%、「わからない」が 21.9%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 3 項目となっている。増加項目では、「わからない」が前回より 2.8 ポイント増加している。減少項目では、「感染症患者等であるというだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」が前回より 4.4 ポイント減少している。

(2) 感染症患者等の人権を守るために必要なことについて

- 感染症患者等の人権を守るために必要なことについては、「感染症に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が 44.7%で最も高く、次いで「感染症患者等が社会復帰しやすい環境づくりを確保する」が 29.4%、「わからない」が 21.0%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 4 項目となっている。増加項目では、「わからない」が前回より 4.1 ポイント増加している。減少項目では、「感染症に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が前回より 4.5 ポイント減少している。

10 刑を終えて出所した人の人権についての意識

(1) 刑を終えて出所した人との付き合いについて

- 刑を終えて出所した人との付き合いについては、「付き合いは変わらないが、いろいろ気をつかって付き合う」が 40.9%で最も高く、次いで「わからない」が 18.8%、「表面上は付き合うが、できるだけ付き合いを避けていく」が 15.6%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 2 項目、減少した項目が 3 項目、増減の無い項目が 1 項目となっている。増加項目では、「わからない」が前回より 1.5 ポイント増加している。減少項目では、「これまでと同じように親しく付き合っていく」が前回より 2.5 ポイント減少している。

(2) 刑を終えて出所した人の人権を守るために必要なことについて

- 刑を終えて出所した人の人権を守るために必要なことについては、「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が 49.6%で最も高く、次いで「刑を終えて出所した人が社会復帰しやすい環境づくりを確保する」が 25.4%、「刑を終えて出所した人の就職の機会を確保する」が 15.4%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 3 項目、減少した項目が 4 項目、増減の無い項目が 1 項目となっている。増加項目では、「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が前回より 1.9 ポイント、「特に必要だと思うことはない」が前回より 0.9 ポイント増加している。減少項目では、「刑を終えて出所した人が社会復帰しやすい環境づくりを確保する」が前回より 5.0 ポイント減少している。

11 犯罪被害者とその家族の人権についての意識

(1) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が 64.6%で最も高く、次いで「犯罪被害によって精神的なショックを受けること」が 33.6%、「事件のことを周囲に噂されること」が 17.4%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 3 項目、減少した項目が 4 項目、増減の無い項目が 2 項目となっている。増加項目では、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が前回より 2.8 ポイント増加している。減少項目では、「刑事裁判で必ずしも被害者の声が十分に反映されるわけでないこと」が前回より 4.7 ポイント減少している。

(2) 犯罪被害者とその家族の人権を守るために必要なことについて

- 犯罪被害者とその家族の人権を守るために必要なことについては、「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」が 52.4%で最も高く、次いで「精神的被害に対応するカウンセリングを行う」が 29.5%、「捜査や刑事裁判において犯罪被害者とその家族に配慮した施策を講じる」が 27.0%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 4 項目となっている。増加項目では、「犯罪被害者とその家族のために経済的支援を行う」が前回より 3.5 ポイント増加している。減少項目では、「捜査や刑事裁判において犯罪被害者とその家族に配慮した施策を講じる」が前回より 4.9 ポイント減少している。

12 インターネットによる人権侵害についての意識

(1) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などを掲載すること」が 46.8%で最も高く、次いで「事実確認が行われぬまま、不正確な情報を拡散すること」が 35.9%、「個人情報などが流出していること又は個人を特定しようとする動きがあること」が 26.7%の順になっている。
- 前回との比較では、新規項目を除き、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 2 項目、減少した項目が 5 項目となっている。増加項目では、「特に問題だと思わない」が前回より 0.9 ポイント増加している。減少項目では、「個人情報などが流出していること又は個人を特定しようとする動きがあること」が前回より 13.5 ポイント減少し、「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などを掲載すること」が前回より 6.6 ポイント減少している。

(2) インターネットによる人権侵害を解決するために必要なことについて

- インターネットによる人権侵害を解決するために必要なことについては、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が 55.0%で最も高く、次いで「プロバイダ等に対し、情報の停止・削除を求める」が 41.3%、「インターネット利用者に個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」が 23.1%の順になっている。
- 前回との比較では、新規項目を除き、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 4 項目、減少した項目が 2 項目、増減の無い項目が 1 項目となっている。増加項目では、「インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実させる」が前回より 0.4 ポイント増加している。減少項目では「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が前回より 8.8 ポイント減少している。

13 性的指向を理由とする人権問題についての意識

(1) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「世間から好奇又は偏見の目で見られること」が 34.7%で最も高く、次いで「わからない」が 27.2%、「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が 20.3%の順になっている。

(2) 性的指向の異なる人への人権問題を解決するために必要なことについて

- 性的指向の異なる人への人権問題を解決するために必要なことについては、「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が 36.3%で最も高く、次いで「わからない」が 29.4%、「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」が 27.5%の順になっている。

14 性自認を理由とする人権問題についての意識

(1) 特に問題があると思うことについて

- 特に問題があると思うことについては、「性同一性障がい等の性自認の異なる人に対する社会の理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」が 43.5%で最も高く、次いで「わからない」が 26.4%、「性的異常者とみなされ、嫌がらせをされたり蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が 17.9%の順になっている。

(2) 性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題を解決するために必要なことについて

- 性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題を解決するために必要なことについては、「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が 38.5%で最も高く、次いで「わからない」が 28.8%、「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する法的認知・保護を行う」が 25.1%の順になっている。

15 東日本大震災に起因する人権問題についての意識

(1) 大規模災害による人権問題について

- 大規模災害が起きた場合、どのような人権問題が起きるかと思うことについては、「避難生活でプライバシーが守られないこと」が 55.8%で最も高く、次いで「避難生活の長期化によるストレス又はそれに伴う嫌がらせやいさかいが生じること」が 48.3%、「要支援者に対して十分な配慮が行き届かないこと」が 42.2%の順になっている。

16 人権教育・人権啓発の方法についての意識

(1) 人権意識を高めるための今後の取組みについて

- 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるための今後の取組みについては、「行政が啓発活動を積極的に行う」が 38.0%で最も高く、次いで「学校での教育を充実する」が 34.8%、「企業や職場の取組みを充実する」、「人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する」が同率で 19.6%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 7 項目、減少した項目が 4 項目となっている。増加項目では、「行政が啓発活動を積極的に行う」が前回より 6.3 ポイント増加している。減少項目では、「家庭での教育を充実する」が前回より 8.5 ポイント減少している。

(2) 人権を尊重しあうための今後の市民の取組みについて

- 人権を尊重しあうための今後の市民の取組みについては、「人権に対する正しい知識を身に付けること」が 66.4%で最も高く、次いで「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」が 54.7%、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」が 51.7%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 6 項目、減少した項目が 3 項目となっている。増加項目では、「人権に対する正しい知識を身に付けること」が前回より 7.7 ポイント増加している。減少項目では、「家庭内での家族の権利を大事にすること」が前回より 1.9 ポイント減少している。

(3) 人権侵害に対する相談や救済について

- 人権侵害に対する相談や救済について必要だと思うことについては、「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」が 41.5%で最も高く、次いで「人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う」が 38.5%、「相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する」が 27.7%の順になっている。
- 前回との比較では、個別項目での差はあるが、全体的に大きな変化はみられない。
前回との差をみると、増加した項目が 5 項目、減少した項目が 3 項目となっている。増加項目では、「相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する」が前回より 1.9 ポイント増加している。減少項目では、「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」が前回より 4.5 ポイント減少している。

17 国連で採択されてから 70 周年を迎える世界人権宣言についての意識

(1) 世界人権宣言について

- 世界人権宣言については、「名称は聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が 62.8%で最も高く、次いで「名称も知らない」が 26.3%となっている。

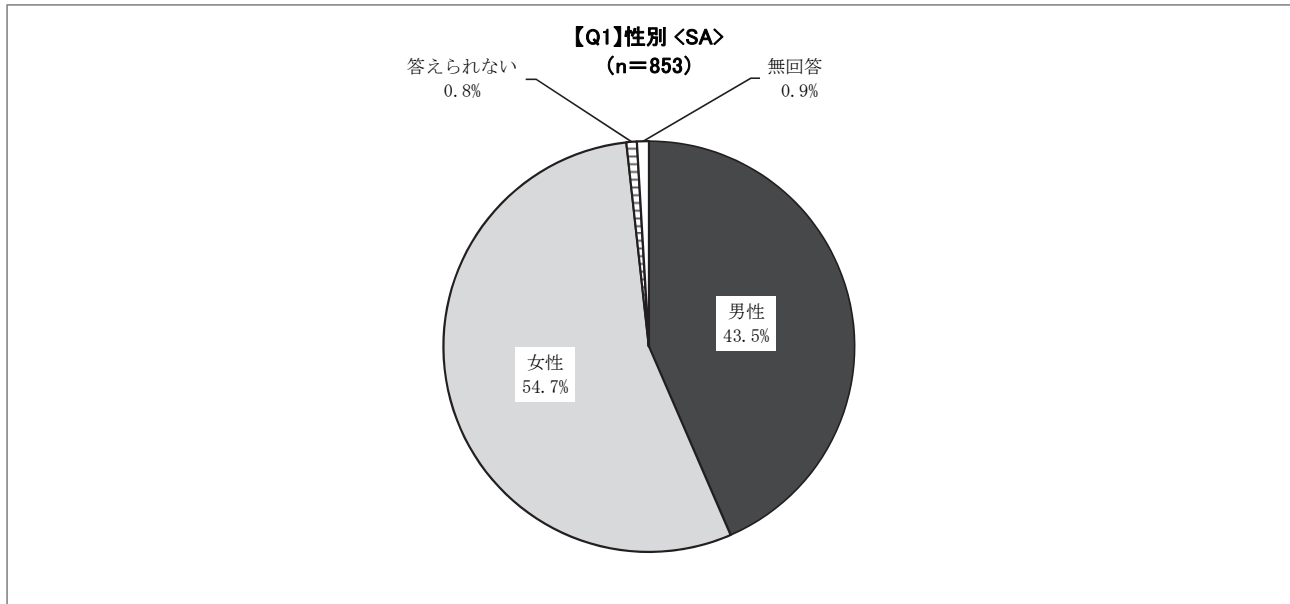
第III章 調査結果

1 回答者の属性

1－1 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

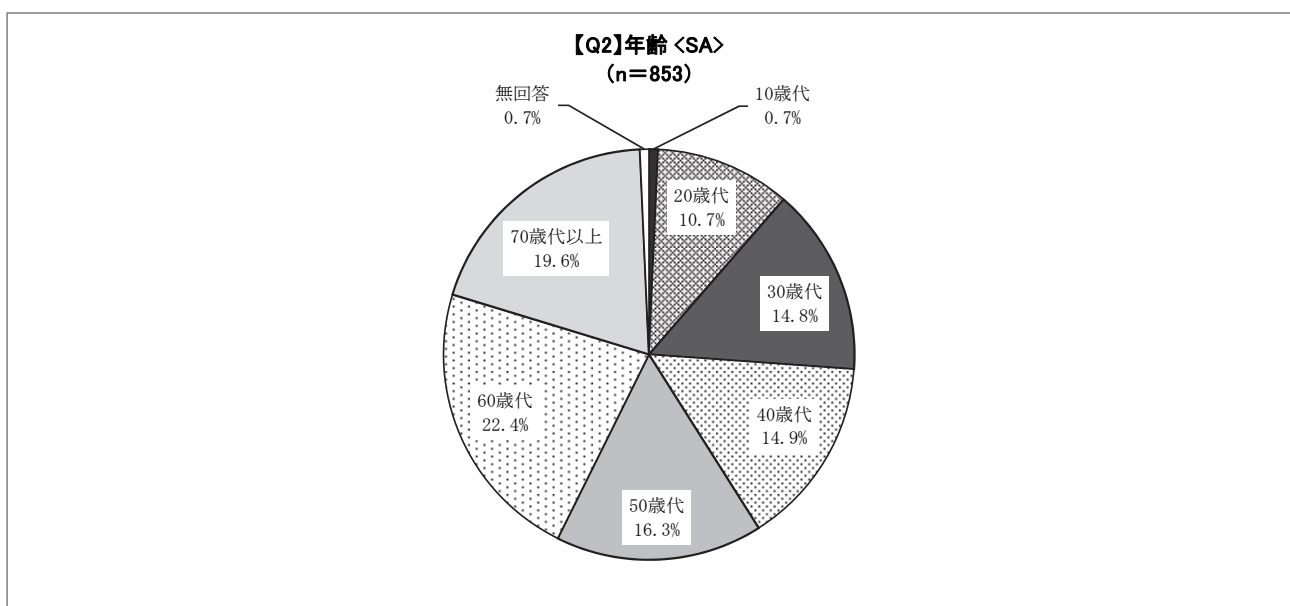
◆ 「男性」が43.5%、「女性」が54.7%と、「女性」の割合が11.2ポイント高くなっている。



1－2 年齢

問2 あなたの年齢はどれですか。(〇は1つ)

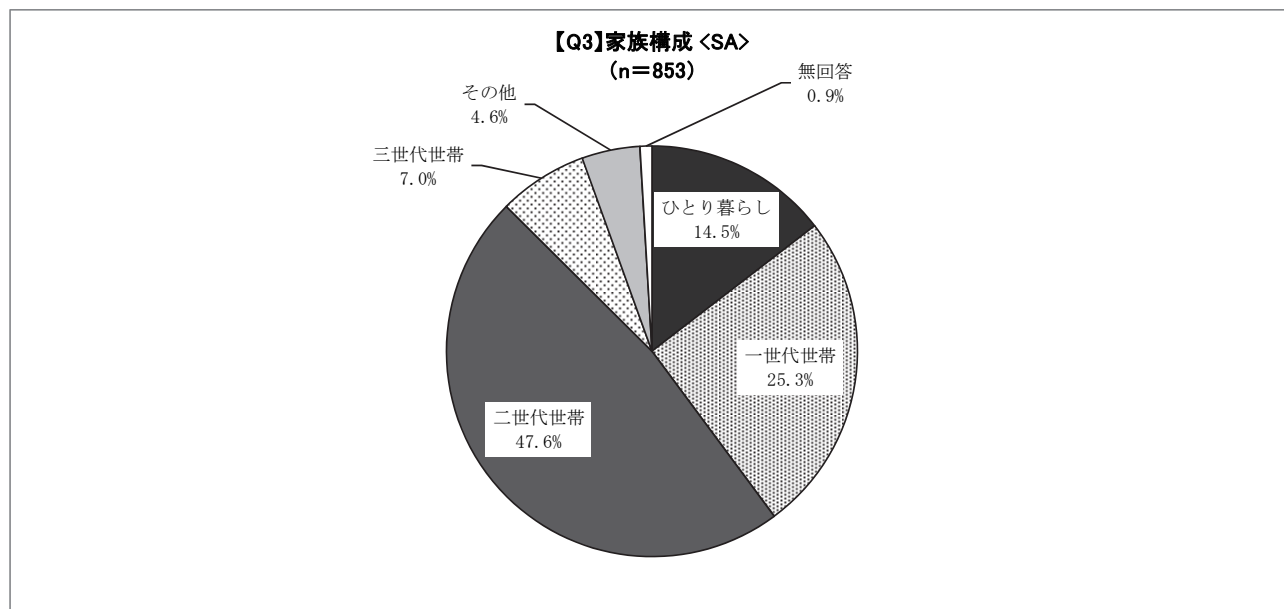
◆ 「60歳代」が22.4%と最も多く、次いで「70歳以上」が19.6%、「50歳代」が16.3%、「40歳代」が14.9%と続いている。



1－3 家族構成

問3 あなたの家族構成はどれですか。(○は1つ)

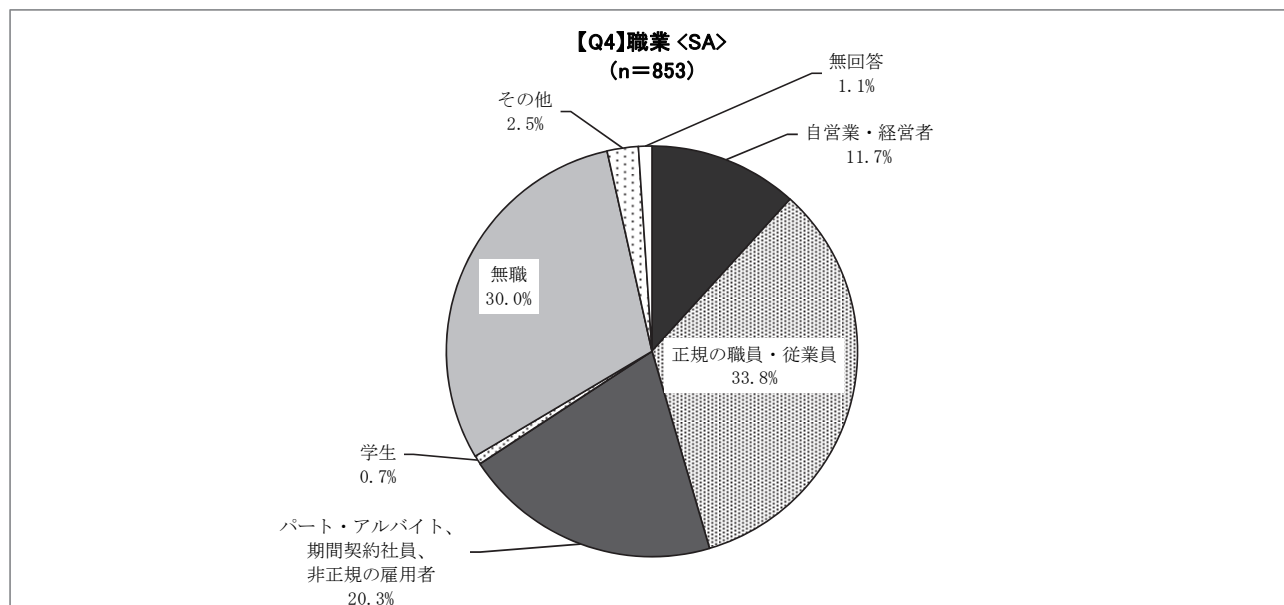
- ◆ 「二世世代世帯」が47.6%と最も多く、次いで「一世世代世帯」が25.3%、「ひとり暮らし」が14.5%、「三世世代世帯」が7.0%と続いている。



1－4 職業

問4 あなたの職業等は何ですか。(○は1つ)

- ◆ 「正規の職員・従業員」が33.8%と最も多く、次いで「無職」が30.0%、「パート・アルバイト、期間契約社員、非正規の雇用者」が20.3%と続いている。



2 人権全般について

2-1 関心のある人権問題

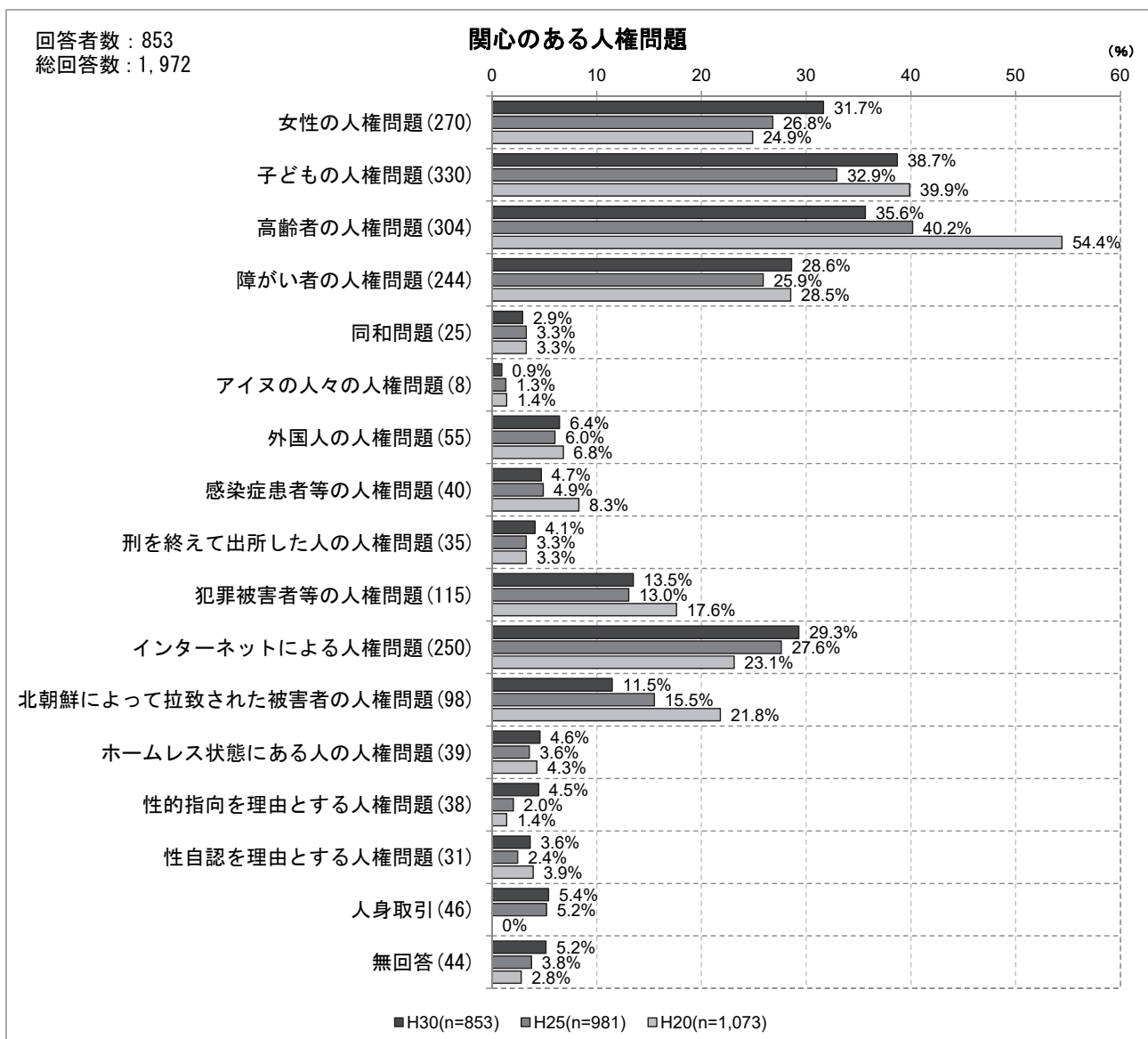
問5 以下にあげた各人権問題の中で、あなたが関心をもっている問題は何ですか。(〇は3つまで)

【全体】

- ◆ 「子どもの人権問題」が38.7%で最も高く、次いで「高齢者の人権問題」が35.6%、「女性の人権問題」が31.7%の順になっている。また「アイヌの人々の人権問題」が0.9%で最も低く、次いで「同和問題」2.9%、「性自認を理由とする人権問題」3.6%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「子どもの人権問題」が前回より5.8ポイント、「女性の人権問題」が前々回より6.8ポイント増加している。また「高齢者の人権問題」が前回より4.6ポイント、前々回より18.8ポイント減少している。

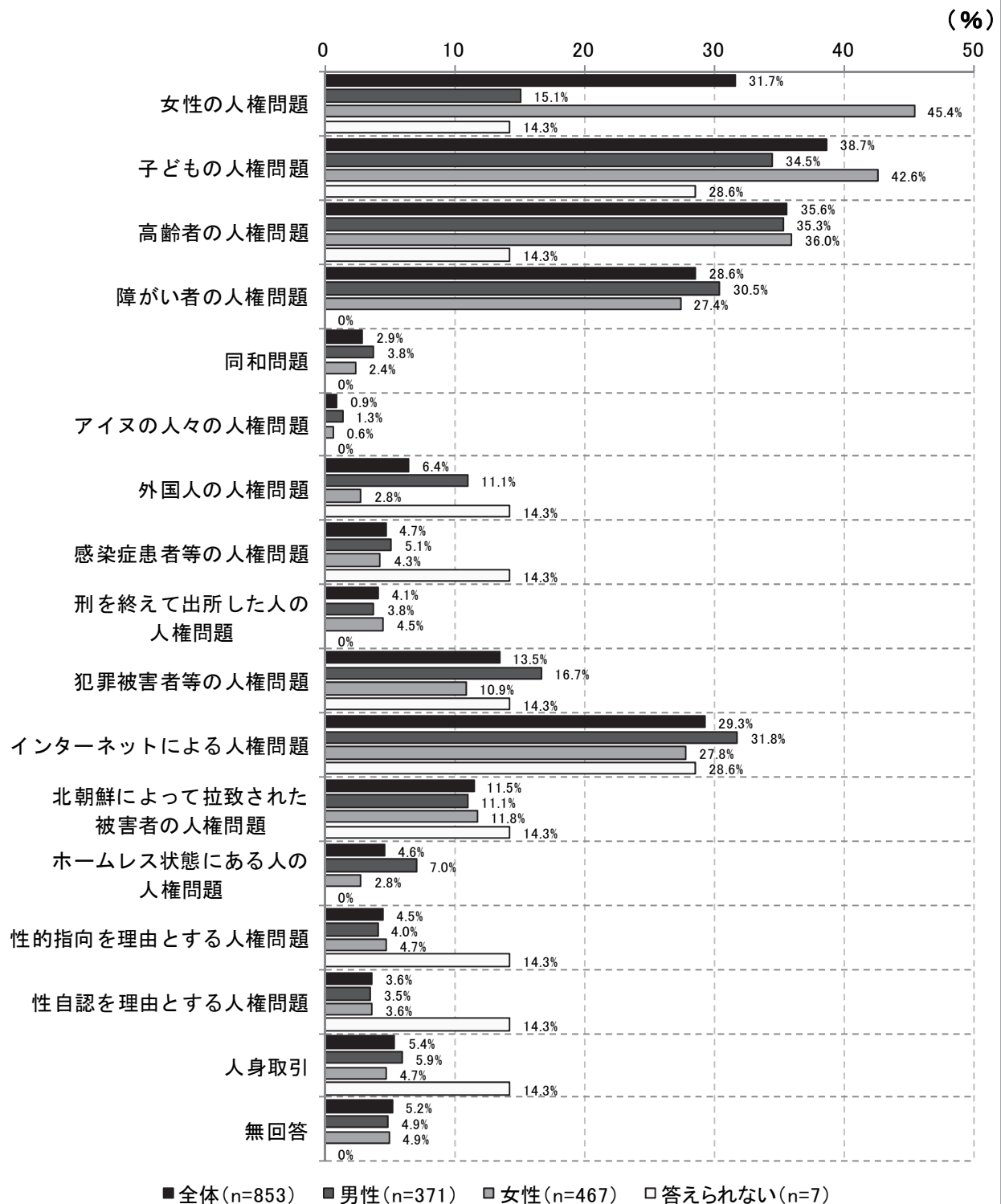


【男女別】

- ◆ 男女別でみると、男性は「高齢者の人権問題」が35.3%、女性は「女性の人権問題」が45.4%と最も高く、次いで「子どもの人権問題」が男性は34.5%、女性は42.6%と男女ともに続いている。

回答者数:853
総回答数:1,972

関心のある人権問題【男女別】

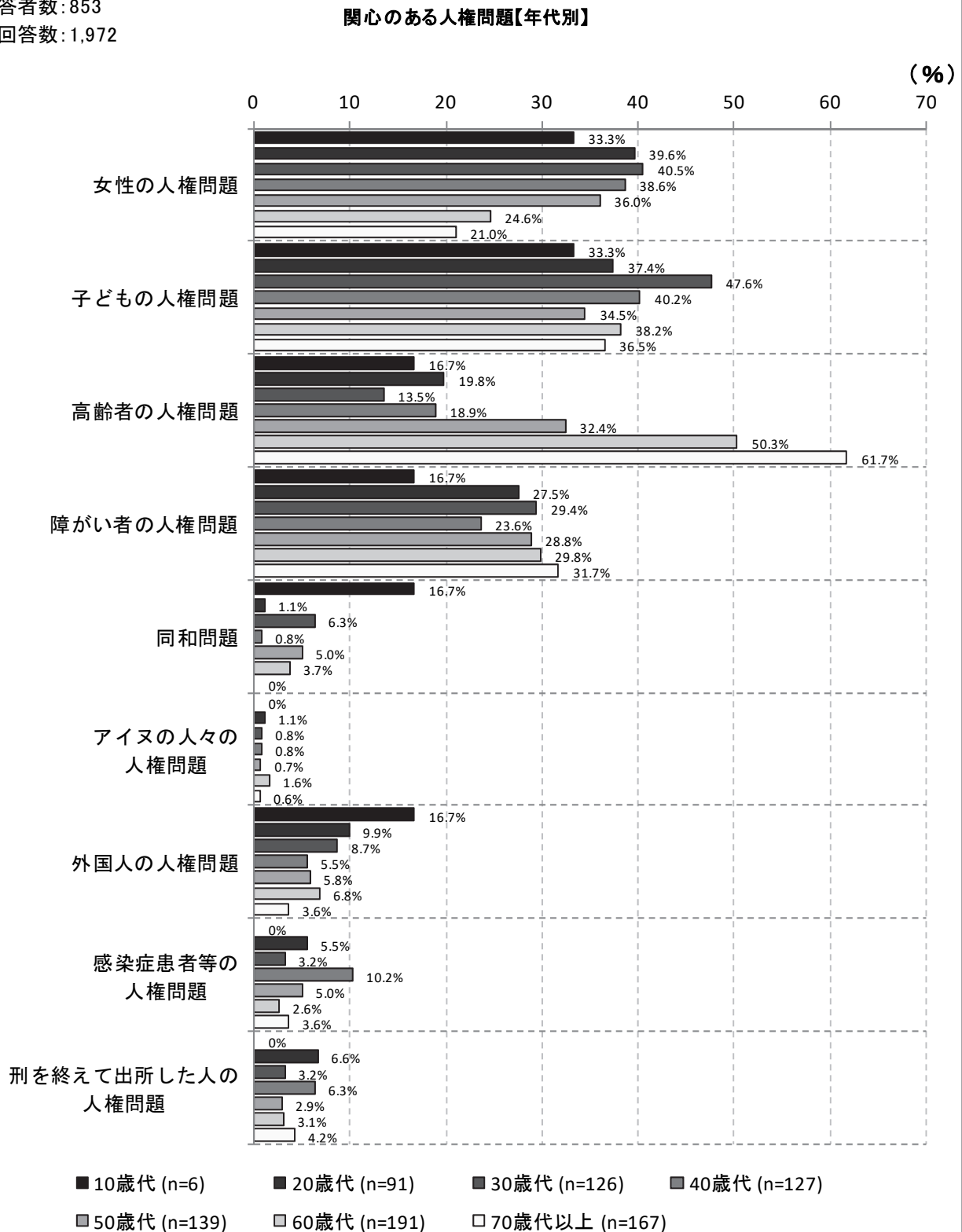


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代は「女性の人権問題」「子どもの人権問題」「インターネットによる人権問題」が同率で最も高く、20歳代、50歳代では「女性の人権問題」が、30歳代から40歳代の年代では「子どもの人権問題」が、60歳代から70歳代以上の年代では「高齢者の人権問題」がそれぞれ最も高くなっている。

※この棒グラフは次ページに続く

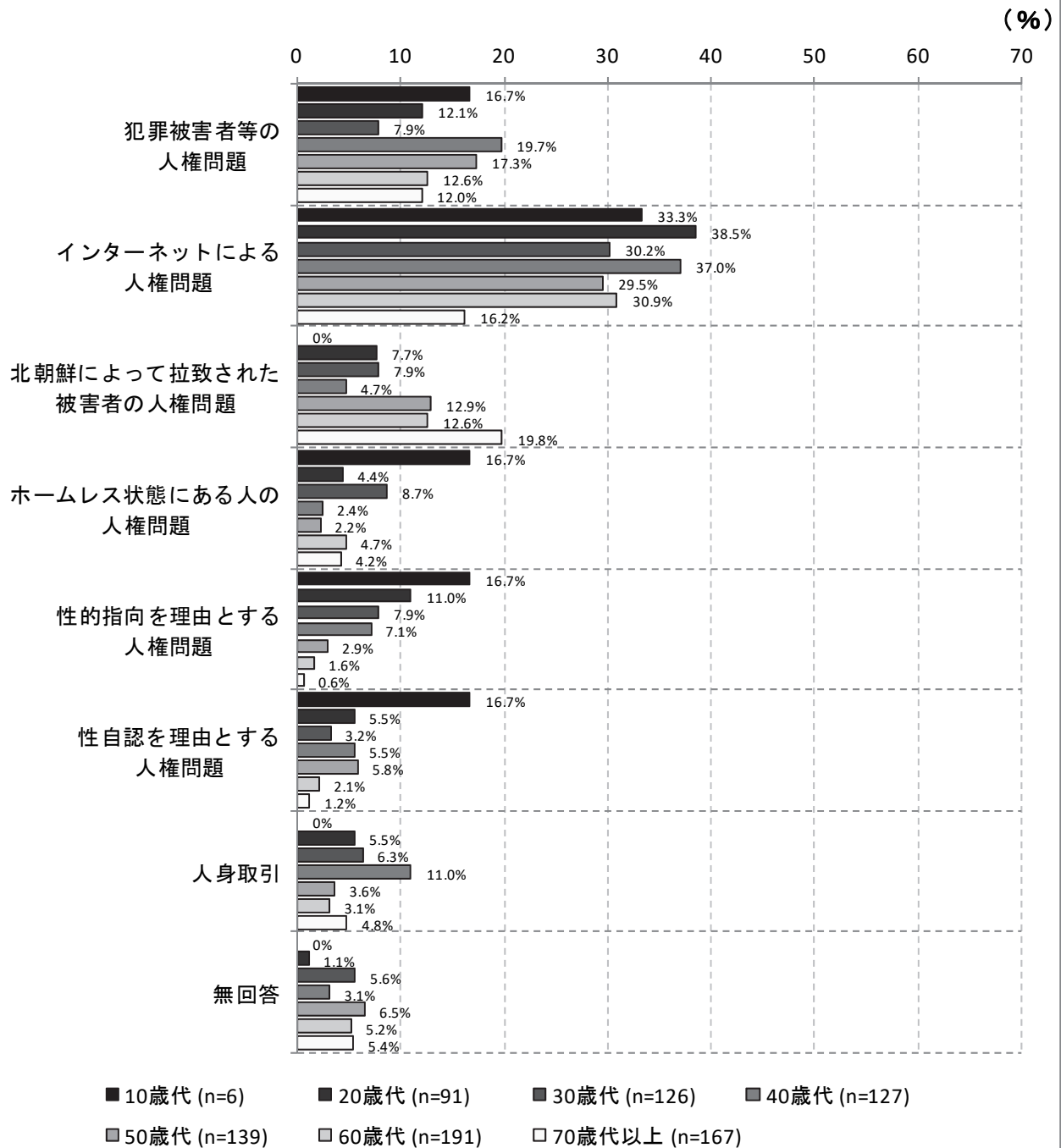
回答者数:853
総回答数:1,972



※この棒グラフは前ページから続く

回答者数: 853
総回答数: 1,972

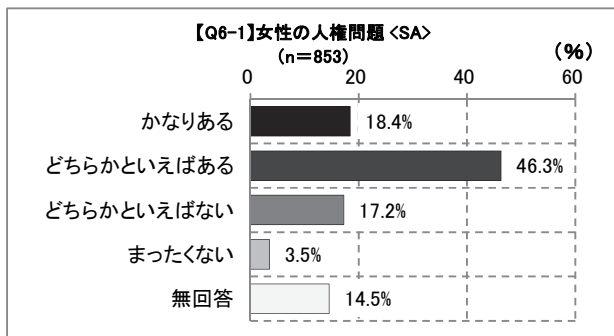
関心のある人権問題【年代別】



問6 問5の各人権問題への関心は、どの程度ありますか。(それぞれの人権問題について、〇は1つ)

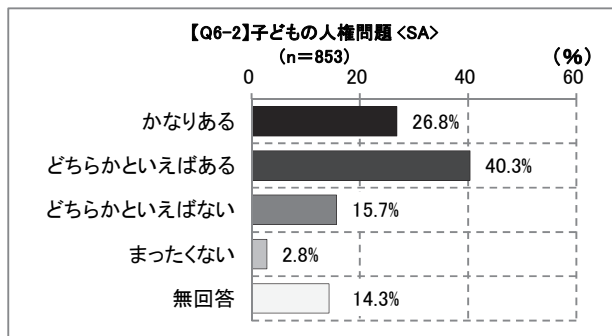
1. 女性の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が46.3%と最も高く、次いで「かなりある」が18.4%、「どちらかといえばない」が17.2%となっている。



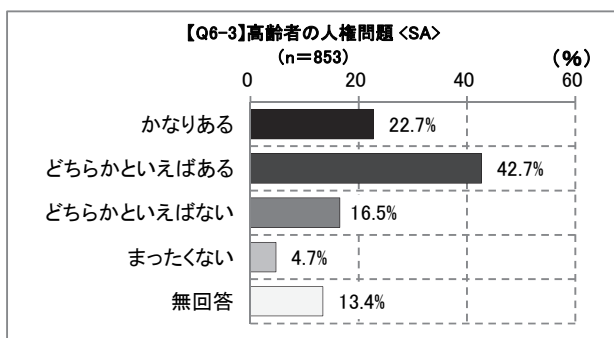
2. 子どもの人権問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が40.3%と最も高く、次いで「かなりある」が26.8%、「どちらかといえばない」が15.7%となっている。



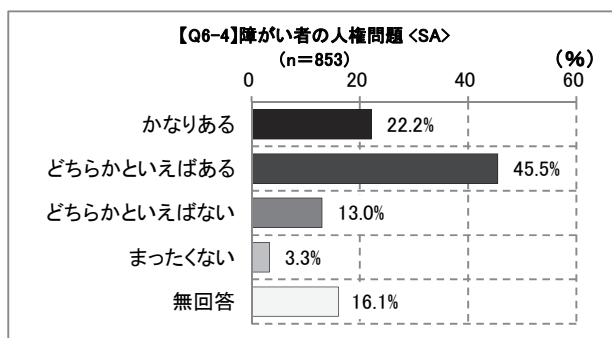
3. 高齢者の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が42.7%と最も高く、次いで「かなりある」が22.7%、「どちらかといえばない」が16.5%となっている。



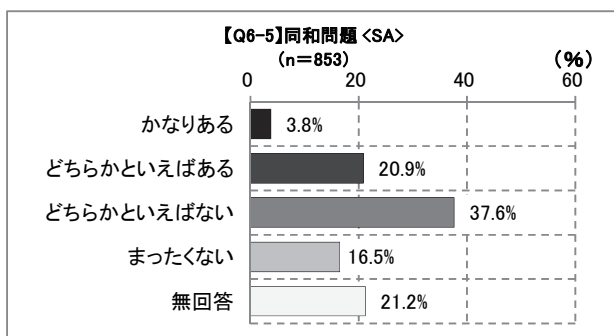
4. 障がい者の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が45.5%と最も高く、次いで「かなりある」が22.2%となっている。



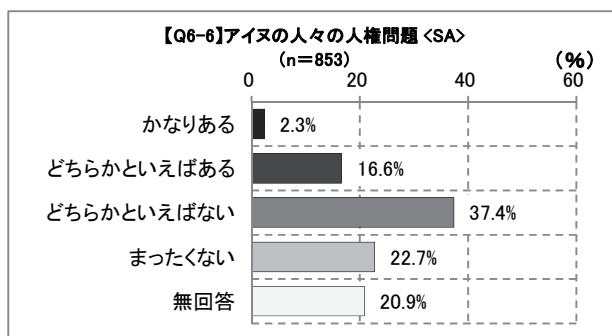
5. 同和問題

- ◆ 「どちらかといえばない」が37.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」が20.9%となっている。



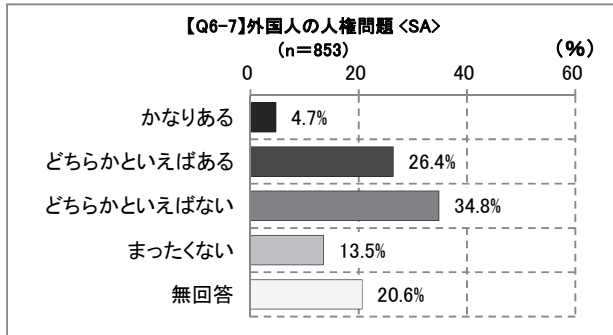
6. アイヌの人々の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばない」が37.4%と最も高く、次いで「まったくない」が22.7%となっている。



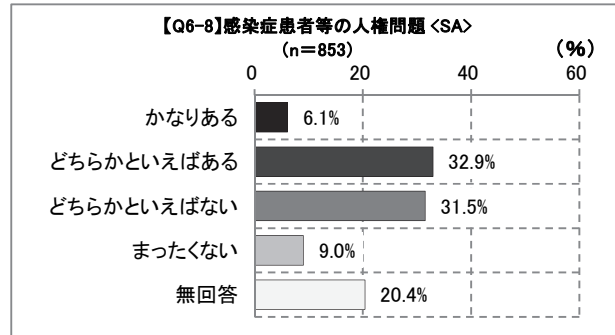
7. 外国人の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばない」が34.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」が26.4%となっている。



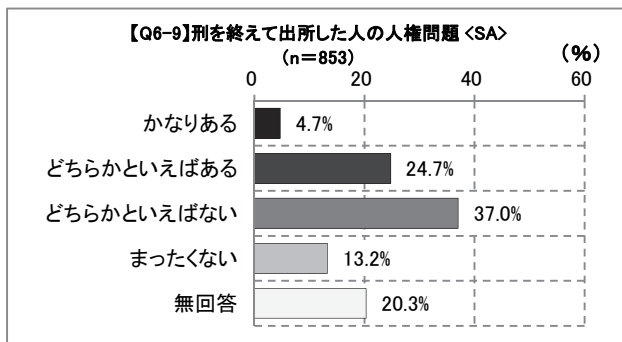
8. 感染症患者等の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が32.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばない」が31.5%となっている。



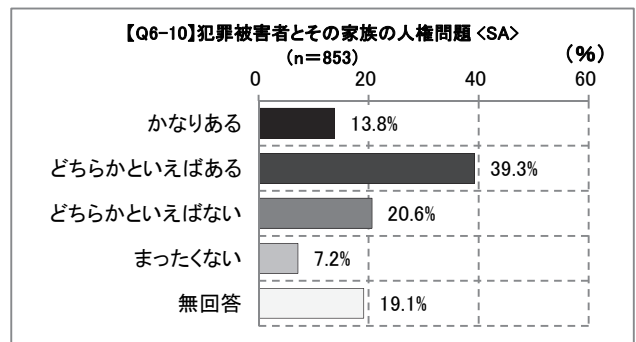
9. 刑を終えて出所した人の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばない」が37.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」が24.7%となっている。



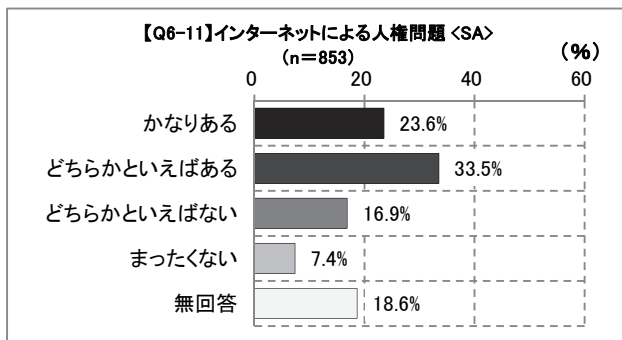
10. 犯罪被害者とその家族の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が39.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばない」が20.6%となっている。



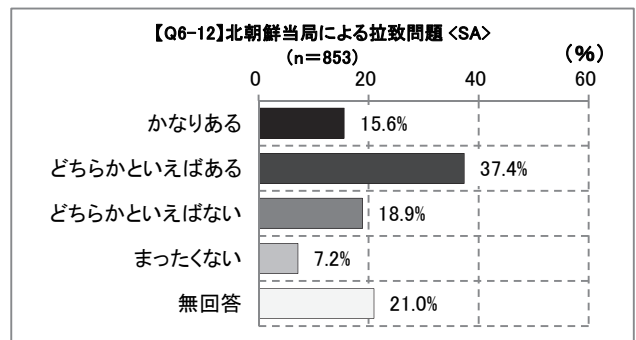
11. インターネットによる人権問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が33.5%と最も高く、次いで「かなりある」が23.6%となっている。



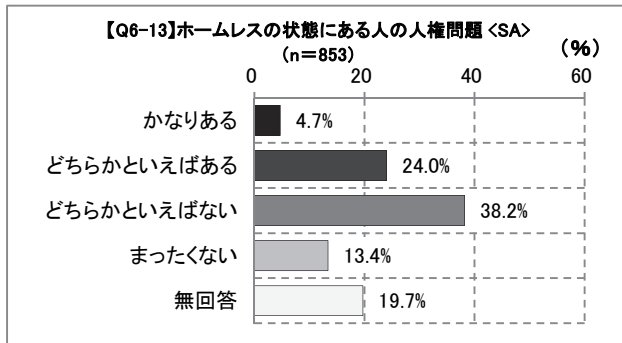
12. 北朝鮮当局による拉致問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が37.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばない」が18.9%となっている。



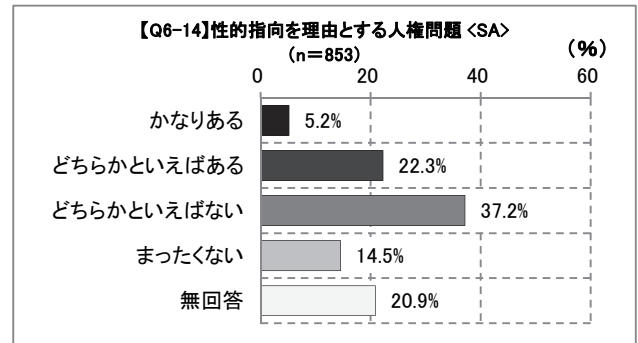
1 3. ホームレスの状態にある人の人権問題

- ◆ 「どちらかといえばない」が 38.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」が 24.0%となっている。



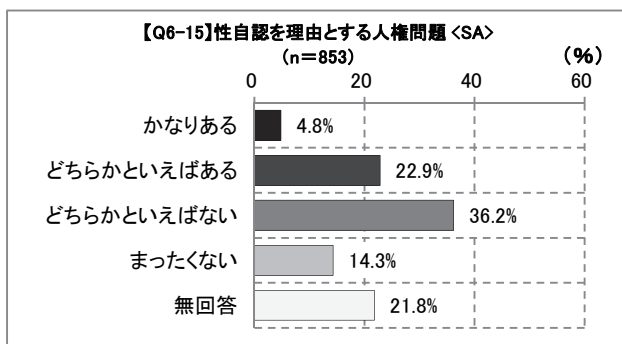
1 4. 性的指向を理由とする人権問題

- ◆ 「どちらかといえばない」が 37.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」が 22.3%となっている。



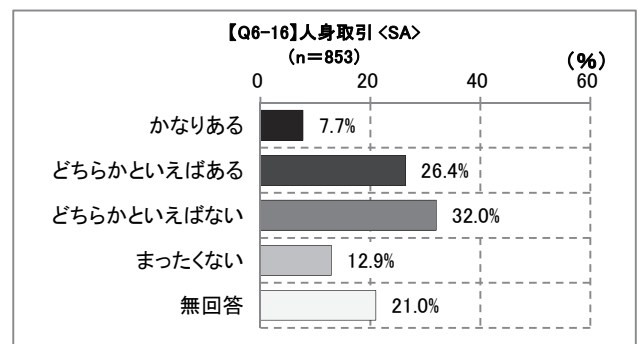
1 5. 性自認を理由とする人権問題

- ◆ 「どちらかといえばない」が 36.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」が 22.9%となっている。



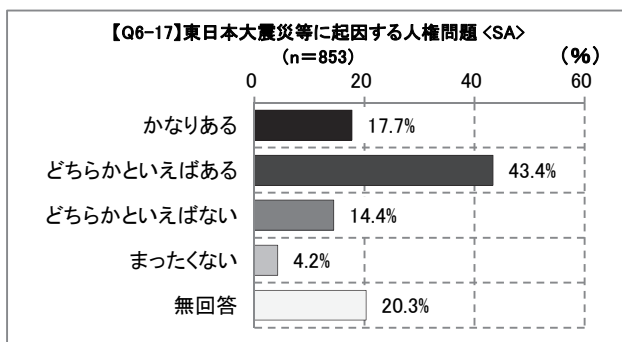
1 6. 人身取引

- ◆ 「どちらかといえばない」が 32.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」が 26.4%となっている。



1 7. 東日本大震災等に起因する人権問題

- ◆ 「どちらかといえばある」が 43.4%と最も高く、次いで「かなりある」が 17.7%となっている。



2-2 人権侵害をされた経験

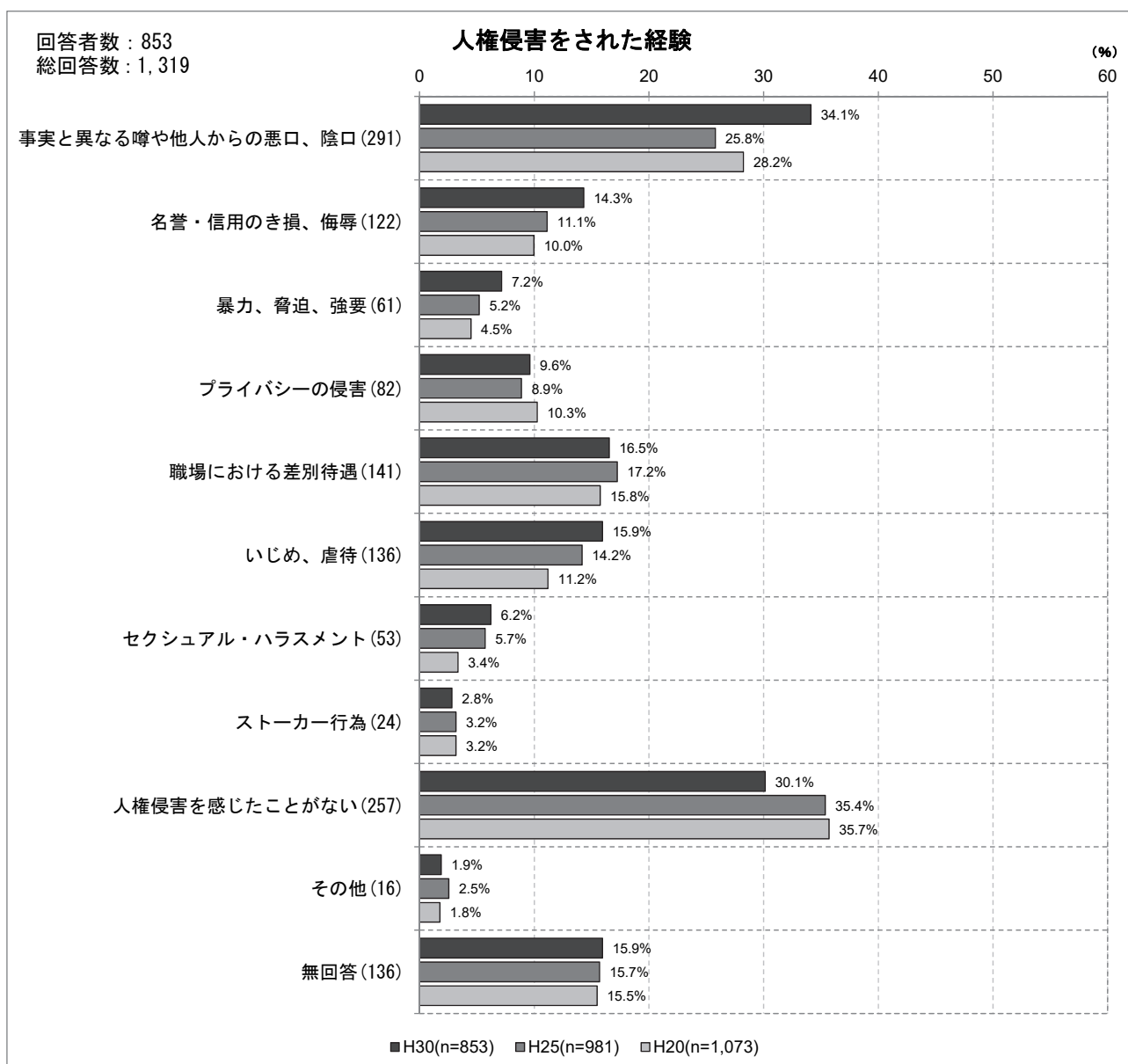
問7 あなたはこれまでに以下の人権侵害を受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- ◆ 「事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口」が34.1%で最も高く、次いで「人権侵害を感じたことがない」が30.1%、「職場における差別待遇」が16.5%の順になっている。一方で、「ストーカー行為」が2.8%と最も低く、次いで「セクシュアル・ハラスメント」が6.2%の順になっている。

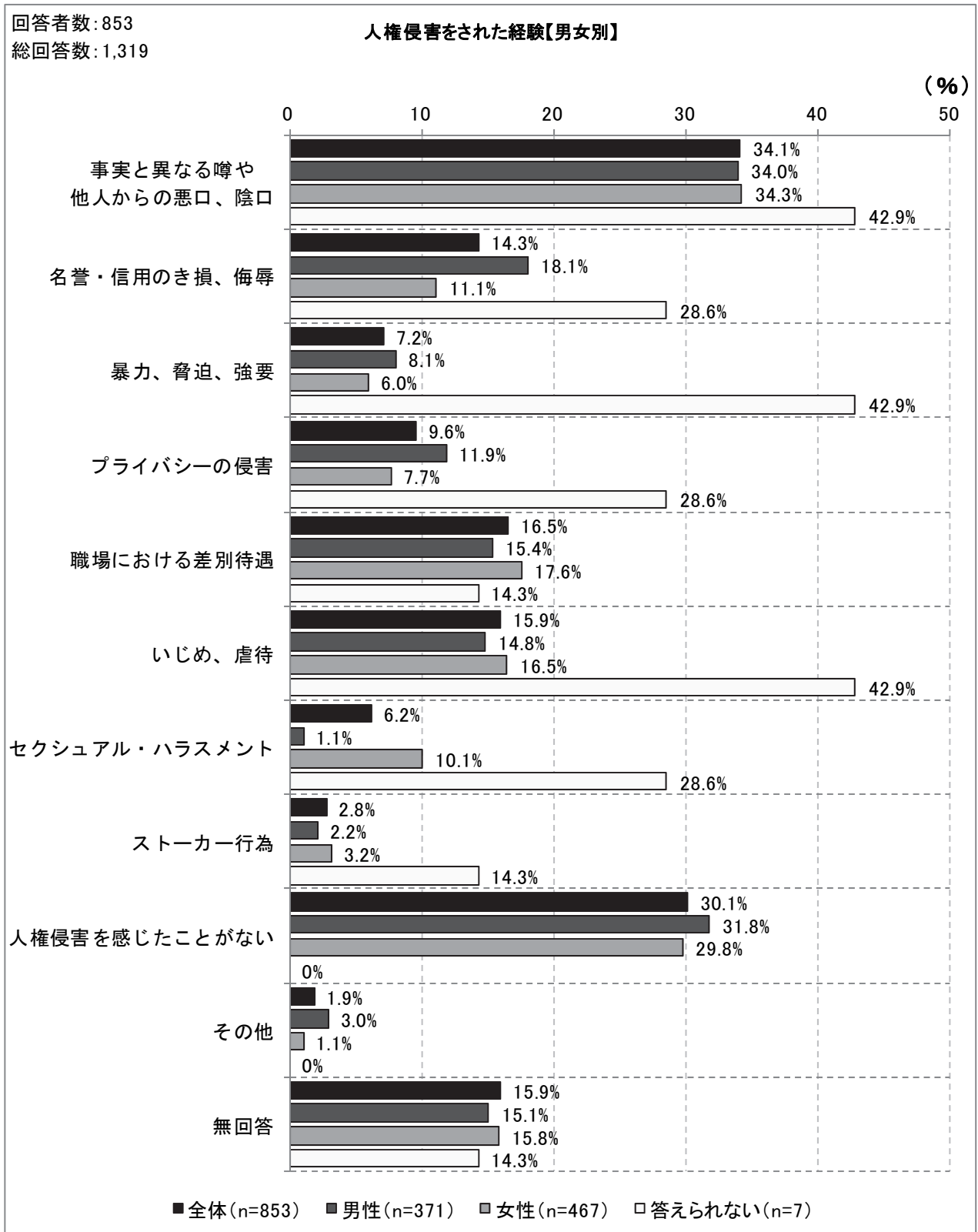
【前回・前々回との差】

- ◆ 「事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口」が前回より8.3ポイント、前々回より5.9ポイント増加している。また「人権侵害を感じたことがない」が前回より5.3ポイント、前々回より5.6ポイント減少している。



【男女別】

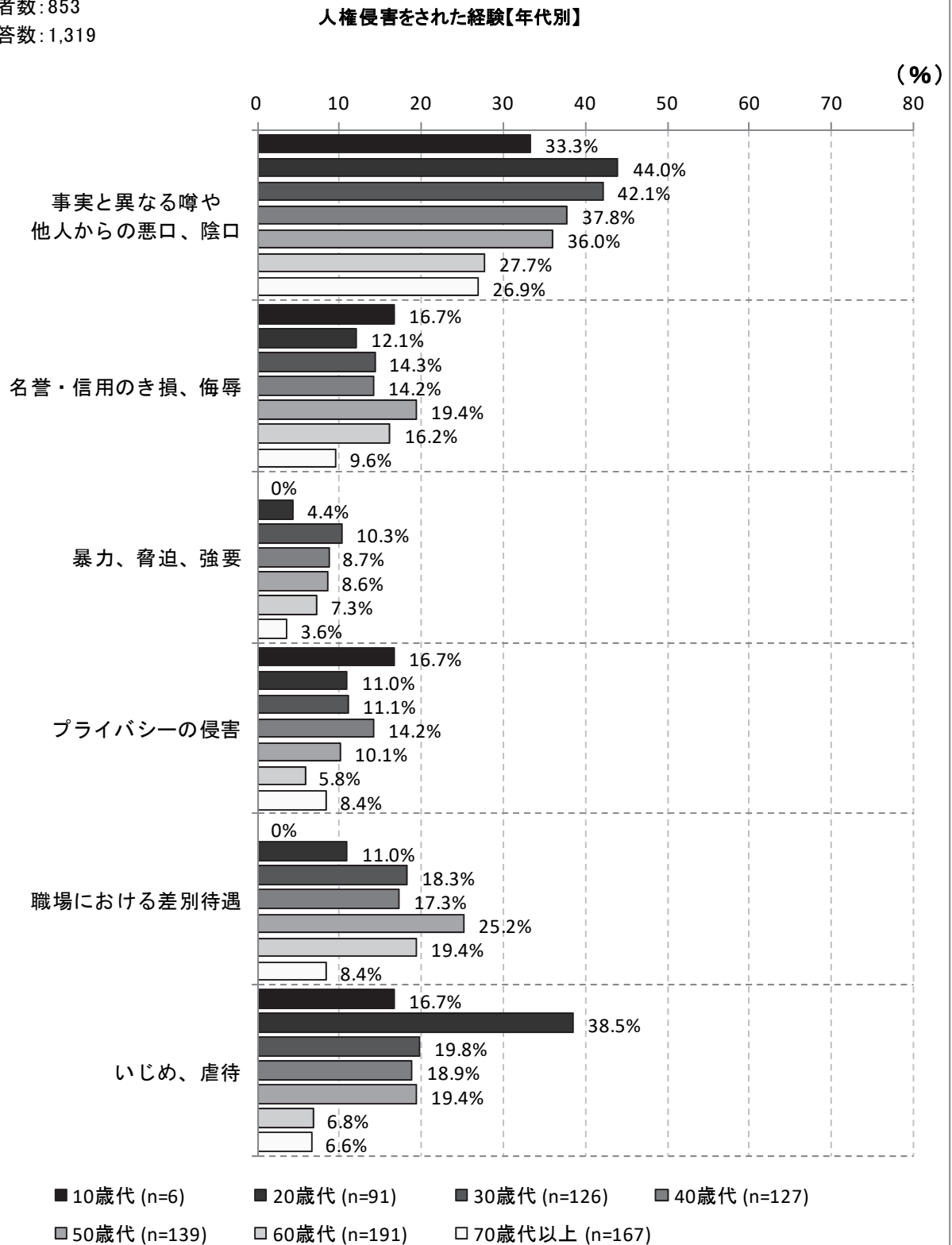
- ◆ 男女別でみると、男女ともに「事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口」が最も高く、次いで「人権侵害を感じたことがない」が続いている。「セクシュアル・ハラスメント」は男性より女性が9ポイント高く、女性の割合が多くなっている。



【年代別】

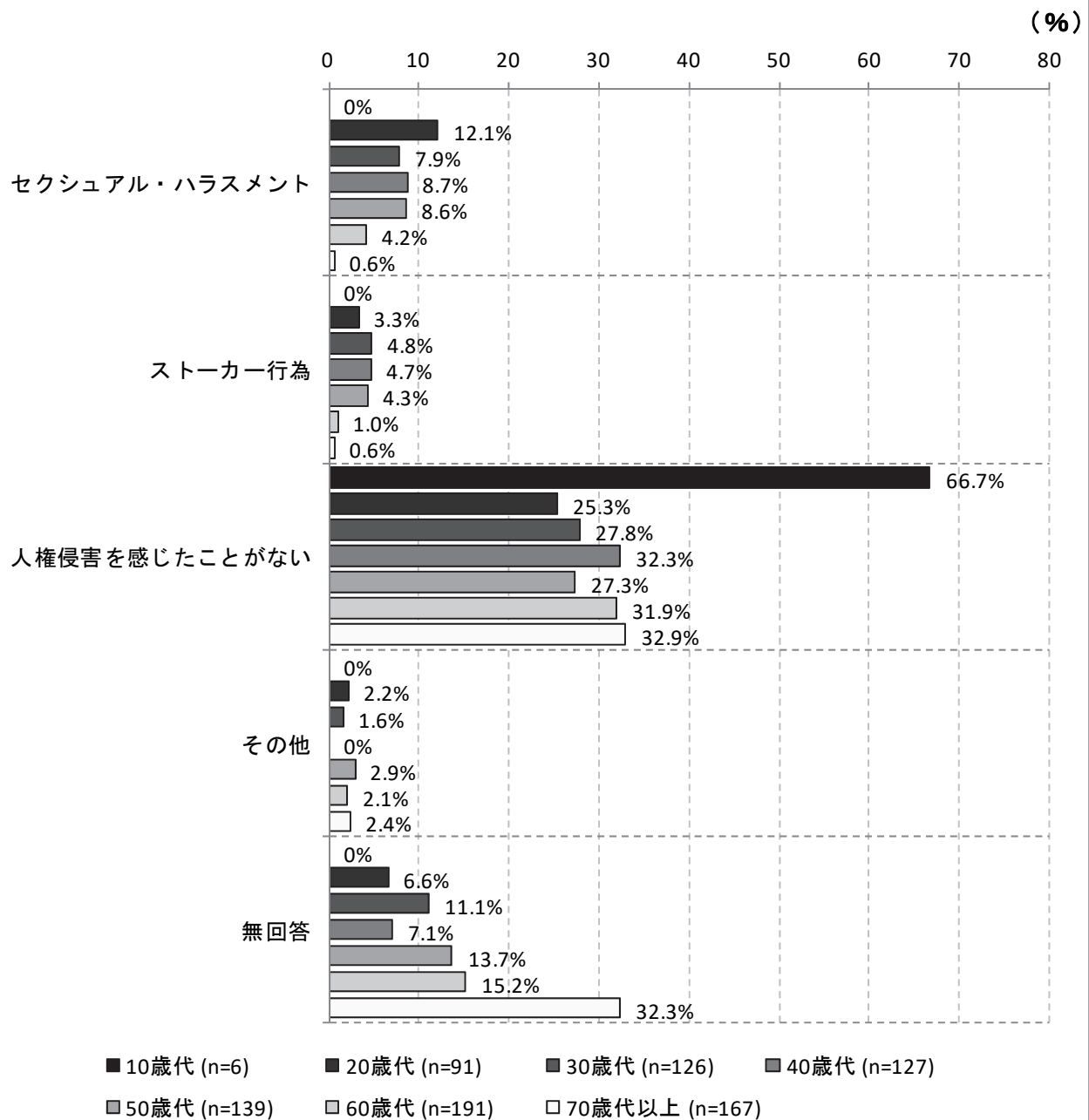
- ◆ 年代別でみると、10歳代、60歳代以上の年代では「人権侵害を感じたことがない」、20歳代から50歳代の年代では「事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口」が最も高くなっている。

回答者数: 853
総回答数: 1,319



回答者数: 853
総回答数: 1,319

人権侵害をされた経験【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・海外での人種差別
- ・L G B Tに対する差別
- ・パワハラ 等

2-3 差別をされた経験

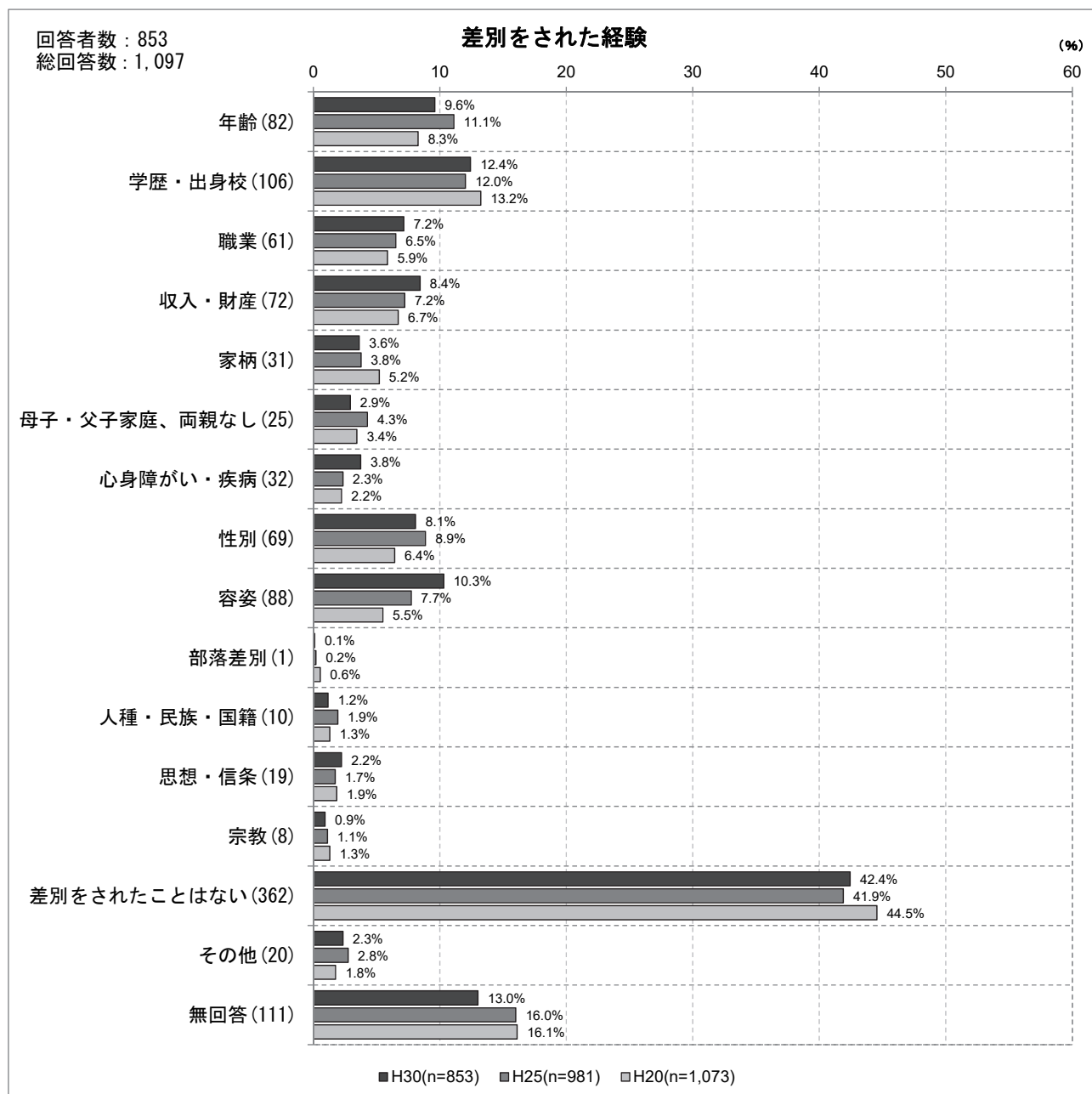
問8 あなたは差別をされたと思ったことはありますか。ある場合は、それはどういった内容のものでしたか。(〇は3つまで)

【全体】

- ◆ 「差別をされたことはない」が42.4%で最も高く、次いで「学歴・出身校」が12.4%の順になっている。また「部落差別」が0.1%と最も低く、次いで「宗教」が0.9%、「人種・民族・国籍」が1.2%の順になっている。

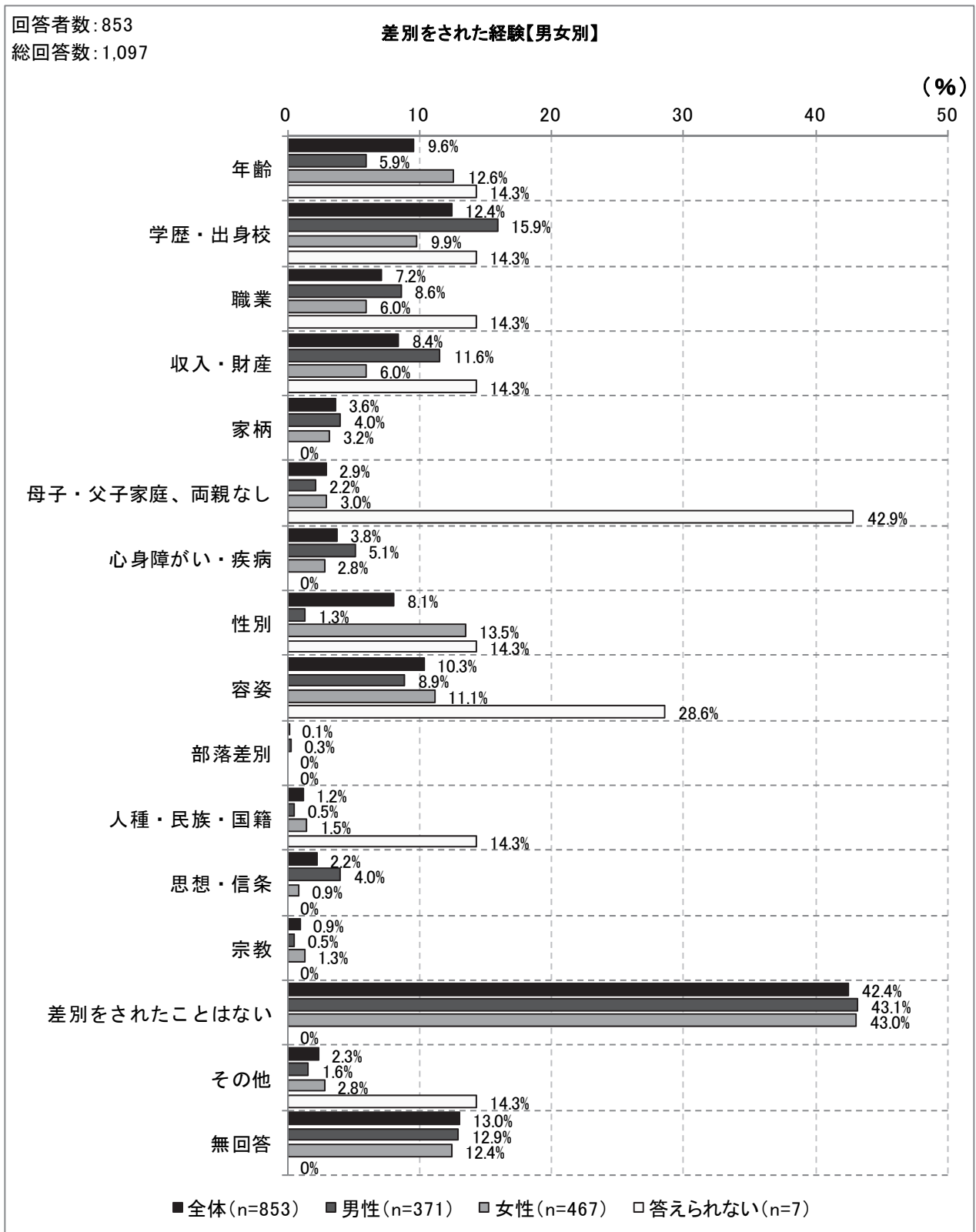
【前回・前々回との差】

- ◆ 「容姿」が前回より2.6ポイント、前々回より4.8ポイント増加している。



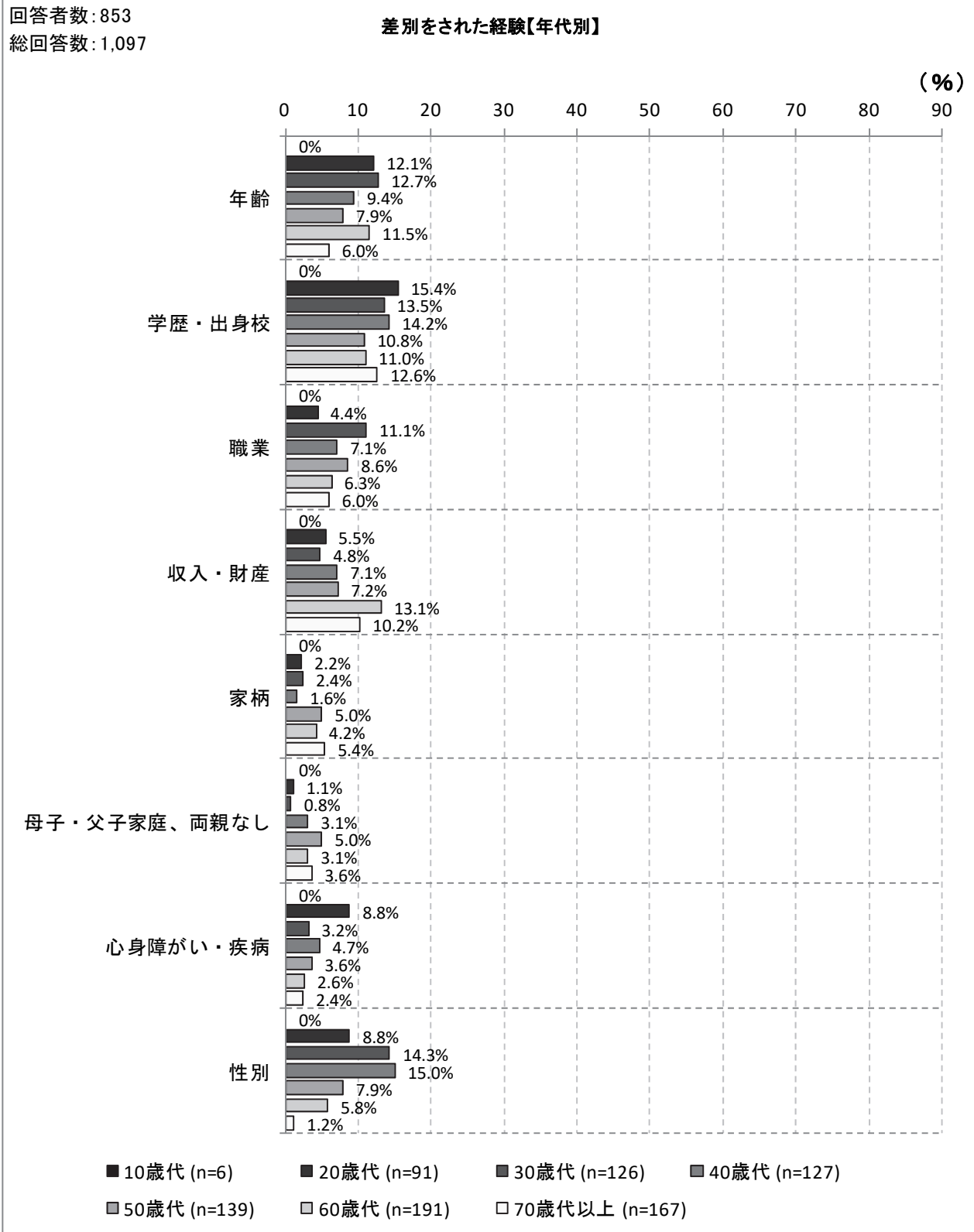
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、男女ともに「差別をされたことはない」が最も高くそれぞれ40%を超えている。次いで男性は「学歴・出身校」が15.9%、女性は「性別」が13.5%と続いている。「性別」は男性より女性が12.2ポイント高く、女性の割合が多くなっている。



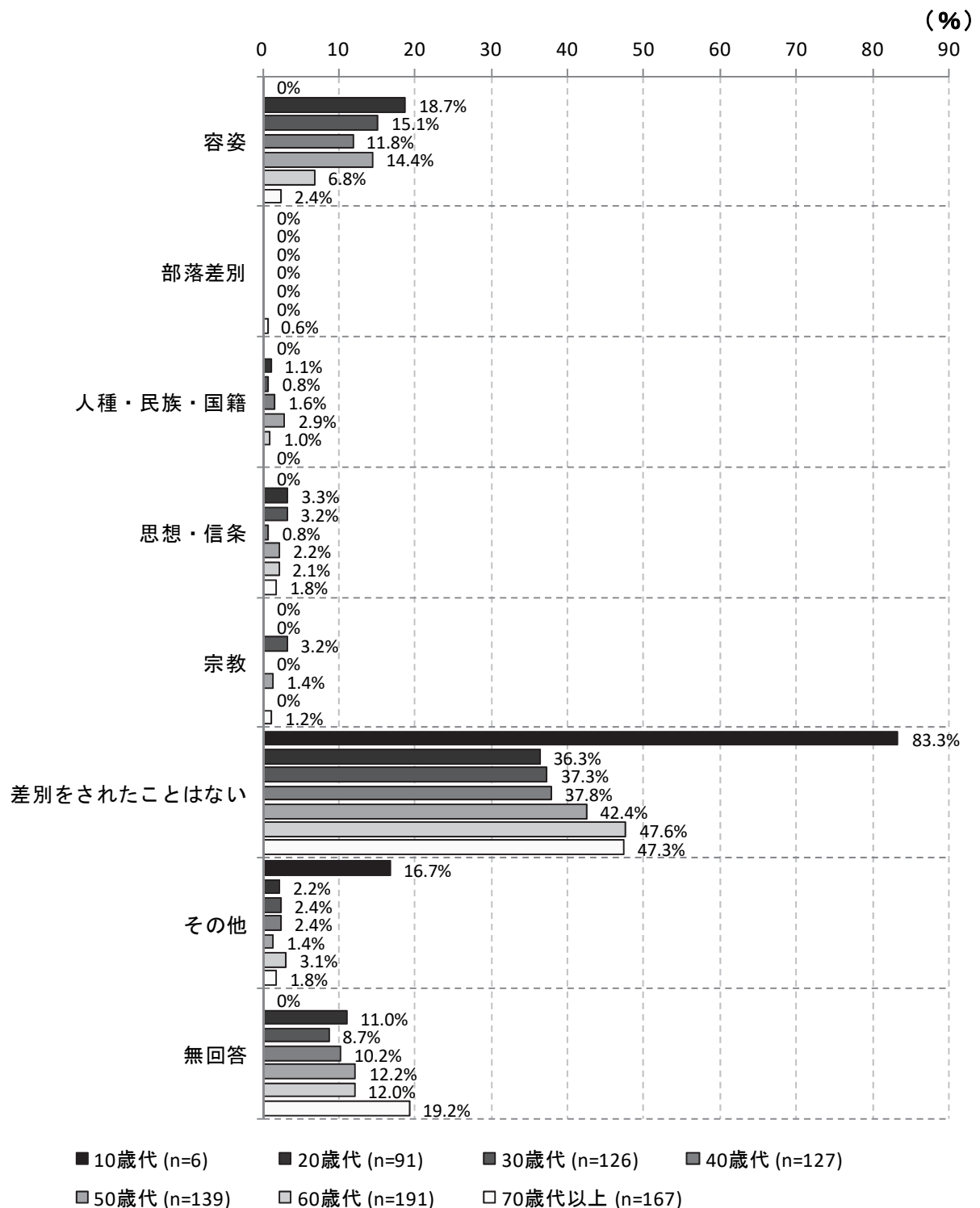
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、各年代ともに「差別をされたことはない」が最も高くなっている。次いで 20 歳代から 30 歳代、50 歳代の年代は「容姿」、40 歳代は「性別」、60 歳代では「収入・財産」、70 歳代以上は「学歴・出身校」と続いている。



回答者数: 853
総回答数: 1,097

差別をされた経験【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・昇進昇格
- ・職場で結婚の時期を侵害された
- ・容姿
- ・就職活動における年齢制限が事実と異なっている事 等

2-4 人権侵害を受けた場合の対応

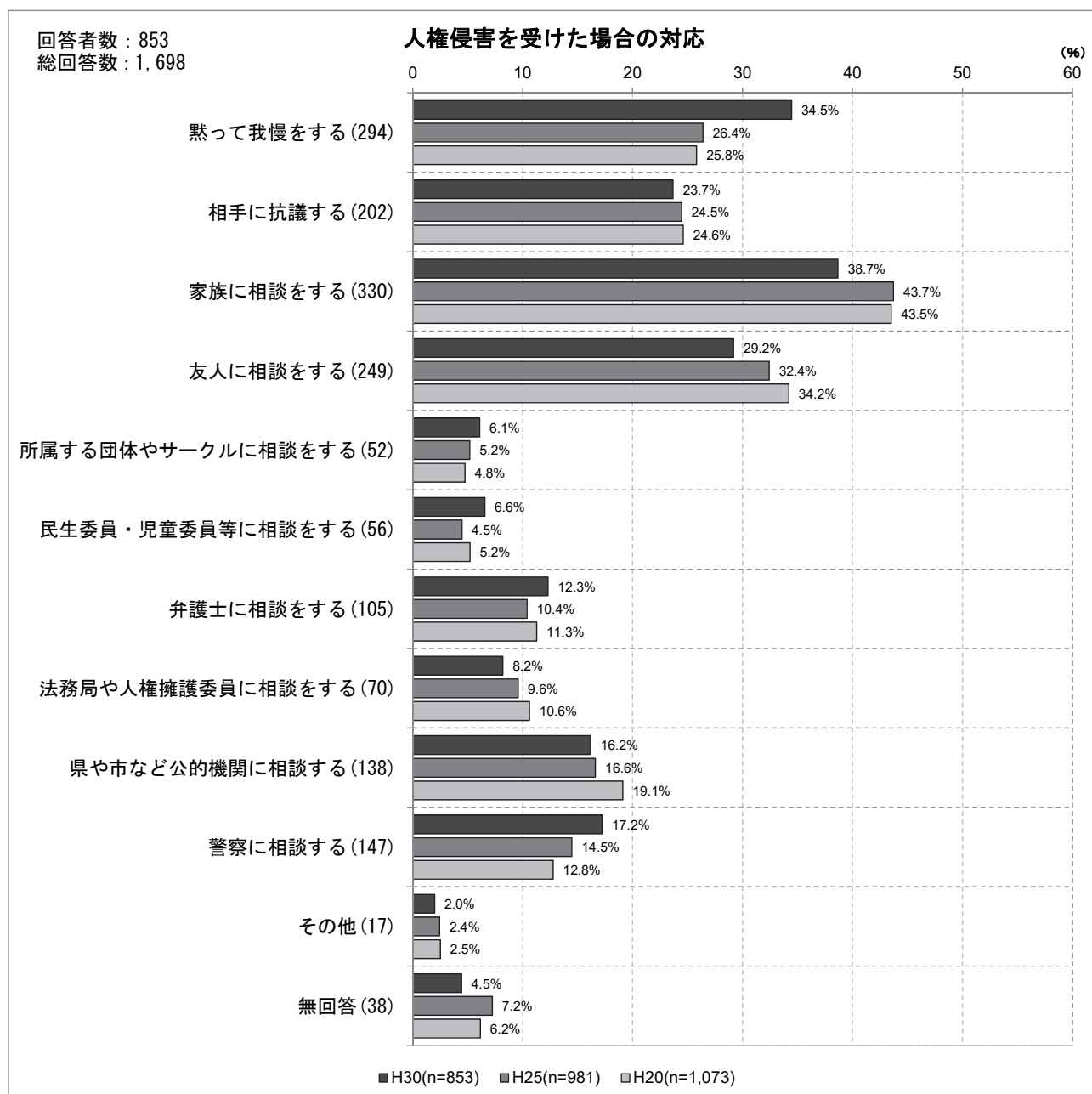
問9 もし、人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- ◆ 「家族に相談をする」が38.7%で最も高く、次いで「黙って我慢をする」が34.5%、「友人に相談をする」が29.2%の順になっている。

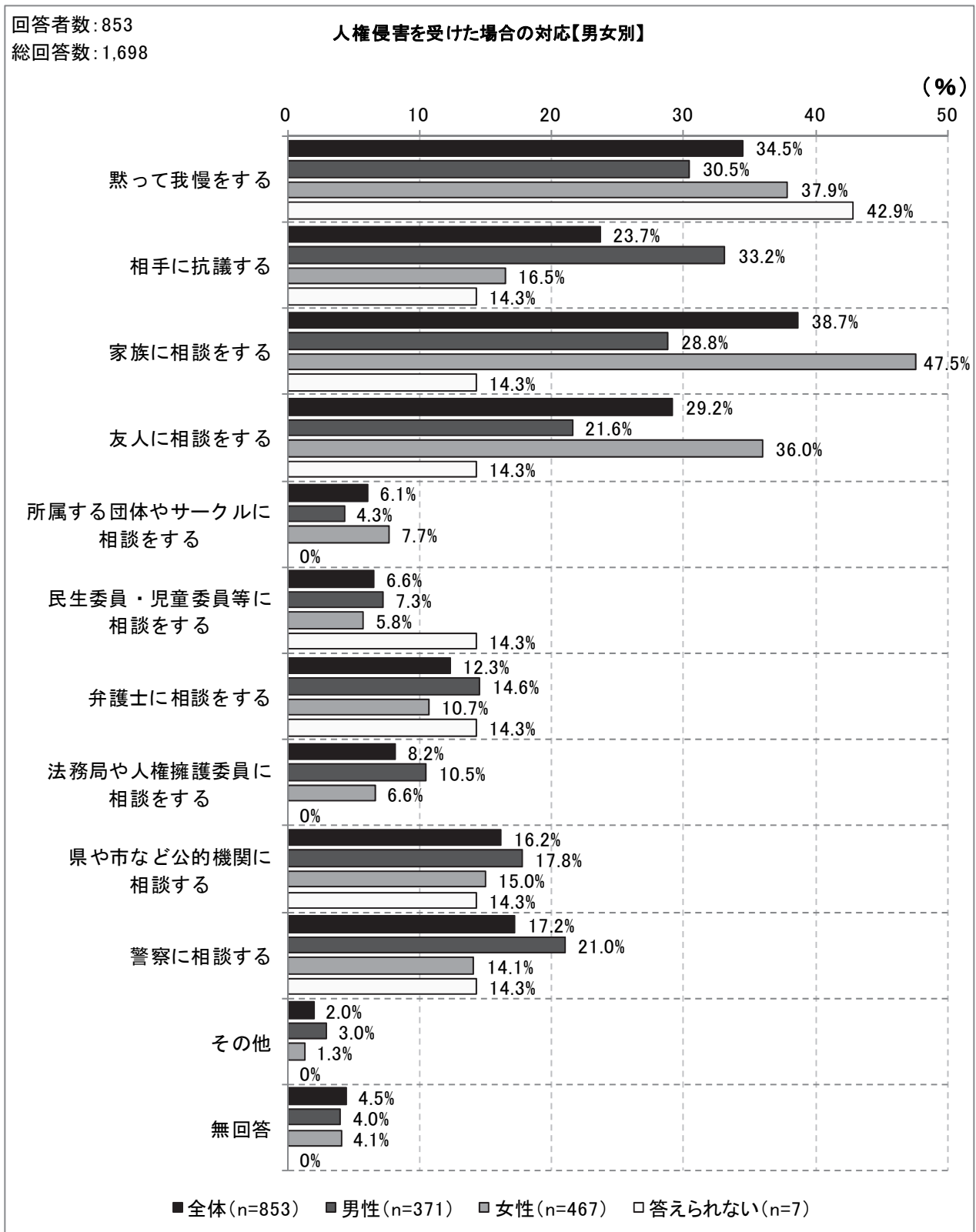
【前回・前々回との差】

- ◆ 「黙って我慢をする」が前回より8.1ポイント、前々回より8.7ポイント増加している。また「家族に相談をする」が前回より5.0ポイント、「友人に相談をする」が前々回より5.0ポイント減少している。



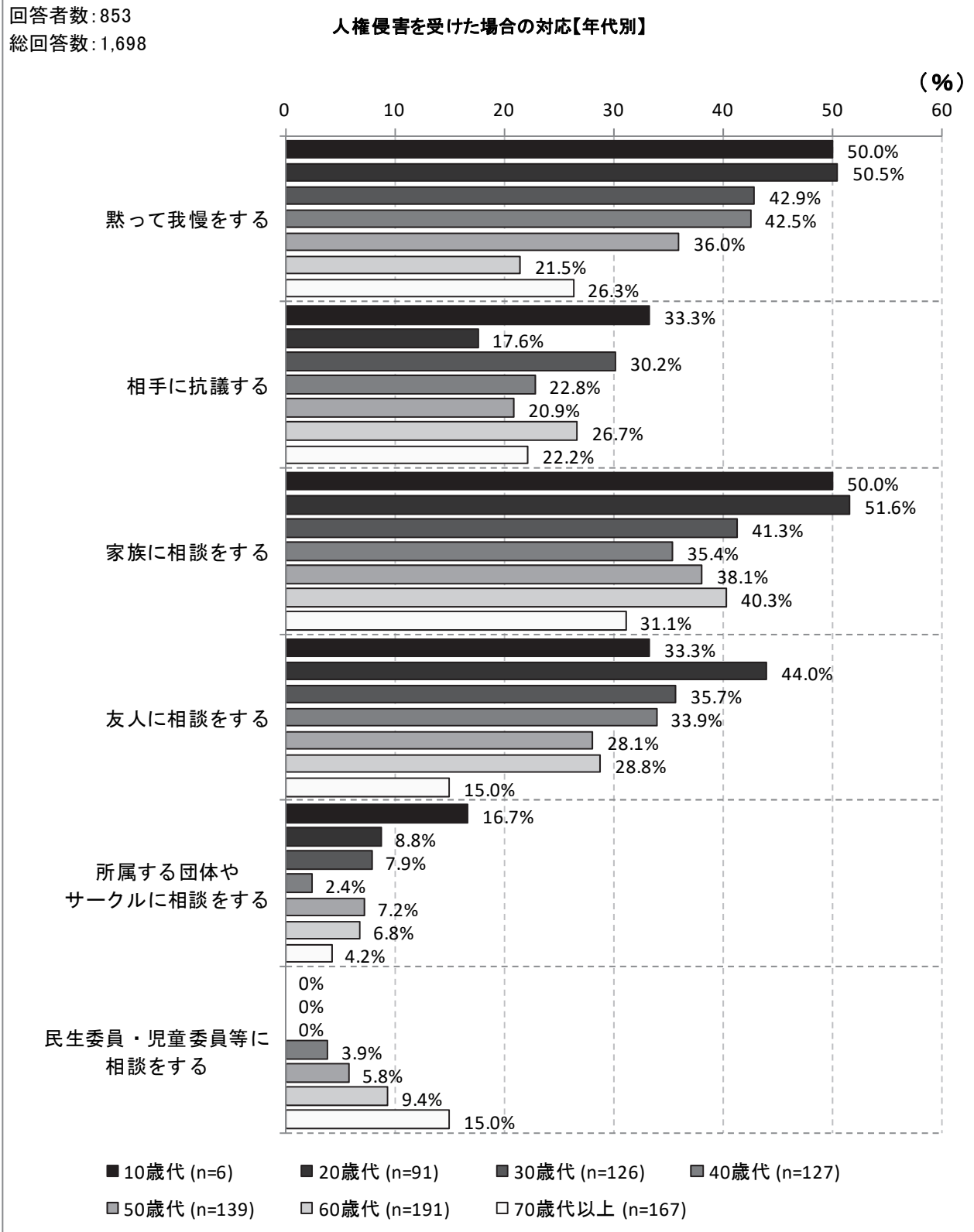
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、男性は「相手に抗議する」が33.2%、女性は「家族に相談をする」が47.5%と最も高くなっている。「相手に抗議する」は女性より男性が16.7ポイント、「家族に相談をする」は男性より女性が18.7ポイントそれぞれ高く、男女の差が顕著となっている。



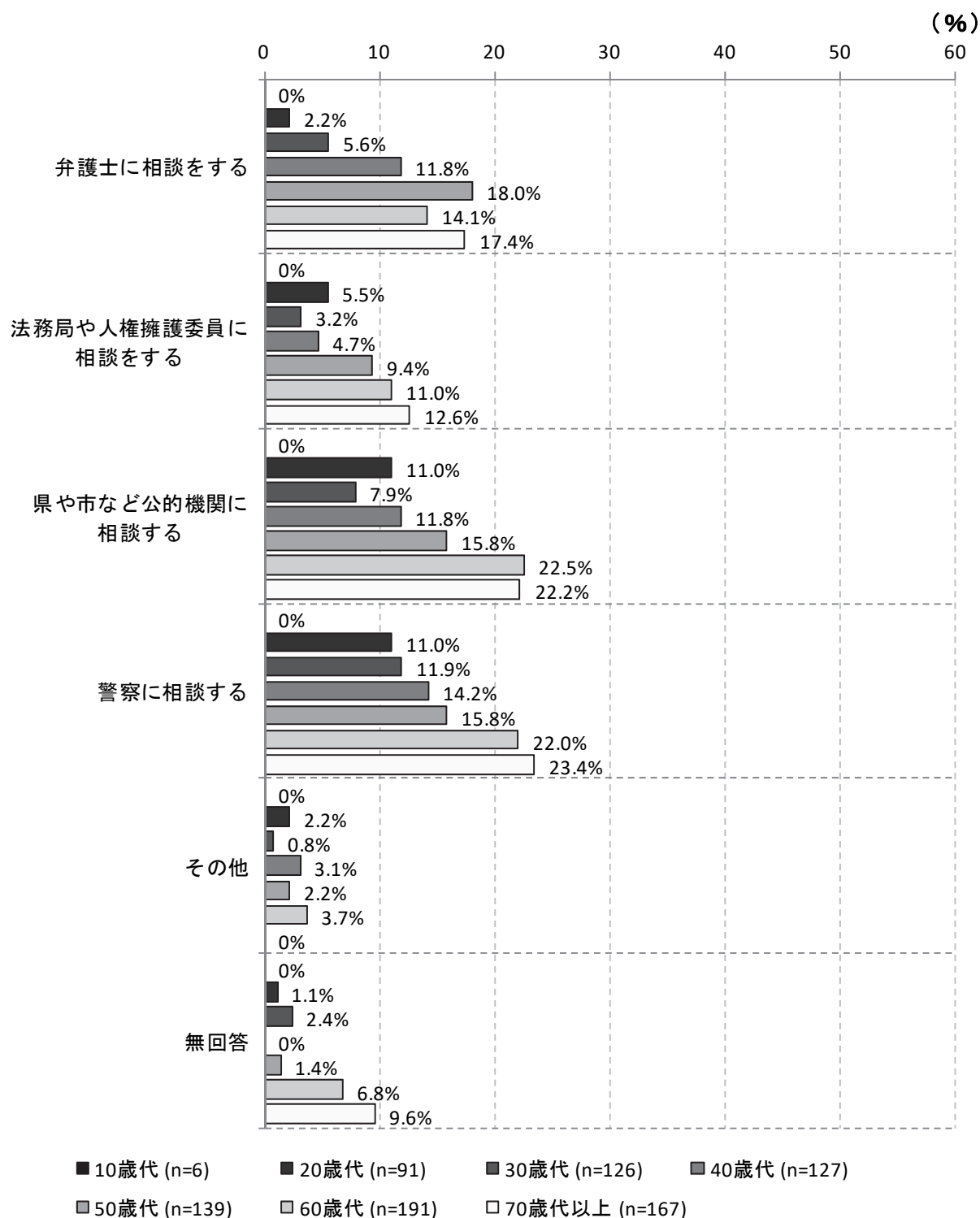
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では「家族に相談をする」と「黙って我慢をする」が同率で高くなっている。20歳代、50歳代以上の年代では「家族に相談をする」、30歳代から40歳代の年代では「黙って我慢をする」が最も高くなっている。



回答者数:853
総回答数:1,698

人権侵害を受けた場合の対応【年代別】



【その他の回答】

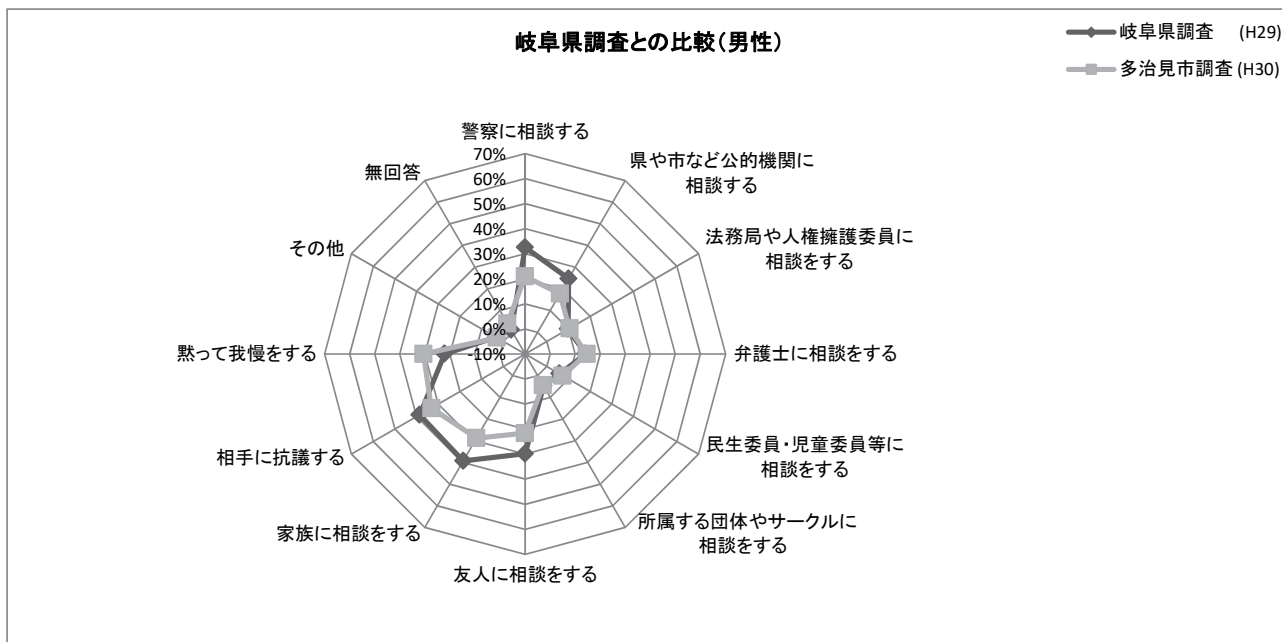
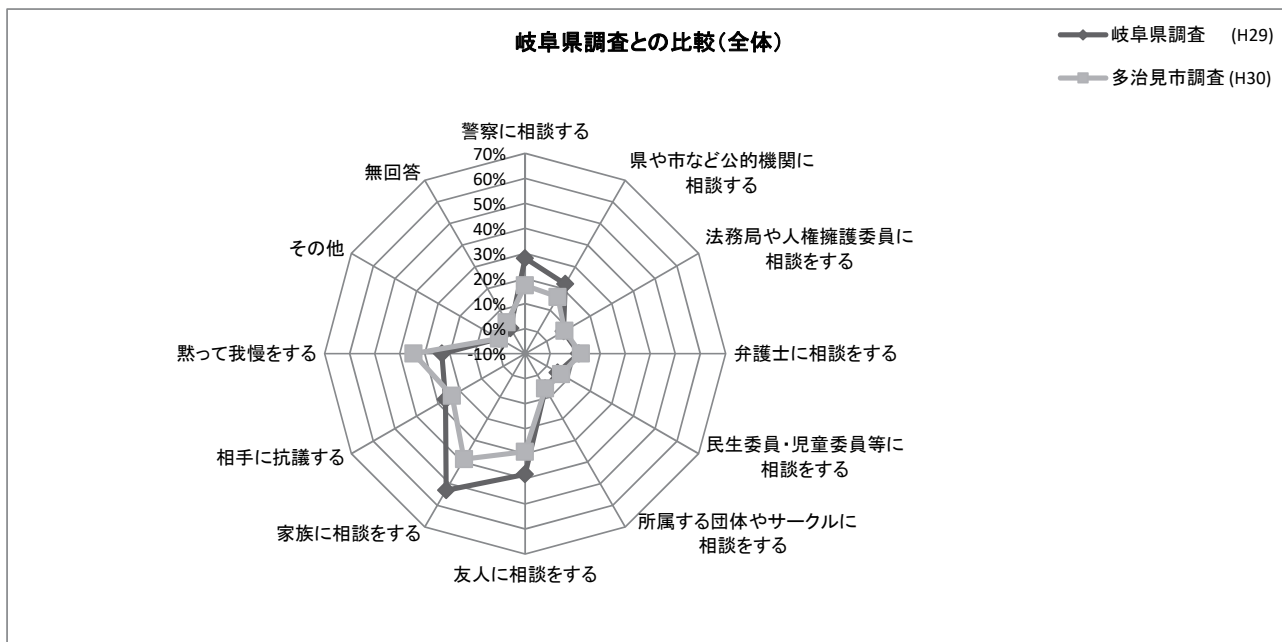
その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・受けた内容による
- ・侵害を受けた場所はそういう所だと相手にしない
- ・だれに相談したらいいかわからない 等

2-5 参考：岐阜県調査との比較（人権侵害を受けた場合の対応）

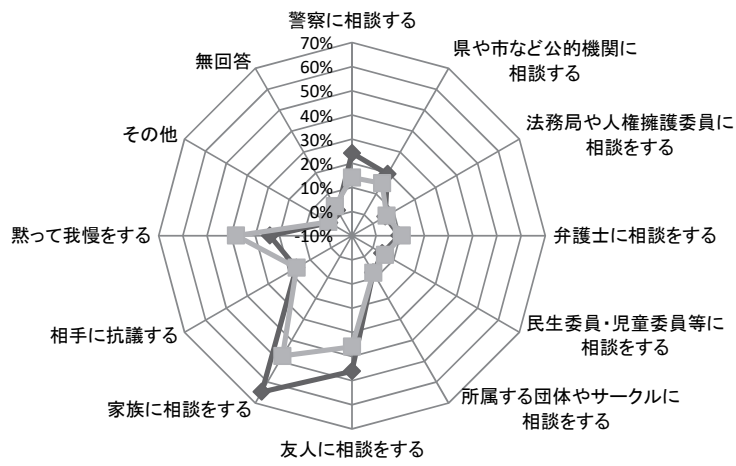
【岐阜県調査との比較】

岐阜県調査と比較すると、いずれも全体では「家族に相談する」の割合が最も高くなっている。男性で最も高い項目は「相手に抗議する」である。一方女性は、「家族に相談をする」の割合が低い。



岐阜県調査との比較(女性)

岐阜県調査 (H29)
多治見市調査 (H30)



3 女性の人権について

3-1 「男女共同参画推進条例」について

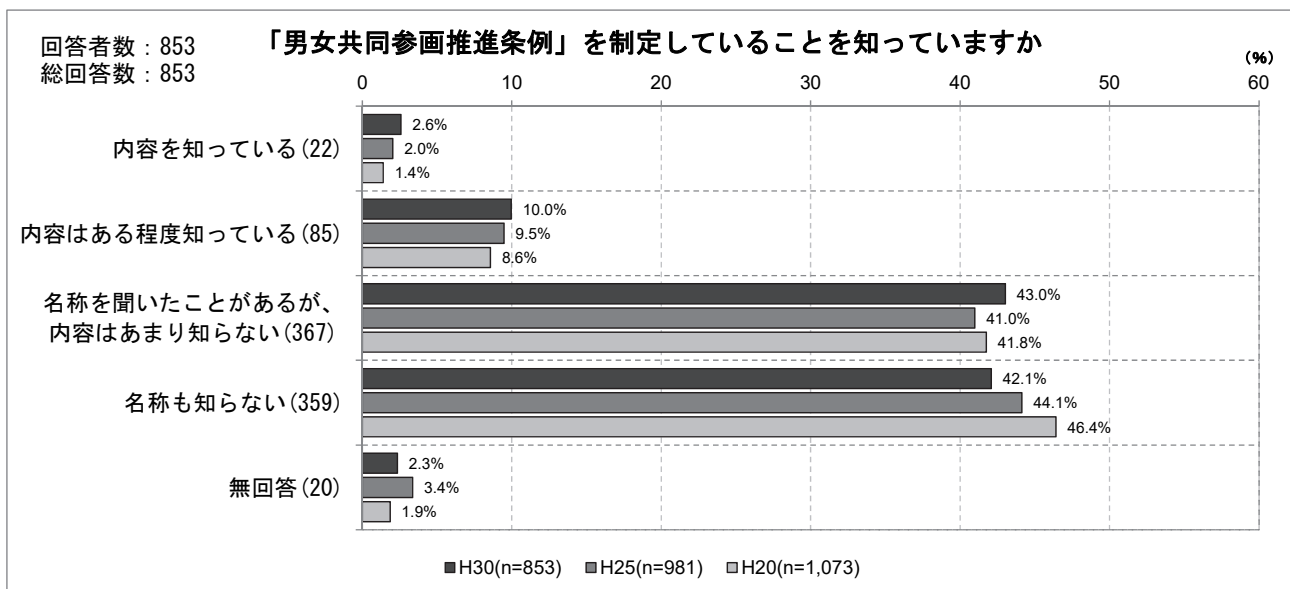
問10 あなたは、多治見市が「男女共同参画推進条例」を制定していることを知っていますか。
(○は1つ)

【全体】

- ◆ 「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が43.0%で最も高く、次いで「名称も知らない」が42.1%、「内容はある程度知っている」が10.0%の順になっている。

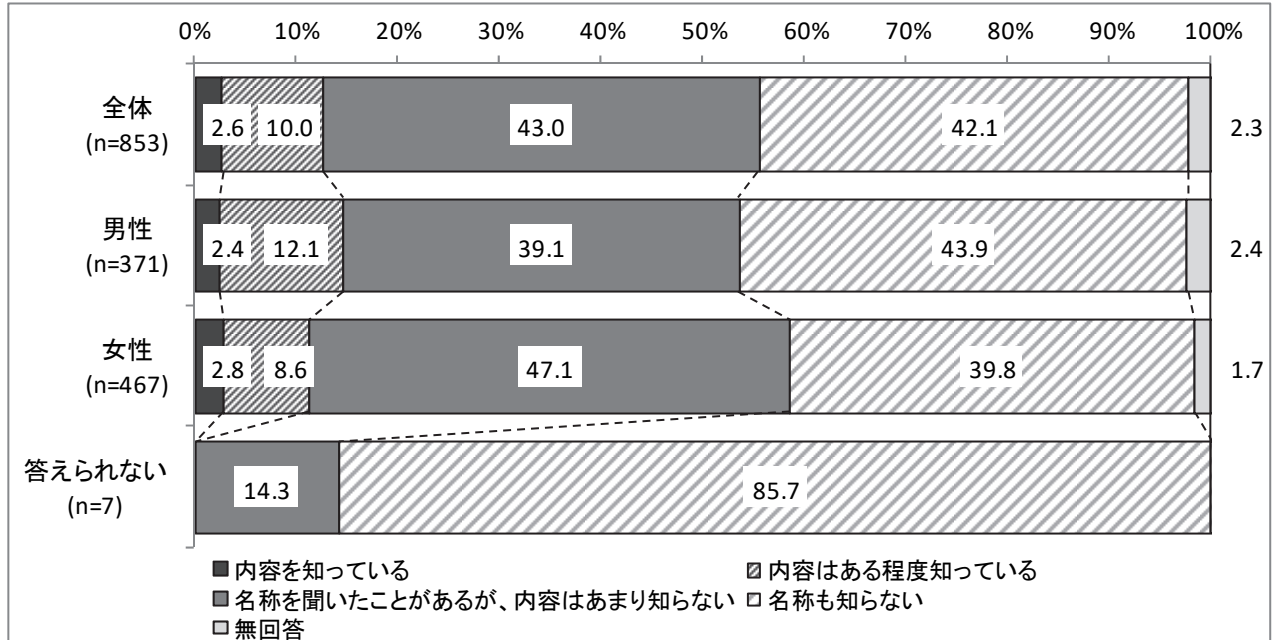
【前回・前々回との差】

- ◆ 「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が前回より2.0ポイント、「内容はある程度知っている」が前々回より1.4ポイント増加している。また「名称も知らない」が前回より2.0ポイント、前々回より4.3ポイント減少している。



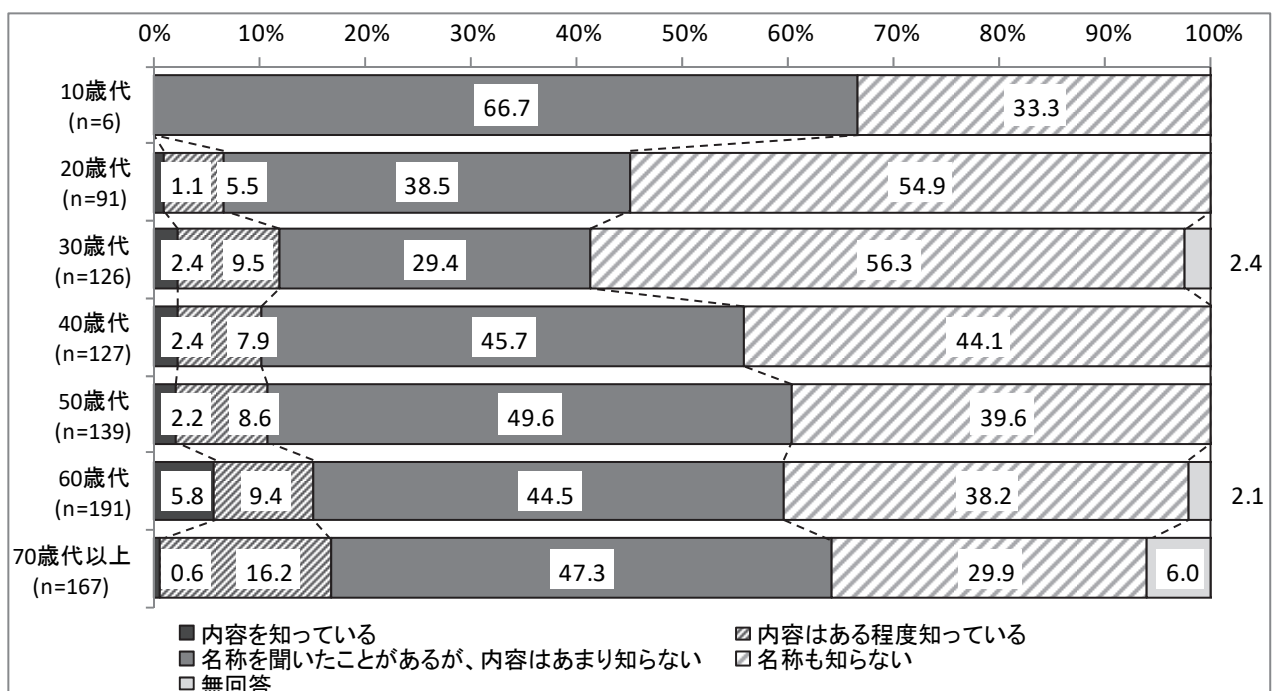
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、男性は「名称も知らない」が43.9%、女性は「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が47.1%とそれぞれ最も高くなっている。「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」は男性より女性が8.0ポイント高くなっている。



【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代、40歳以上の年代では「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」、20歳代から30歳代の年代では「名称も知らない」が最も高くなっている。



【数表】 3-1 「男女共同参画推進条例」を制定していることを知っていますか

[上段:件、下段:%]

項目	区分	内容を知っている	内容は知っている程度	あまり知らない内容とは	名称も知らない	無回答	総回答
全体 (n=853)	回答数	22	85	367	359	20	853
	回答率	2.6%	10.0%	43.0%	42.1%	2.3%	100.0%
男性 (n=371)	回答数	9	45	145	163	9	371
	回答率	2.4%	12.1%	39.1%	43.9%	2.4%	99.9%
女性 (n=467)	回答数	13	40	220	186	8	467
	回答率	2.8%	8.6%	47.1%	39.8%	1.7%	100.0%
答えられない (n=7)	回答数	0	0	1	6	0	7
	回答率	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%	100.0%
10歳代 (n=6)	回答数	0	0	4	2	0	6
	回答率	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
20歳代 (n=91)	回答数	1	5	35	50	0	91
	回答率	1.1%	5.5%	38.5%	54.9%	0.0%	100.0%
30歳代 (n=126)	回答数	3	12	37	71	3	126
	回答率	2.4%	9.5%	29.4%	56.3%	2.4%	100.0%
40歳代 (n=127)	回答数	3	10	58	56	0	127
	回答率	2.4%	7.9%	45.7%	44.1%	0.0%	100.1%
50歳代 (n=139)	回答数	3	12	69	55	0	139
	回答率	2.2%	8.6%	49.6%	39.6%	0.0%	100.0%
60歳代 (n=191)	回答数	11	18	85	73	4	191
	回答率	5.8%	9.4%	44.5%	38.2%	2.1%	100.0%
70歳代以上 (n=167)	回答数	1	27	79	50	10	167
	回答率	0.6%	16.2%	47.3%	29.9%	6.0%	100.0%

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

3-2 女性の人権問題について特に問題だと思うこと

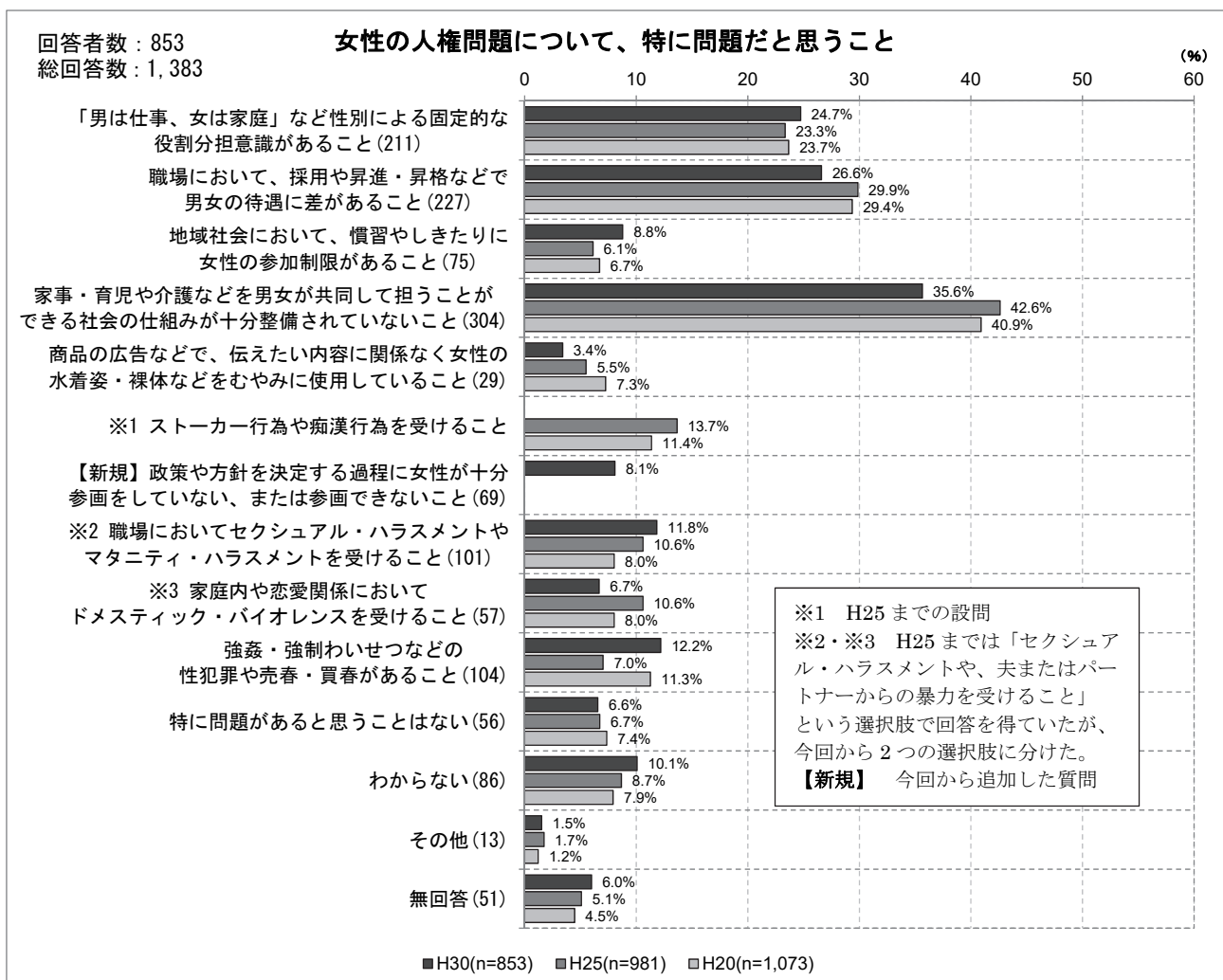
問11 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「家事・育児や介護などを男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が35.6%で最も高く、次いで「職場において、採用や昇進・昇格などで男女の待遇に差があること」が26.6%、「『男は仕事、女は家庭』など性別による固定的な役割分担意識があること」が24.7%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「強姦・強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春があること」が前回より5.2ポイント、「職場においてセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントを受けること」が前々回より3.8ポイント増加している。また「家事・育児や介護などを男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が前回より7.0ポイント、前々回より5.3ポイント減少している。



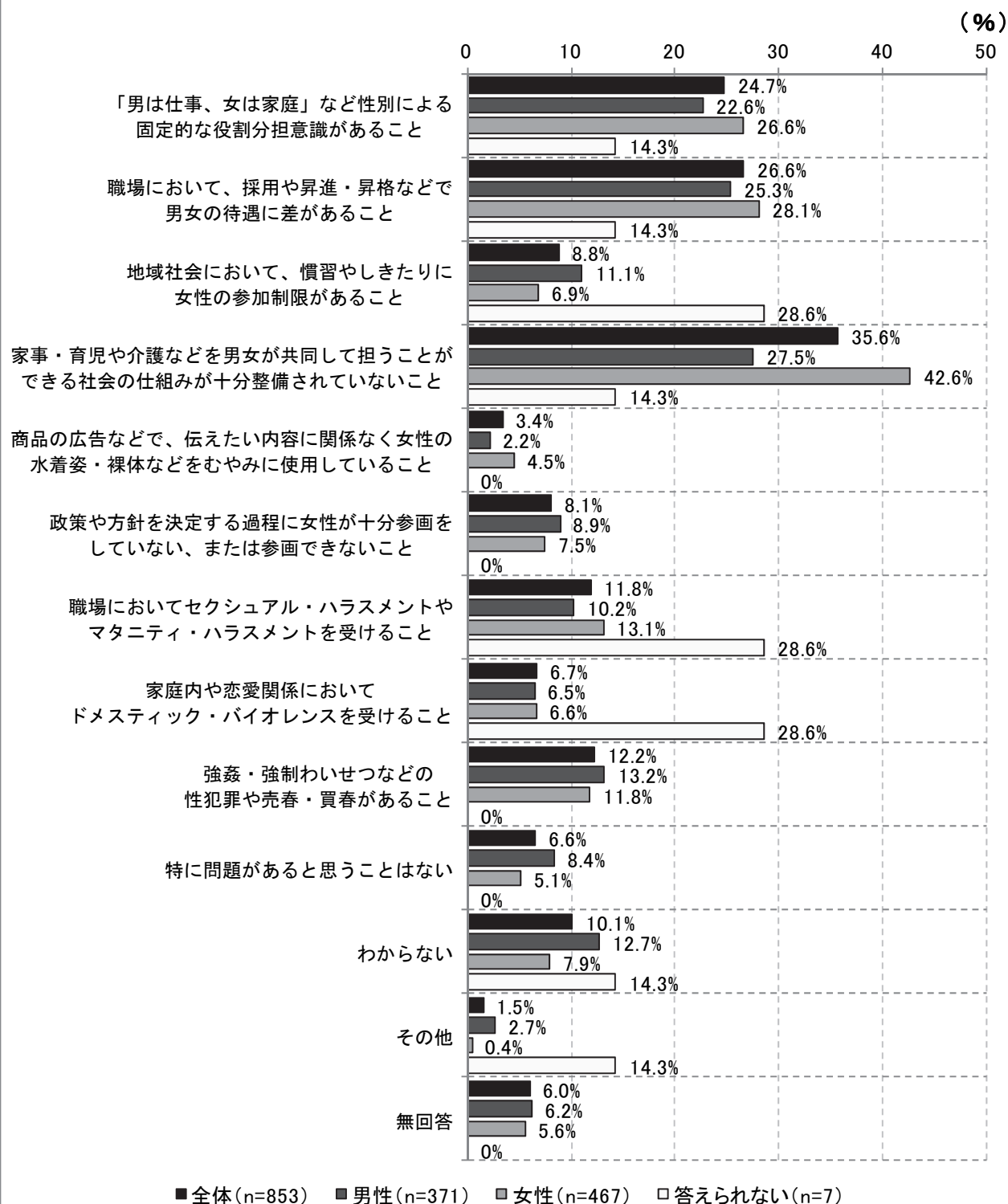
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、男女ともに「家事・育児や介護などを男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が最も高く、次いで「職場において、採用や昇進・昇格などで男女の待遇に差があること」が続いている。「家事・育児や介護などを男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」は男性より女性が 15.1 ポイント高く、男女の差が最も大きくなっている。

回答者数: 853

総回答数: 1,383

女性の人権問題について特に問題だと思うこと【男女別】



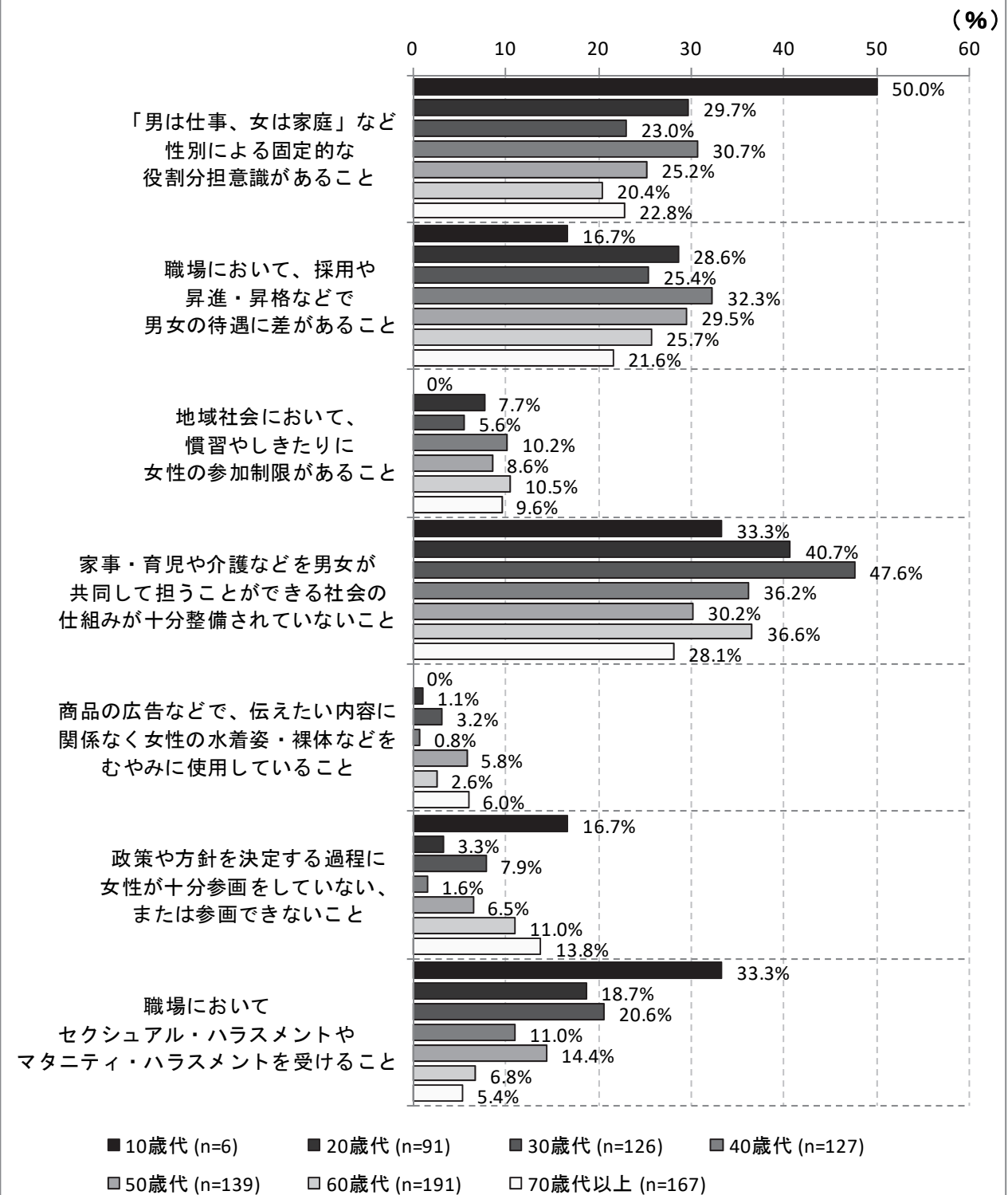
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では『男は仕事、女は家庭』など性別による固定的な役割分担意識があること」、他の年代では「家事・育児や介護などを男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が最も高くなっている。

※この棒グラフは次ページに続く

回答者数:853
総回答数:1,383

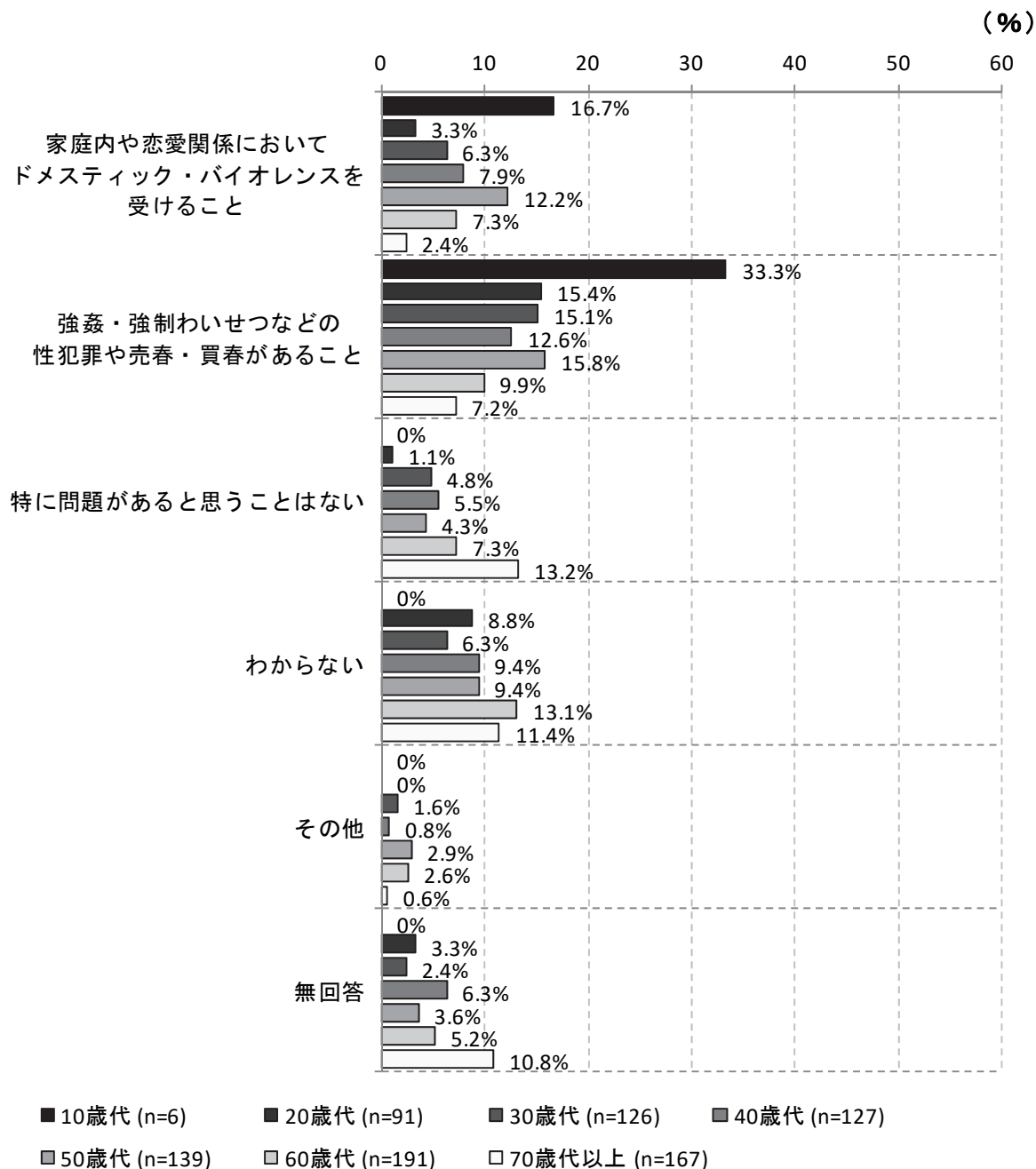
女性の人権問題について特に問題だと思うこと【年代別】



※この棒グラフは前ページから続く

回答者数:853
総回答数:1,383

女性の人権問題について特に問題だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・なぜ女性のみの分で聞いて男性の人権は聞かないのか
- ・男女平等という名のもと、女性優遇が、多すぎになってきていること
- ・おのこの役割を考える事が大事
- ・男も女も自己の責任もつ事 等

3-3 女性の人権を守るために必要なこと

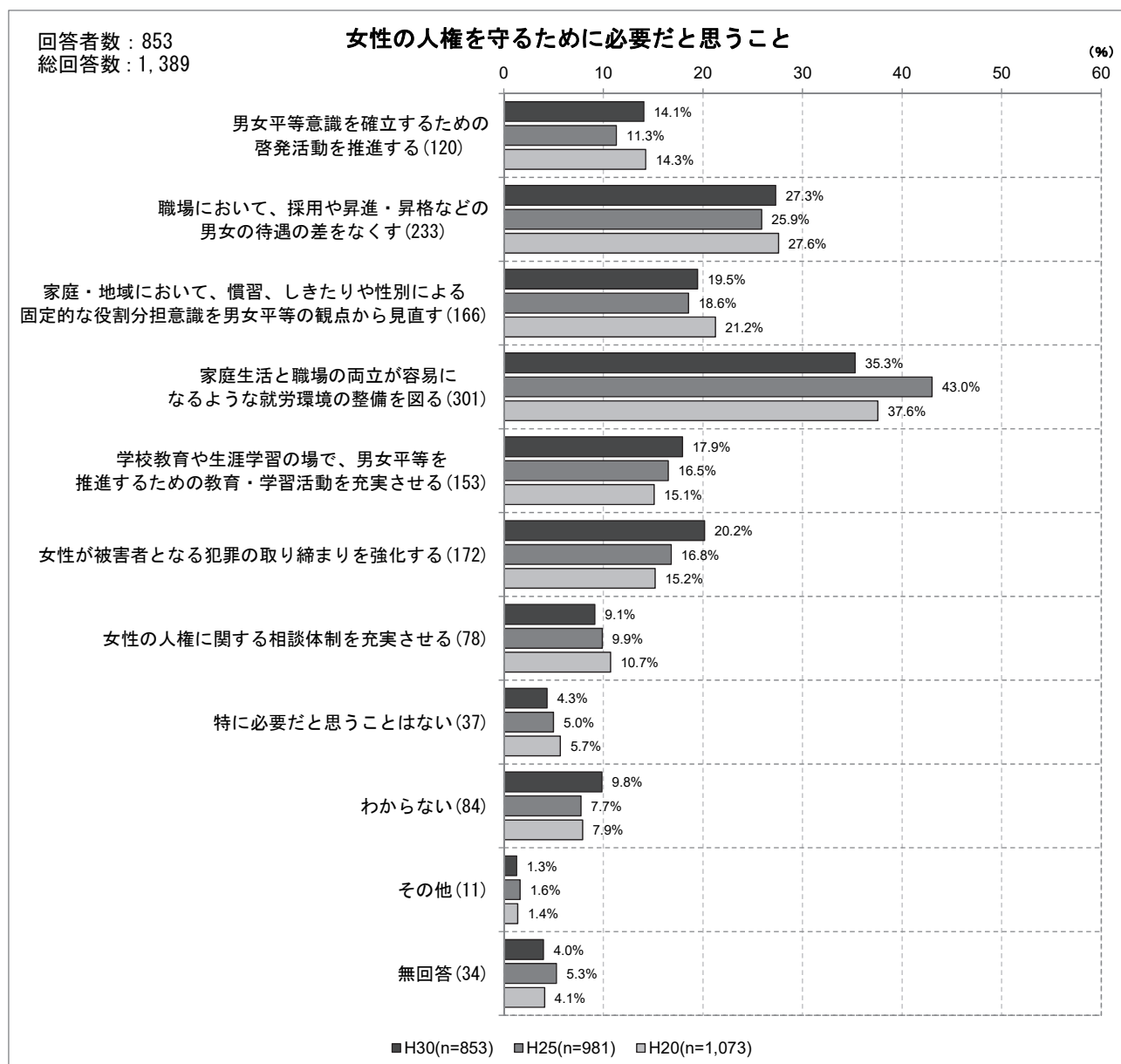
問12 女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が 35.3%で最も高く、次いで「職場において、採用や昇進・昇格などの男女の待遇の差をなくす」が 27.3%、「女性が被害者となる犯罪の取り締まりを強化する」が 20.2%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「女性が被害者となる犯罪の取り締まりを強化する」が前回より 3.4 ポイント、前々回より 5.0 ポイント増加している。また「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が前回より 7.7 ポイント、前々回より 2.3 ポイント減少している。



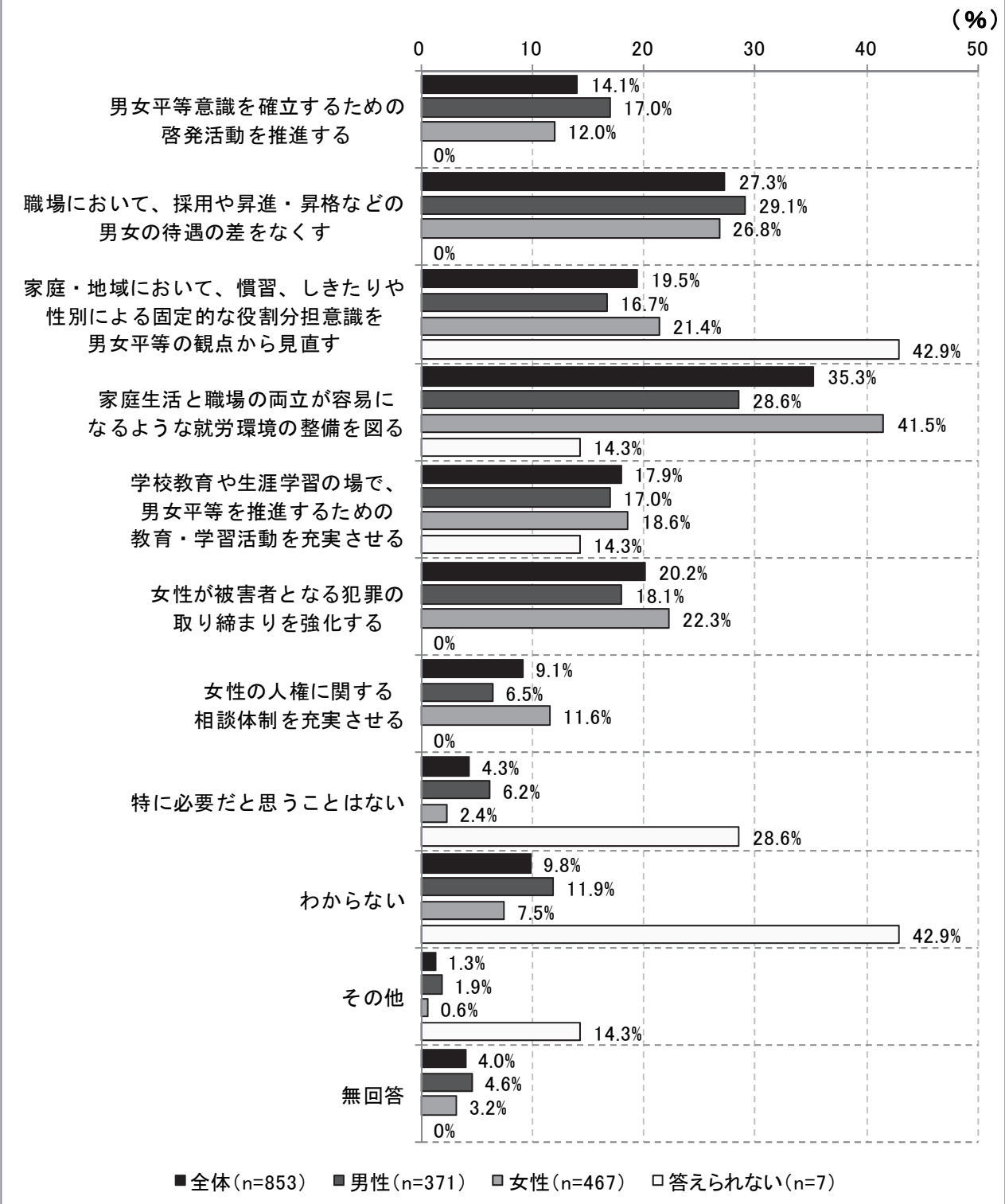
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、男性は「職場において、採用や昇進・昇格などの男女の待遇の差をなくす」が29.1%、女性は「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が41.5%とそれぞれ最も高くなっている。「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」は男性より女性が12.9ポイント高く、男女の差が最も大きくなっている。

回答者数:853

総回答数:1,389

女性の人権を守るために必要だと思うこと【男女別】



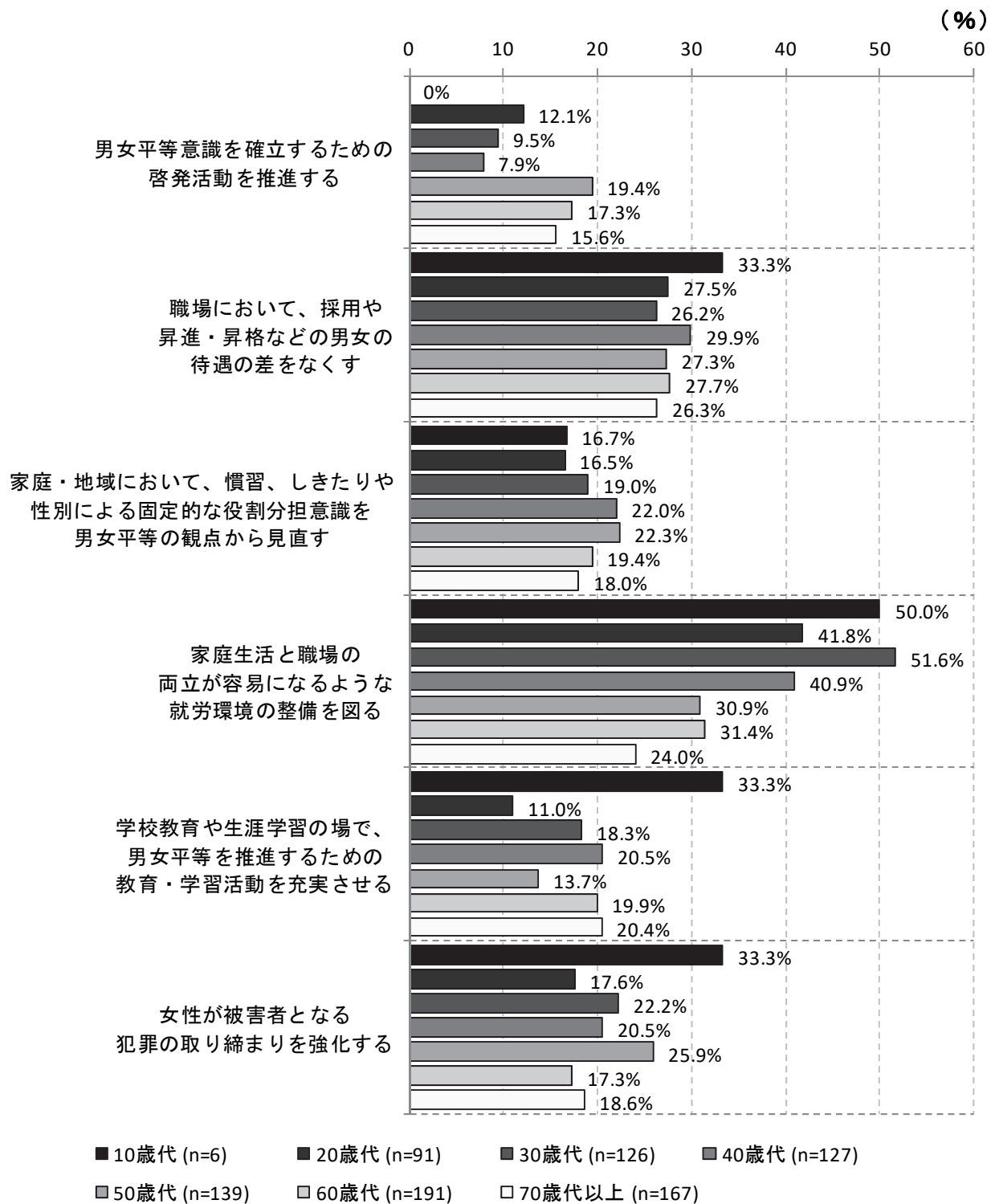
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代から 60 歳代の年代では「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」、70 歳代以上では「職場において、採用や昇進・昇格などの男女の待遇の差をなくす」が最も高くなっている。

※この棒グラフは次ページに続く

回答者数: 853
総回答数: 1,389

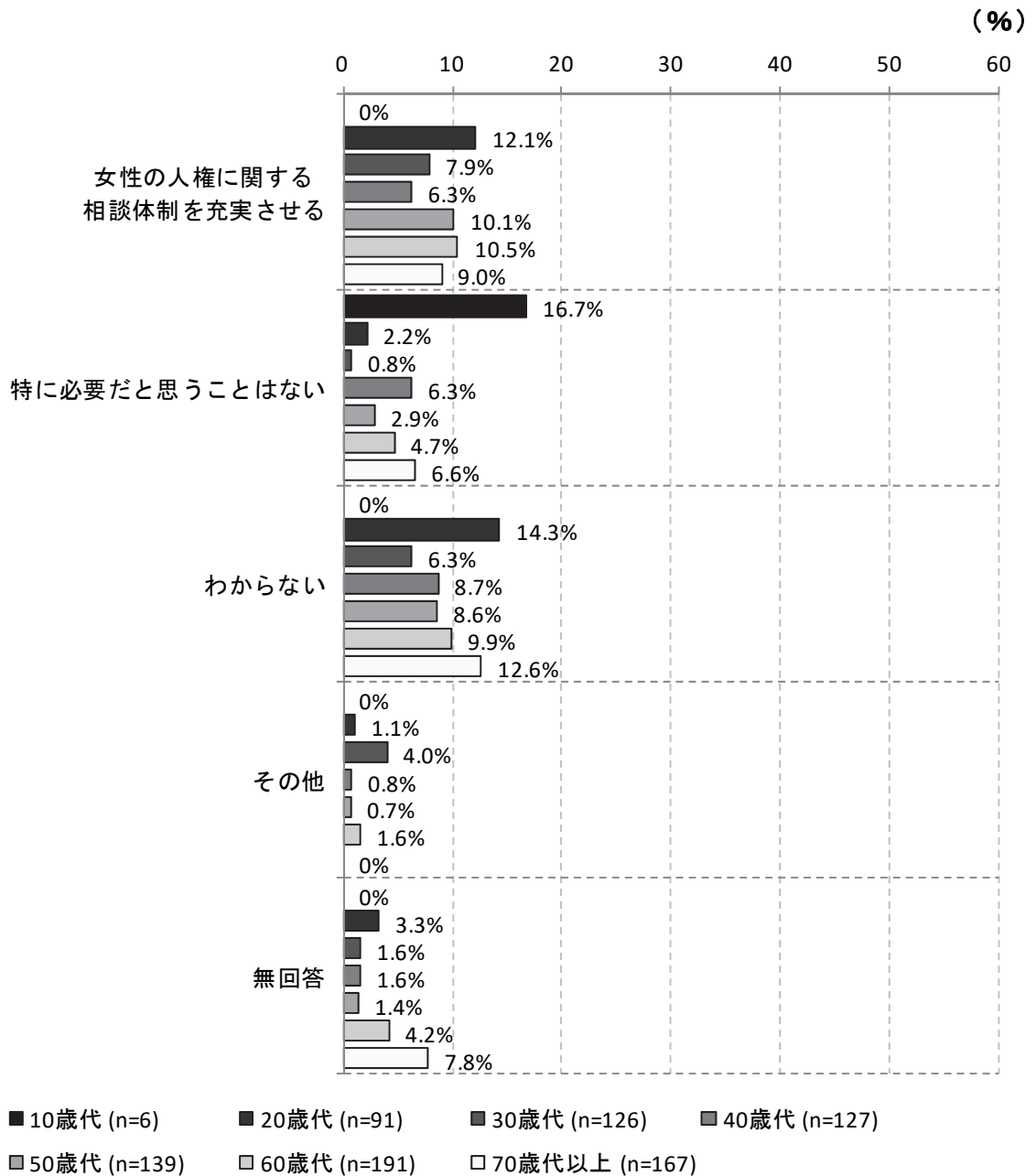
女性の人権を守るために必要だと思うこと【年代別】



※この棒グラフは前ページから続く

回答者数: 853
総回答数: 1,389

女性の人権を守るために必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・公の場において政策を決定する場合、過半数は女性も参加する 女性の意見を反映させる
- ・男女平等とは言いが、子育て、家庭雑事、女性に負担が多いので、仕事場及び男性の協力が必要
- ・男女平等とは、どのような事かしっかり教育する必要があると思う
- ・女性が自分を守る知識を得ること 等

4 子どもの人権について

4-1 「子どもの権利に関する条例」について

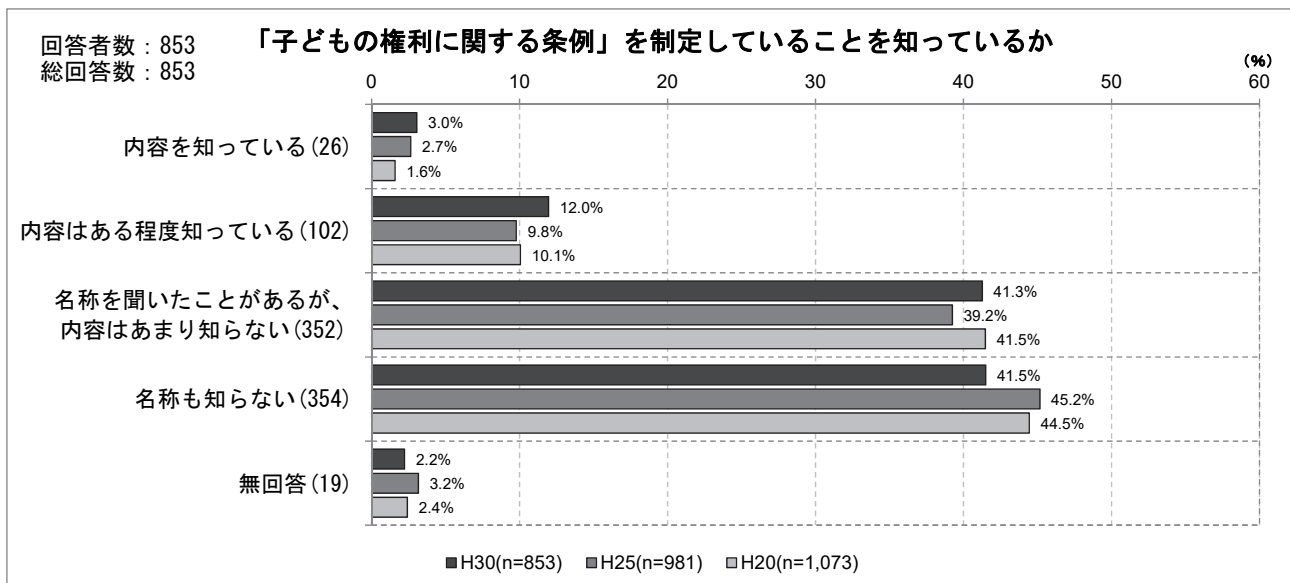
問13 あなたは、多治見市が「子どもの権利に関する条例」を制定していることを知っていますか。
(○は1つ)

【全体】

- ◆ 「名称も知らない」が41.5%で最も高く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が41.3%、「内容はある程度知っている」が12.0%の順になっている。

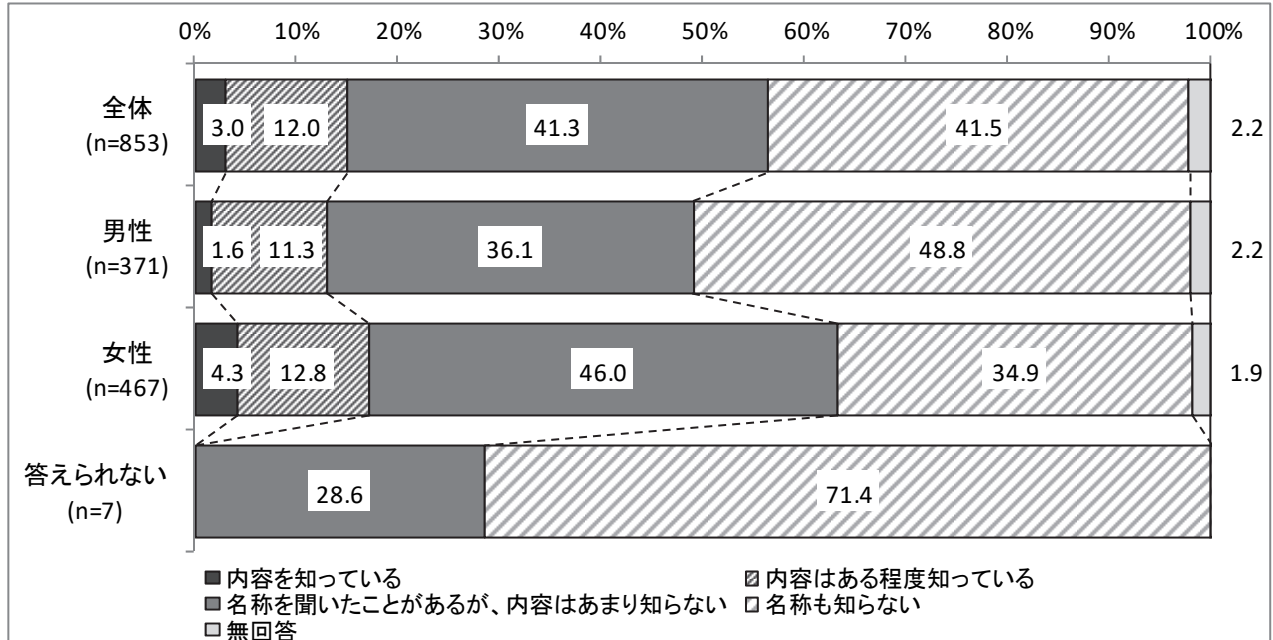
【前回・前々回との差】

- ◆ 「内容はある程度知っている」が前回より2.2ポイント、前々回より1.9ポイント増加している。また「名称も知らない」が前回より3.7ポイント、前々回より3.0ポイント減少している。



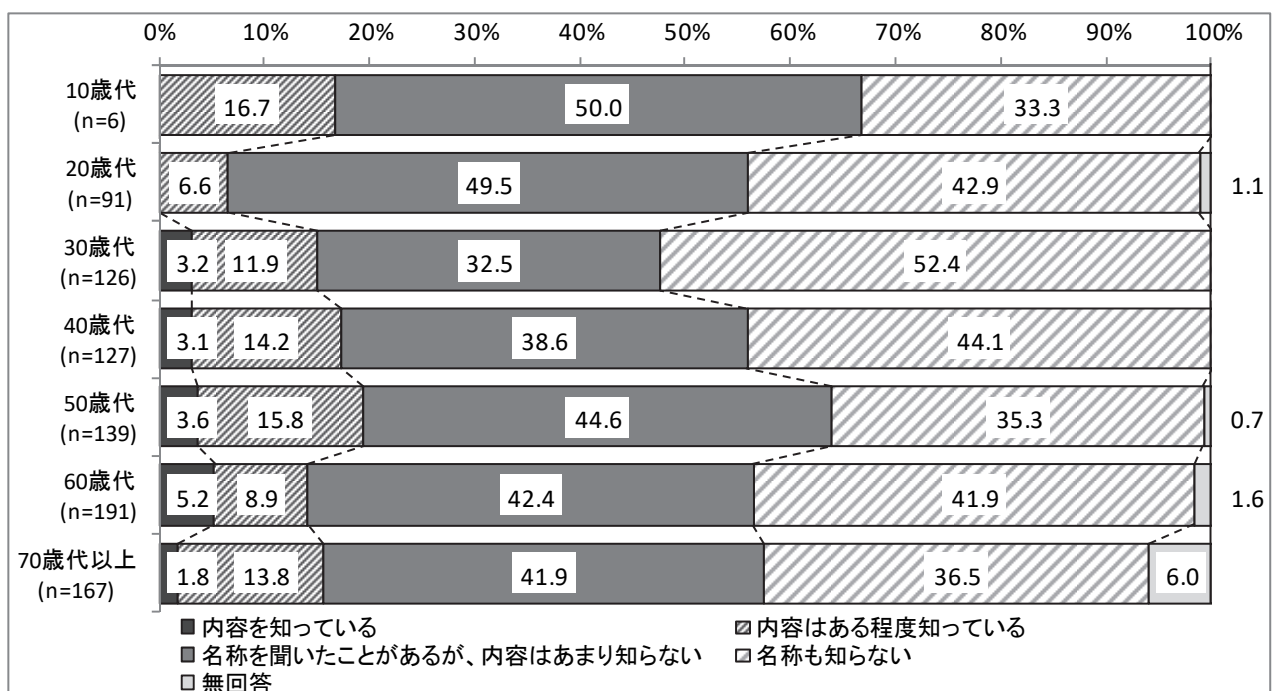
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、男性は「名称も知らない」が48.8%、女性は「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が46.0%と最も高く、「名称も知らない」は女性より男性が13.9ポイント高くなっている。



【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代から20歳代、50歳以上の年代では「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」、30歳代から40歳代の年代では「名称も知らない」が最も高くなっている。



【数表】 4-1 「子どもの権利に関する条例」を制定していることを知っていますか

[上段:件、下段:%]

項目	区分	内容を知っている	内容は知っている程度	あまり知らない内容とは	名称も知らない	無回答	総回答
全体 (n=853)	回答数	26	102	352	354	19	853
	回答率	3.0%	12.0%	41.3%	41.5%	2.2%	100.0%
男性 (n=371)	回答数	6	42	134	181	8	371
	回答率	1.6%	11.3%	36.1%	48.8%	2.2%	100.0%
女性 (n=467)	回答数	20	60	215	163	9	467
	回答率	4.3%	12.8%	46.0%	34.9%	1.9%	99.9%
答えられない (n=7)	回答数	0	0	2	5	0	7
	回答率	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	100.0%
10歳代 (n=6)	回答数	0	1	3	2	0	6
	回答率	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	100.0%
20歳代 (n=91)	回答数	0	6	45	39	1	91
	回答率	0.0%	6.6%	49.5%	42.9%	1.1%	100.1%
30歳代 (n=126)	回答数	4	15	41	66	0	126
	回答率	3.2%	11.9%	32.5%	52.4%	0.0%	100.0%
40歳代 (n=127)	回答数	4	18	49	56	0	127
	回答率	3.1%	14.2%	38.6%	44.1%	0.0%	100.0%
50歳代 (n=139)	回答数	5	22	62	49	1	139
	回答率	3.6%	15.8%	44.6%	35.3%	0.7%	100.0%
60歳代 (n=191)	回答数	10	17	81	80	3	191
	回答率	5.2%	8.9%	42.4%	41.9%	1.6%	100.0%
70歳代以上 (n=167)	回答数	3	23	70	61	10	167
	回答率	1.8%	13.8%	41.9%	36.5%	6.0%	100.0%

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

4-2 子どもの人権問題について特に問題だと思うこと

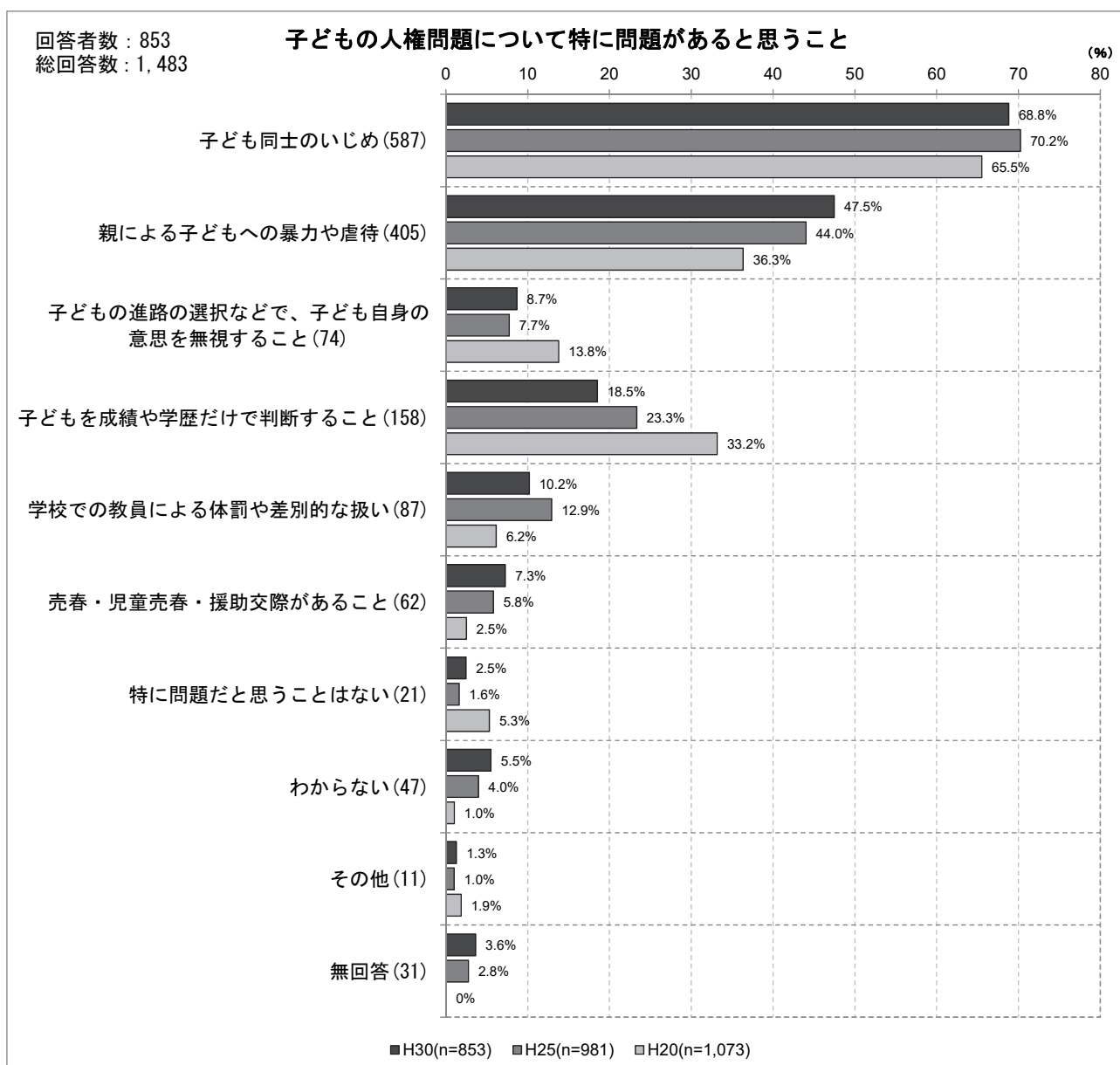
問14 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「子ども同士のいじめ」が68.8%で最も高く、次いで「親による子どもへの暴力や虐待」が47.5%、「子どもを成績や学歴だけで判断すること」が18.5%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「親による子どもへの暴力や虐待」が前回より3.5ポイント、前々回より11.2ポイント増加している。また「子どもを成績や学歴だけで判断すること」が前回より4.8ポイント、前々回より14.7ポイント減少している。



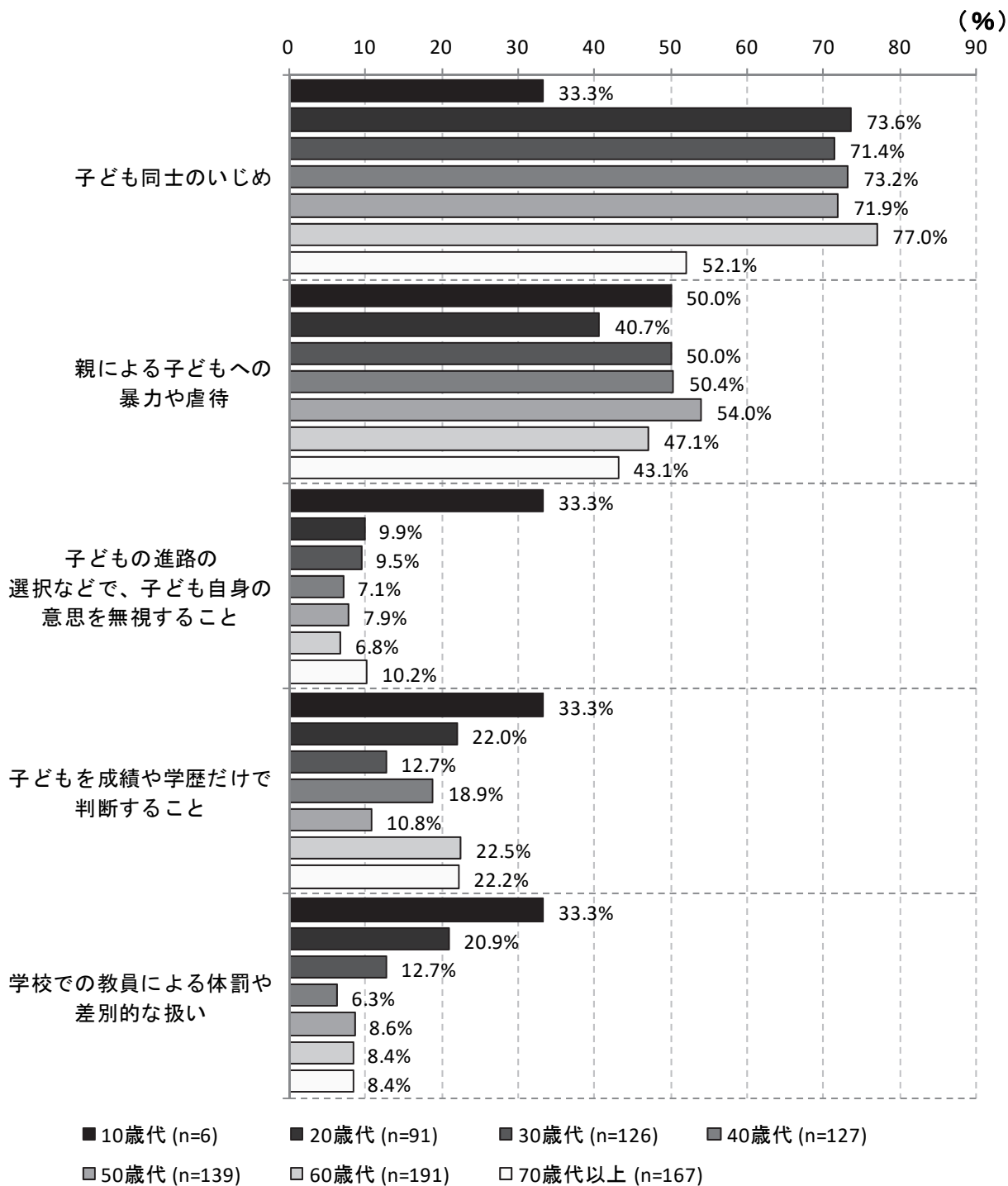
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では「親による子どもへの暴力や虐待」が最も高く、他の年代では「子ども同士のいじめ」が最も高くなっている。

※この棒グラフは次ページに続く

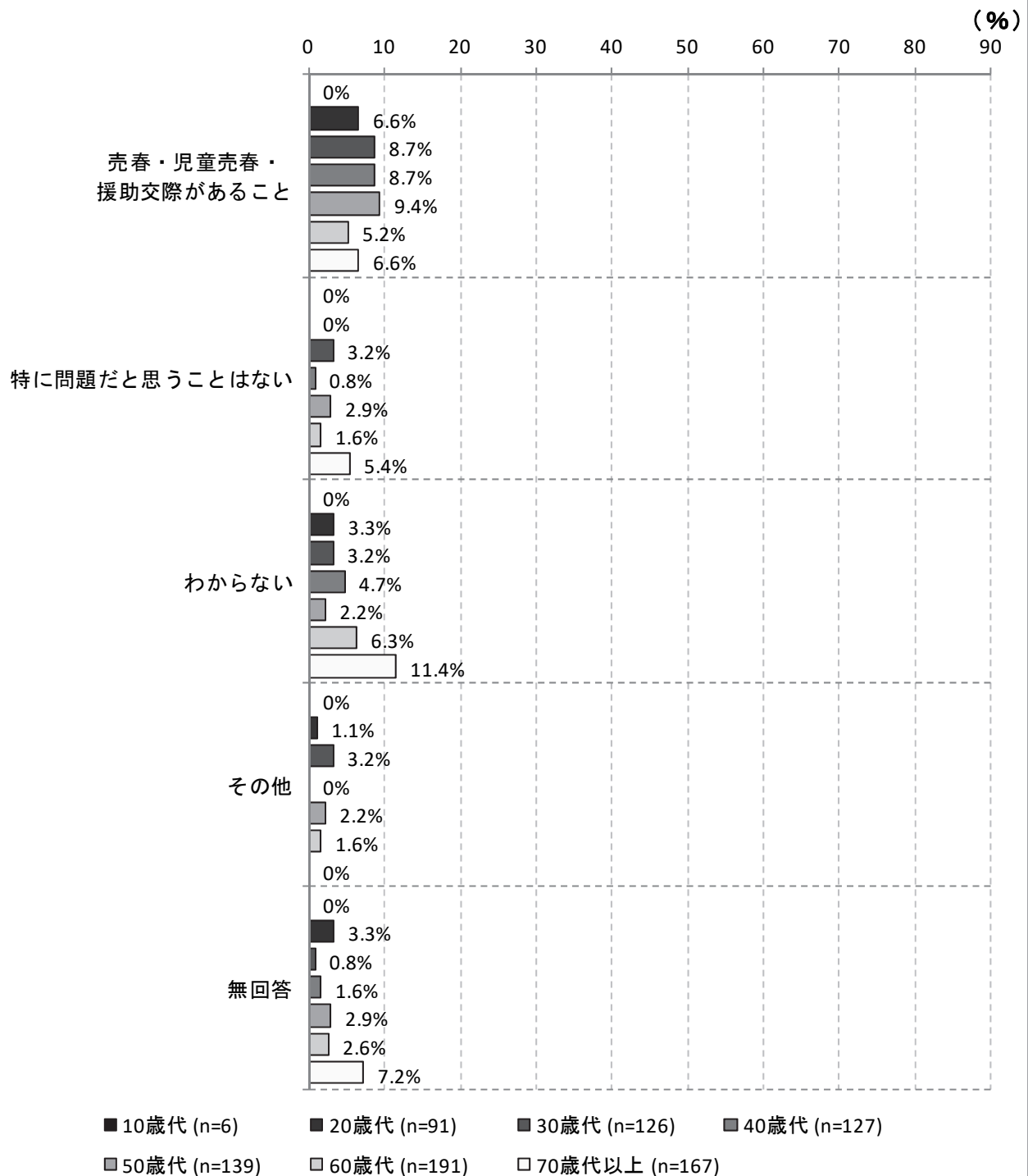
回答者数:853
総回答数:1,483

子どもの人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



回答者数: 853
総回答数: 1,483

子どもの人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・子供のケンカに親が出てきてイジメと訴えること
- ・自由に遊べる場所や環境が少ない
- ・親の所得の差と学力の差が比例してしまっていること。親の働き方、収入によって、子どもの部活動の参加・不参加が左右されること
- ・親の関心の度合い 等

4-3 子どもの人権を守るために必要なこと

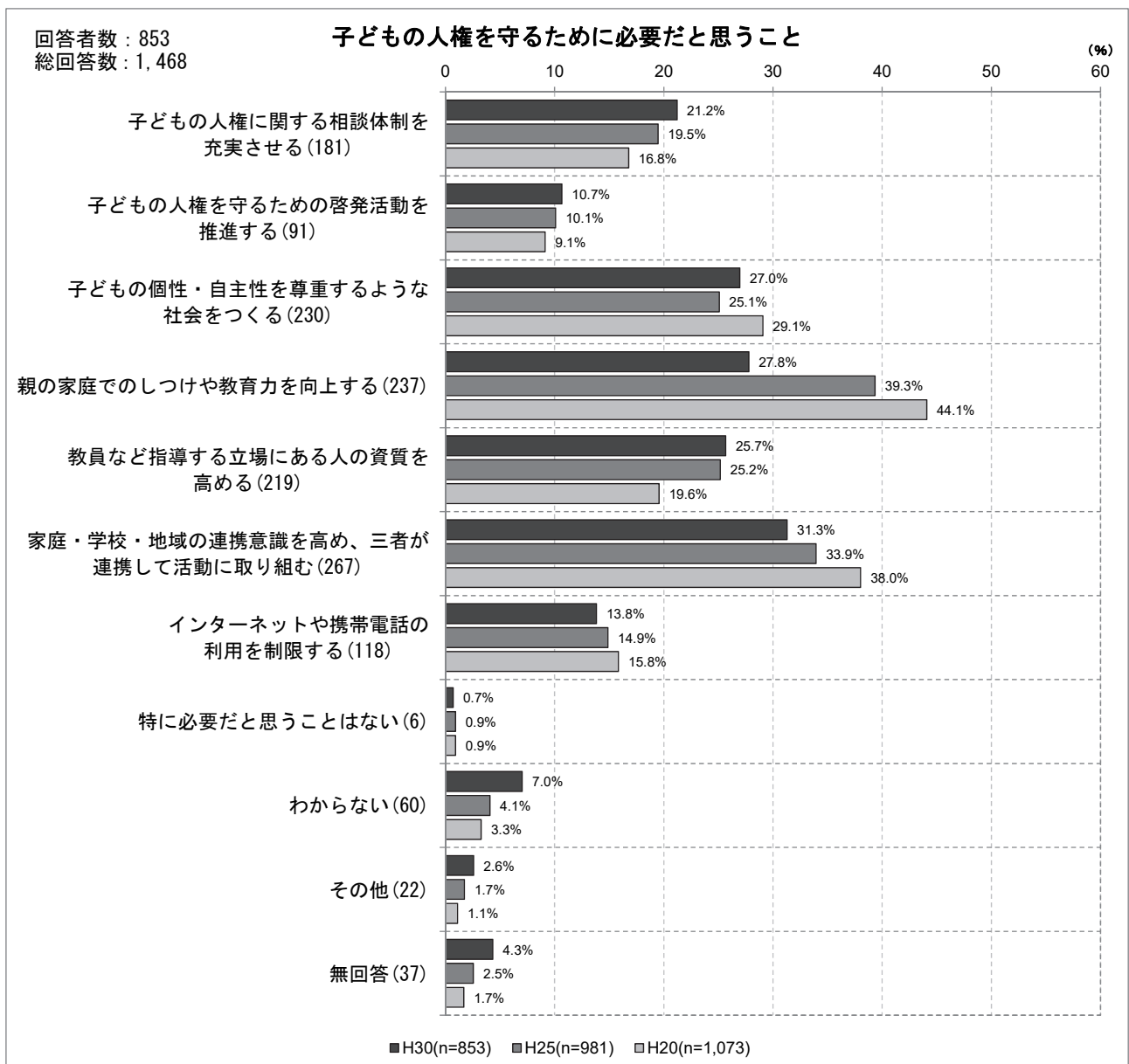
問15 子どもの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「家庭・学校・地域の連携意識を高め、三者が連携して活動に取り組む」が31.3%で最も高く、次いで「親の家庭でのしつけや教育力を向上する」が27.8%、「子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる」が27.0%の順になっている。また「特に必要だと思うことはない」が0.7%と最も低い。

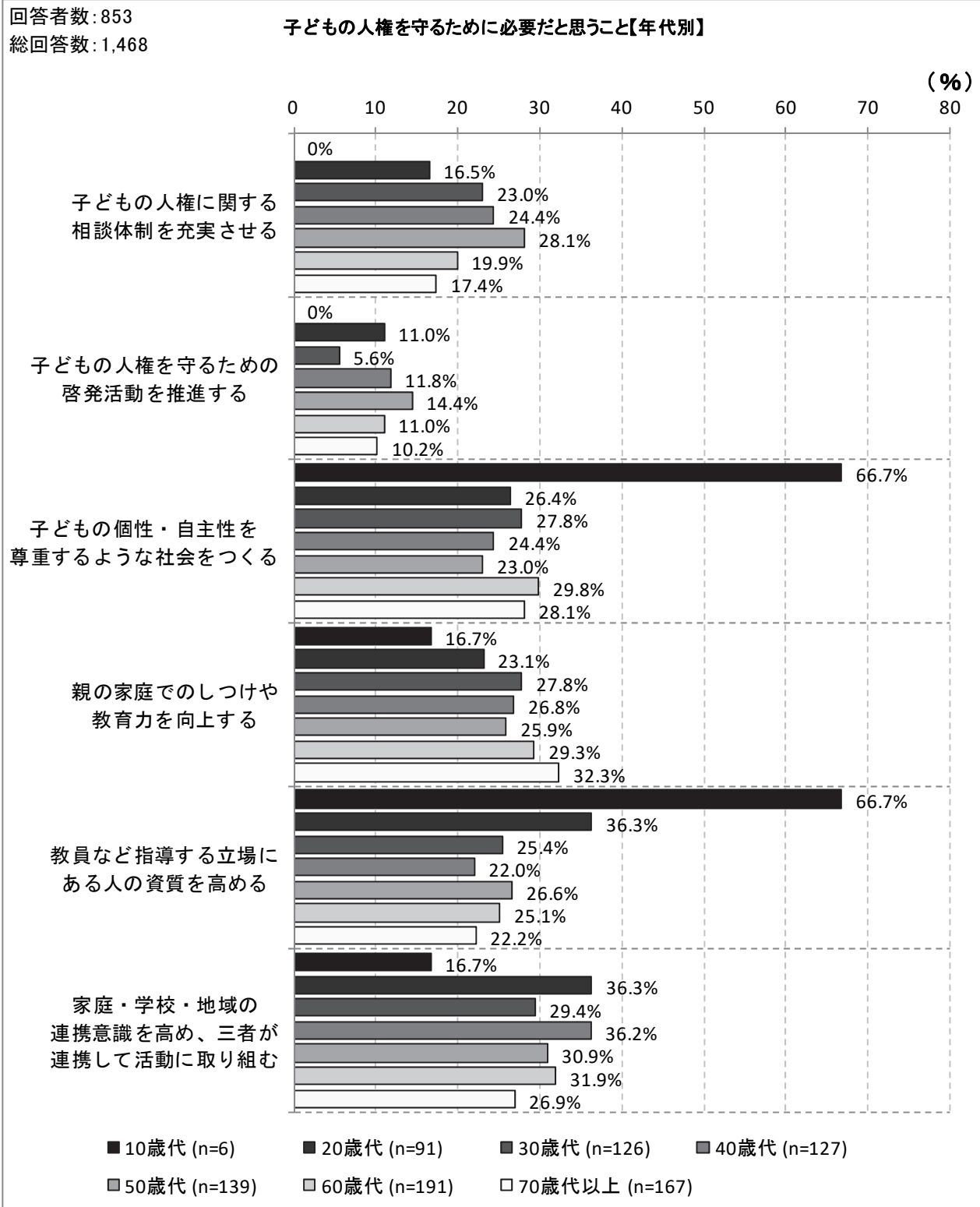
【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より2.9ポイント、「教員など指導する立場にある人の資質を高める」が前々回より6.1ポイント増加している。また「親の家庭でのしつけや教育力を向上する」が前回より11.5ポイント、前々回より16.3ポイント減少している。



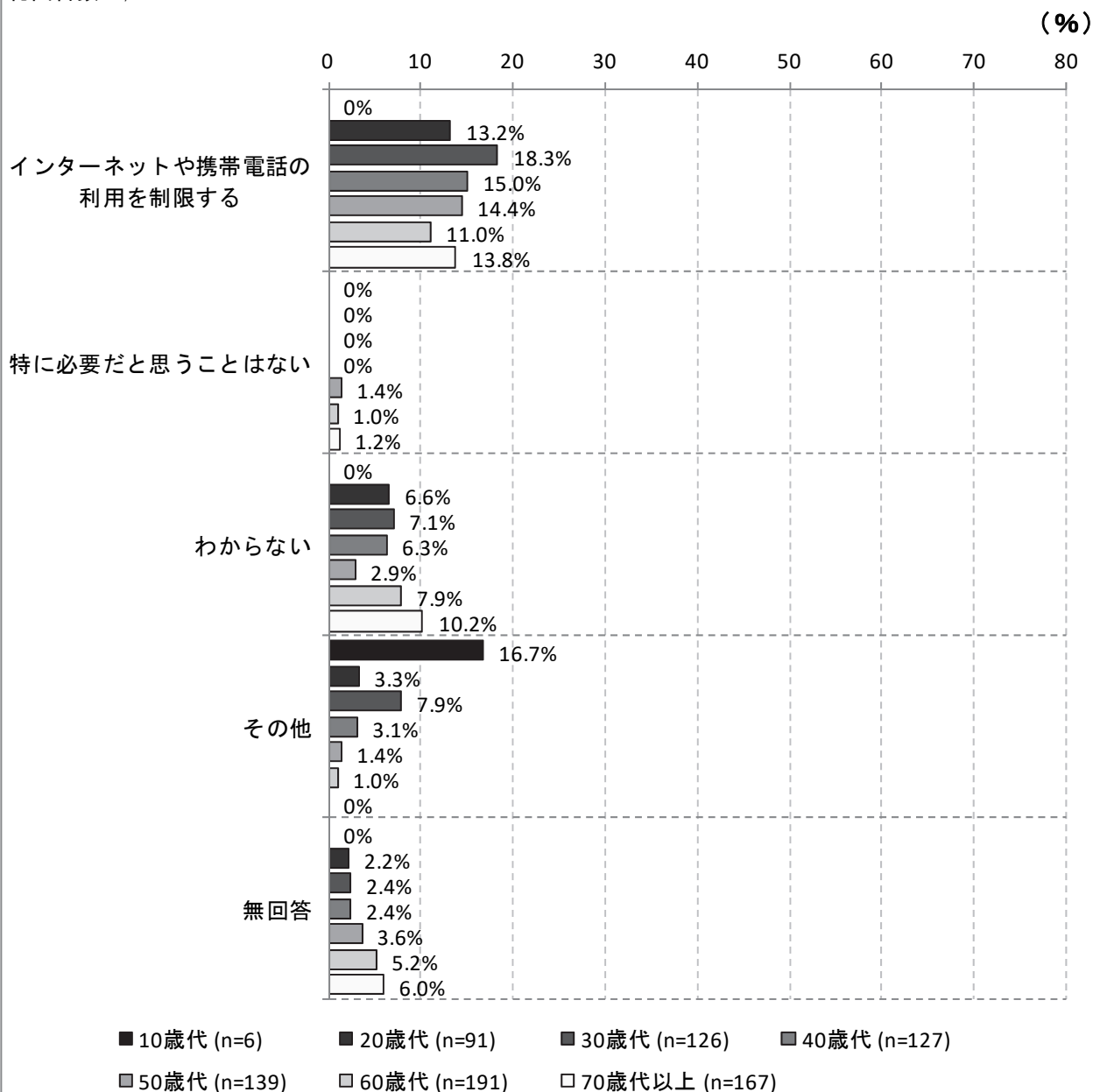
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では「子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる」と「教員など指導する立場にある人の資質を高める」が同率で高くなっている。20歳代では「教員など指導する立場にある人の資質を高める」と「家庭・学校・地域の連携意識を高め、三者が連携して活動に取り組む」が同率で高くなっている。30歳代から60歳代の年代では「家庭・学校・地域の連携意識を高め、三者が連携して活動に取り組む」、70歳代以上では「親の家庭でのしつけや教育力を向上する」が最も高くなっている。



回答者数: 853
 総回答数: 1,468

子どもの人権を守るために必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・教員が親の顔色を見ないで正しい教育が出来ること
- ・親、教員など、子供に関係する人が、ゆとりを持つ（長時間労働の是正）
- ・経済的弱者の教育面でのサポートを行う
- ・子どもの居場所づくりを進める
- ・子供の側にも責任をとらせる（分別が付く場合のみ）
- ・子供達に外の世界（親の職場や、自然との触れあい）を増やす事 等

5 高齢者の人権について

5-1 高齢者の人権問題について特に問題だと思うこと

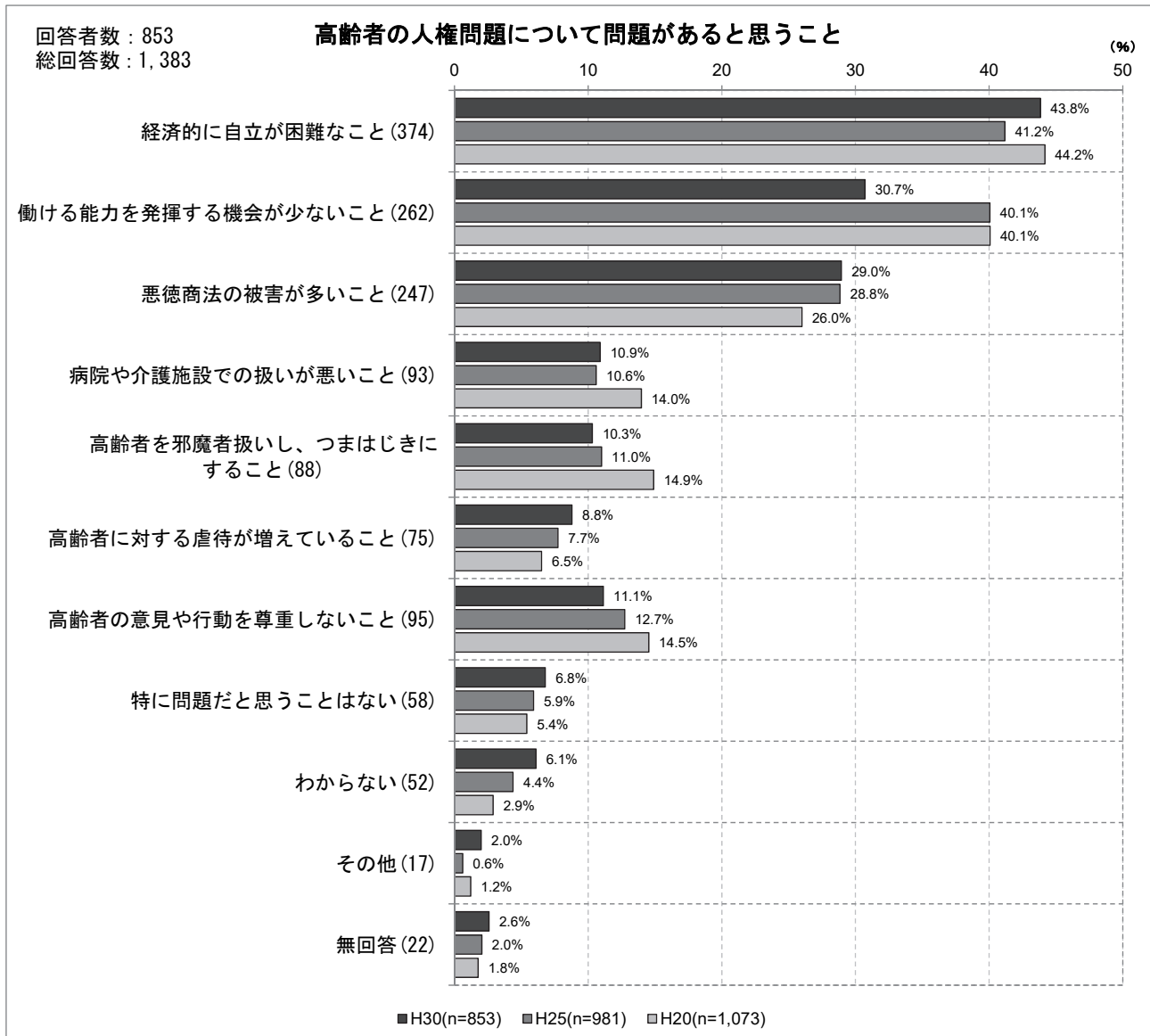
問16 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「経済的に自立が困難なこと」が 43.8%で最も高く、次いで「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が 30.7%、「悪徳商法の被害が多いこと」が 29.0%の順になっている。

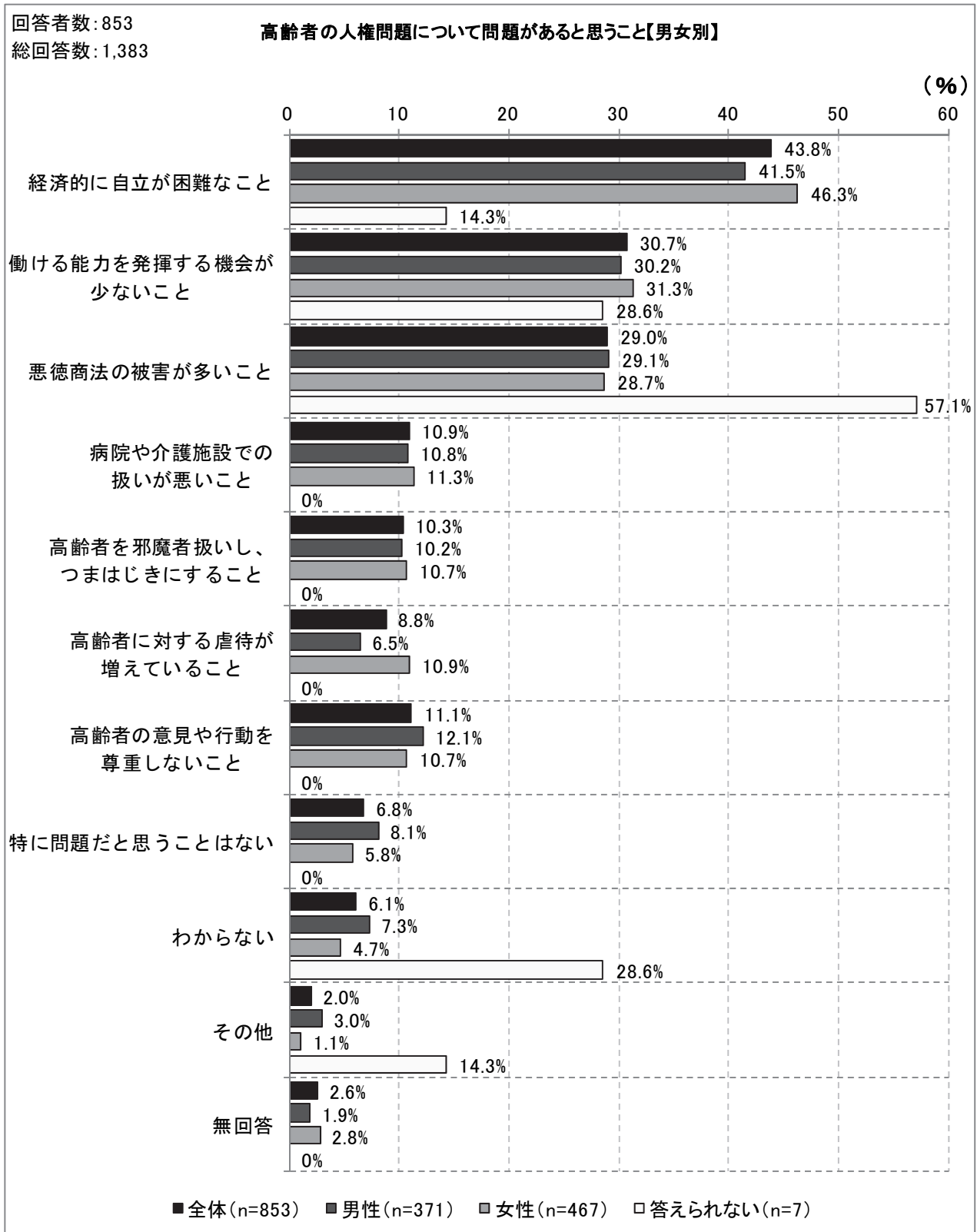
【前回・前々回との差】

- ◆ 「経済的に自立が困難なこと」が前回より 2.6 ポイント、「わからない」が前々回より 3.2 ポイント増加している。また「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が前回および前々回より 9.4 ポイント減少している。



【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「経済的に自立が困難なこと」は男性が 41.5%、女性が 46.3%と男女ともに最も高く、男性より女性が 4.8 ポイント高くなっている。

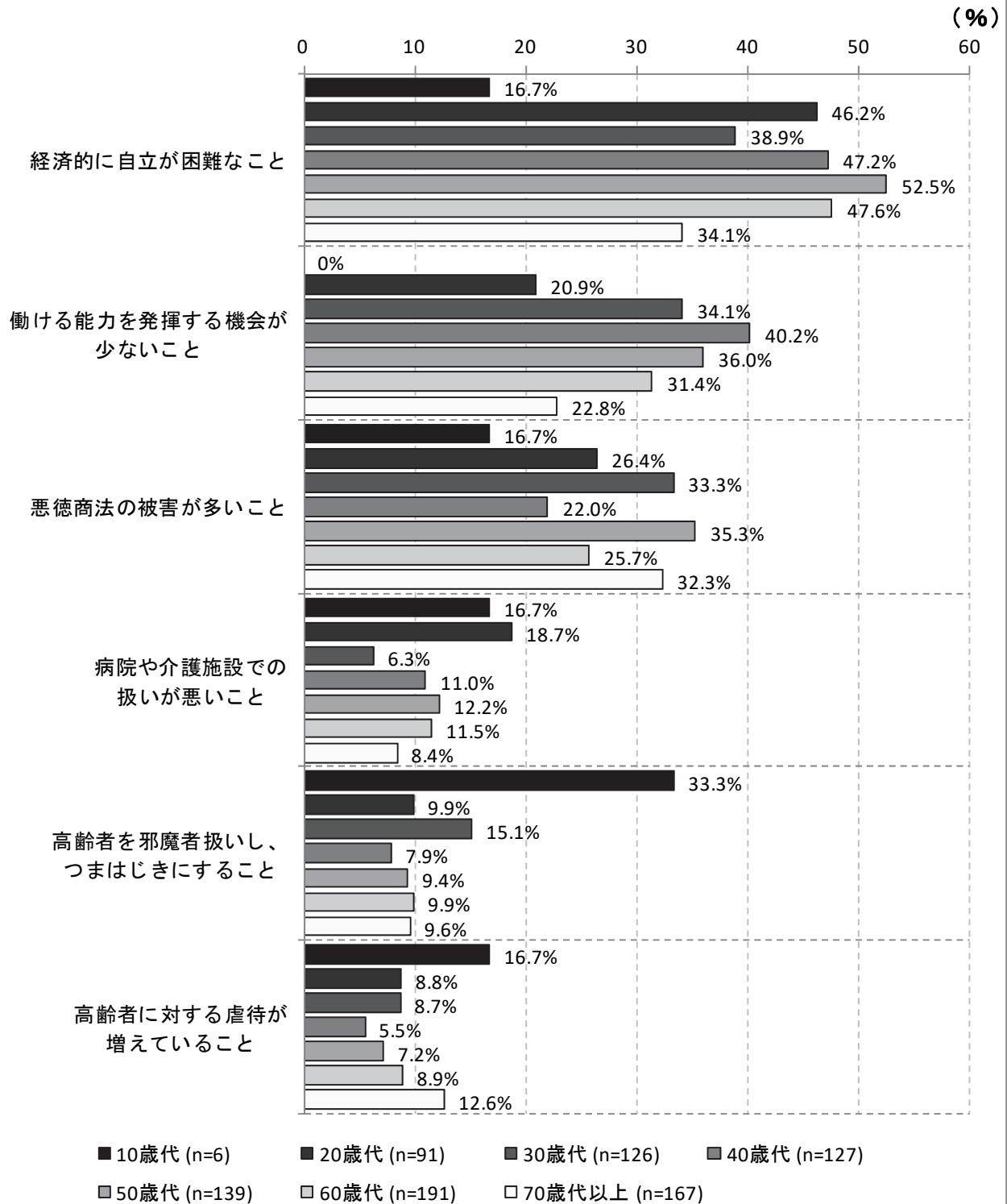


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」が最も高く、他の年代では「経済的に自立が困難なこと」が最も高くなっている。

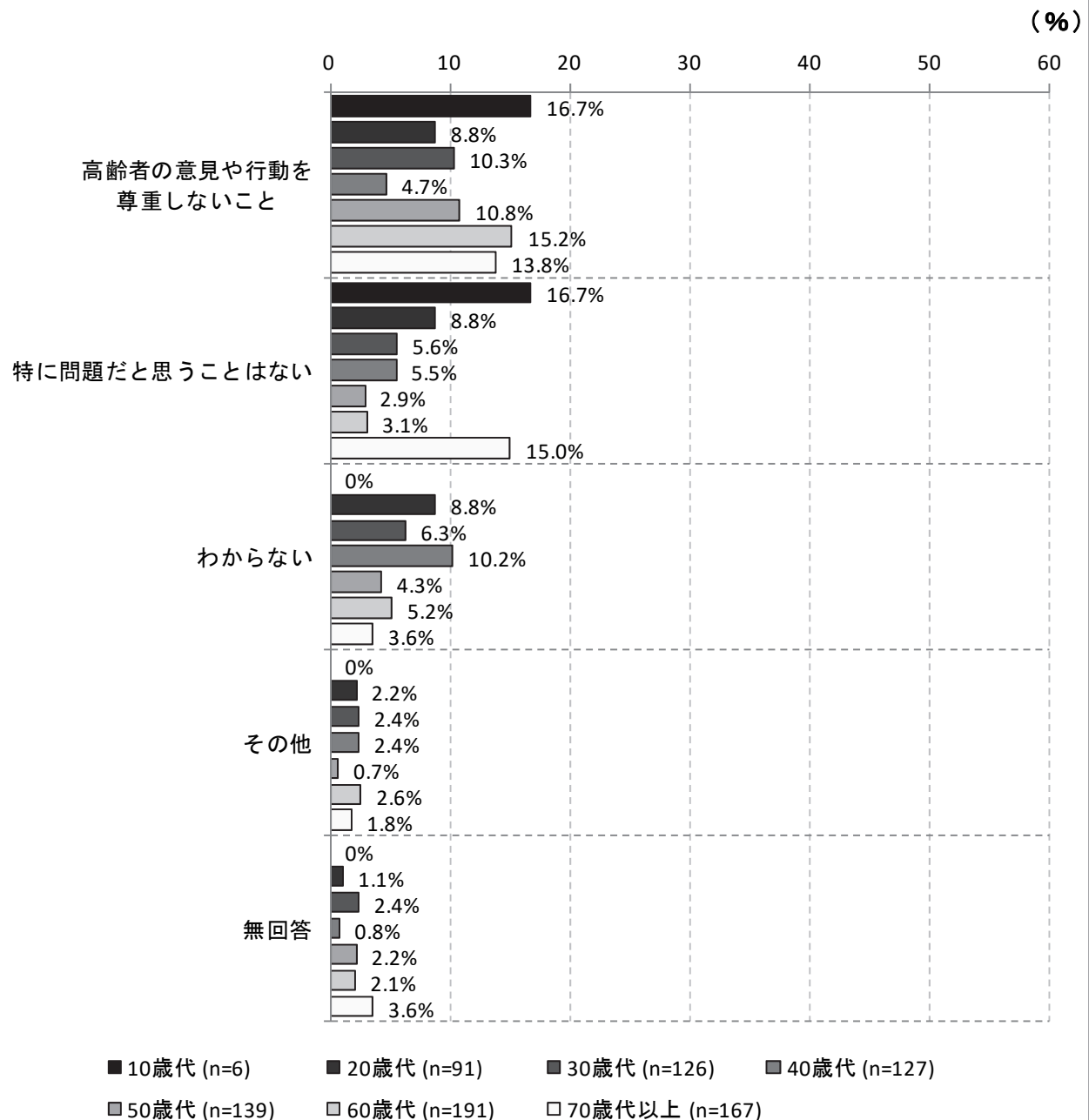
回答者数: 853
総回答数: 1,383

高齢者の人権問題について問題があると思うこと【年代別】



回答者数: 853
 総回答数: 1,383

高齢者の人権問題について問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである

- ・能力に応じた社会参加の推奨又は場作り
- ・公共交通機関が充実していない
- ・高齢者の定義を年齢で決める点
- ・高齢者とはなんなのか良くわかっていない事 等

5-2 高齢者の人権を守るため必要なこと

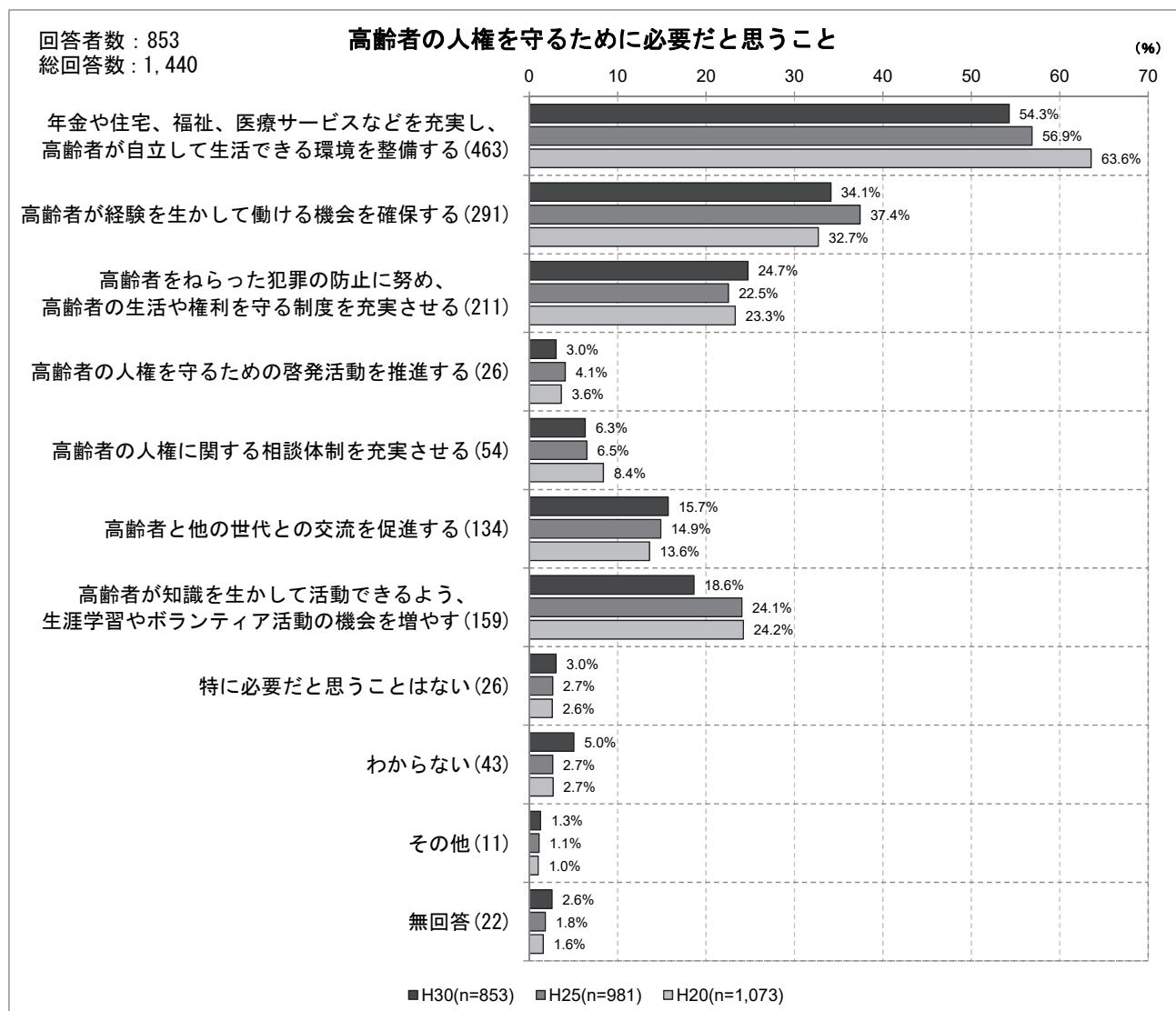
問17 高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」が54.3%で最も高く、次いで「高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する」が34.1%、「高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる」が24.7%の順になっている。

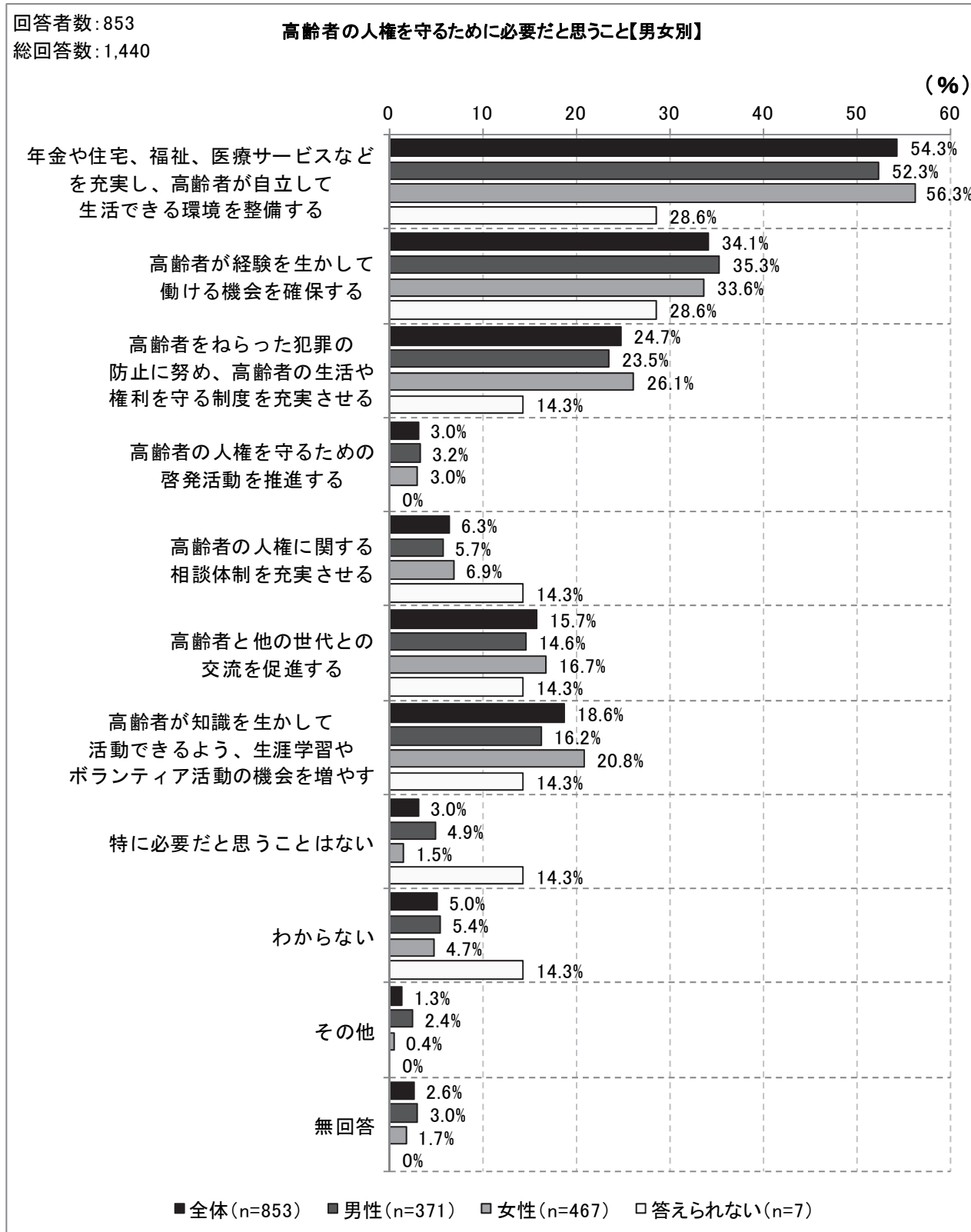
【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回、前々回より2.3ポイント増加している。また「高齢者が知識を生かして活動できるよう、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」が前回より5.5ポイント、「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」が前々回より9.3ポイント減少している。



【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」は男性が52.3%、女性が56.3%と男女ともに最も高くなっている。「高齢者が知識を生かして活動できるよう、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」は男性より女性が4.6ポイント高くなっている。

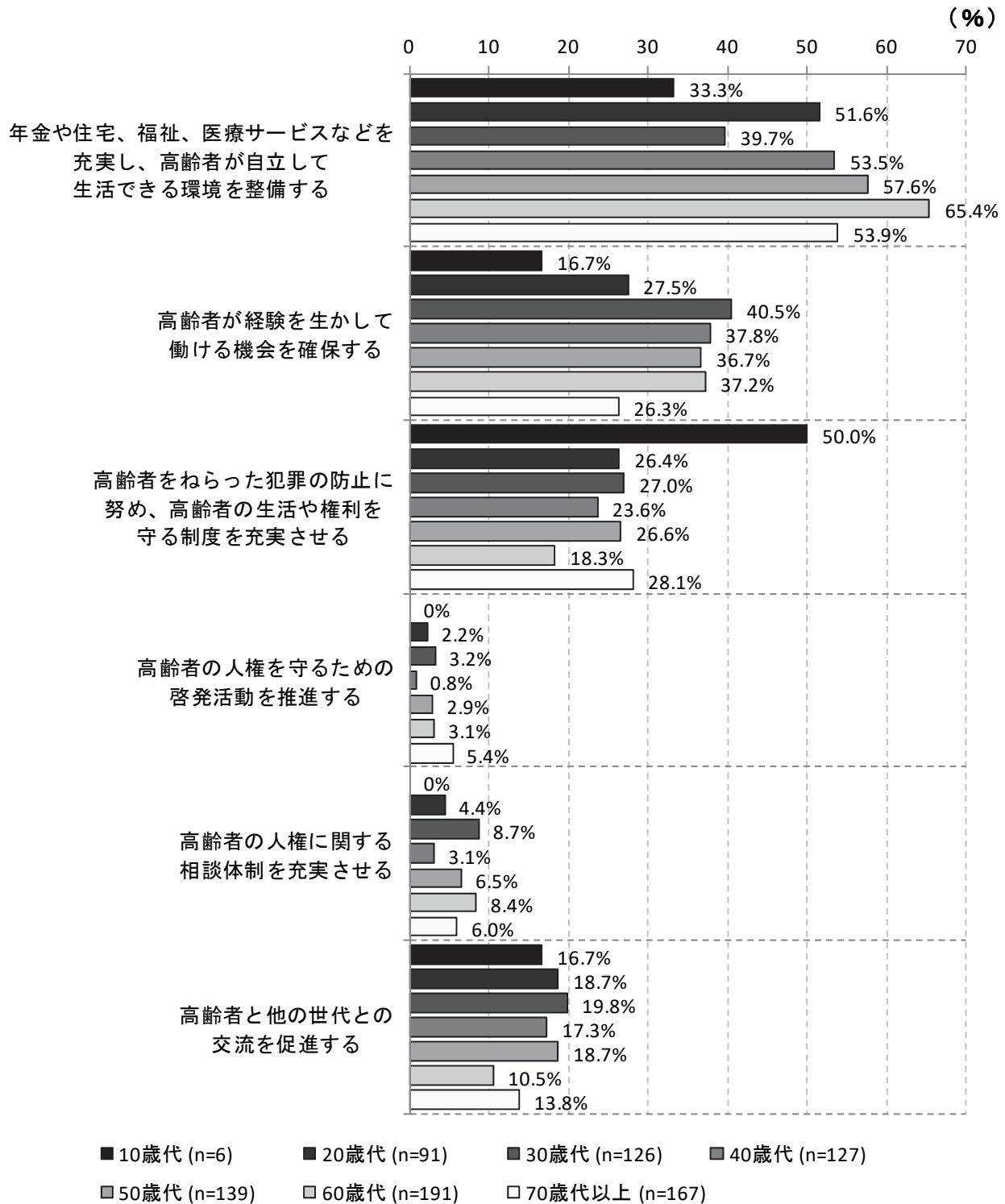


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる」、20 歳代、40 歳代以上の年代では「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」、30 歳代では「高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する」が最も高くなっている。

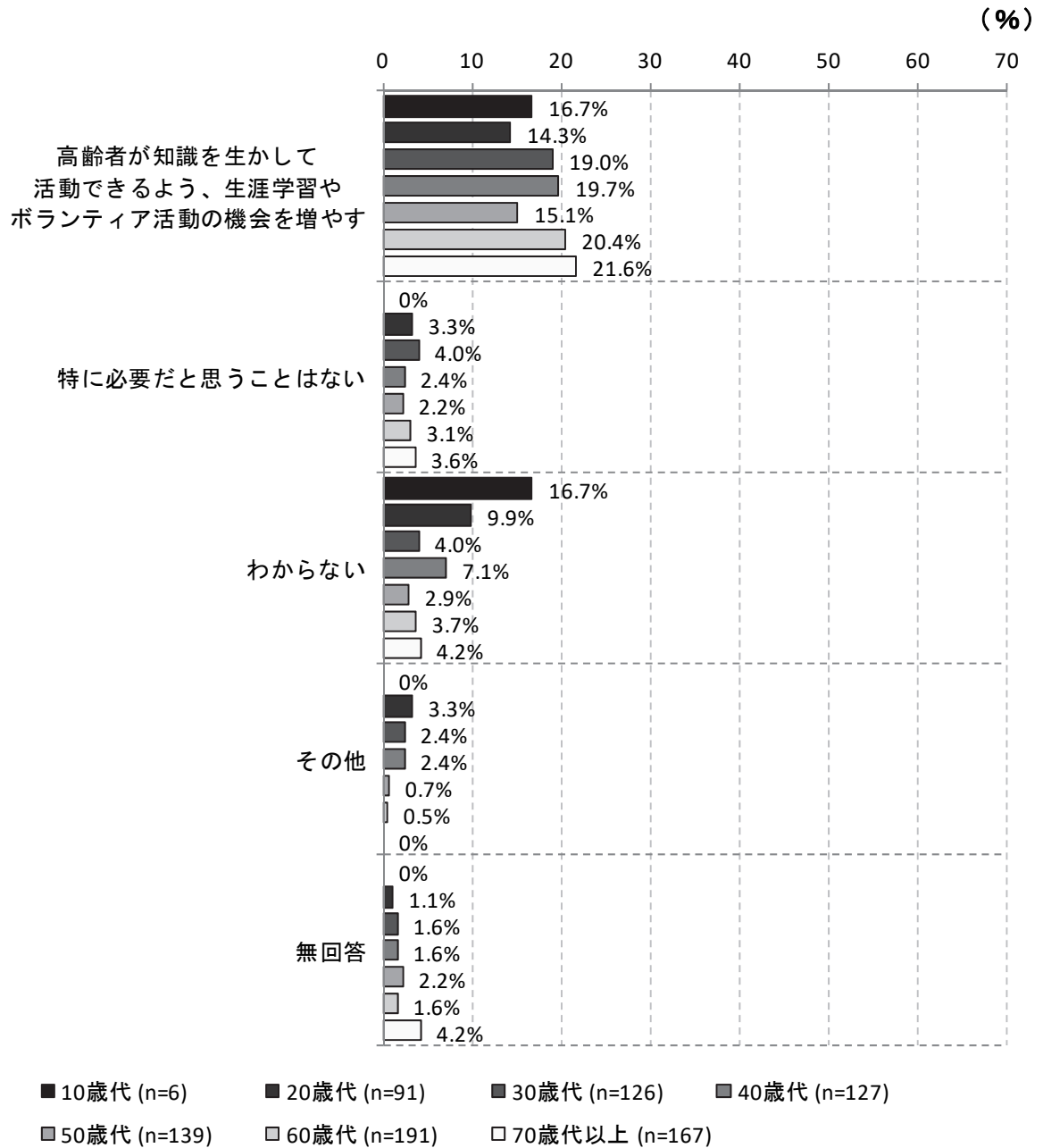
回答者数: 853
総回答数: 1,440

高齢者の人権を守るために必要だと思うこと【年代別】



回答者数: 853
 総回答数: 1,440

高齢者の人権を守るために必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・高齢者向け教育
- ・自分でも死を希望できるような価値を尊重する
- ・福祉サービスで働く人にやさしく
- ・施設職員の福利厚生の実、介護する側のことも考えるべきだと思います
- ・高齢者の人が全て、元気だとは限らないので、年金の見直しをした方がいい 等

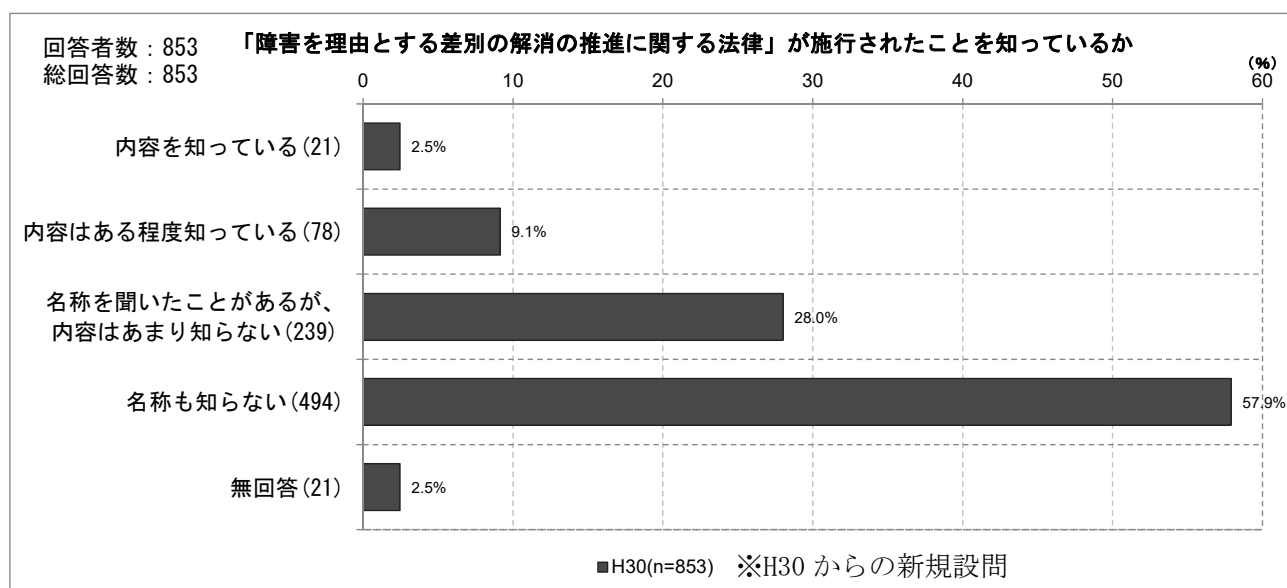
6 障がい者の人権について

6-1 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」について

問18 平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されたことを知っていますか。(○は1つ)

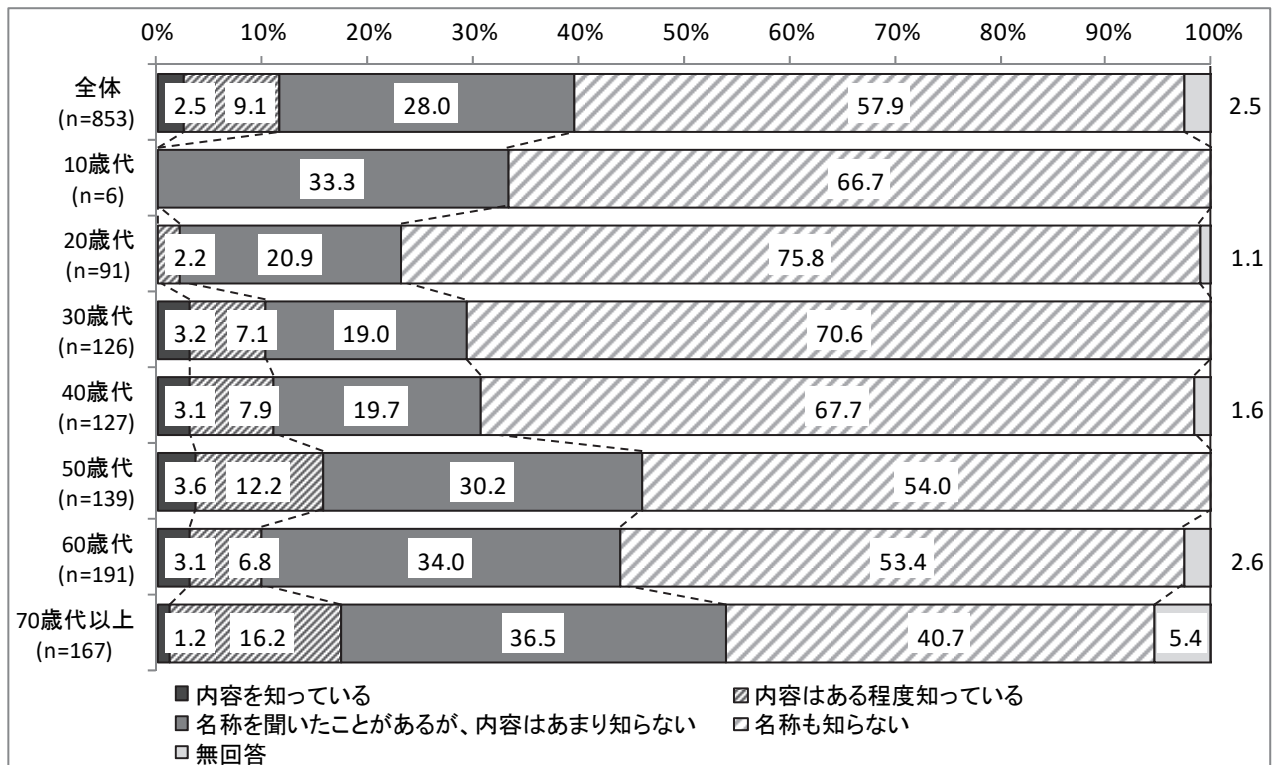
【全体】

- ◆ 「名称も知らない」が57.9%で最も高く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が28.0%、「内容はある程度知っている」が9.1%の順になっている。



【年代別】

◆ 年代別でみると、すべての年代で「名称も知らない」が最も高くなっている。



6-2 障がい者の人権問題について特に問題だと思うこと

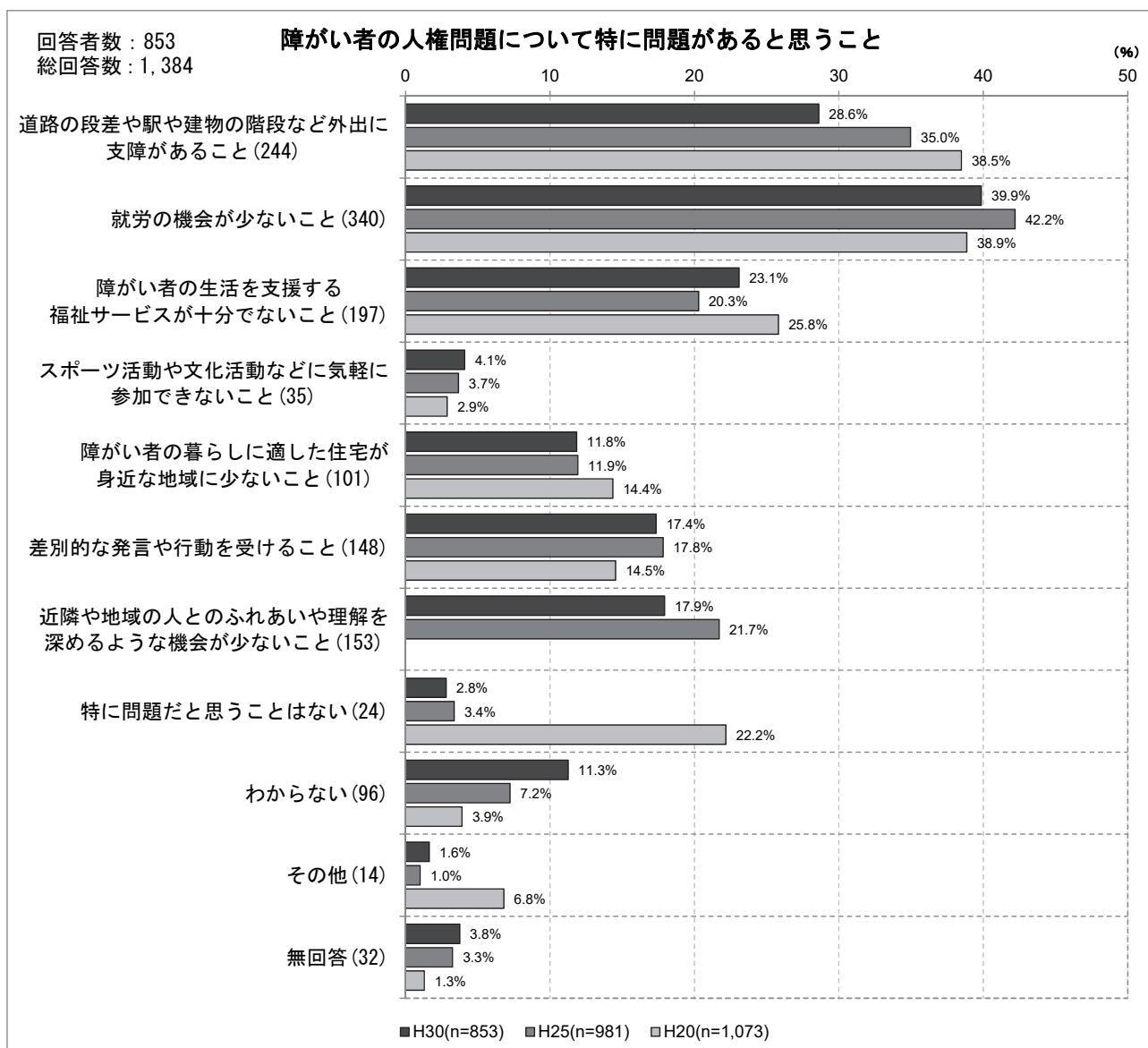
問19 障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「就労の機会が少ないこと」が 39.9%で最も高く、次いで「道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること」が 28.6%、「障がい者の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」が 23.1%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より 4.1 ポイント、前々回より 7.4 ポイント増加している。また「道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること」が前回より 6.4 ポイント、「特に問題だと思うことはない」が前々回より 19.4 ポイント減少している。



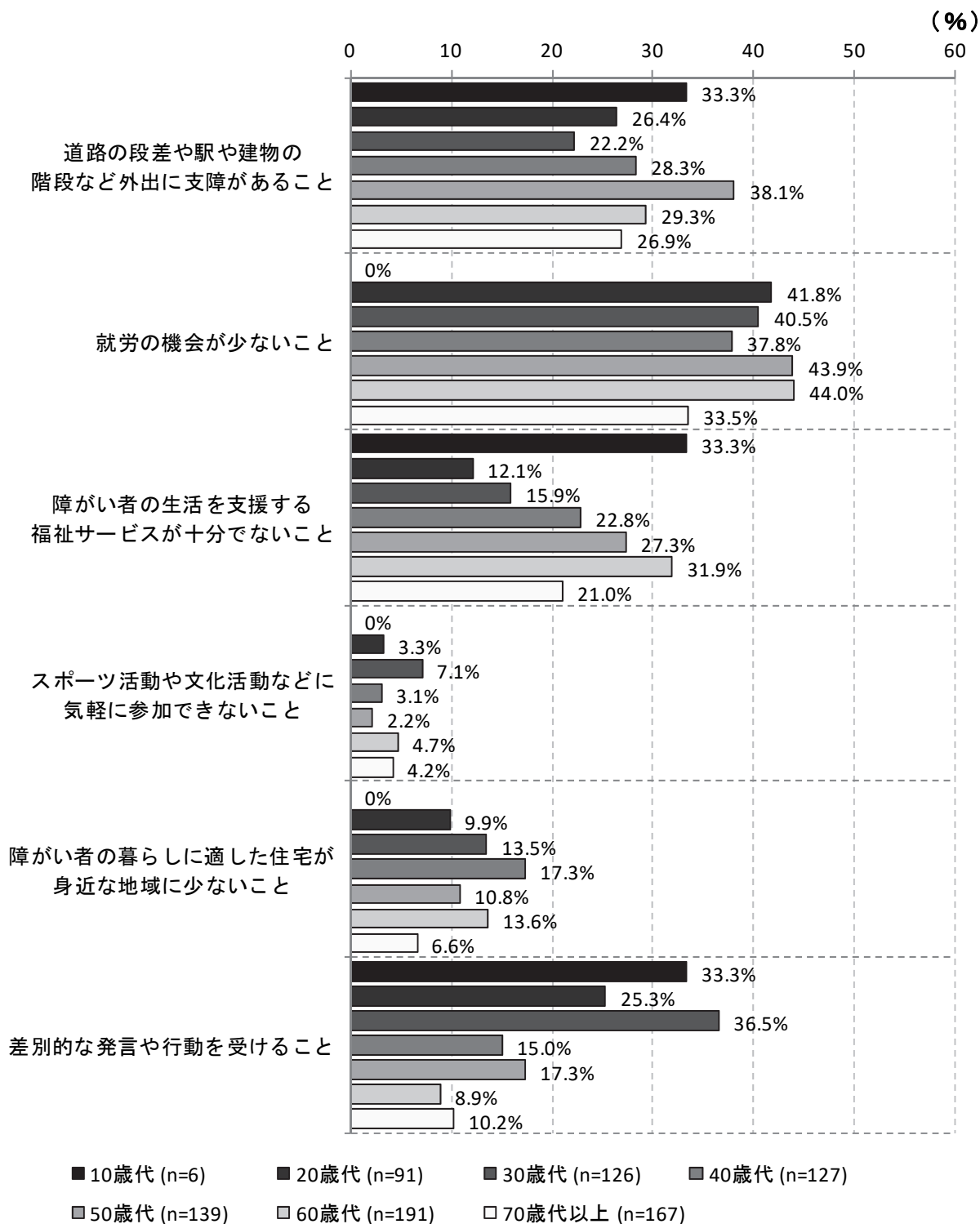
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では「わからない」が最も高く、他の年代では「就労の機会が少ないこと」が最も高くなっている。

※この棒グラフは次ページに続く

回答者数: 853
総回答数: 1,384

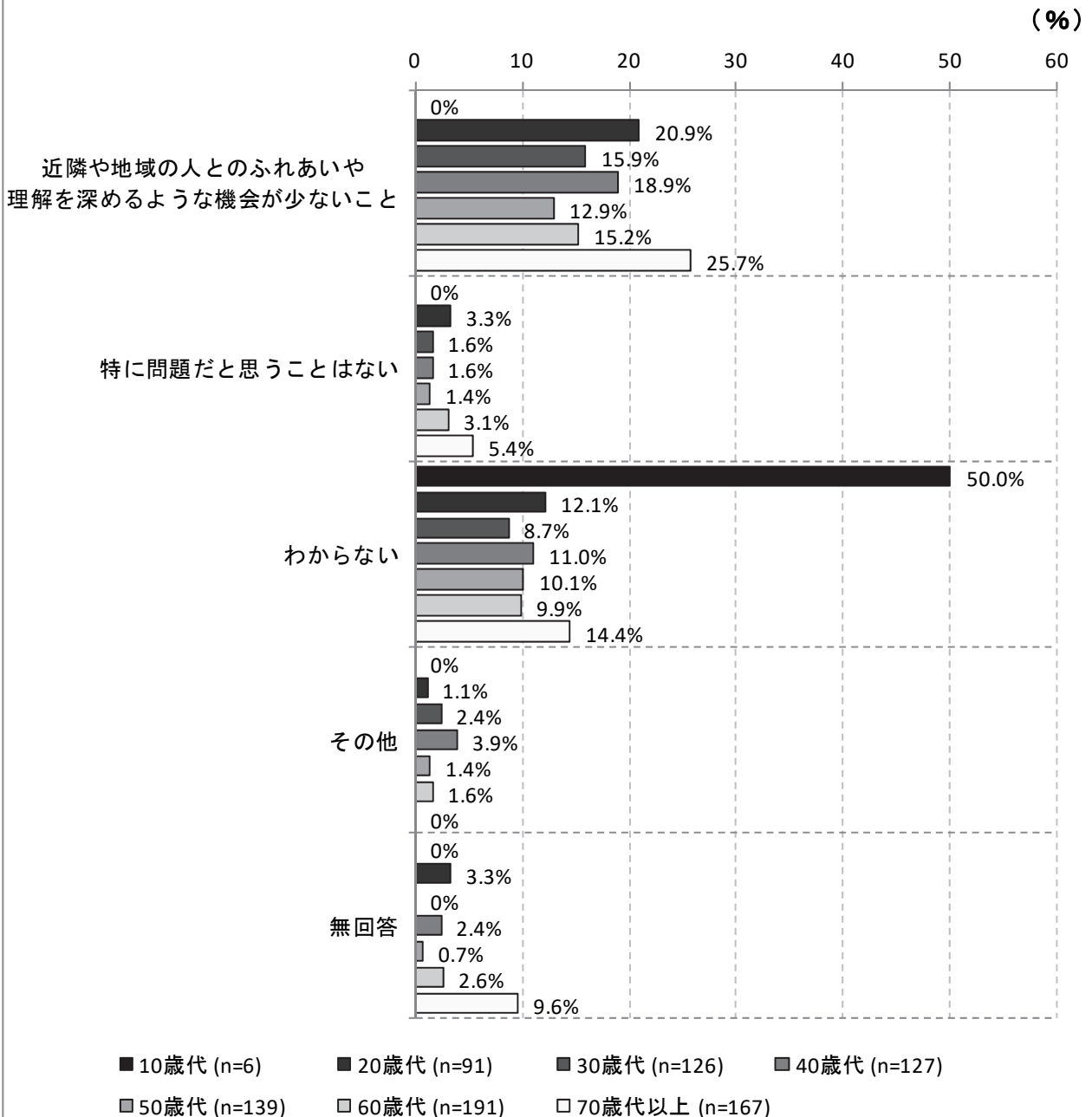
障がい者の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



※この棒グラフは前ページから続く

回答者数: 853
総回答数: 1,384

障がい者の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・外見でわからない障がい者が軽視されがち
- ・身体障がいより、知的障がい・発達障がいへの理解を深める事
- ・日本（全国）で理解してあげる教育ができていない（健常者が）
- ・見た目の判断で障がい者でないと思われる
- ・結婚などにハンデがある 等

6-3 障がい者の人権を守るために必要なこと

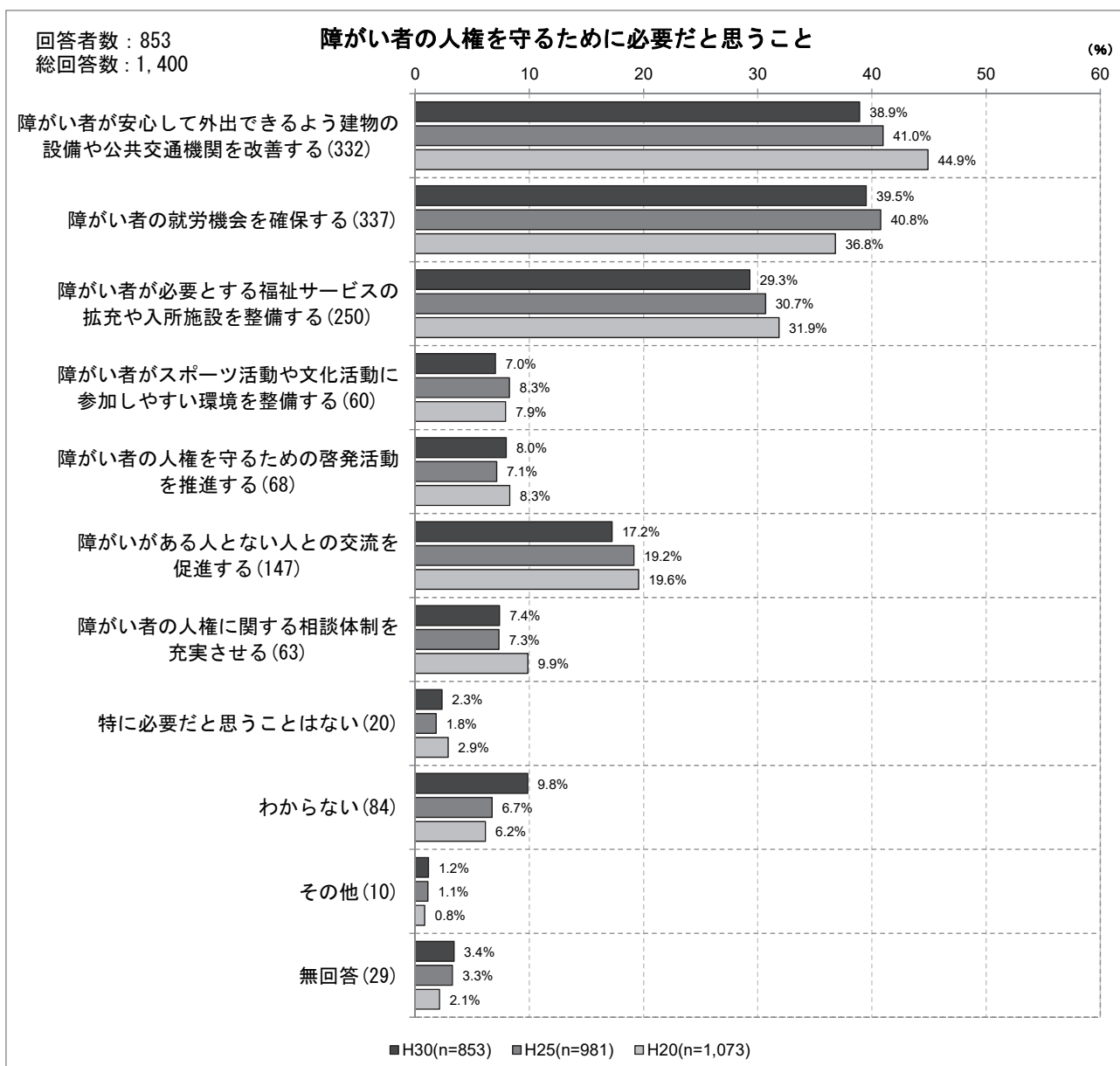
問20 障がい者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「障がい者の就労機会を確保する」が39.5%で最も高く、次いで「障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」が38.9%、「障がい者が必要とする福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」が29.3%の順になっている。

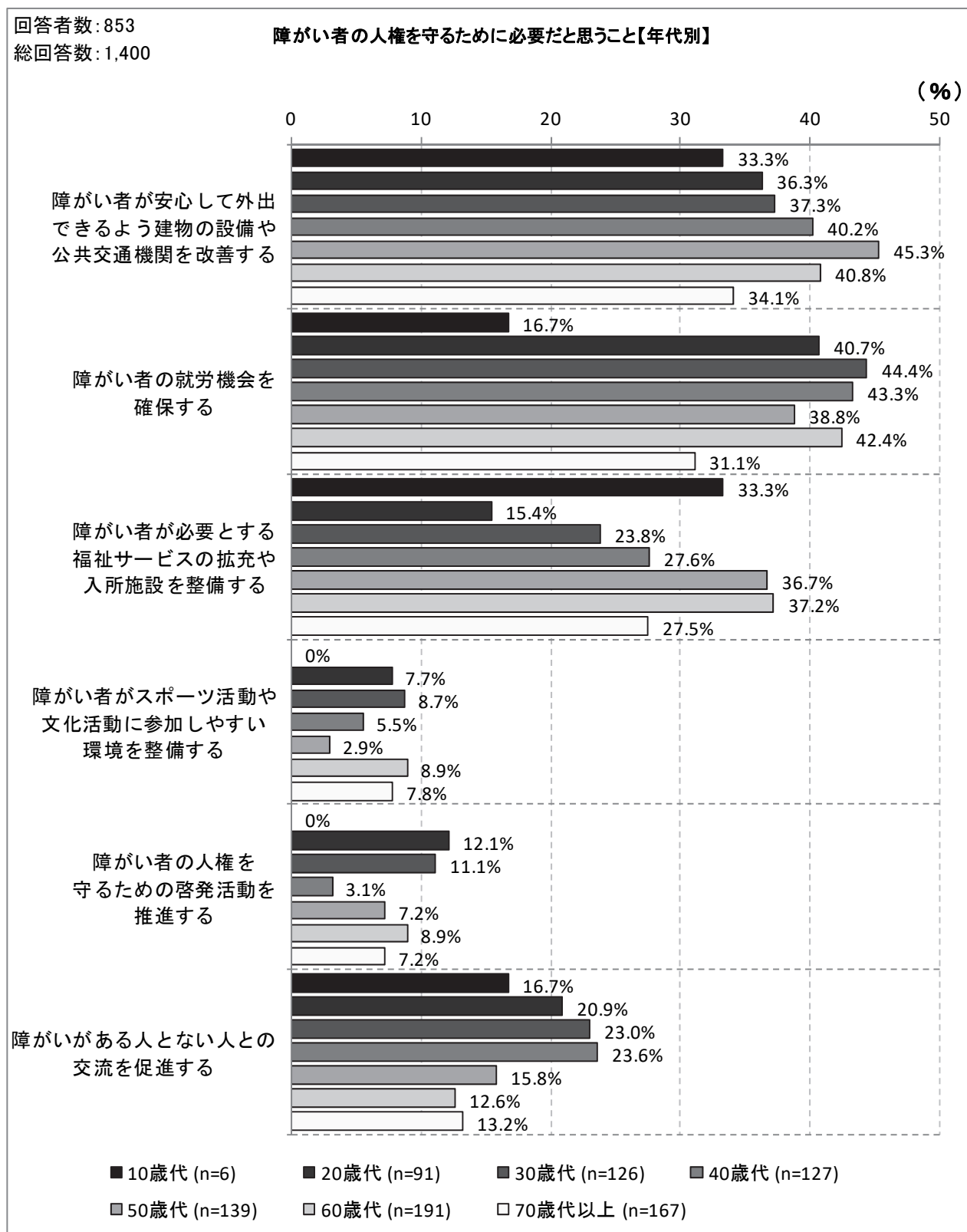
【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より3.1ポイント、前々回より3.6ポイント増加している。また「障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」が前回より2.1ポイント、前々回より6.0ポイント減少している。



【年代別】

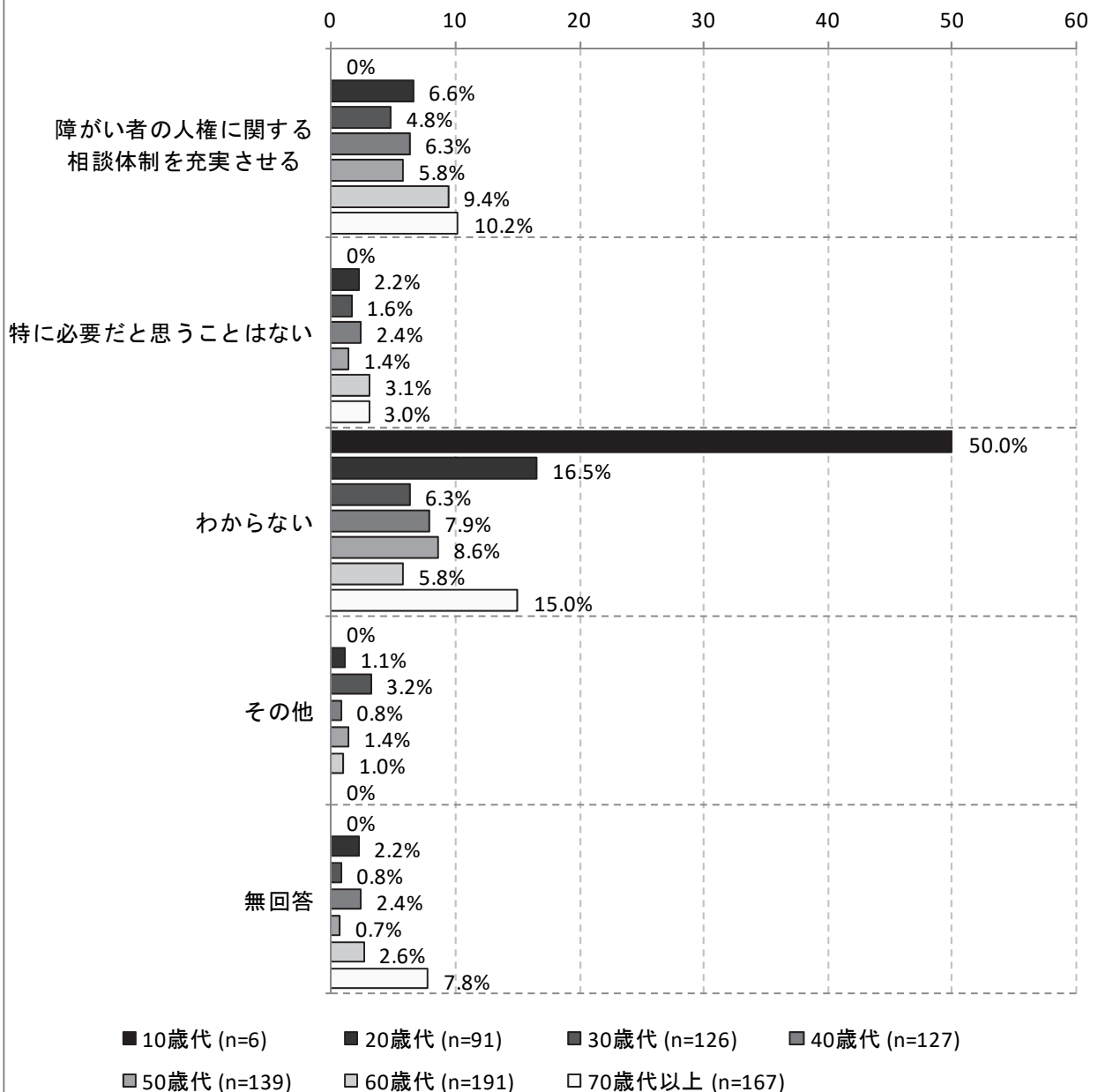
- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「わからない」、20 歳代から 40 歳代、60 歳代の年代では「障がい者の就労機会を確保する」、50 歳代、70 歳代以上では「障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」が最も高くなっている。



回答者数: 853
 総回答数: 1,400

障がい者の人権を守るために必要だと思うこと【年代別】

(%)



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・障がい者の自覚が必要
- ・障がい者と認定する所が本人の本当の辛さをわかって認定されていないと思う
- ・障がい者に簡単な仕事を与えるのではなく、
 様々な機械を使用して特有の生産物を作り出す環境を提供する事である
- ・再生医療 等

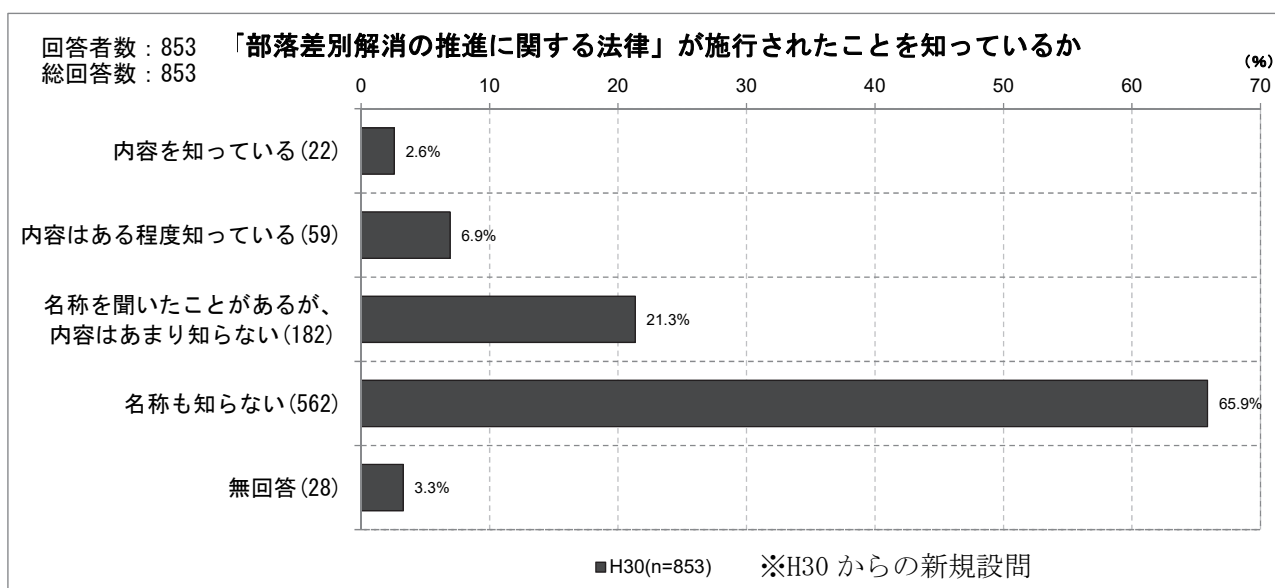
7 同和問題について

7-1 「部落差別解消の推進に関する法律」について

問21 平成 28 年 12 月に「部落差別解消の推進に関する法律」が施行されたことを知っていますか。
(○は 1 つ)

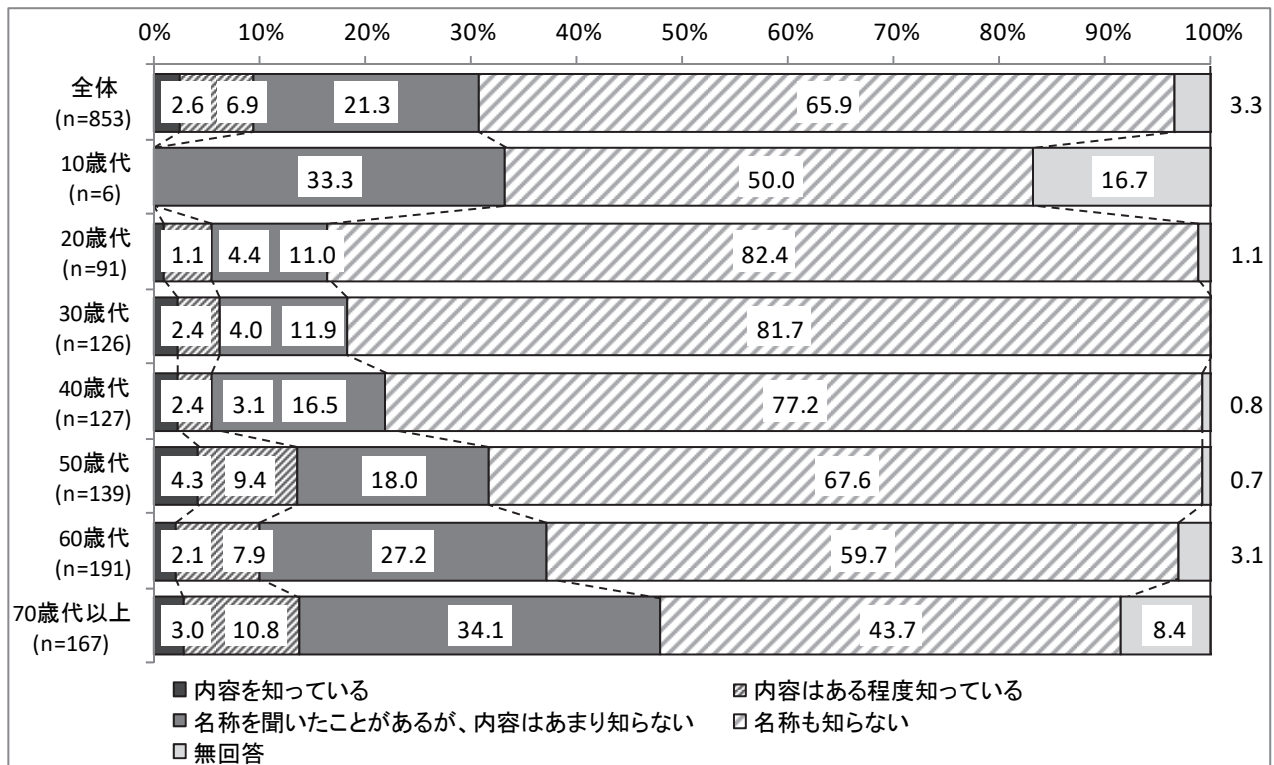
【全体】

- ◆ 「名称も知らない」が 65.9%で最も高く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が 21.3%、「内容はある程度知っている」が 6.9%の順になっている。



【年代別】

◆ 年代別でみると、すべての年代で「名称も知らない」が最も高くなっている。



7-2 同和問題について特に問題だと思うこと

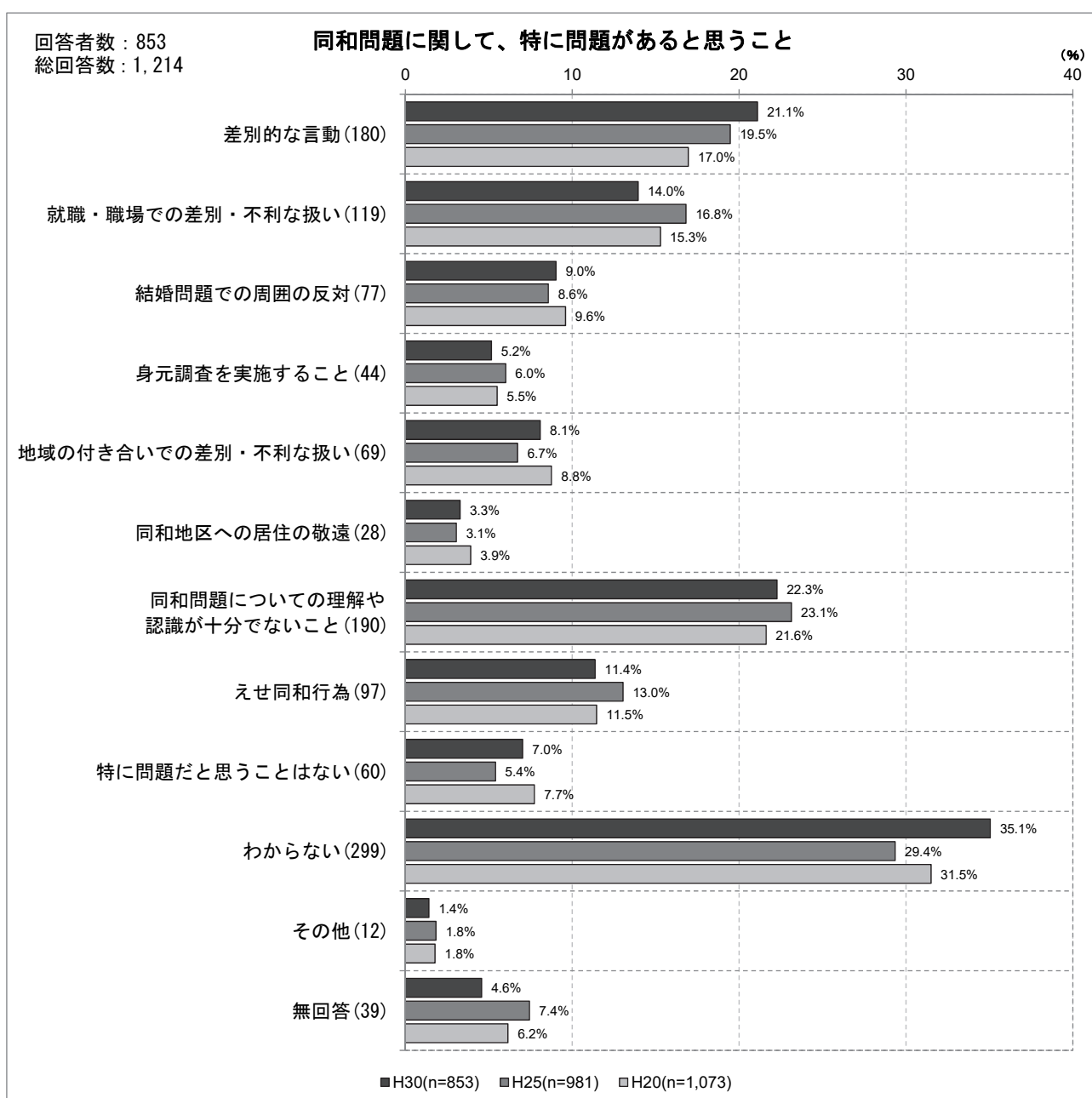
問22 同和問題に関して、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「わからない」が35.1%で最も高く、次いで「同和問題についての理解や認識が十分でないこと」が22.3%、「差別的な言動」が21.1%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より5.7ポイント、「差別的な言動」が前々回より4.1ポイント増加している。また「就職・職場での差別・不利な扱い」が前回より2.8ポイント減少している。



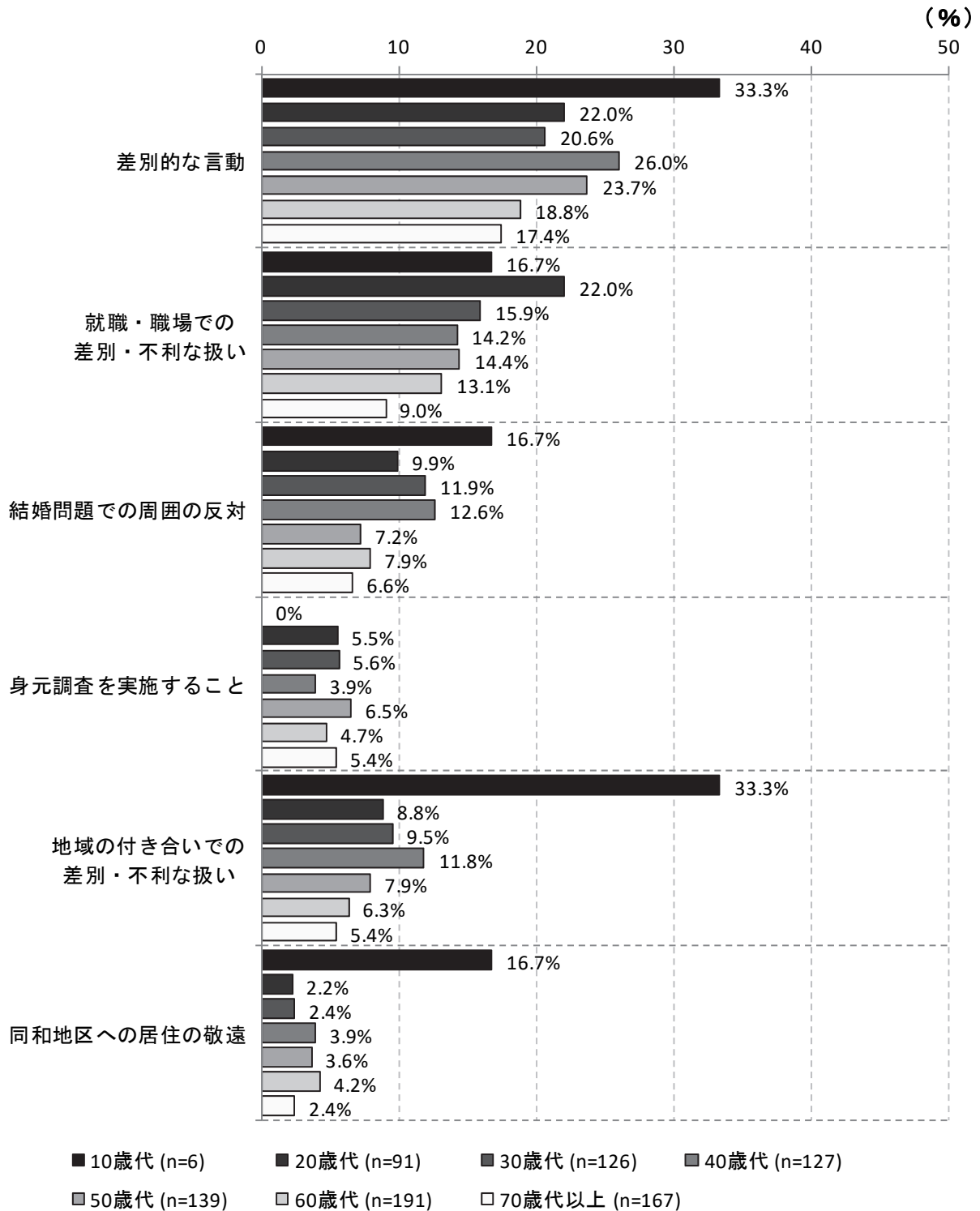
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では「差別的な言動」と「地域の付き合いでの差別・不利な扱い」が同率で高く、他の年代では「わからない」が最も高くなっている。

※この棒グラフは次ページに続く

回答者数:853
総回答数:1,214

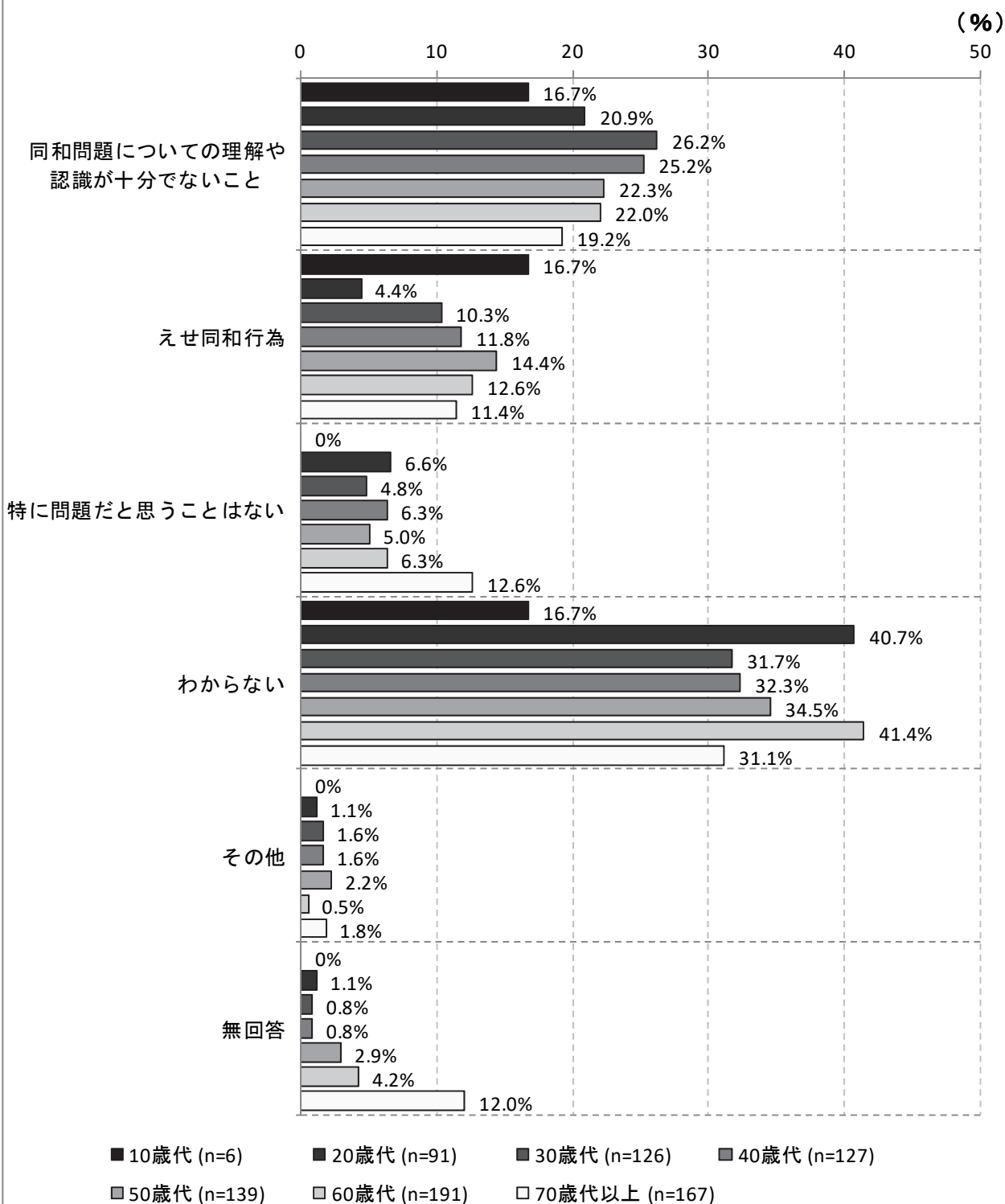
同和問題に関して特に問題があると思うこと【年代別】



※この棒グラフは前ページから続く

回答者数:853
総回答数:1,214

同和問題に関して特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

- ・ 同じ国民であるという根本的な意識のなさ 等

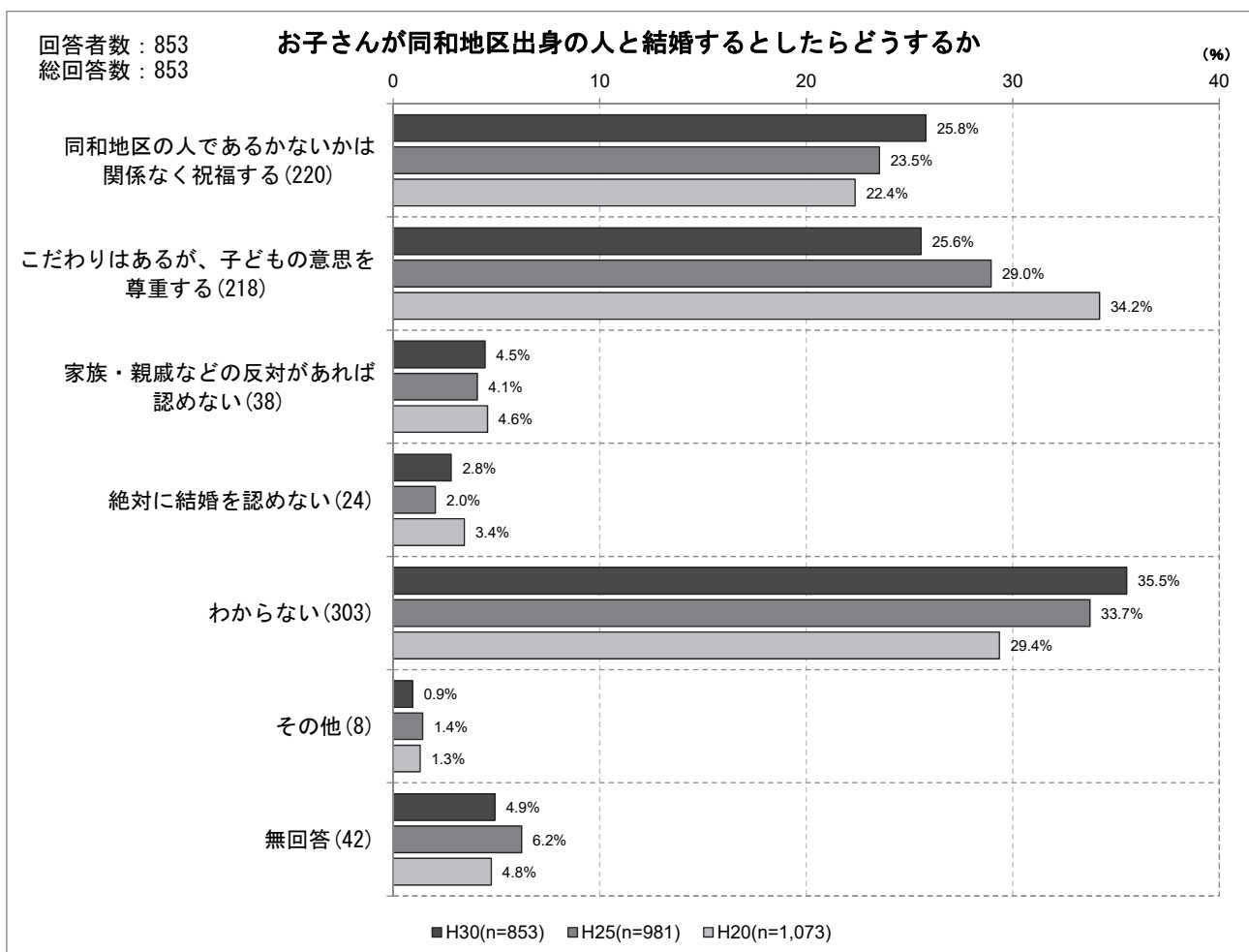
問23 あなたのお子さんが（いらっしゃらない場合は、いると仮定して考えてください。）、同和地区出身の人と結婚するとしたら、あなたはどのようにしますか。（○は1つ）

【全体】

- ◆ 「わからない」が 35.5%で最も高く、次いで「同和地区の人であるかないかは関係なく祝福する」が 25.8%、「こだわりはあるが、子どもの意思を尊重する」が 25.6%の順になっている。一方で、「絶対に結婚を認めない」が 2.8%で最も低く、次いで「家族・親戚などの反対があれば認めない」4.5%の順になっている。

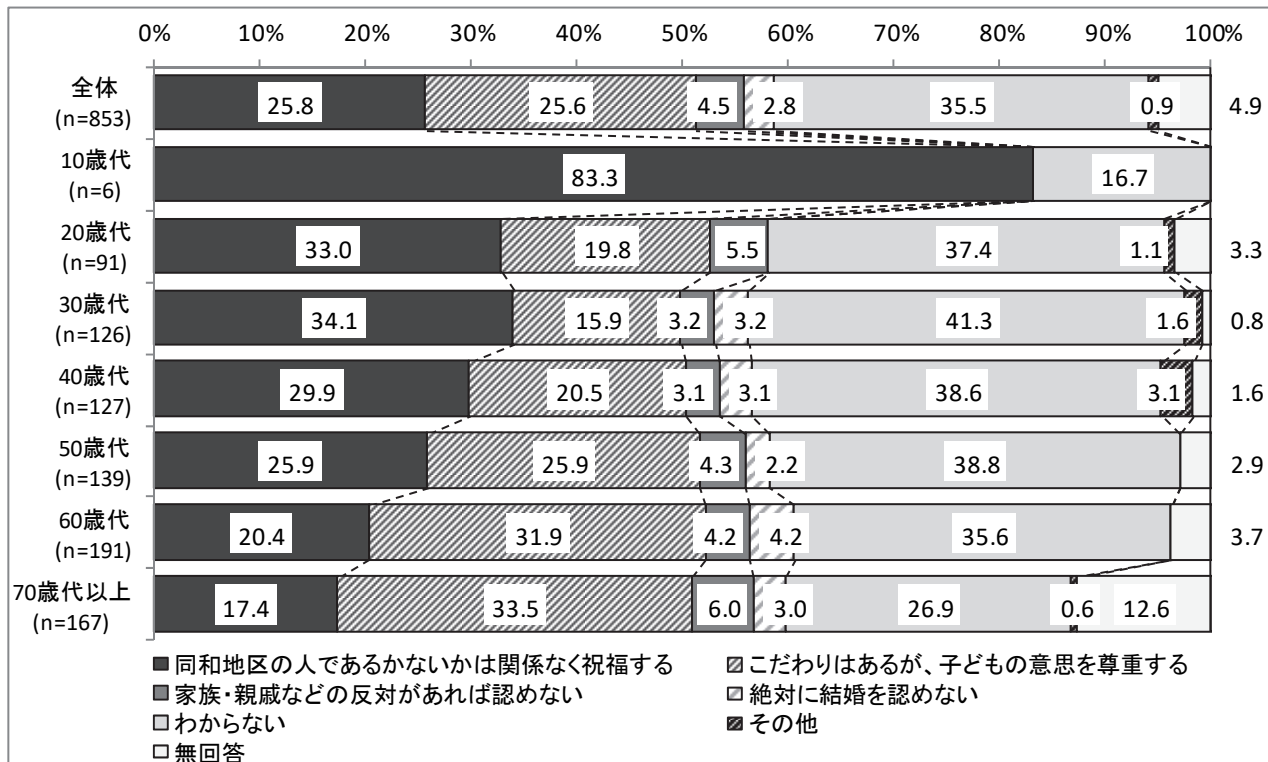
【前回・前々回との差】

- ◆ 「同和地区の人であるかないかは関係なく祝福する」が前回より 2.3 ポイント、「わからない」が前々回より 6.1 ポイント増加している。また「こだわりはあるが、子どもの意思を尊重する」が前回より 3.4 ポイント、前々回より 8.6 ポイント減少している。



【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「同和地区の人であるかないかは関係なく祝福する」、20 歳代から 60 歳代の年代では「わからない」、70 歳代以上では「こだわりはあるが、子どもの意思を尊重する」が最も高くなっている。



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・ 同和（差別）がどういうものか知らない
- ・ そもそもどこがその地区なのか知らない、その人の人柄、経歴が問題なければよい
- ・ 同和地区出身でも性格や思想・信条が良ければ認めると思う
- ・ 相手を見ます
- ・ 話し合う 等

7-4 同和問題を解決するために必要なこと

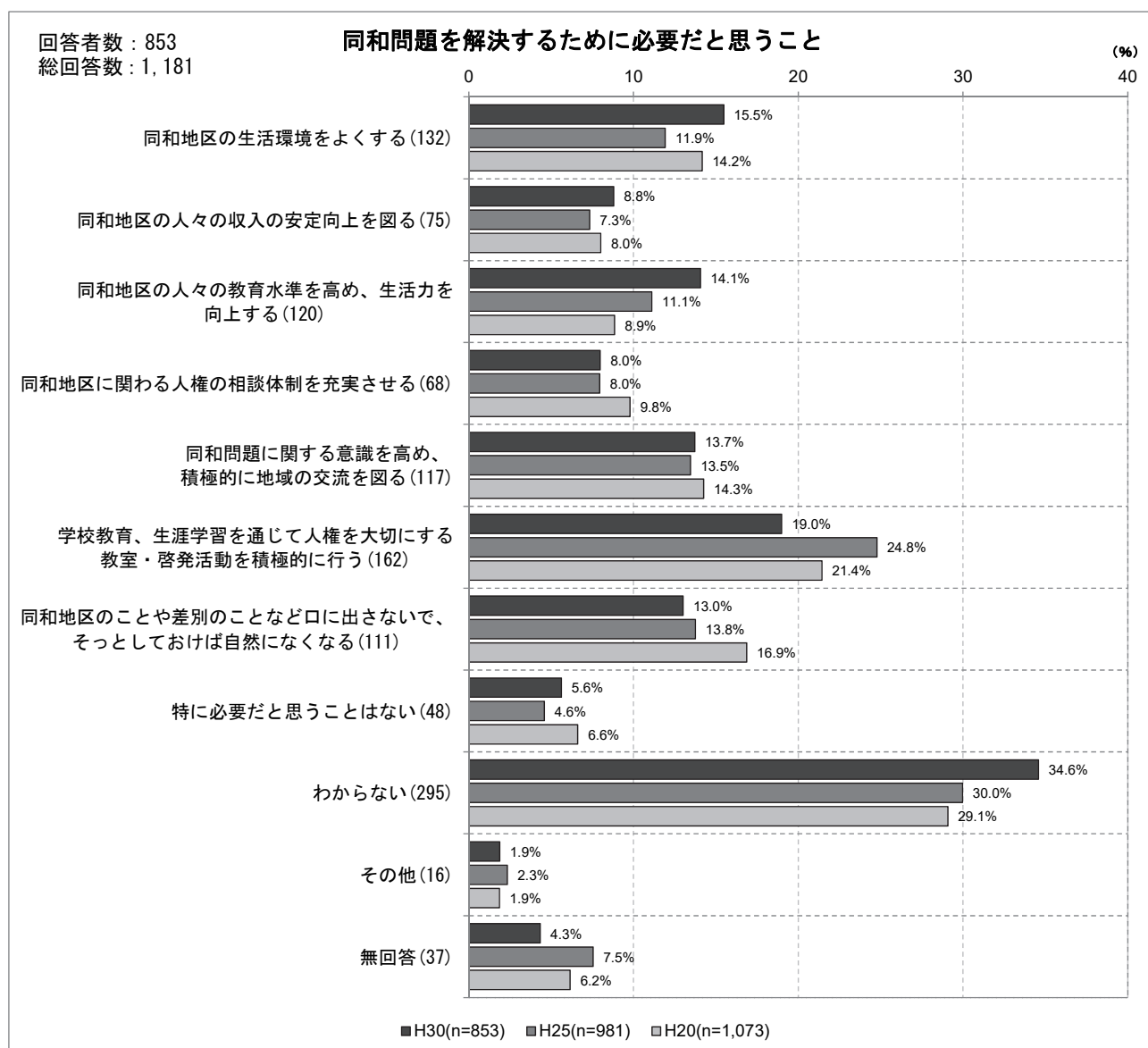
問24 同和問題を解決するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「わからない」が34.6%で最も高く、次いで「学校教育、生涯学習を通じて人権を大切にする教室・啓発活動を積極的に行う」が19.0%、「同和地区の生活環境をよくする」が15.5%の順になっている。

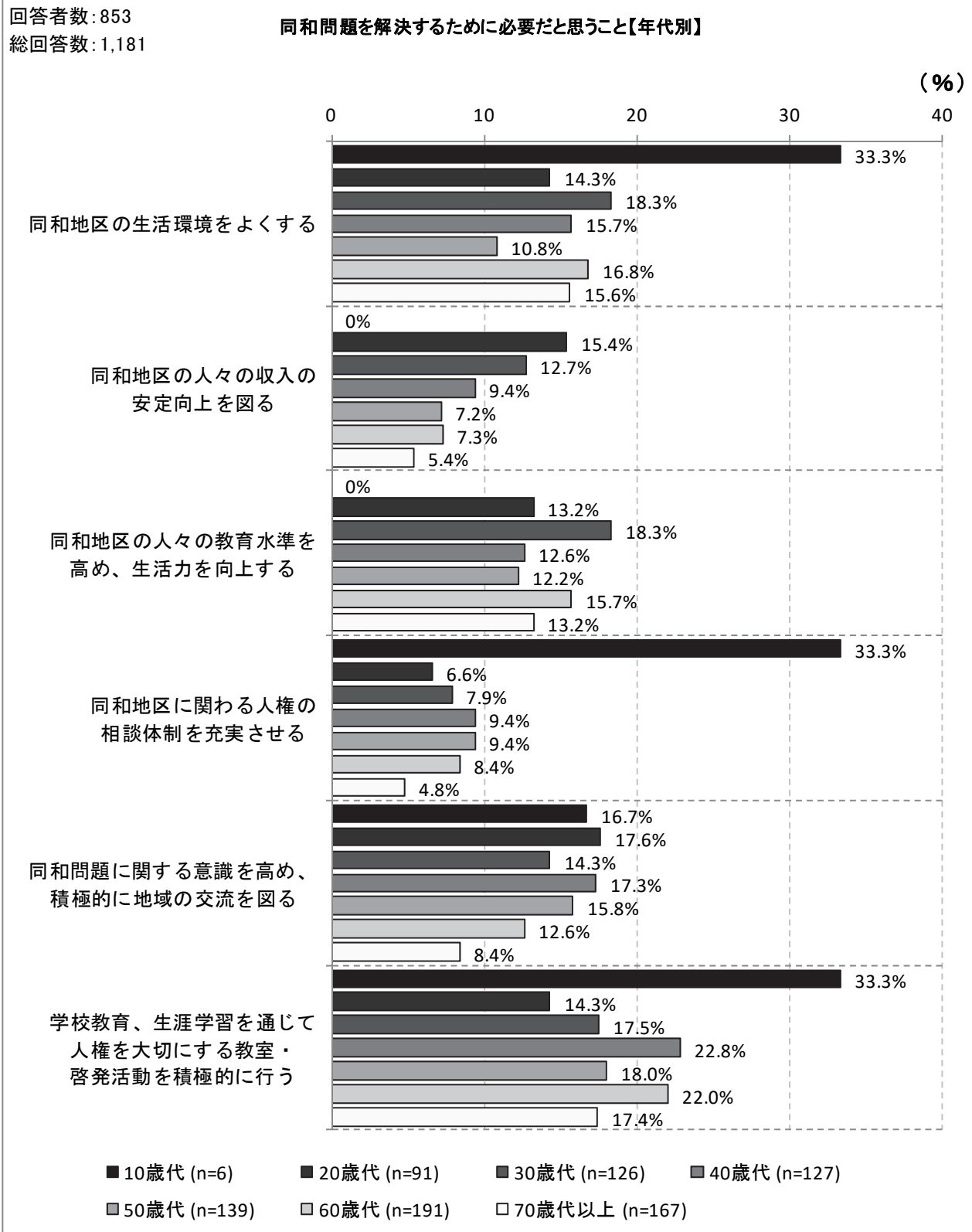
【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より4.6ポイント、前々回より5.5ポイント増加している。また「学校教育、生涯学習を通じて人権を大切にする教室・啓発活動を積極的に行う」が前回より5.8ポイント、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」が前々回より3.9ポイント減少している。



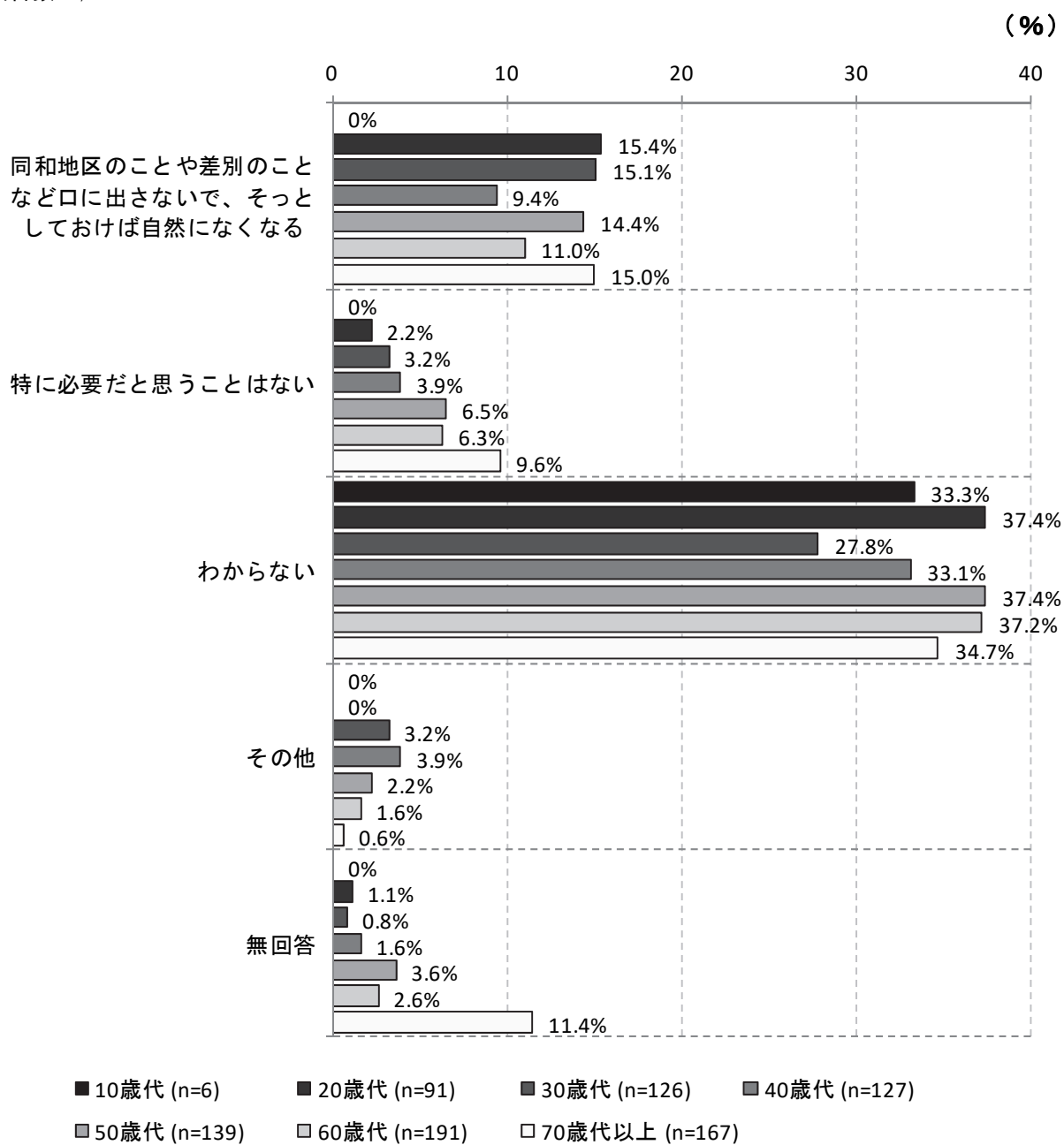
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では「同和地区の生活環境をよくする」と「同和地区に関わる人権の相談体制を充実させる」と「学校教育、生涯学習を通じて人権を大切にする教室・啓発活動を積極的に行う」が同率で高くなっている。他の年代では「わからない」が最も高くなっている。



回答者数: 853
 総回答数: 1,181

同和問題を解決するために必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・ 同和としての問題より、出身、身分、門地による差別全般の問題として扱う
- ・ 私の環境では世代間で認識に大きな差があるため時間が解決すると考える
- ・ 出身にかかわらず教育を受けられる機会が努力する人には与えられるような制度、仕組みが必要
- ・ 研修で話を聞いたとき知らなくても良いことを聞いたように感じた
- ・ 知らなければ差別もないそのうちなくなるのではないか
- ・ 問題が実在している事は知っているが、なぜ今も差別しているのか理解できない 等

8 アイヌの人々の人権について

8-1 アイヌの人々の人権問題について特に問題だと思うこと

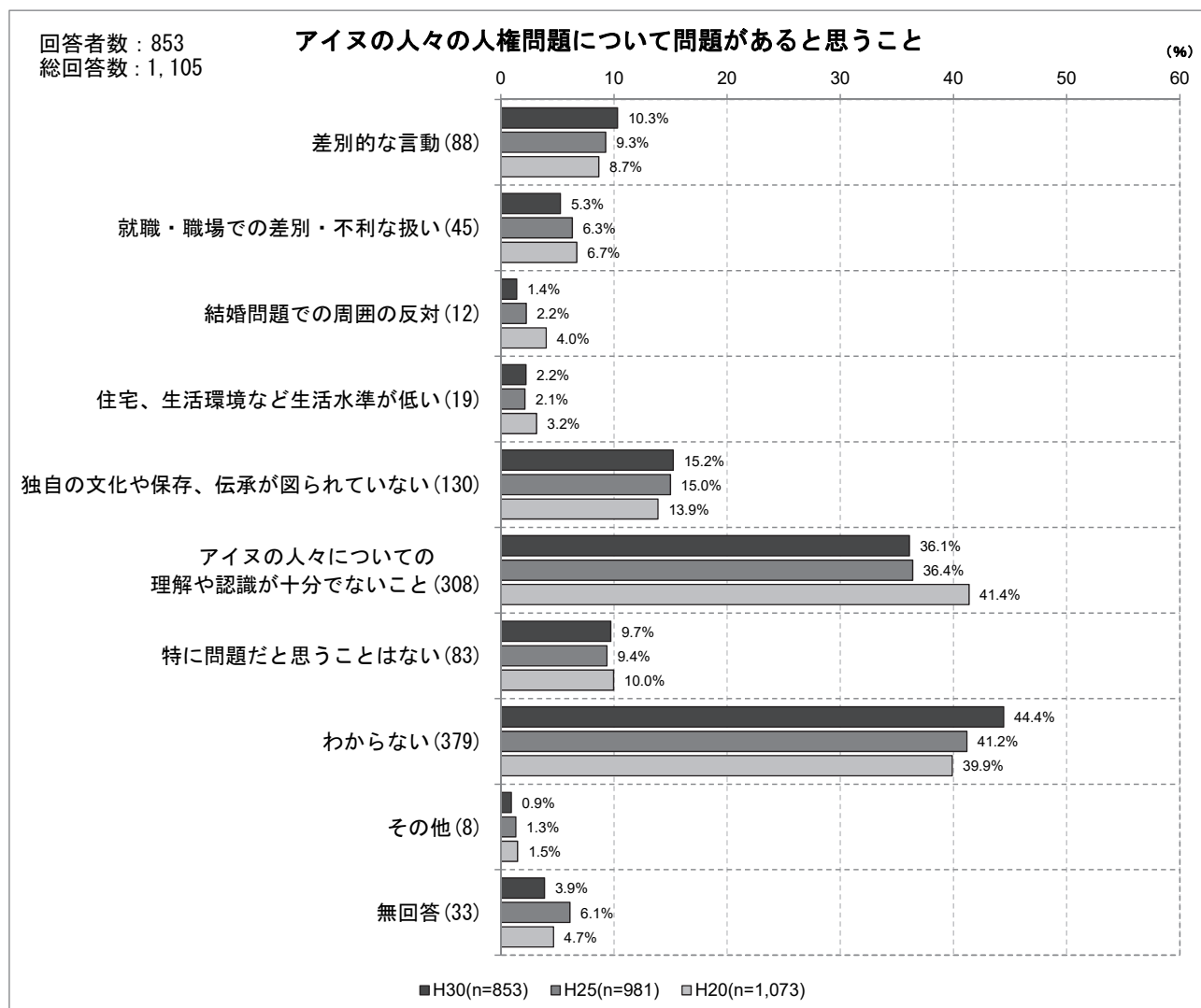
問25 アイヌの人々の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「わからない」が44.4%で最も高く、次いで「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が36.1%、「独自の文化や保存、伝承が図られていない」が15.2%の順になっている。一方で、「結婚問題での周囲の反対」が1.4%で最も低く、次いで「住宅、生活環境など生活水準が低い」が2.2%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より3.2ポイント、前々回より4.5ポイント増加している。また「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が前々回より5.3ポイント減少している。



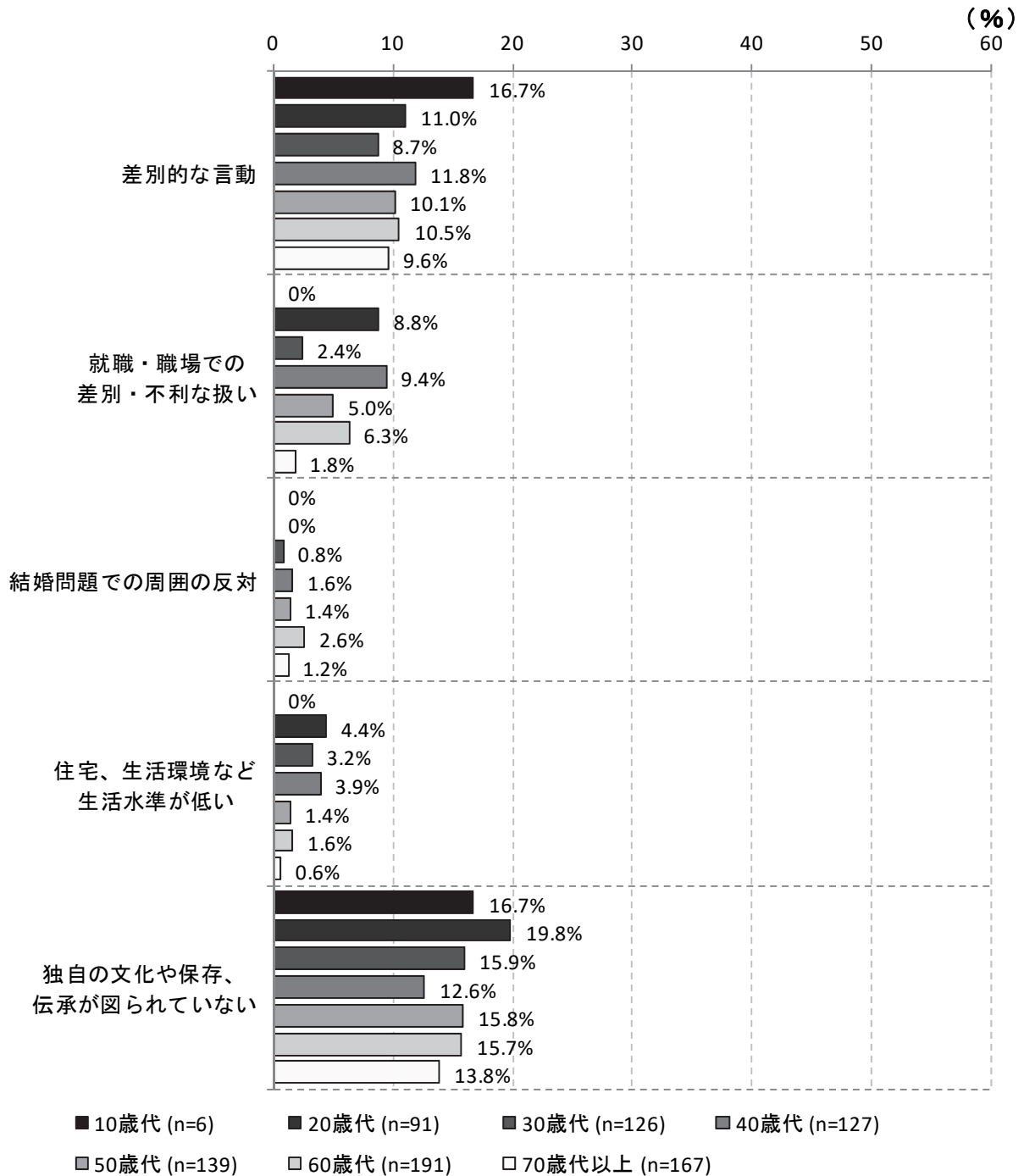
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、30 歳代では、「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」、10 歳代から 20 歳代、他の年代では「わからない」が最も高くなっている。

※この棒グラフは次ページに続く

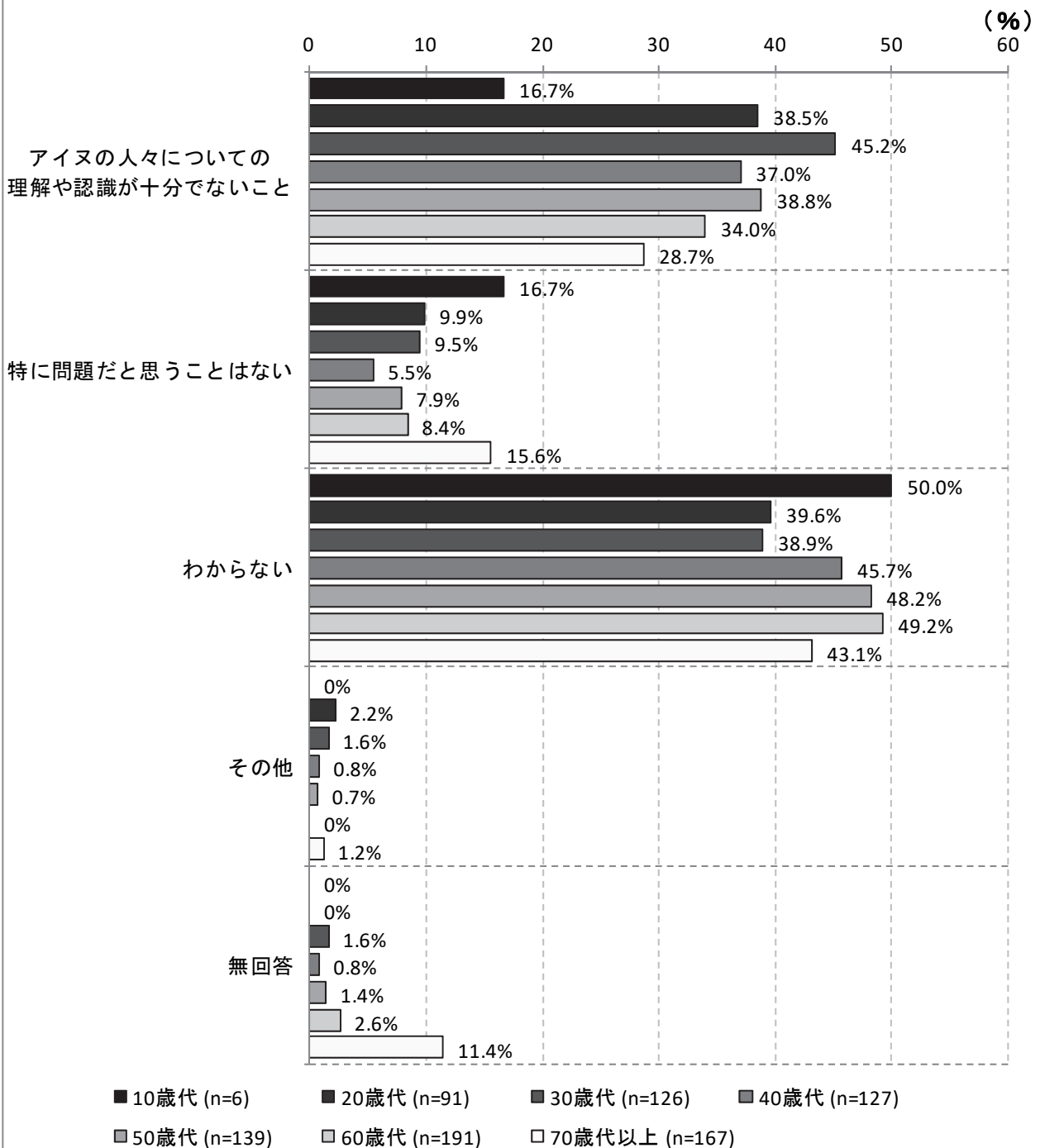
回答者数: 853
総回答数: 1,105

アイヌの人々の人権問題について問題があると思うこと【年代別】



回答者数:853
総回答数:1,105

アイヌの人々の人権問題について問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・生きてきた現在までに一度もアイヌの人々との接点がなかった
- ・近くにアイヌの人がいないからわからない
- ・今でも差別あるのでしょうか。北海道（地元）にいるとあるけれど、東京、その他本州ではそもそも今日人権差別はあまりないのでは
- ・何が問題になっているか知らない
- ・アイヌの人々という概念そのものが差別にあたる 等

8-2 アイヌの人々の人権を守るために必要なこと

問26 アイヌの人々の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

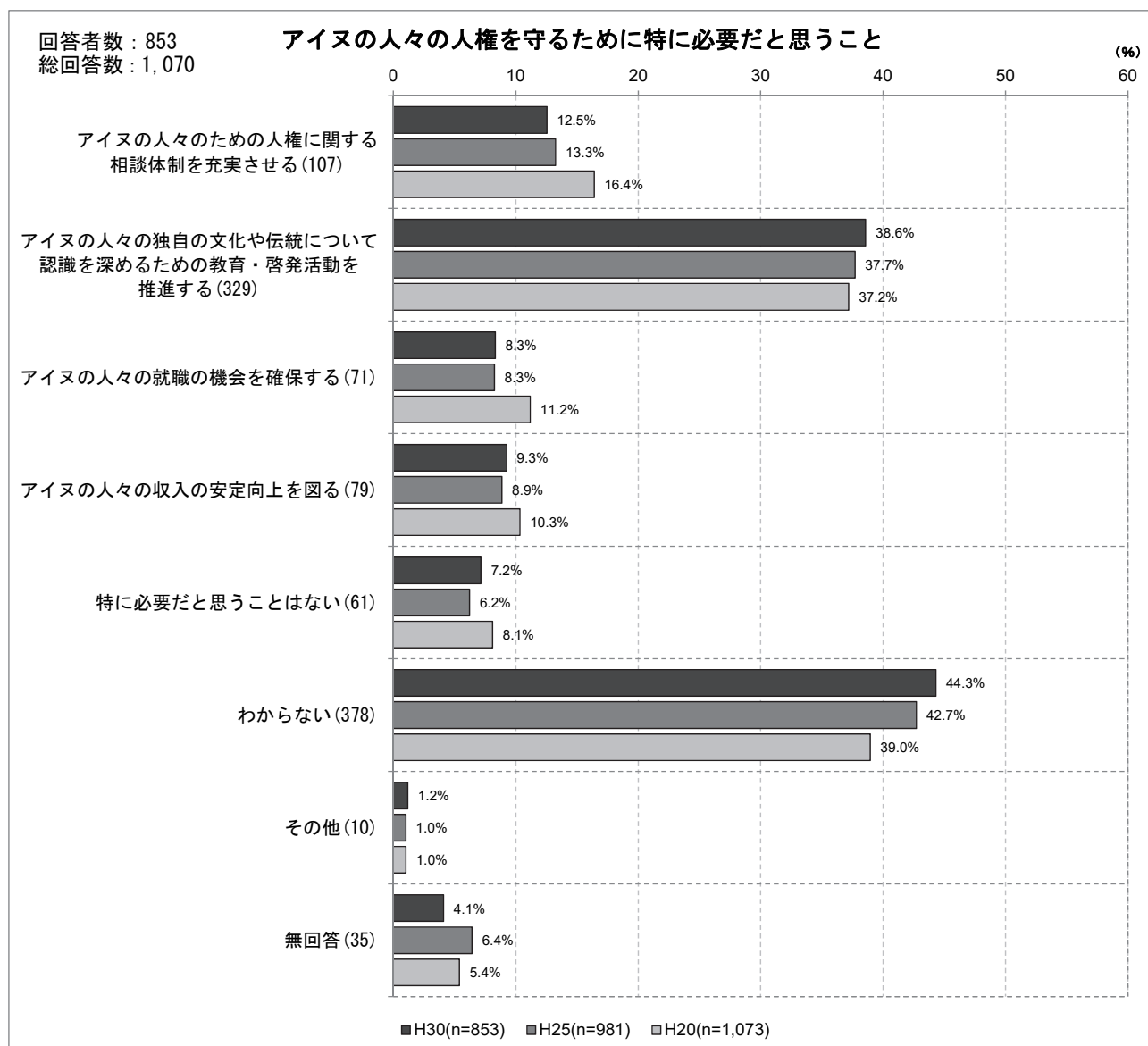
(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「わからない」が44.3%で最も高く、次いで「アイヌの人々の独自の文化や伝統について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が38.6%、「アイヌの人々のための人権に関する相談体制を充実させる」が12.5%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より1.6ポイント、前々回より5.3ポイント増加している。また「アイヌの人々のための人権に関する相談体制を充実させる」が前々回より3.9ポイント減少している。

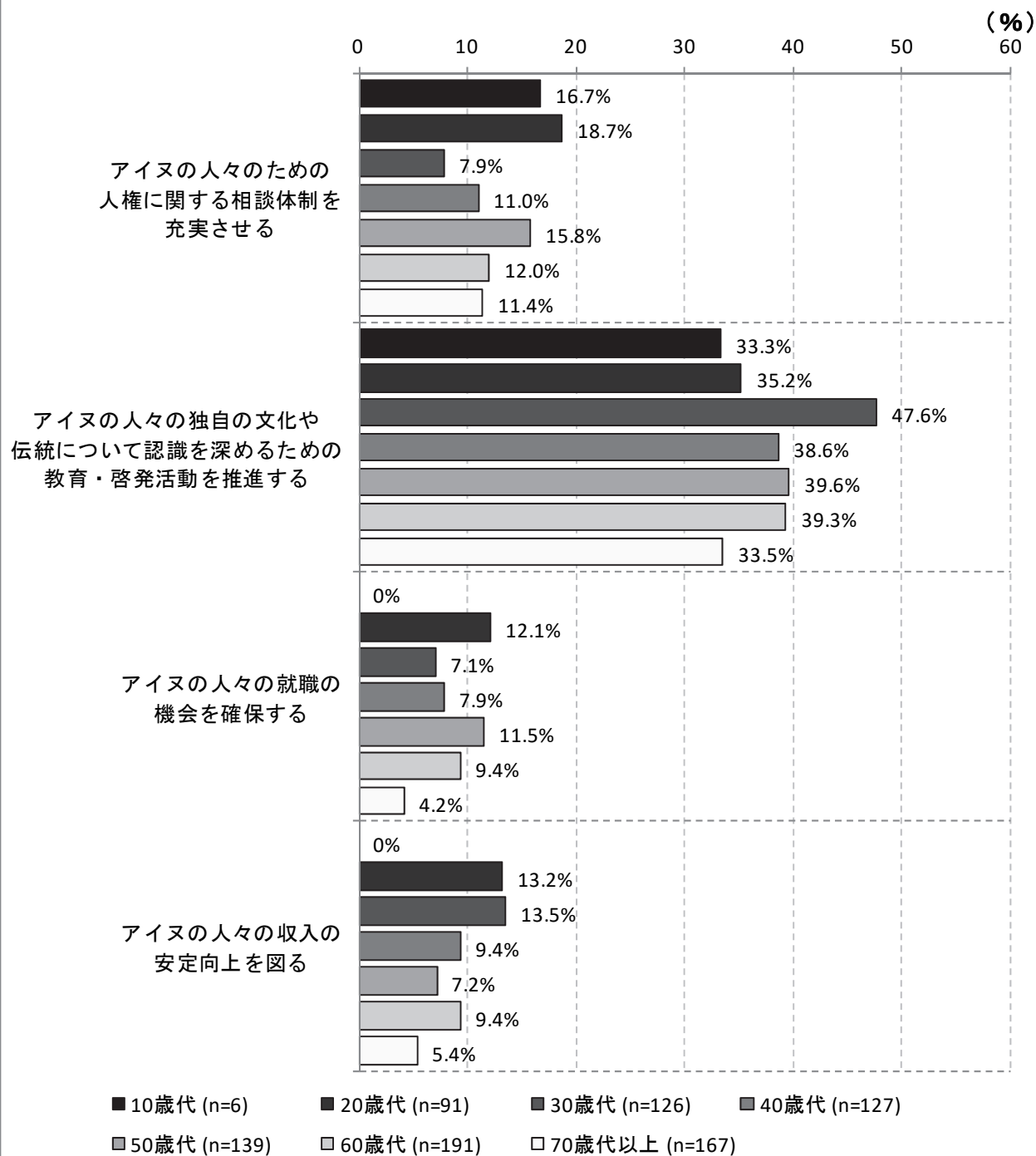


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、30 歳代では「アイヌの人々の独自の文化や伝統について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」、他の年代では「わからない」が最も高くなっている。

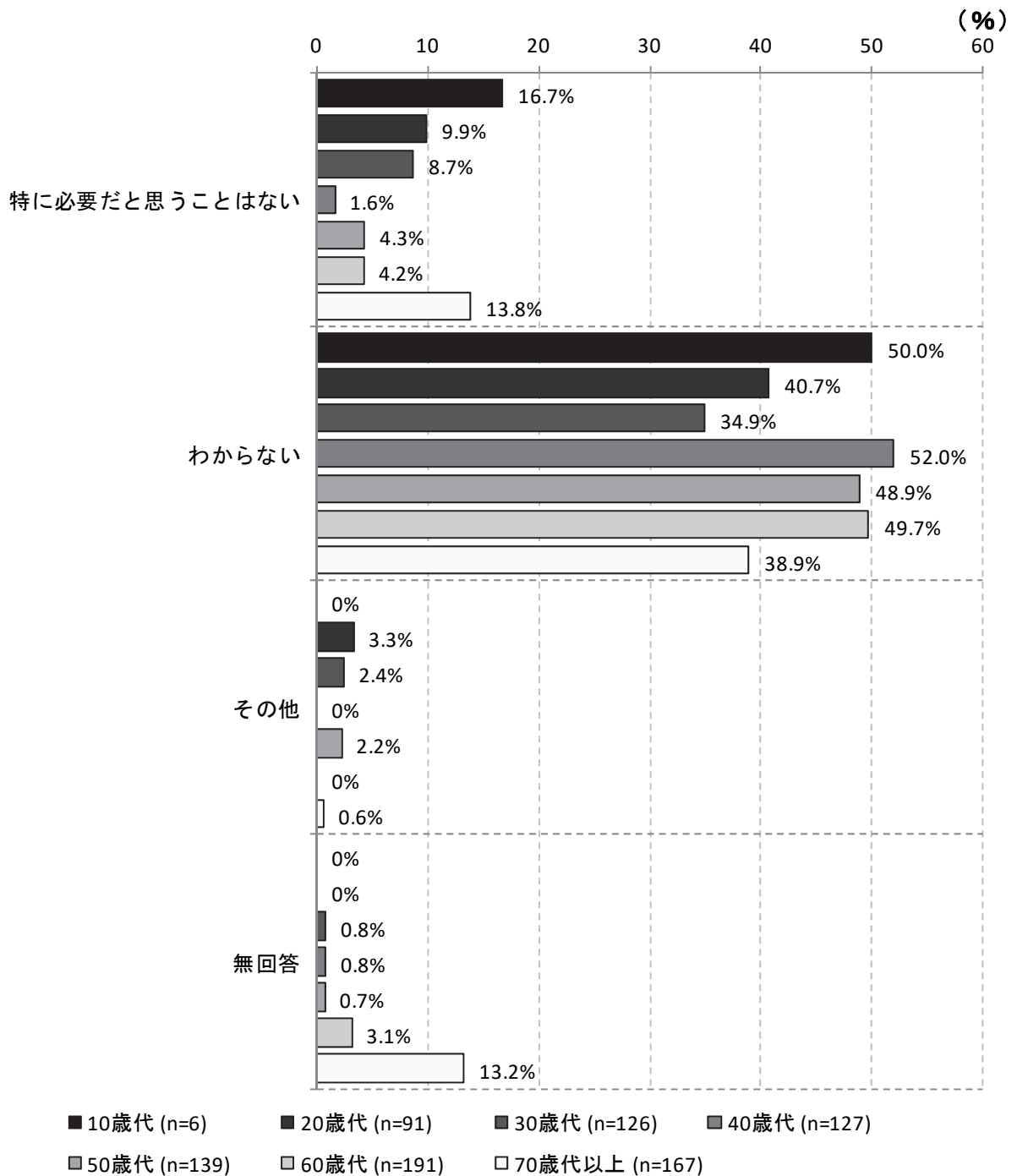
回答者数:853
総回答数:1,070

アイヌの人々の人権を守るために特に必要だと思うこと【年代別】



回答者数: 853
総回答数: 1,070

アイヌの人々の人権を守るために特に必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・我々も知る努力が必要であり、アイヌの人々も我々を知ろうとするお互いの歩みより
- ・公にする必要性が分りません
- ・アイヌの人々にどのような人権問題があるかを知らない
- ・今は同化した（させられた）生活をしているけれど、
元のアイヌの人々の土地でアイヌ文化的な生活をしたい人には、それができるような制度を整える
- ・そもそもアイヌの人々を多治見ではみた事ないので、触れあいの機会を設けてほしいです 等

9 外国人の人権について

9-1 外国人の人権問題について特に問題だと思うこと

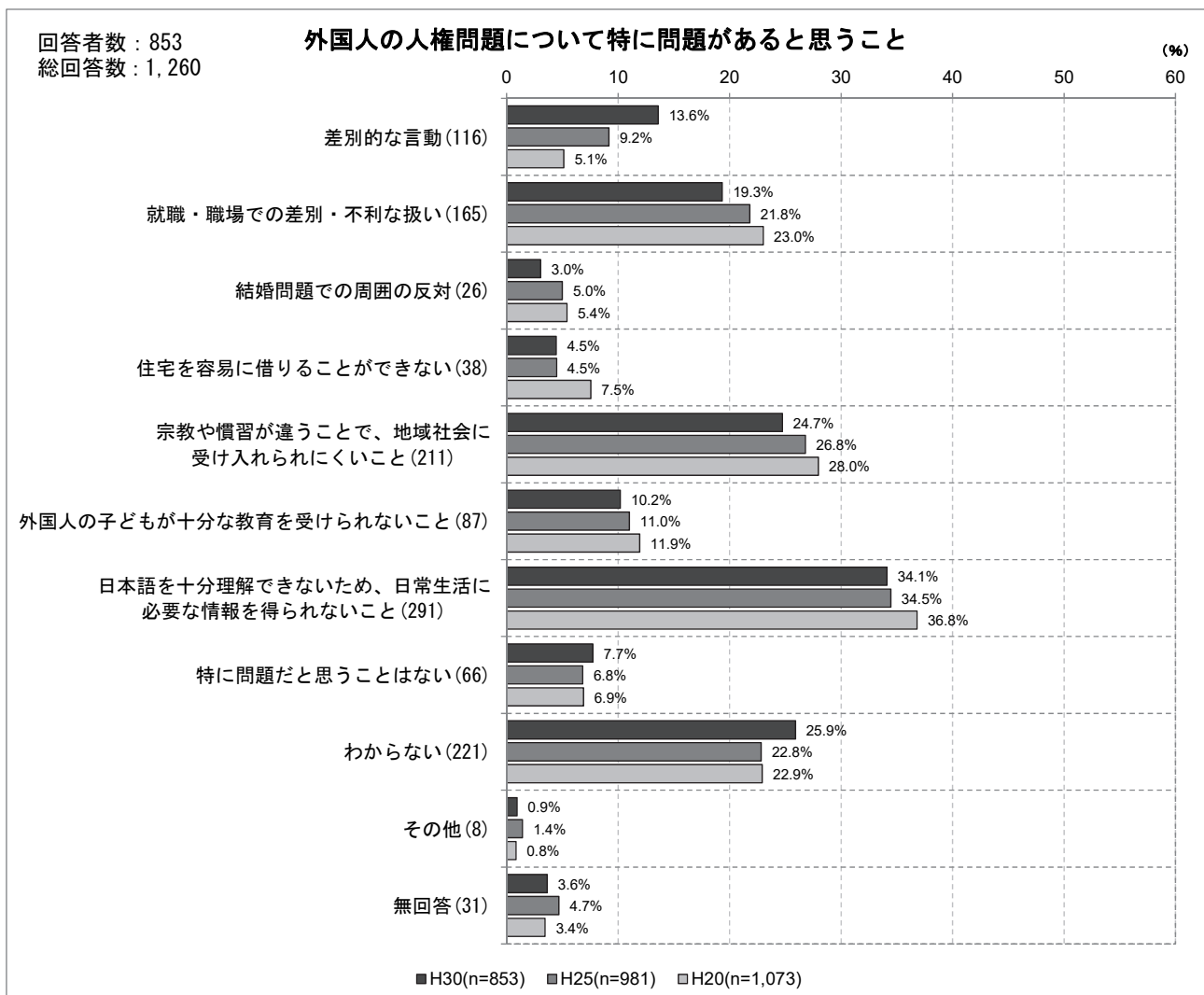
問27 外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと」が 34.1%で最も高く、次いで「わからない」が 25.9%、「宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」が 24.7%の順になっている。

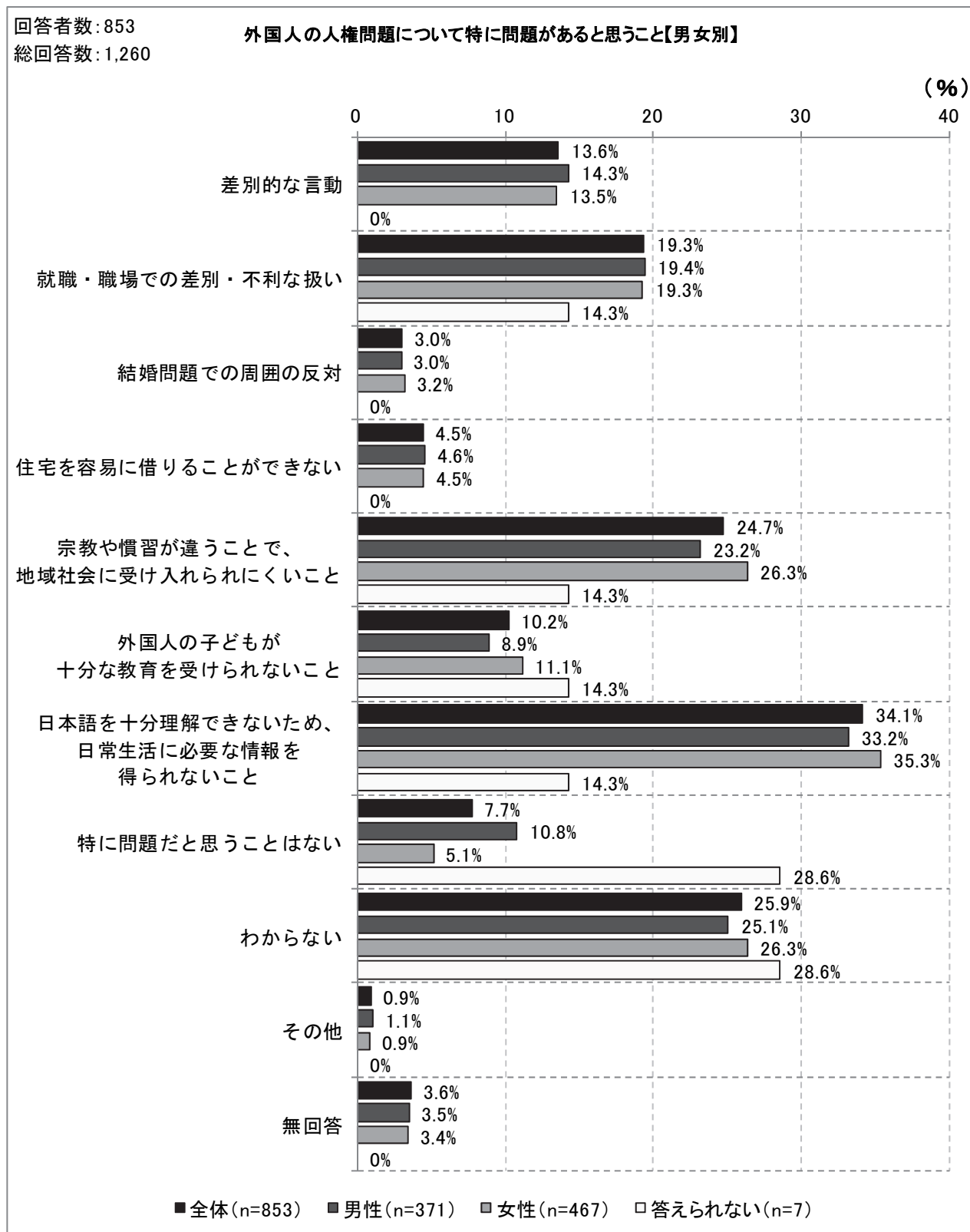
【前回・前々回との差】

- ◆ 「差別的な言動」が前回より 4.4 ポイント、前々回より 8.5 ポイント増加している。また「就職・職場での差別・不利な扱い」が前回より 2.5 ポイント、前々回より 3.7 ポイント減少している。



【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと」は男性が 33.2%、女性が 35.3%と男女ともに最も高くなっている。「特に問題だと思うことはない」は女性より男性が 5.7 ポイント高くなっている。

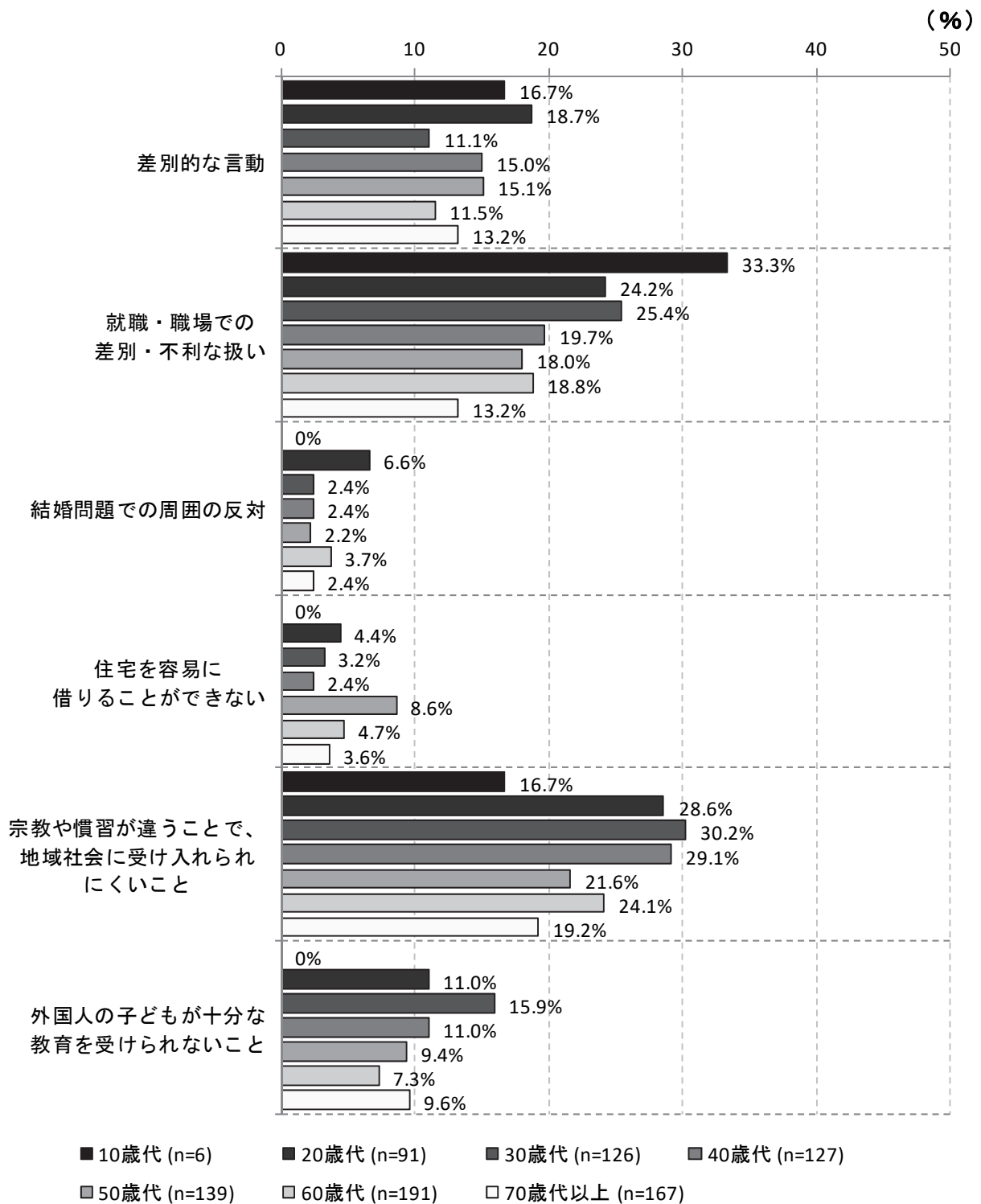


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「就職・職場での差別・不利な扱い」と「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと」と「わからない」が同率で高く、20 歳代から 60 歳代の年代では「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと」、70 歳代以上では「わからない」が最も高くなっている。

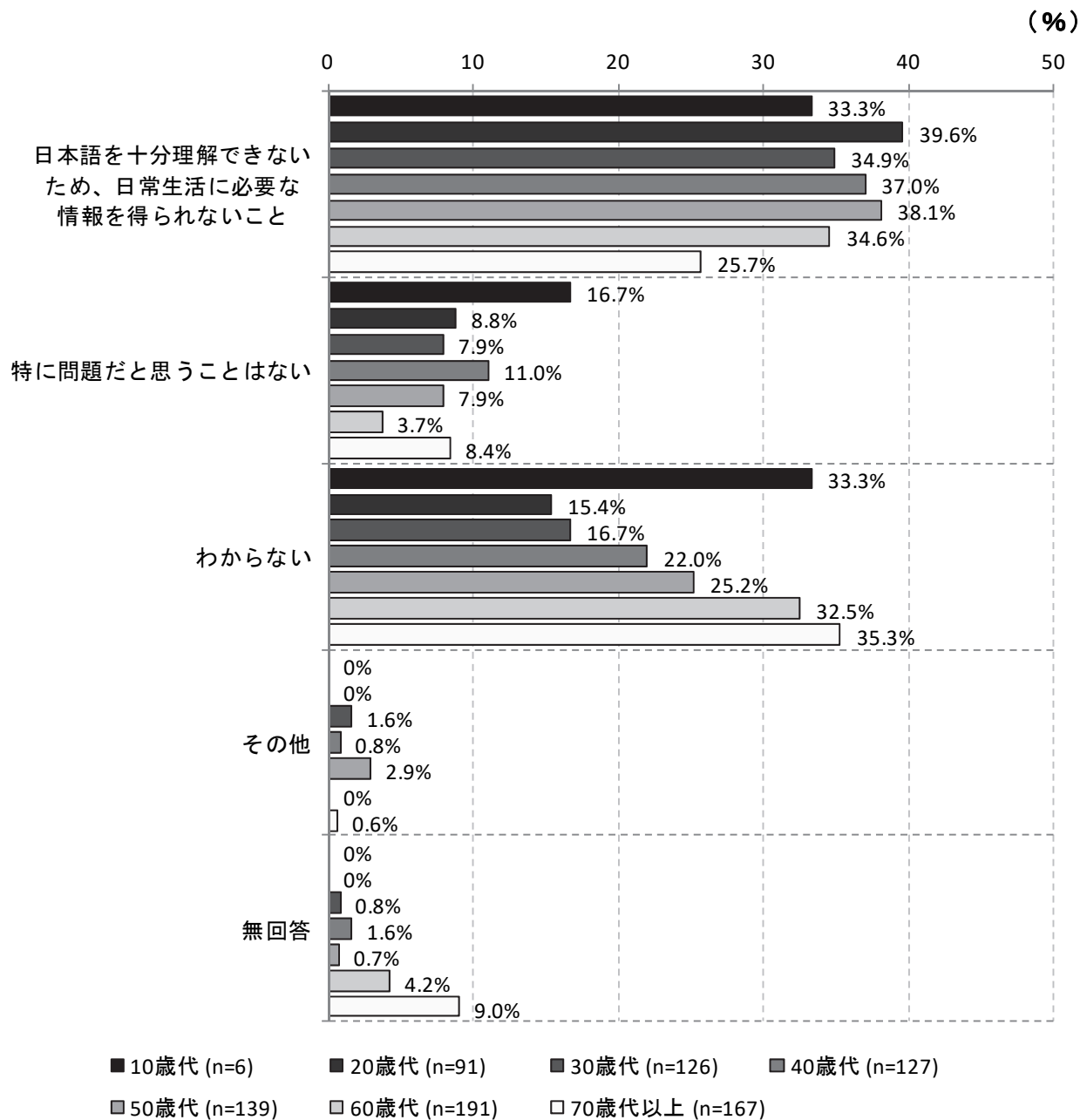
回答者数: 853
総回答数: 1,260

外国人の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



回答者数: 853
総回答数: 1,260

外国人の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・外国人にどのような人権問題があるかを知らない
- ・大人も日本語を学べる機会を設ける夜間コースなど日本語を就学する権利 等

9-2 外国人の人権を守るために必要なこと

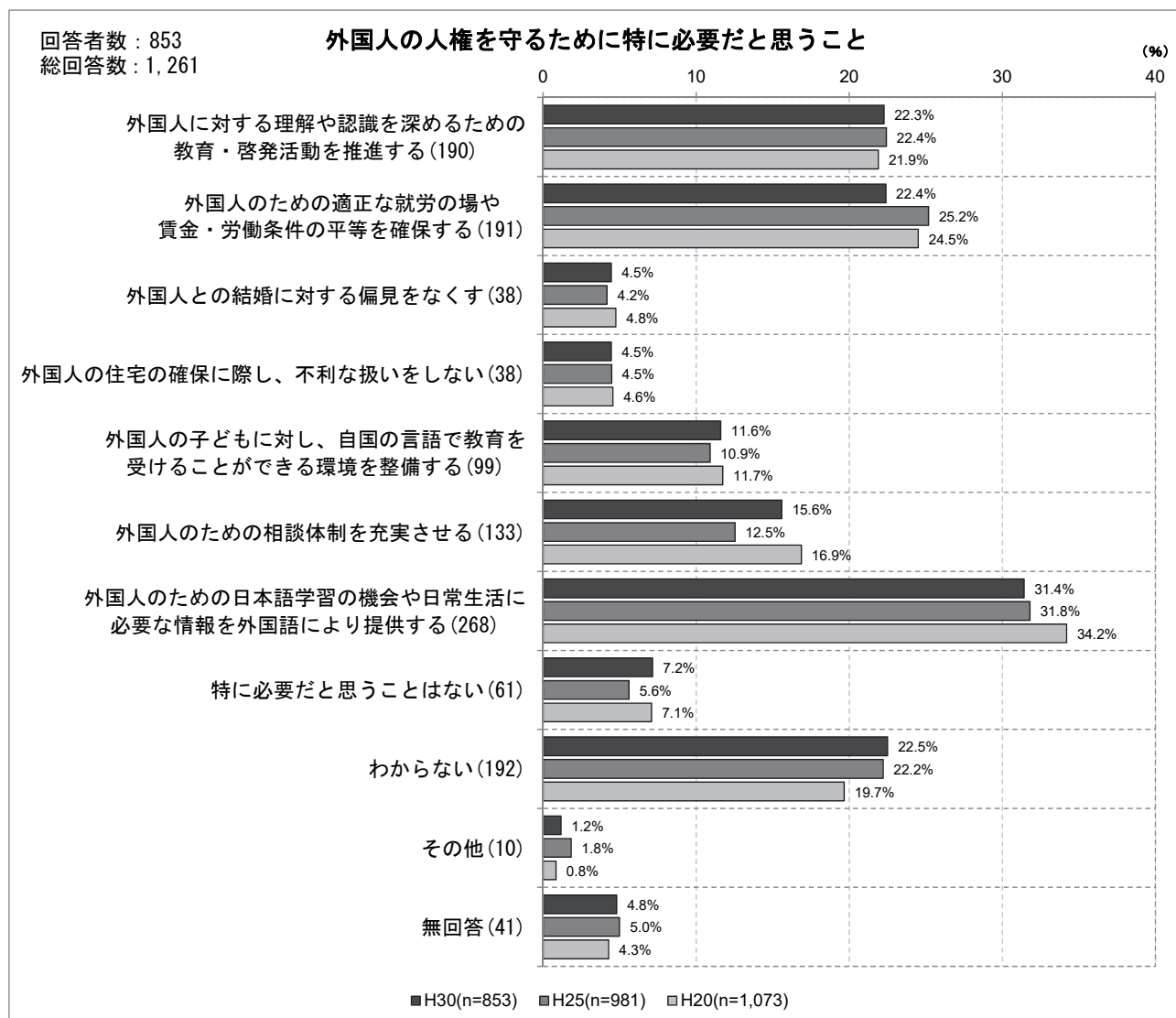
問28 外国人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が 31.4%で最も高く、次いで「わからない」が 22.5%、「外国人のための適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する」が 22.4%の順になっている。一方で、「外国人との結婚に対する偏見をなくす」、「外国人の住宅の確保に際し、不利な扱いをしない」が同率 4.5%で低くなっている。

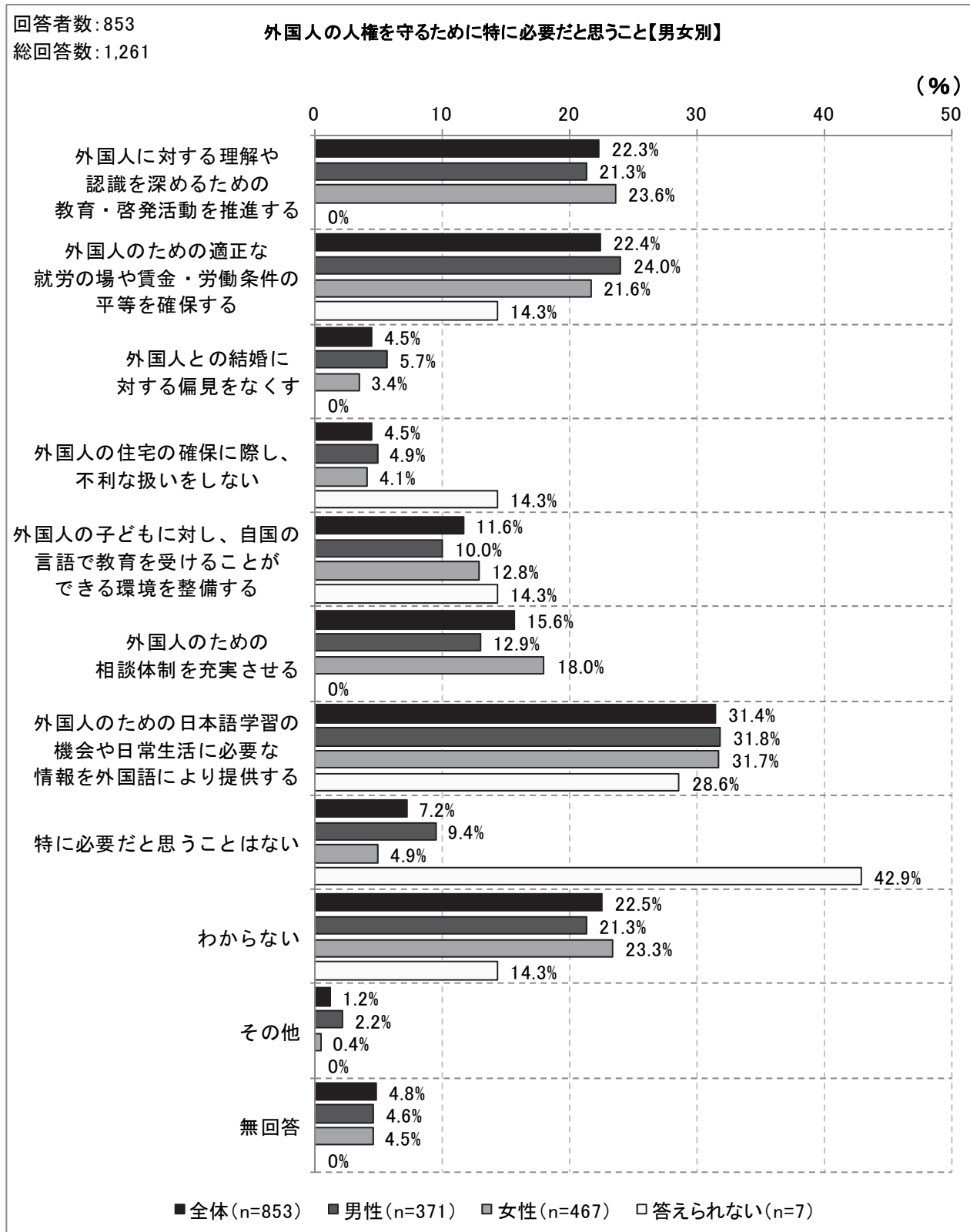
【前回・前々回との差】

- ◆ 「外国人のための相談体制を充実させる」が前回より 3.1 ポイント、「わからない」が前々回より 2.8 ポイント増加している。また「外国人のための適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する」が前回より 2.8 ポイント、「外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が前々回より 2.8 ポイント減少している。



【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する」は男性が31.8%、女性が31.7%と男女ともに最も高くなっている。「外国人のための相談体制を充実させる」は男性より女性が5.1ポイント高くなっている。

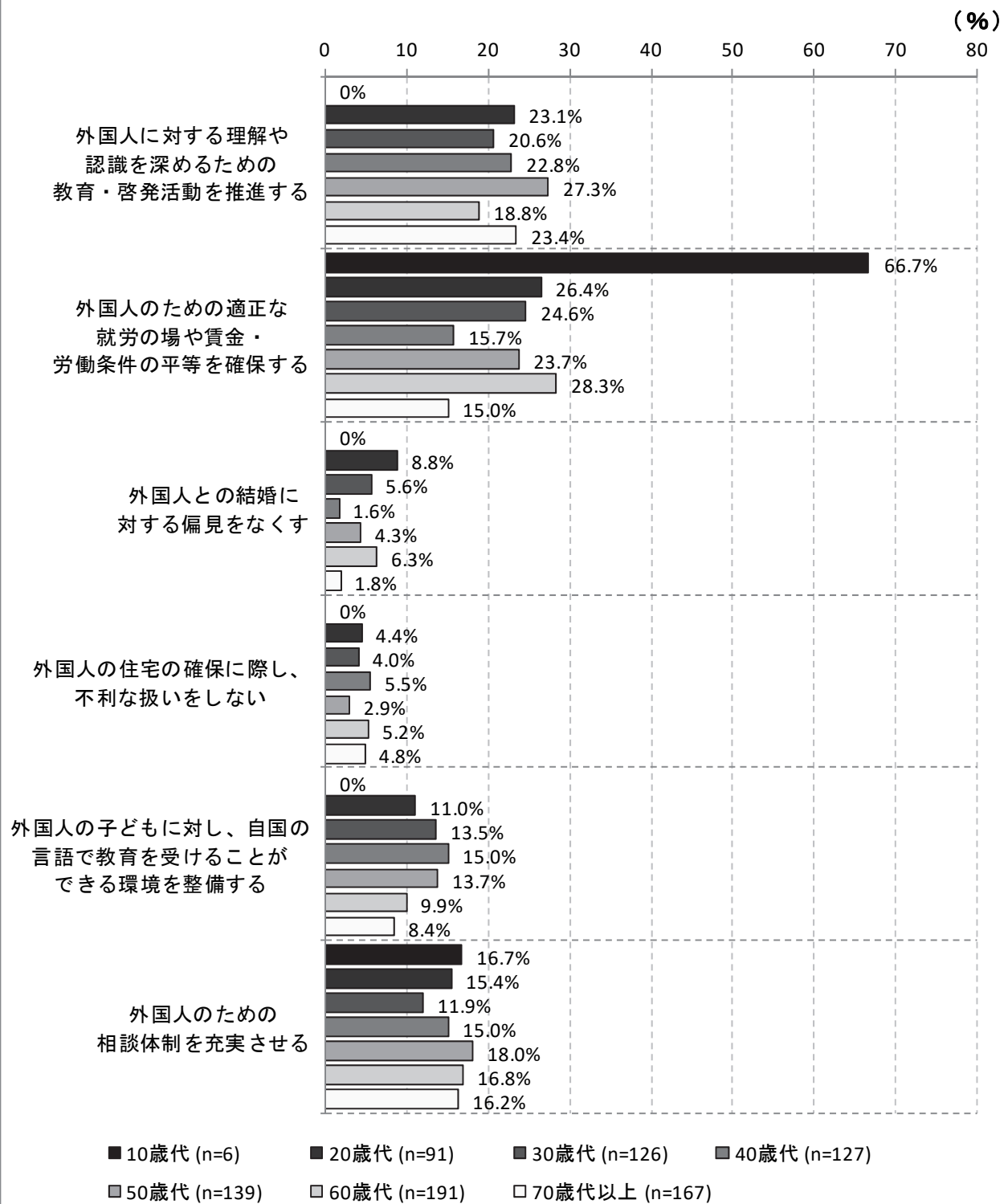


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「外国人のための適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する」、20 歳代から 60 歳代の年代では「外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する」、70 歳代以上では「わからない」が最も高くなっている。

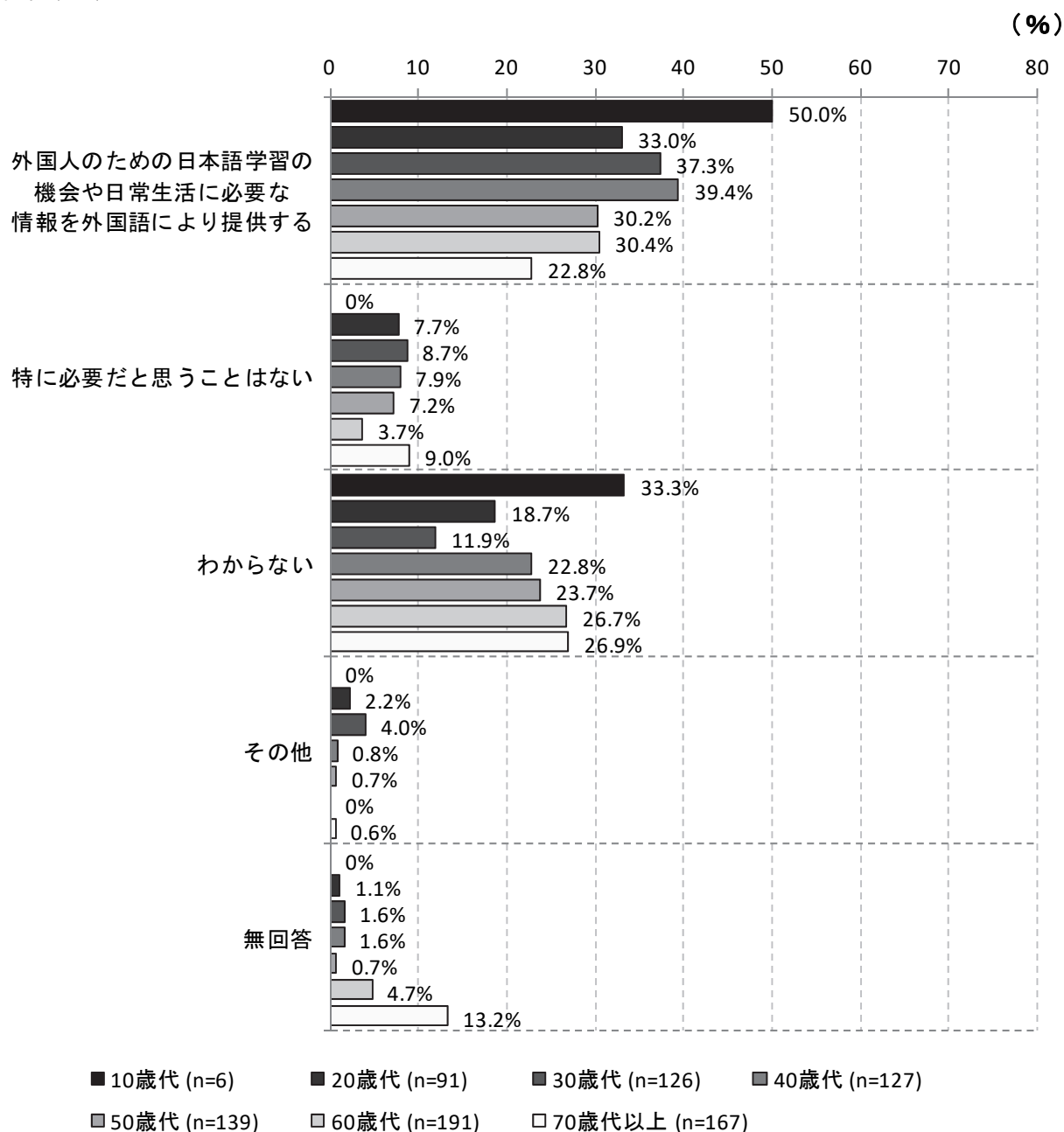
回答者数: 853
総回答数: 1,261

外国人の人権を守るために特に必要だと思うこと【年代別】



回答者数: 853
総回答数: 1,261

外国人の人権を守るために特に必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・なぜ人権が低いと感じる国で生活している（するようになったか）の要因により対策は千差万別と思います
- ・外国人にどのような人権問題があるかを知らない
- ・日本のことをもっとよく理解してもらう必要があると思う
- ・まずは日本の法律と自国の法律の違いを認識してほしいです 等

10 感染症患者等（エイズ患者、H I V感染者、ハンセン病患者等）の人権について

10-1 感染症患者等の人権問題について特に問題だと思うこと

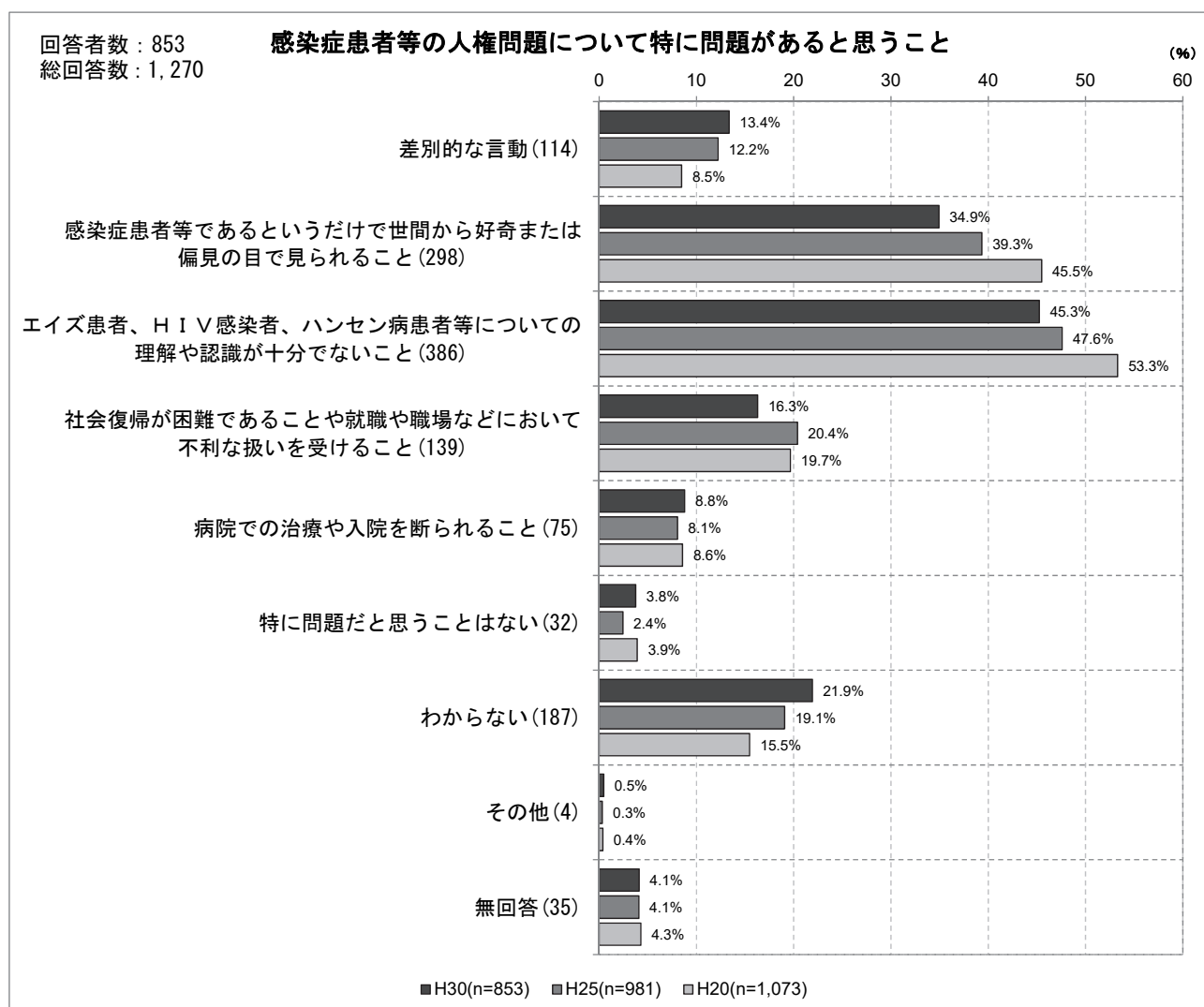
問29 感染症患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は2つまで)

【全体】

- ◆ 「エイズ患者、H I V感染者、ハンセン病患者等についての理解や認識が十分でないこと」が 45.3% で最も高く、次いで「感染症患者等であるというだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」が 34.9%、「わからない」が 21.9%の順になっている。

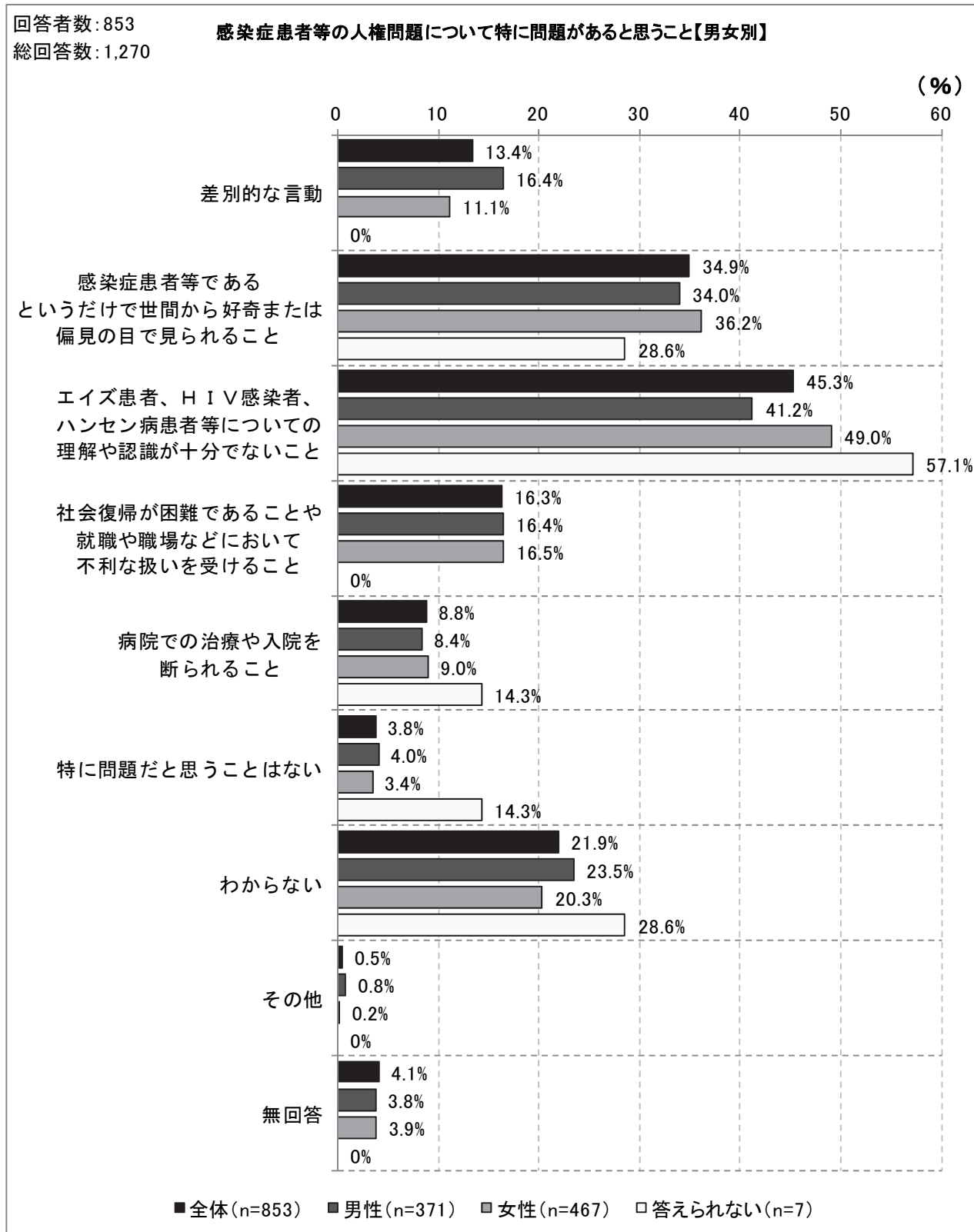
【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より 2.8 ポイント、前々回より 6.4 ポイント増加している。また「感染症患者等であるというだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」が前回より 4.4 ポイント、前々回より 10.6 ポイント減少している。



【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「エイズ患者、H I V感染者、ハンセン病患者等についての理解や認識が十分でないこと」は男性が 41.2%、女性が 49.0%と男女ともに最も高く、女性が男性より 7.8 ポイント高くなっている。

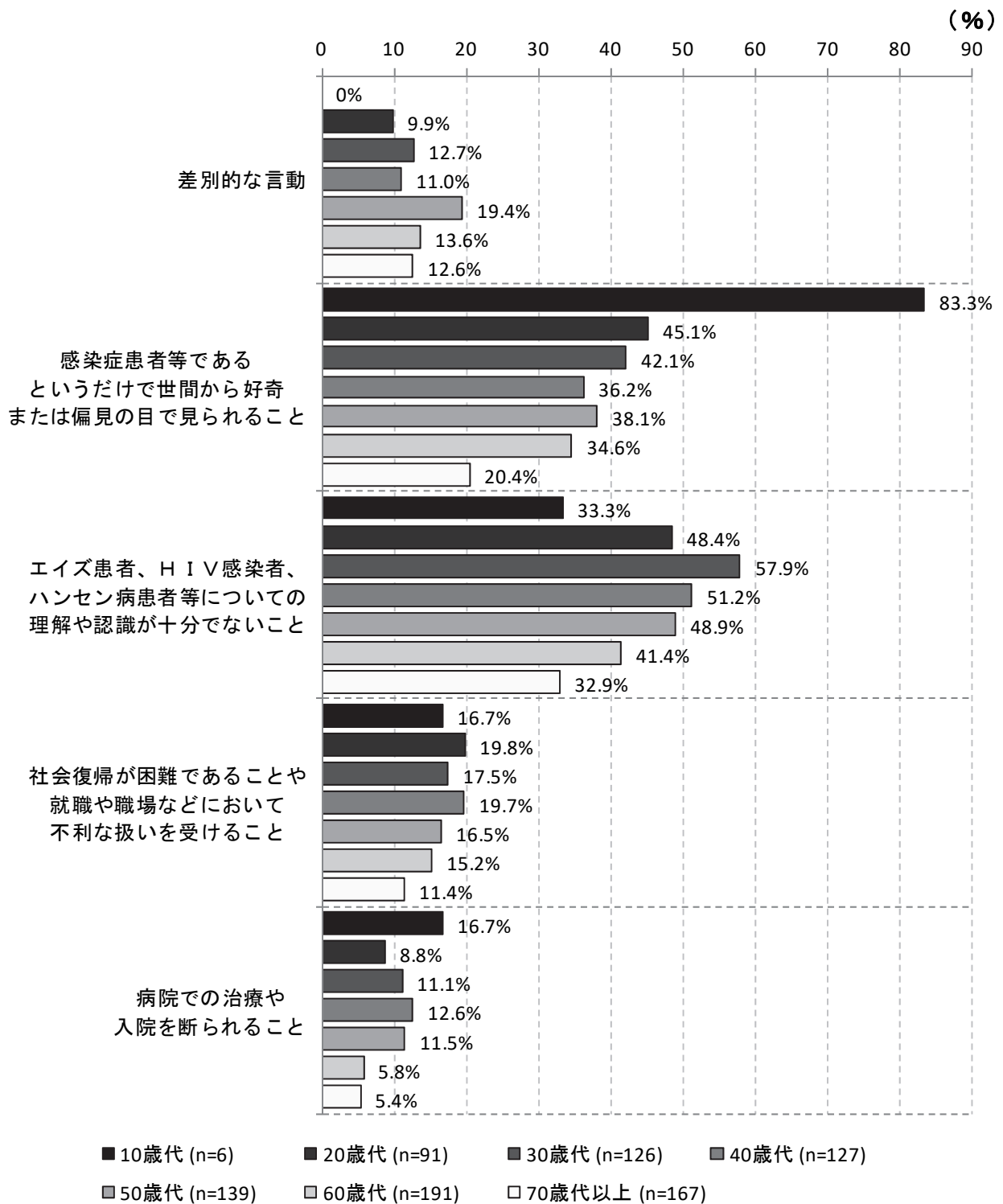


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「感染症患者等であるというだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」、20 歳代から 60 歳代の年代は「エイズ患者、H I V感染者、ハンセン病患者等についての理解や認識が十分でないこと」、70 歳代以上は「わからない」が最も高くなっている。

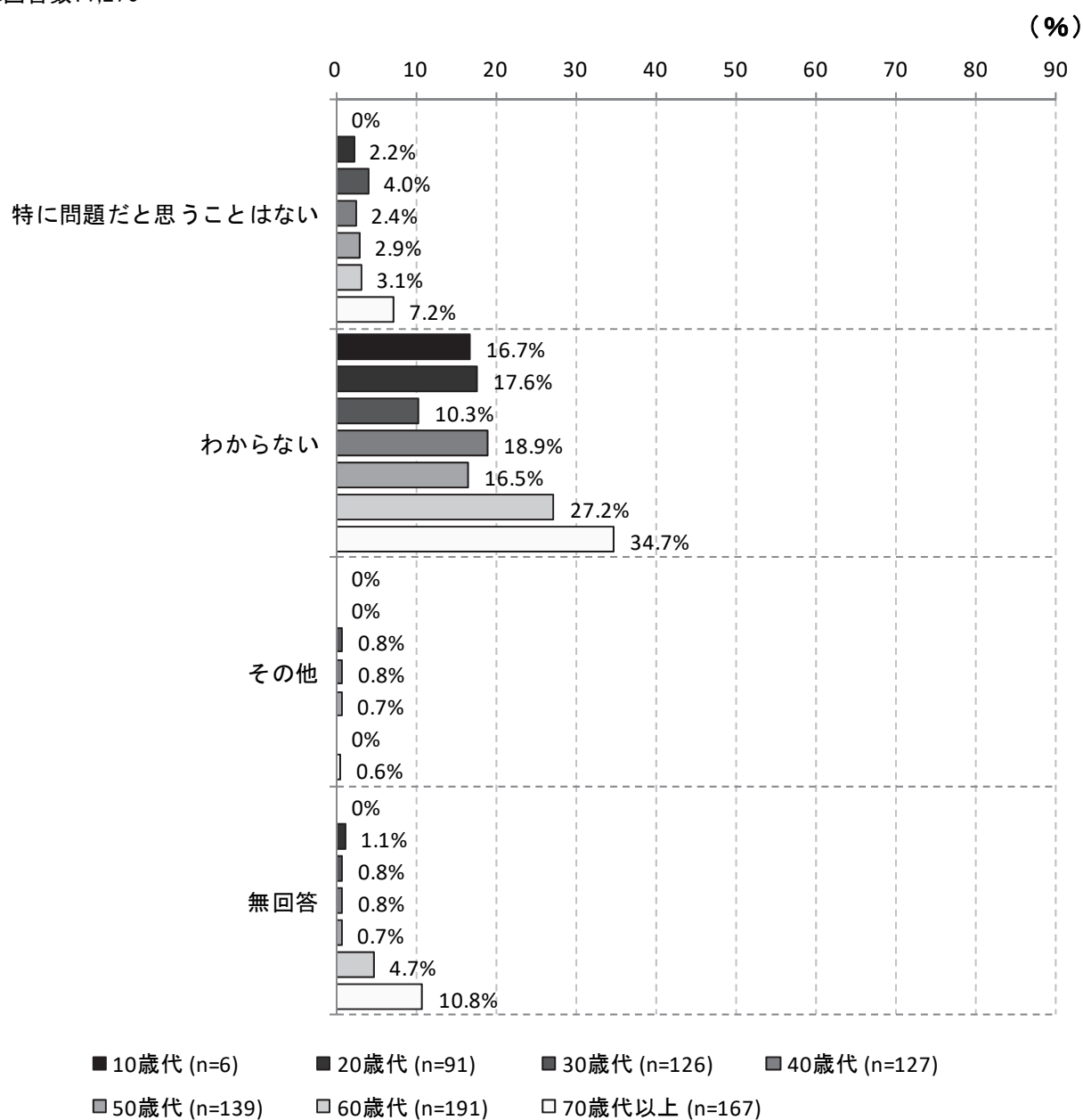
回答者数:853
総回答数:1,270

感染症患者等の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



回答者数:853
総回答数:1,270

感染症患者等の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・感染症患者にどのような人権問題があるかを知らない 等

10-2 感染症患者等の人権を守るために必要なこと

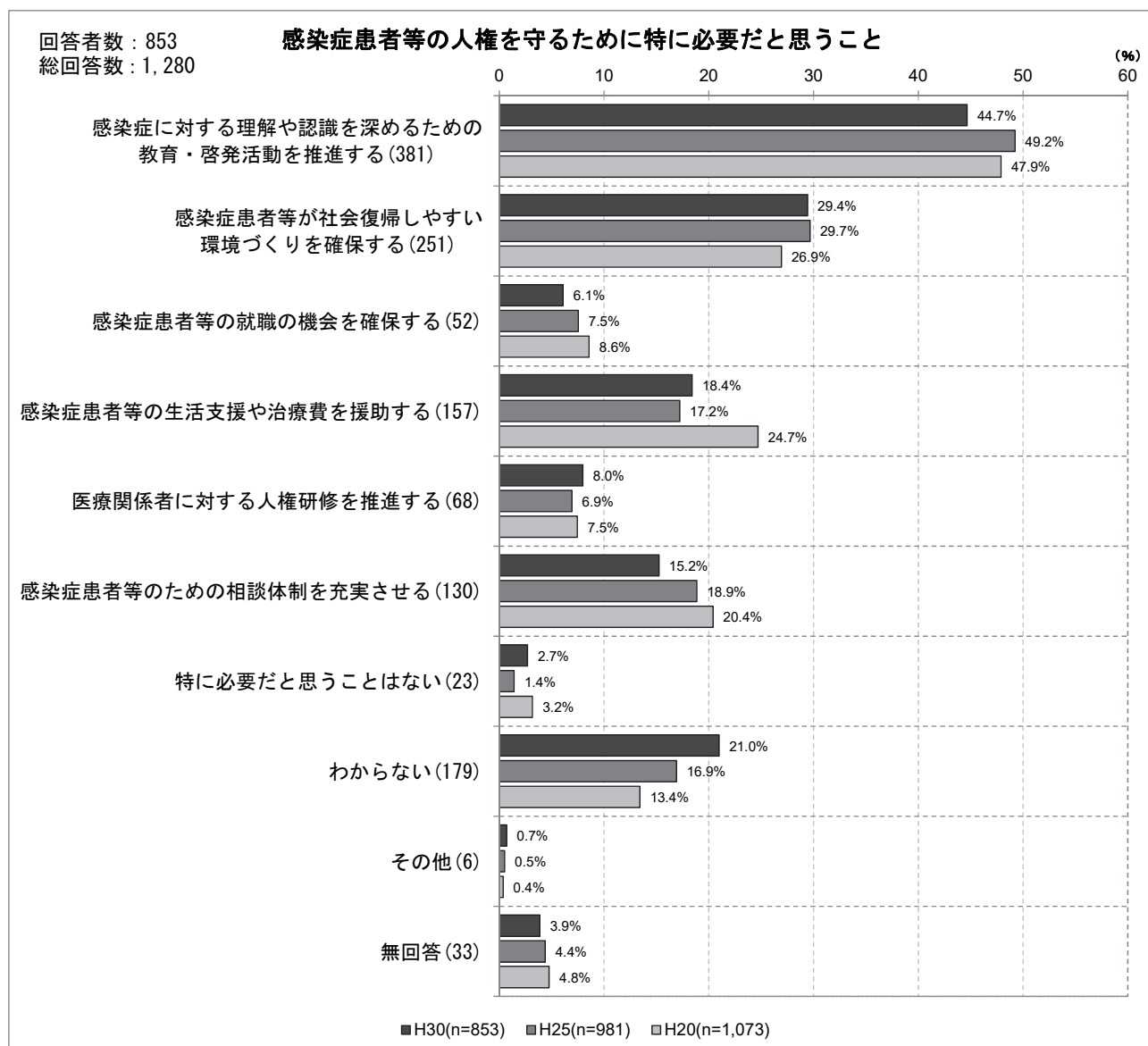
問30 感染症患者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「感染症に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が44.7%で最も高く、次いで「感染症患者等が社会復帰しやすい環境づくりを確保する」が29.4%、「わからない」が21.0%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前回より4.1ポイント、前々回より7.6ポイント増加している。また「感染症に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が前回より4.5ポイント、「感染症患者等の生活支援や治療費を援助する」が前々回より6.3ポイント減少している。

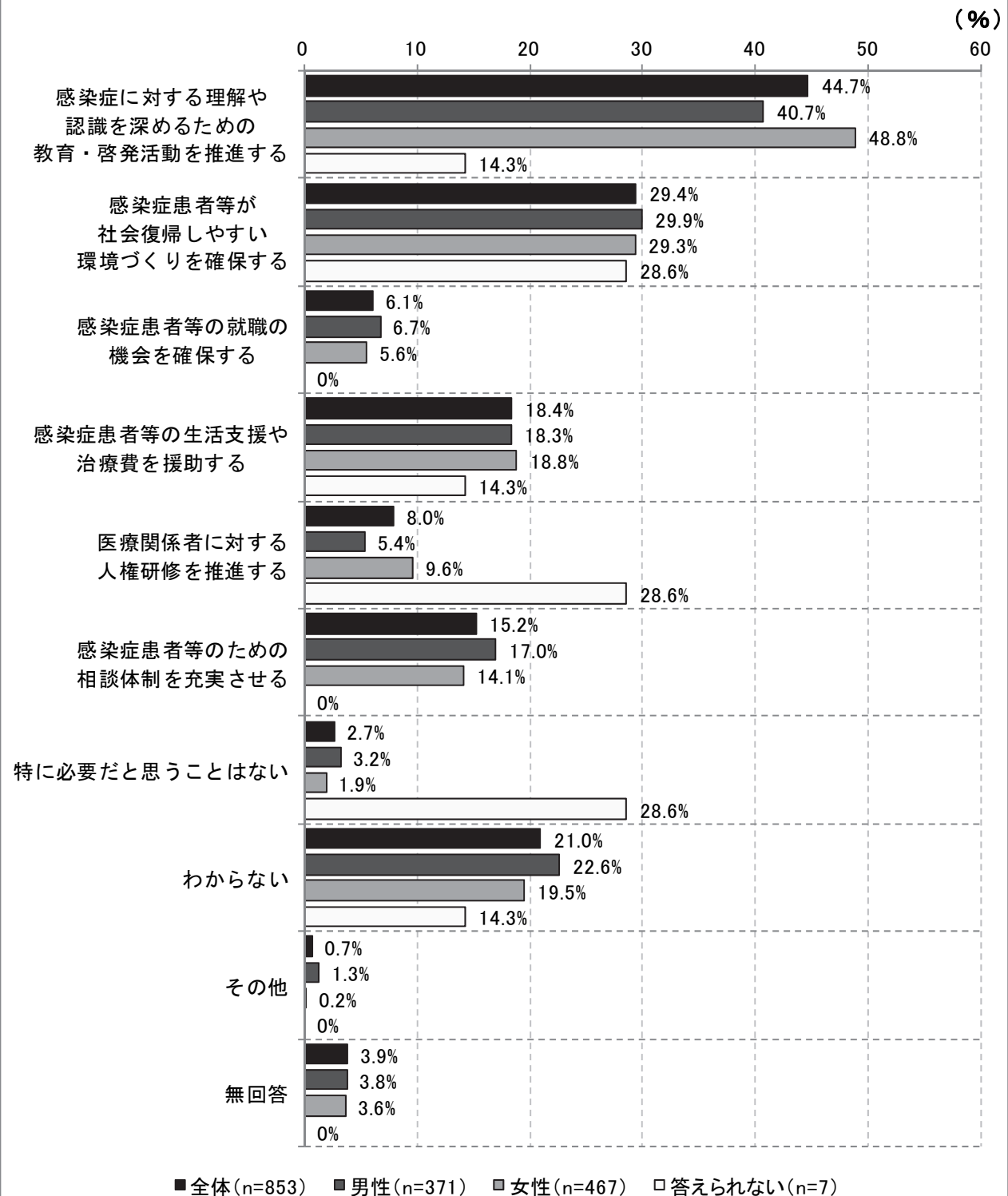


【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「感染症に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」は男性が40.7%、女性が48.8%と男女ともに最も高く、女性が男性より8.1ポイント高くなっている。

回答者数:853
総回答数:1,280

感染症患者等の人権を守るために特に必要だと思うこと【男女別】

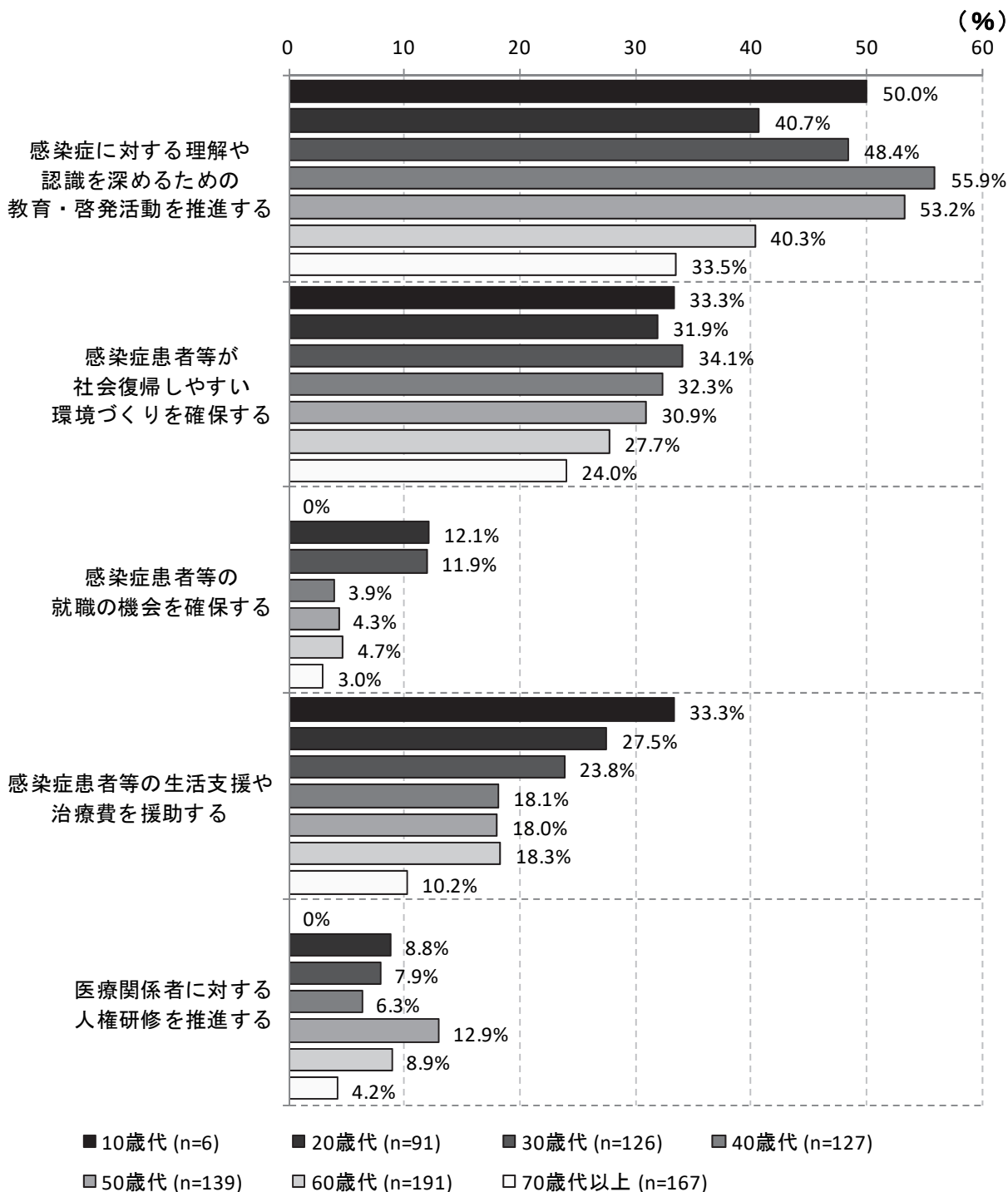


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、すべての年代で「感染症に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が最も高く、加えて70歳代以上では「わからない」も同率で高くなっている。

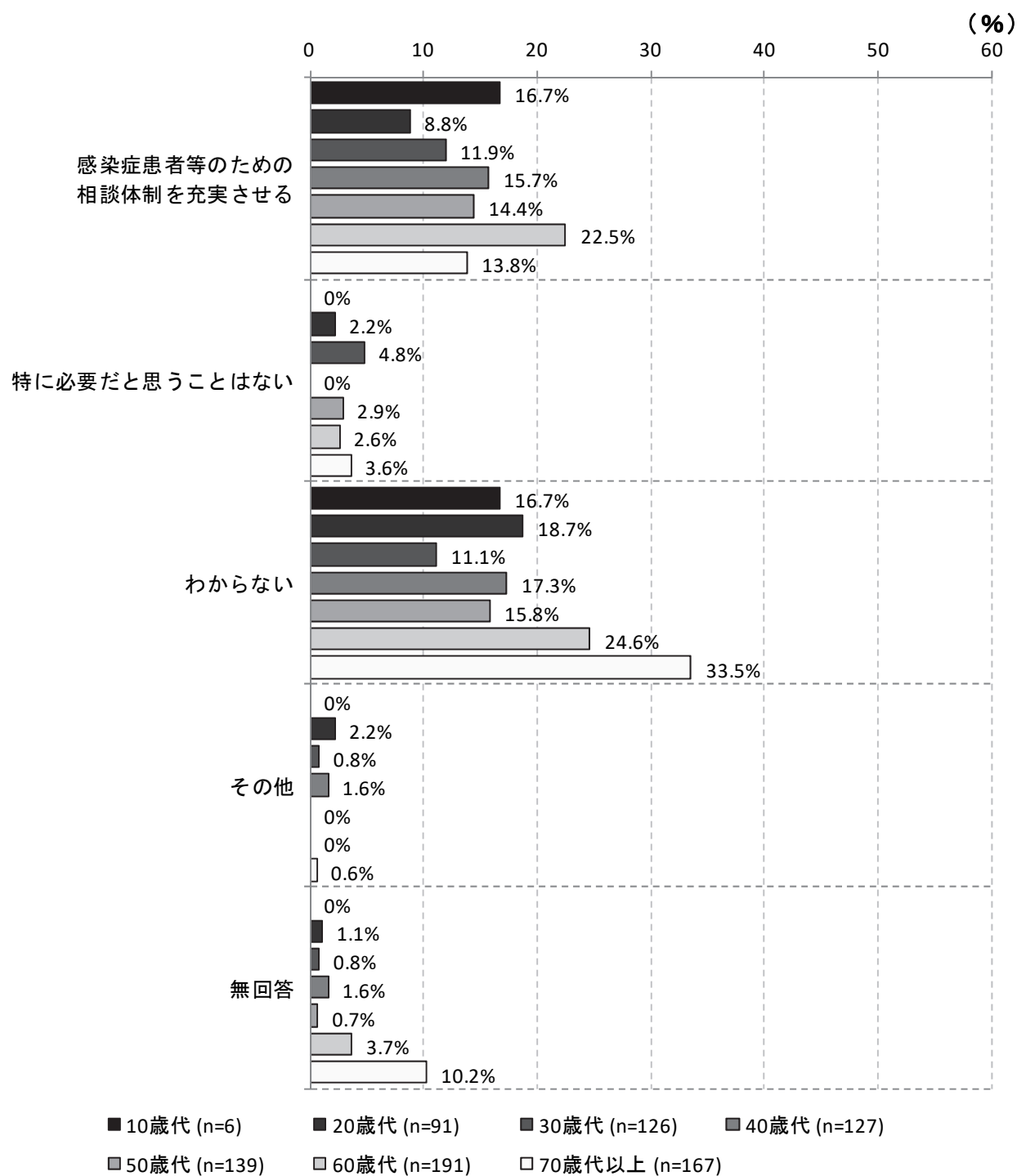
回答者数:853
総回答数:1,280

感染症患者等の人権を守るために特に必要だと思うこと【年代別】



回答者数:853
総回答数:1,280

感染症患者等の人権を守るために特に必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・教育
- ・知識がない事が悪
- ・感染症患者にどのような人権問題があるかを知らない
- ・病院への設備投資 等

11 刑を終えて出所した人の人権について

11-1 刑を終えて出所した人との付き合い

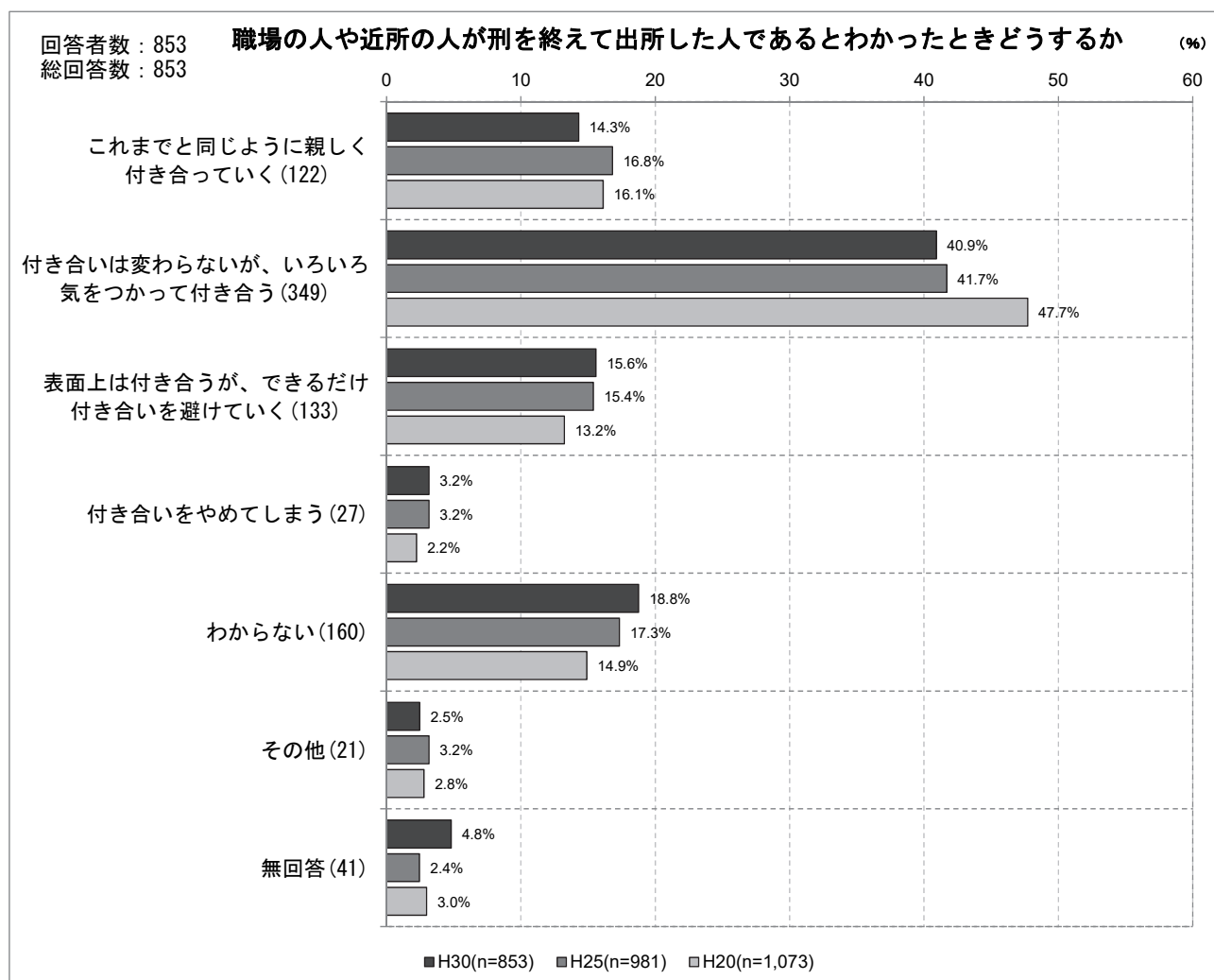
問31 日頃から親しく付き合っている職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、どうしますか。(〇は1つ)

【全体】

- ◆ 「付き合いは変わらないが、いろいろ気をつかって付き合う」が40.9%で最も高く、次いで「わからない」が18.8%、「表面上は付き合うが、できるだけ付き合いを避けていく」が15.6%の順になっている。

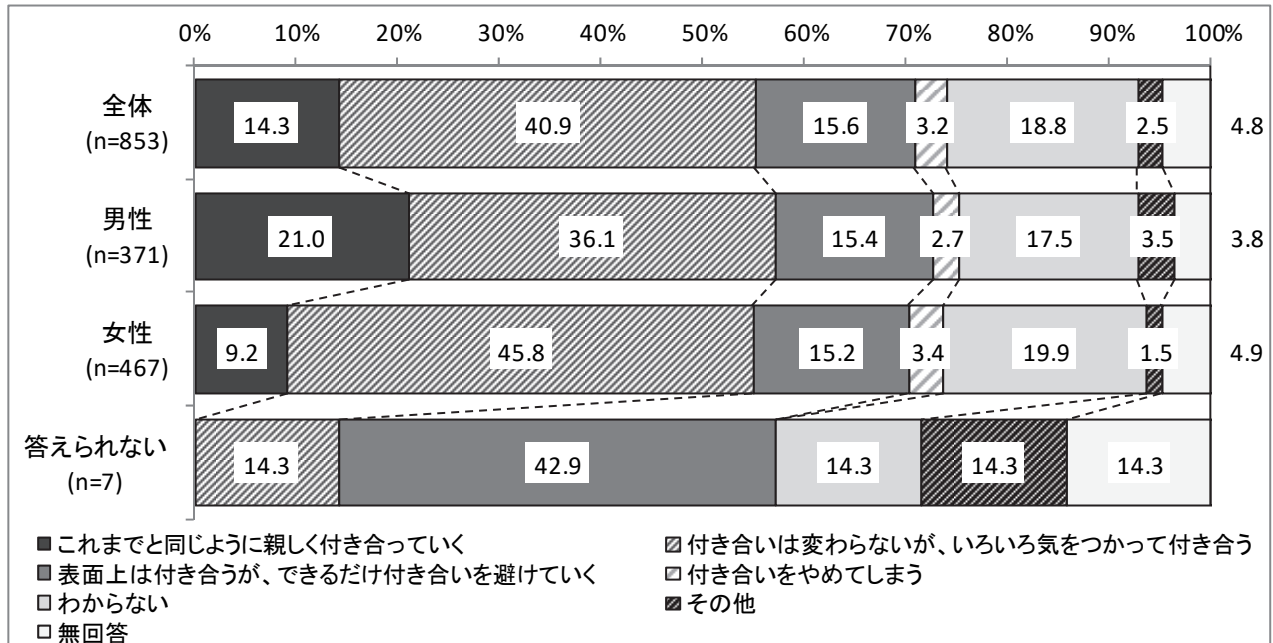
【前回・前々回との差】

- ◆ 「わからない」が前々回より3.9ポイント増加している。また「これまでと同じように親しく付き合っていく」が前回より2.5ポイント、「付き合いは変わらないが、いろいろ気をつかって付き合う」が前々回より6.8ポイント減少している。



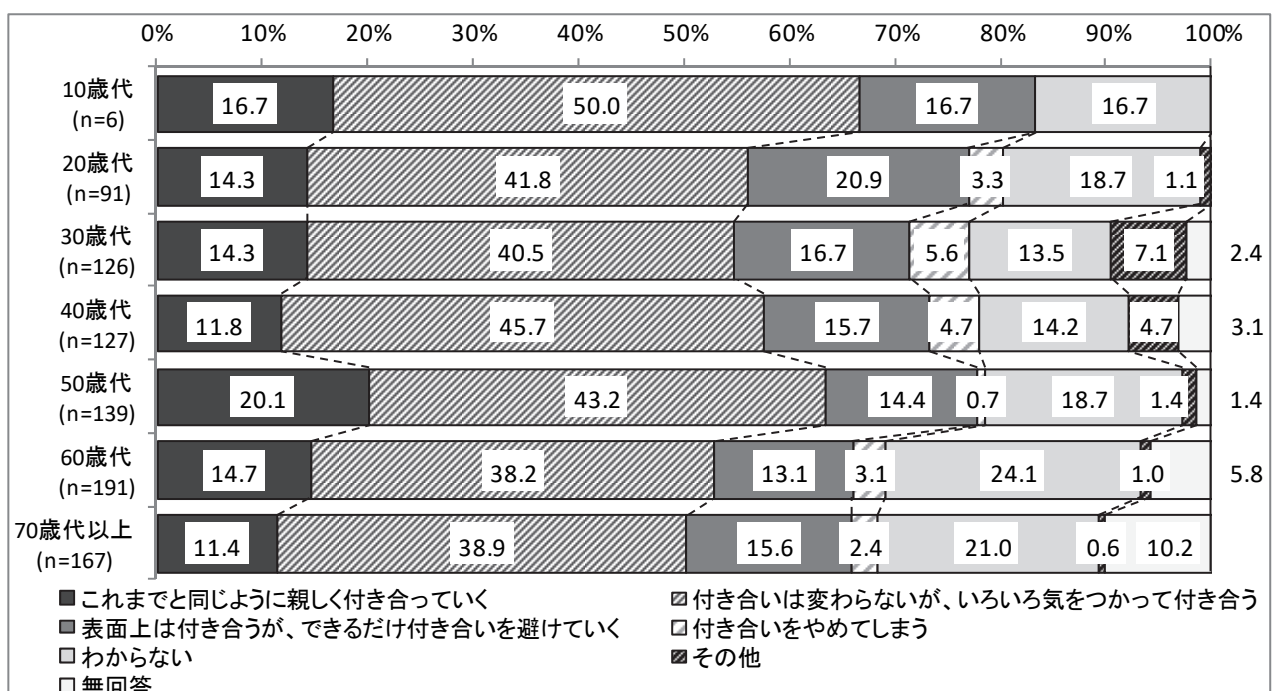
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「付き合いは変わらないが、いろいろ気をつかって付き合う」は男性が36.1%、女性が45.8%と男女ともに最も高くなっている。「これまでと同じように親しく付き合っていく」は女性より男性が11.8ポイント高くなっている。



【年代別】

- ◆ 年代別でみると、すべての年代で「付き合いは変わらないが、いろいろ気をつかって付き合う」が最も高くなっている。



【数表】 11-1 職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったときどうするか

[上段:件、下段:%]

項目	区分	これまでと同じように親しく付き合い	付き合いは変わるが、付き合いは変わらない	付き合いは変わらない	付き合いをやめてしまう	わからない	その他	無回答	総回答
全体 (n=853)	回答数	122	349	133	27	160	21	41	853
	回答率	14.3%	40.9%	15.6%	3.2%	18.8%	2.5%	4.8%	100.1%
男性 (n=371)	回答数	78	134	57	10	65	13	14	371
	回答率	21.0%	36.1%	15.4%	2.7%	17.5%	3.5%	3.8%	100.0%
女性 (n=467)	回答数	43	214	71	16	93	7	23	467
	回答率	9.2%	45.8%	15.2%	3.4%	19.9%	1.5%	4.9%	99.9%
答えられない (n=7)	回答数	0	1	3	0	1	1	1	7
	回答率	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	100.1%
10歳代 (n=6)	回答数	1	3	1	0	1	0	0	6
	回答率	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.1%
20歳代 (n=91)	回答数	13	38	19	3	17	1	0	91
	回答率	14.3%	41.8%	20.9%	3.3%	18.7%	1.1%	0.0%	100.1%
30歳代 (n=126)	回答数	18	51	21	7	17	9	3	126
	回答率	14.3%	40.5%	16.7%	5.6%	13.5%	7.1%	2.4%	100.1%
40歳代 (n=127)	回答数	15	58	20	6	18	6	4	127
	回答率	11.8%	45.7%	15.7%	4.7%	14.2%	4.7%	3.1%	99.9%
50歳代 (n=139)	回答数	28	60	20	1	26	2	2	139
	回答率	20.1%	43.2%	14.4%	0.7%	18.7%	1.4%	1.4%	99.9%
60歳代 (n=191)	回答数	28	73	25	6	46	2	11	191
	回答率	14.7%	38.2%	13.1%	3.1%	24.1%	1.0%	5.8%	100.0%
70歳代以上 (n=167)	回答数	19	65	26	4	35	1	17	167
	回答率	11.4%	38.9%	15.6%	2.4%	21.0%	0.6%	10.2%	100.1%

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答】

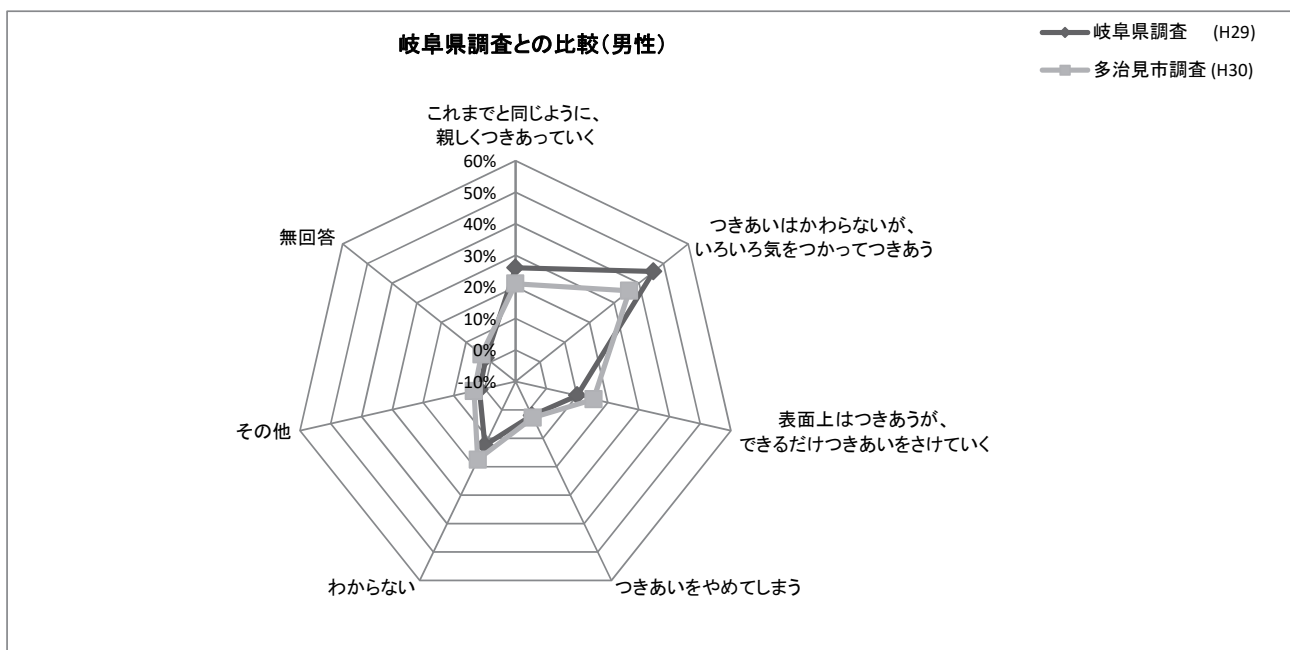
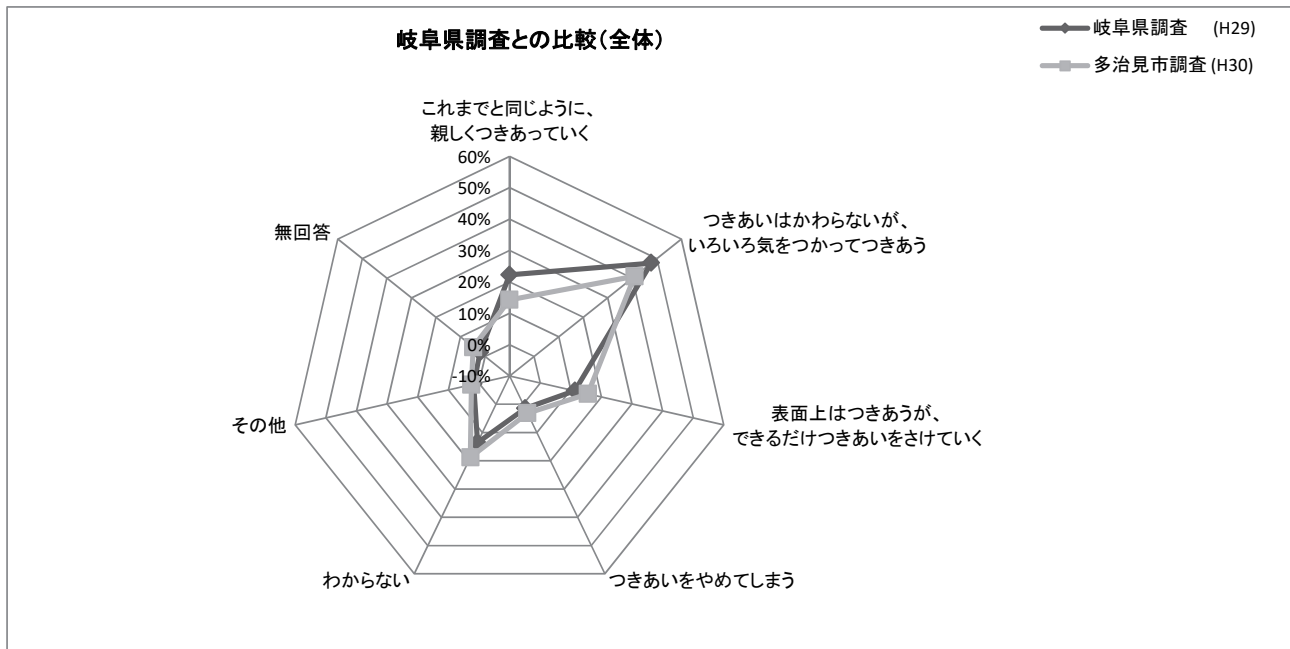
その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・何をやったかやその背景によって対応は異なる
- ・相手がかかわらず接してくるならこれまでと同じように接する
- ・どんな犯罪か、親しさにもよると思う 等

11－2 参考：岐阜県調査との比較（日頃から親しく付き合っている職場の人や近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき）

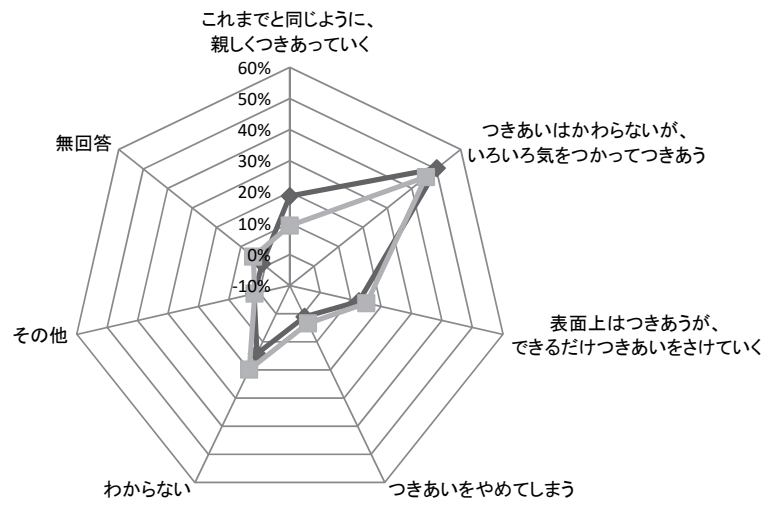
【岐阜県調査との比較】

岐阜県調査と比較すると、項目別には多少の差はあるが、全体的には同じ傾向にある。



岐阜県調査との比較(女性)

岐阜県調査 (H29)
多治見市調査 (H30)



11-3 刑を終えて出所した人の人権を守るために必要なこと

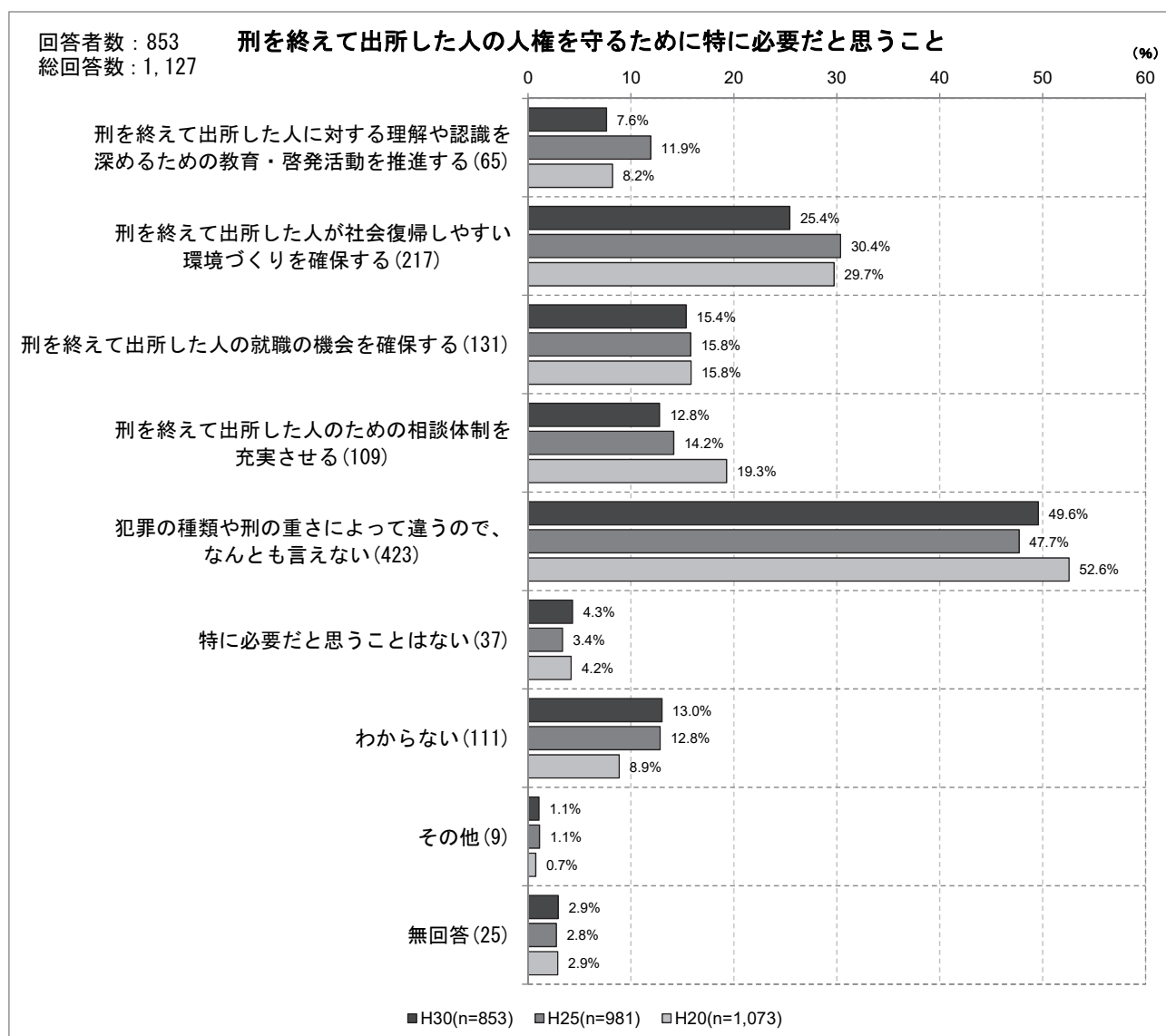
問32 刑を終えて出所した人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。
(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が49.6%で最も高く、次いで「刑を終えて出所した人が社会復帰しやすい環境づくりを確保する」が25.4%、「刑を終えて出所した人の就職の機会を確保する」が15.4%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が前回より1.9ポイント、「わからない」が前々回より4.1ポイント増加している。また「刑を終えて出所した人が社会復帰しやすい環境づくりを確保する」が前回より5.0ポイント、「刑を終えて出所した人のための相談体制を充実させる」が前々回より6.5ポイント減少している。

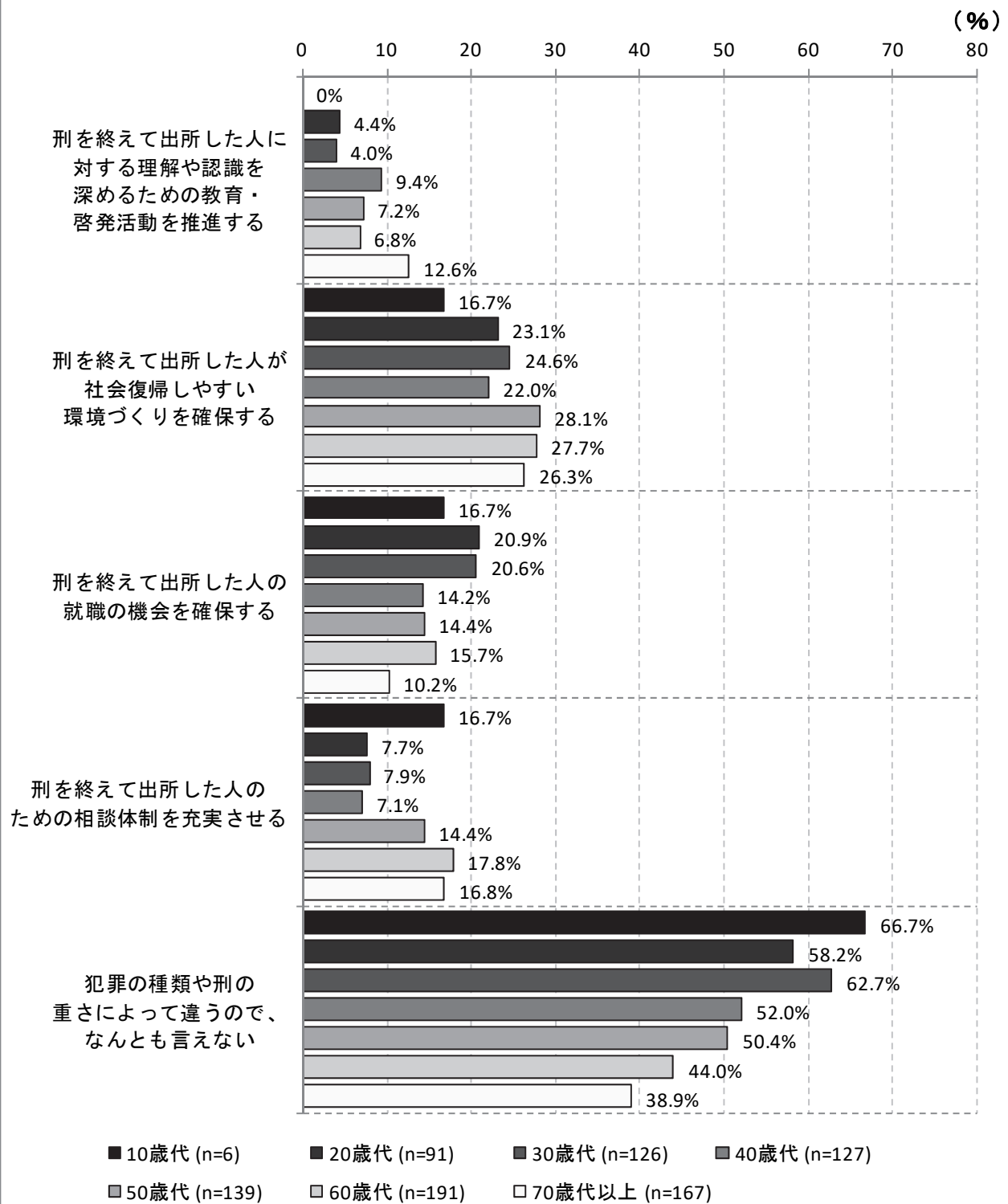


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、すべての年代で「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が最も高くなっている。

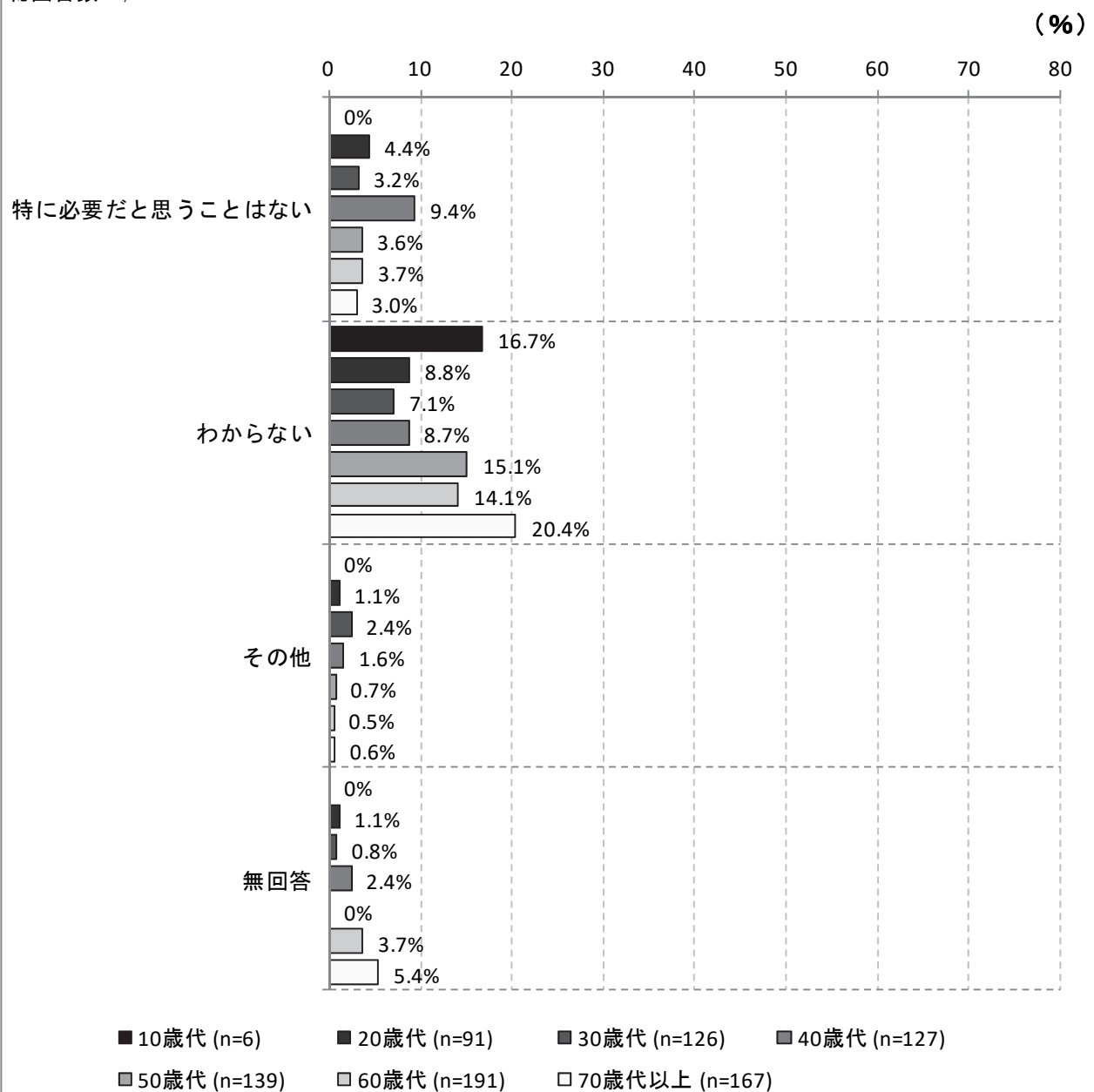
回答者数: 853
総回答数: 1,127

刑を終えて出所した人の人権を守るために特に必要だと思うこと【年代別】



回答者数:853
総回答数:1,127

刑を終えて出所した人の人権を守るために特に必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・名前と戸籍を変えられる法律を作る
- ・新しい土地での受け入れ体制の充実引っ越し費用全額支援
- ・本人の自覚 等

12 犯罪被害者とその家族の人権について

12-1 犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題だと思うこと

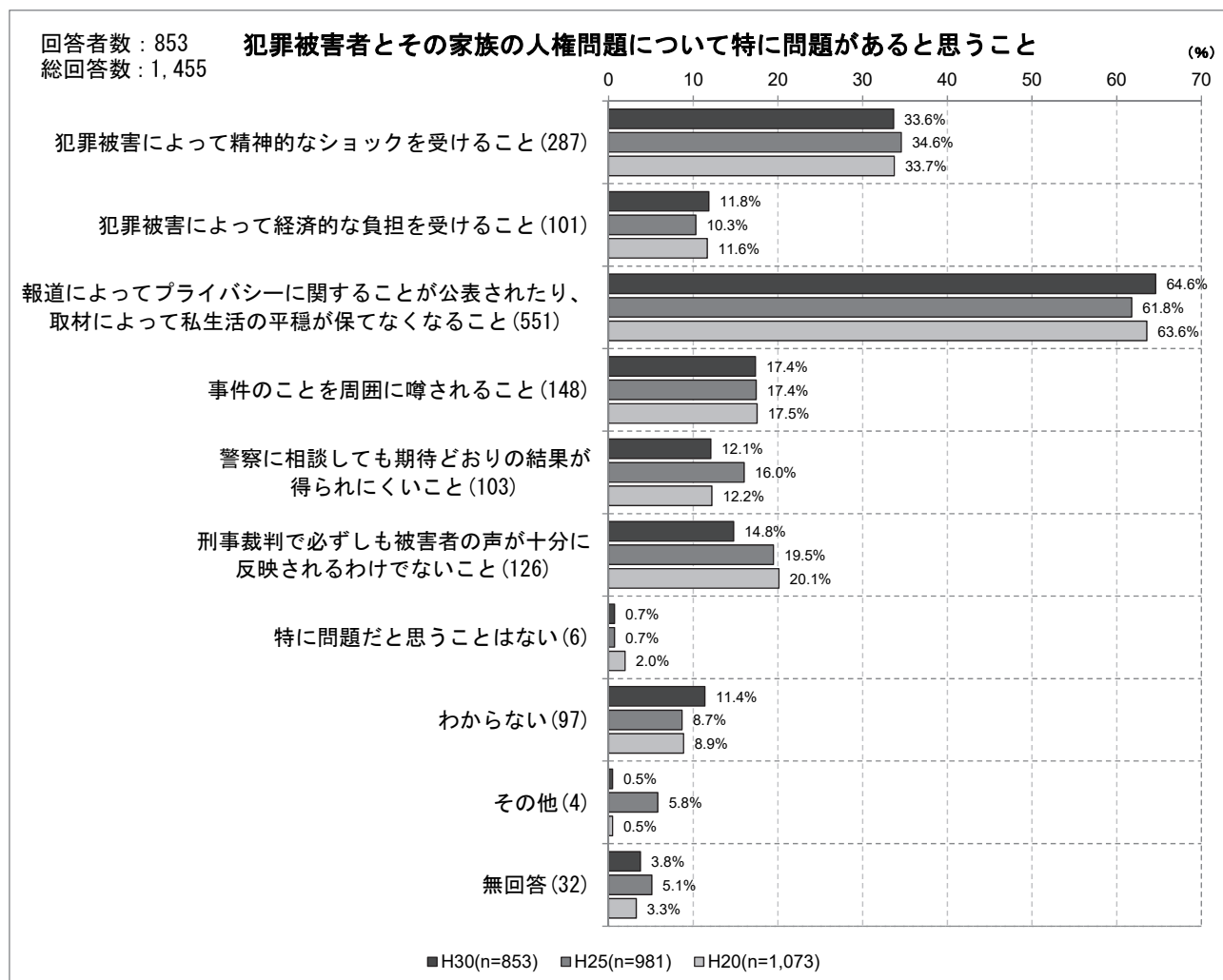
問33 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は2つまで)

【全体】

- ◆ 「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」が64.6%で最も高く、次いで「犯罪被害によって精神的なショックを受けること」が33.6%、「事件のことを周囲に噂されること」が17.4%の順になっている。

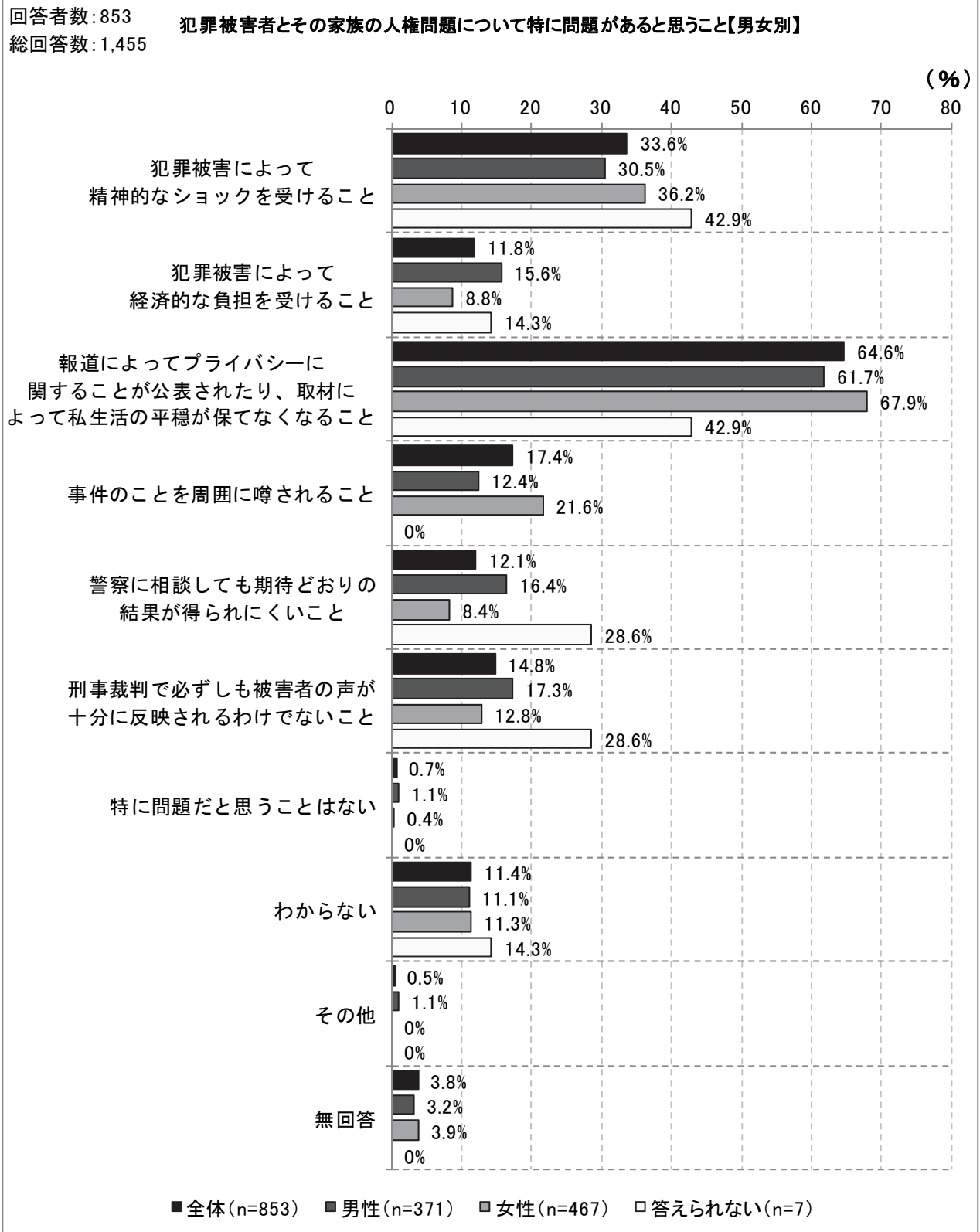
【前回・前々回との差】

- ◆ 「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」が前回より2.8ポイント、「わからない」が前々回より2.5ポイント増加している。また「刑事裁判で必ずしも被害者の声が十分に反映されるわけでないこと」が前々回より5.3ポイント減少している。



【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」とは男性が 61.7%、女性が 67.9%と男女ともに最も高くなっている。「事件のことを周囲に噂されること」は男性より女性が 9.2 ポイント高くなっている。

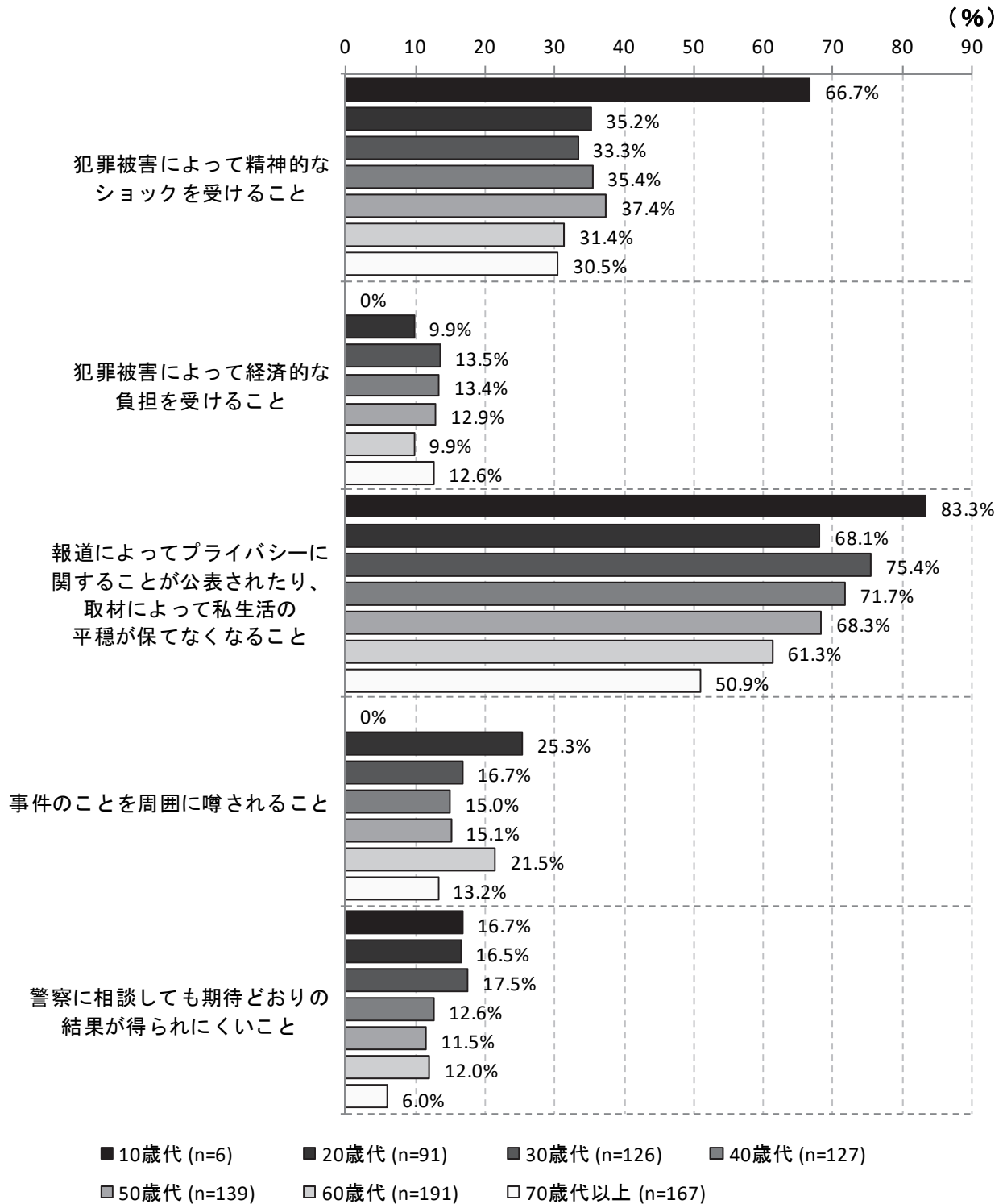


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、すべての年代で「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」とが最も高くなっている。

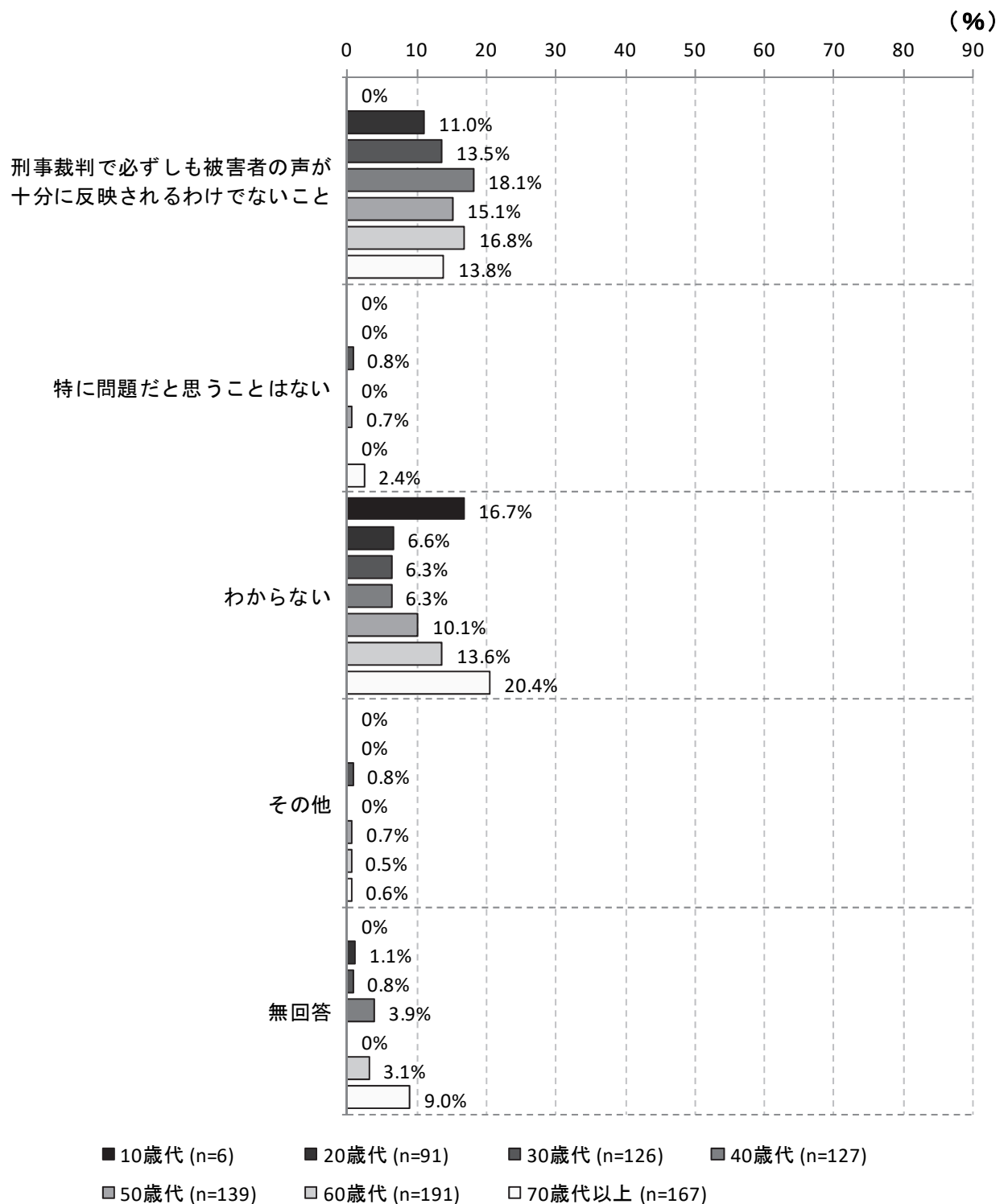
回答者数: 853
総回答数: 1,455

犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



回答者数:853
総回答数:1,455

犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・裁判で被害の詳細を話すつらさ詳しく話さなければ勝てないとドラマで見ました
- ・刑を終えて出所すれば終りではない被害者の事を考えさせよ
- ・被害者にどのような人権問題があるかを知らない 等

12-2 犯罪被害者とその家族の人権を守るために必要なこと

問34 犯罪被害者とその家族の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

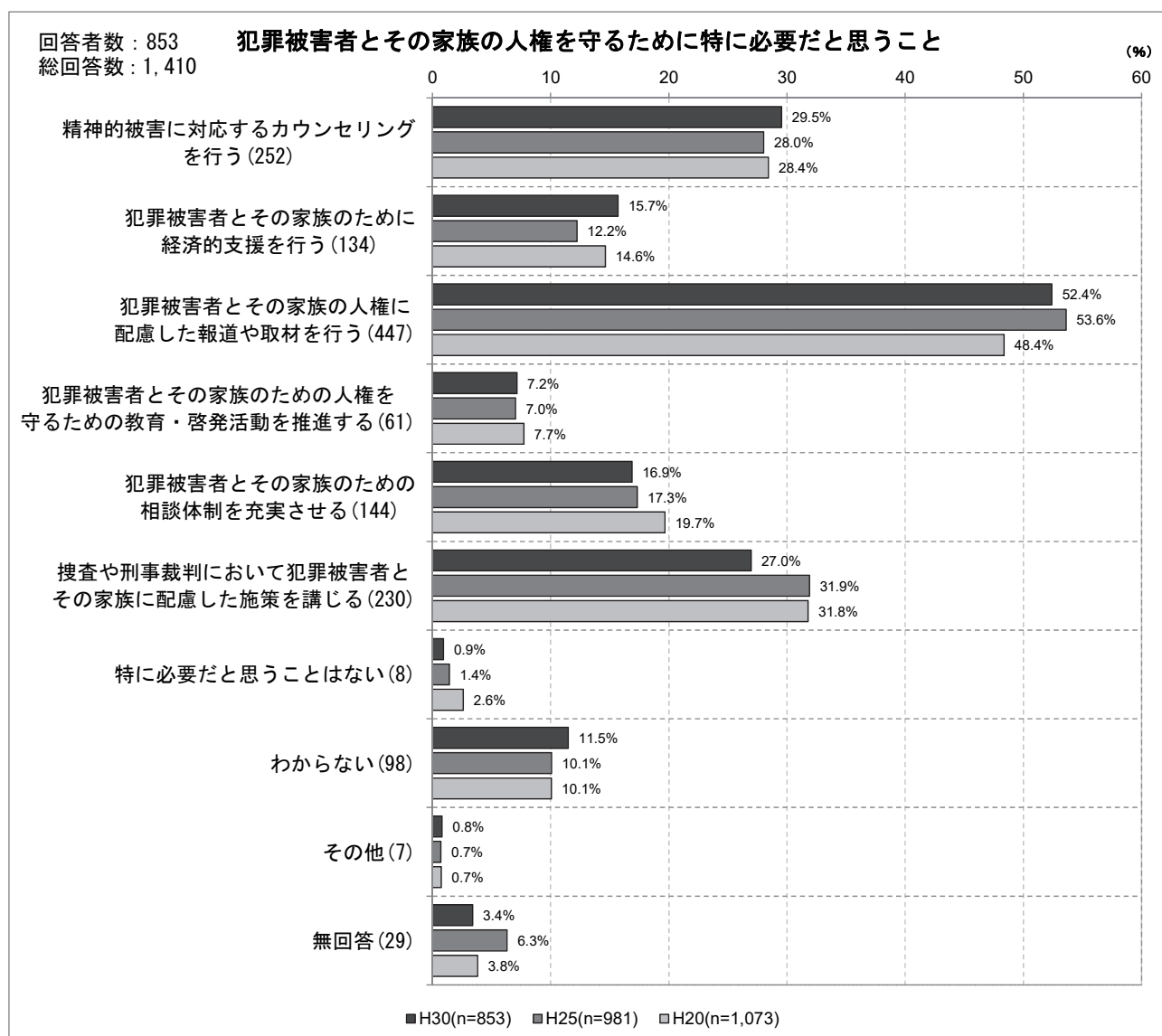
(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」が52.4%で最も高く、次いで「精神的被害に対応するカウンセリングを行う」が29.5%、「捜査や刑事裁判において犯罪被害者とその家族に配慮した施策を講じる」が27.0%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「犯罪被害者とその家族のために経済的支援を行う」が前回より3.5ポイント、「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」が前々回より4.0ポイント増加している。また「捜査や刑事裁判において犯罪被害者とその家族に配慮した施策を講じる」が前回より4.9ポイント、前々回より4.8ポイント減少している。

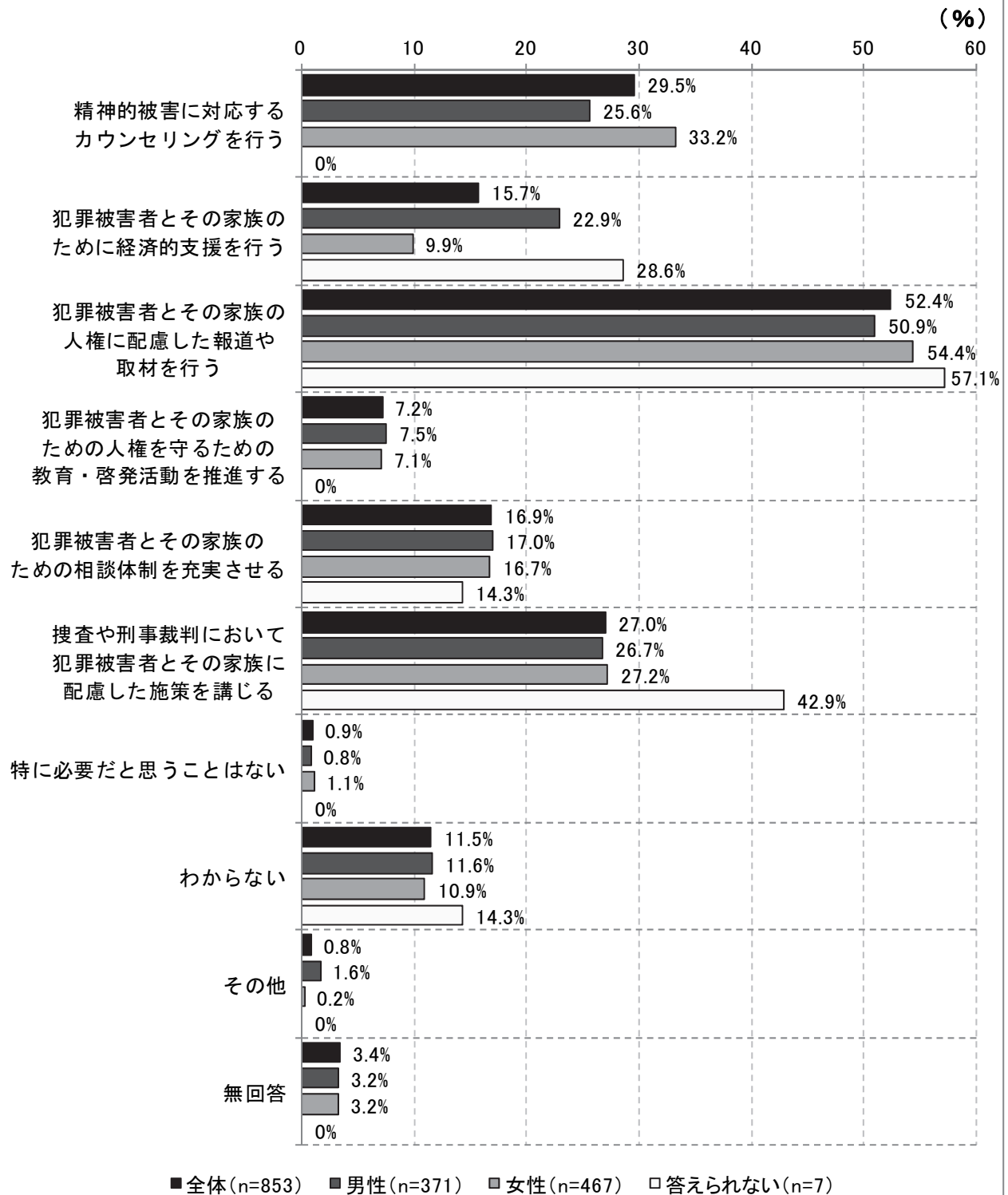


【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」は男性が 50.9%、女性が 54.4%と男女ともに最も高くなっている。「犯罪被害者とその家族のために経済的支援を行う」は女性より男性が 13.0 ポイント高くなっている。

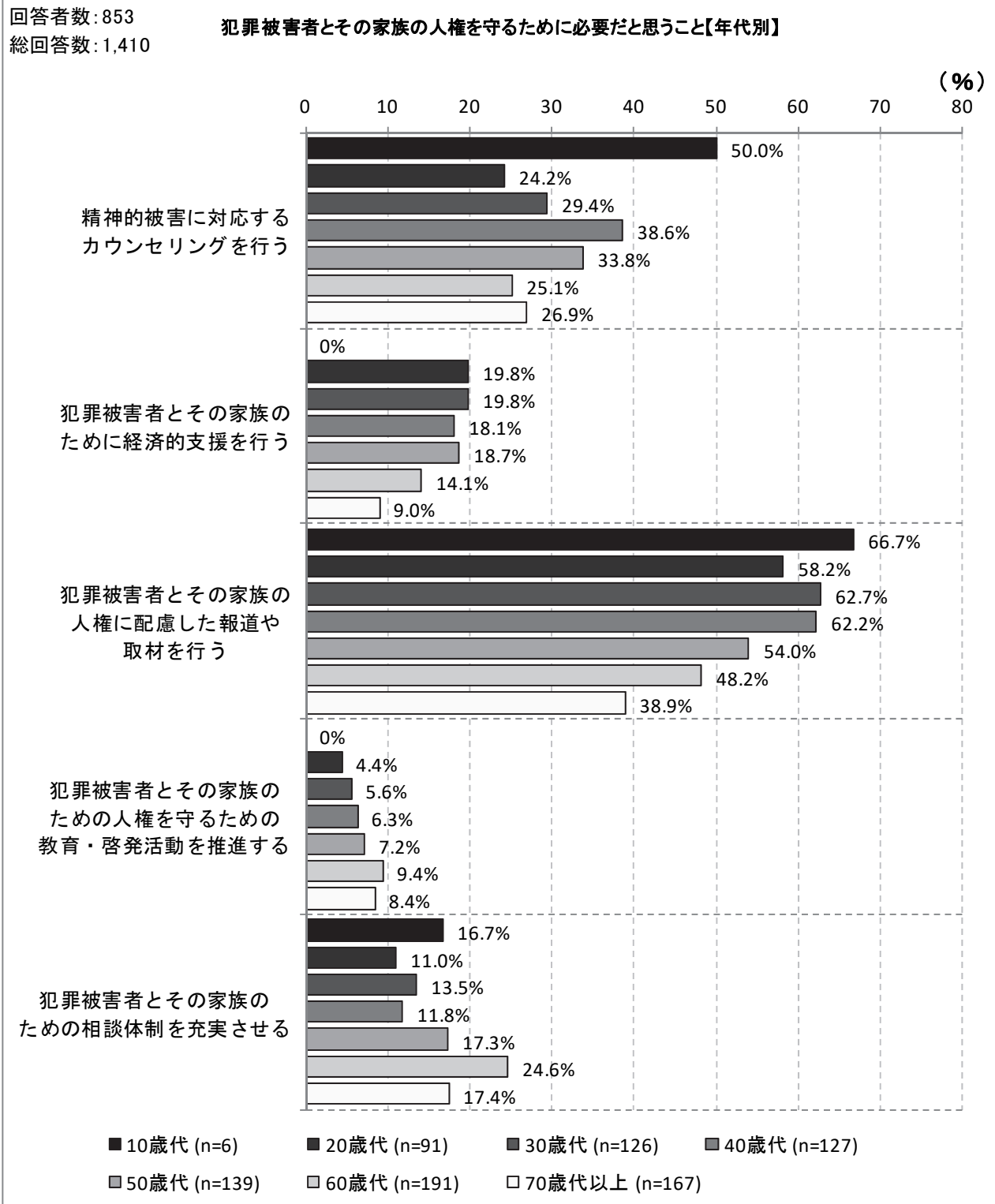
回答者数: 853
総回答数: 1,410

犯罪被害者とその家族の人権を守るために必要だと思うこと【男女別】



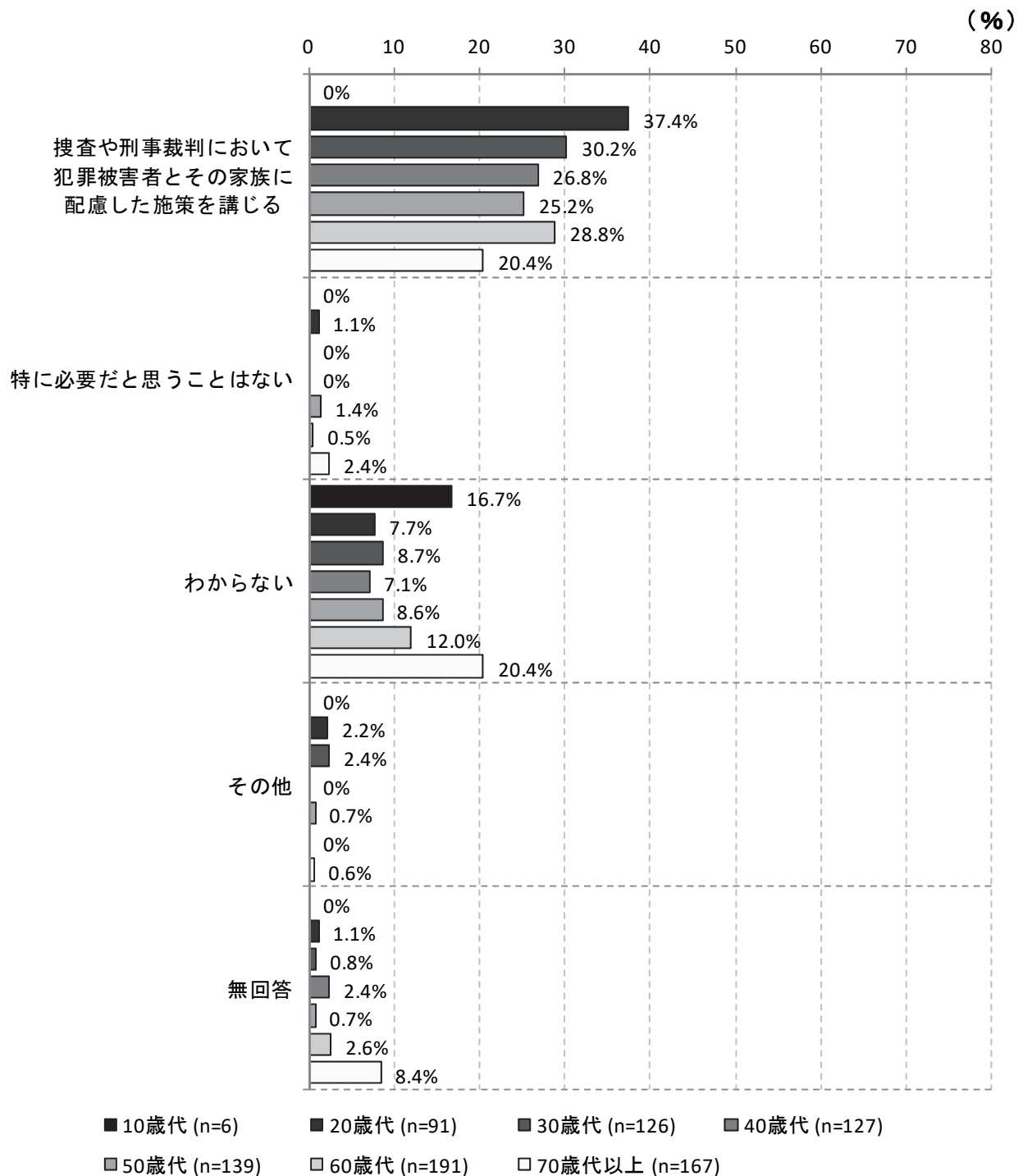
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、すべての年代で「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」が最も高くなっている。



回答者数:853
総回答数:1,410

犯罪被害者とその家族の人権を守るために必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・これは全部、必要だと思う被害者の立場になればわかると思う
- ・被害者にどのような人権問題があるかを知らない
- ・犯罪の種類によっても異なるから一概には言えないが、加害者側が時間をかけてでも経済的な賠償をする法律を作る
- ・報道しないで下さい 等

13 インターネットによる人権侵害について

13-1 インターネットによる人権侵害について特に問題だと思うこと

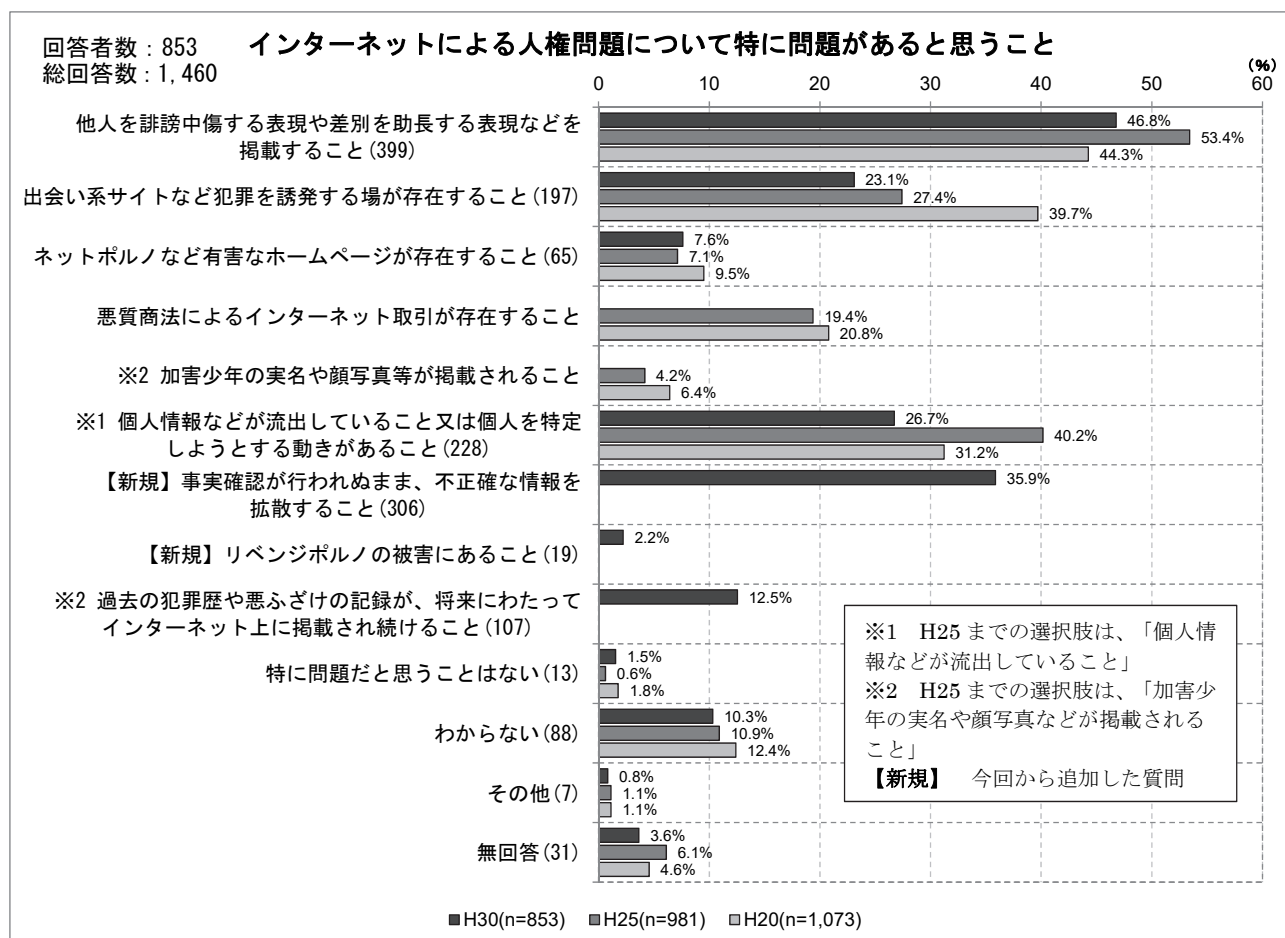
問35 インターネットによる人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は2つまで)

【全体】

- ◆ 「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などを掲載すること」が 46.8%で最も高く、次いで「事実確認が行われぬまま、不正確な情報を拡散すること」が 35.9%、「個人情報などが流出していること又は個人を特定しようとする動きがあること」が 26.7%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「特に問題だと思うことはない」が前回より 0.9 ポイント増加している。また「個人情報などが流出していること又は個人を特定しようとする動きがあること」が前回より 13.5 ポイント、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場が存在すること」が前々回より 16.6 ポイント減少している。

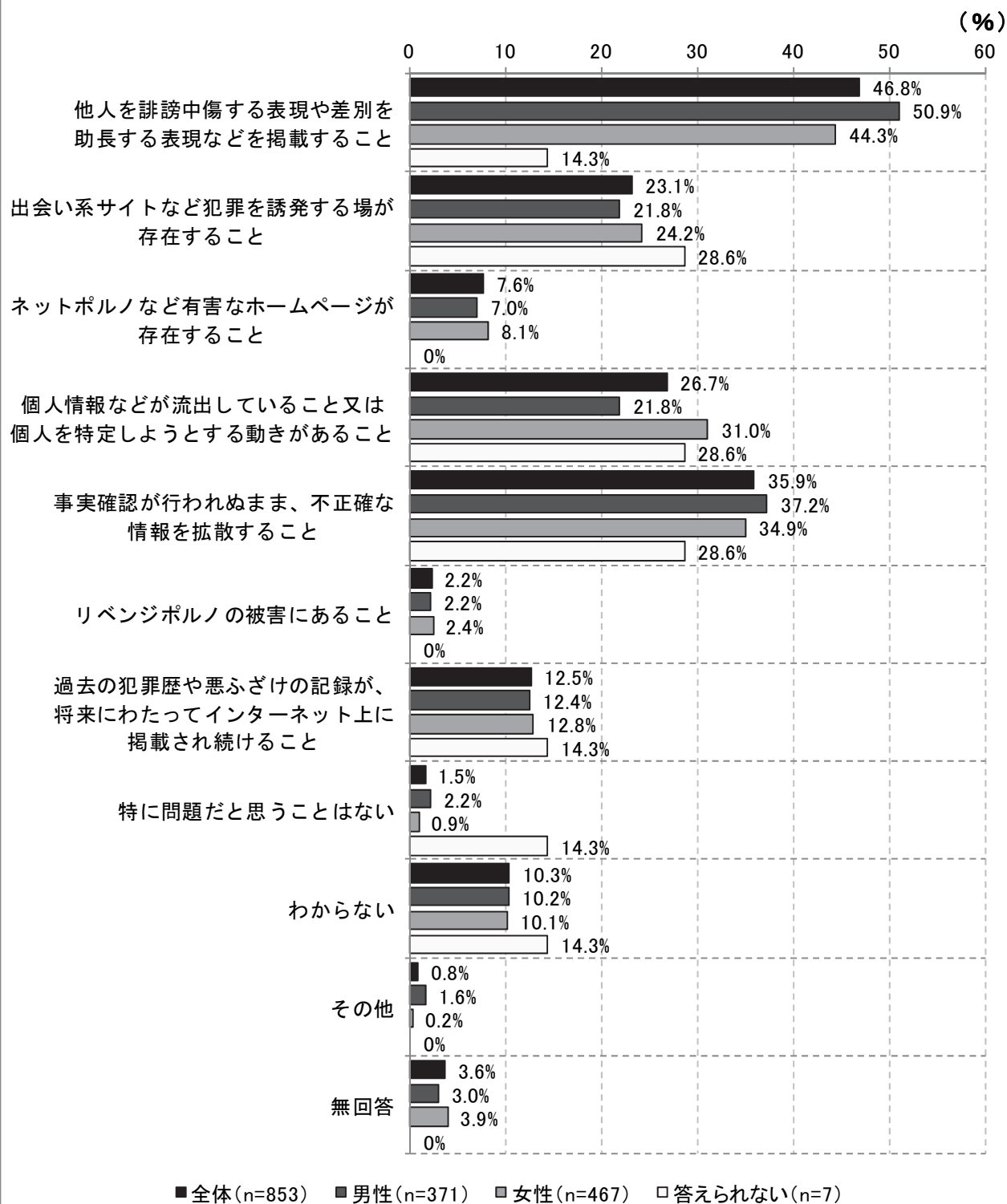


【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などを掲載すること」は男性が50.9%、女性が44.3%と男女ともに最も高くなっている。「個人情報などが流出していること又は個人を特定しようとする動きがあること」は男性より女性が9.2ポイント高くなっている。

回答者数: 853
総回答数: 1,460

インターネットによる人権侵害について特に問題があると思うこと【男女別】

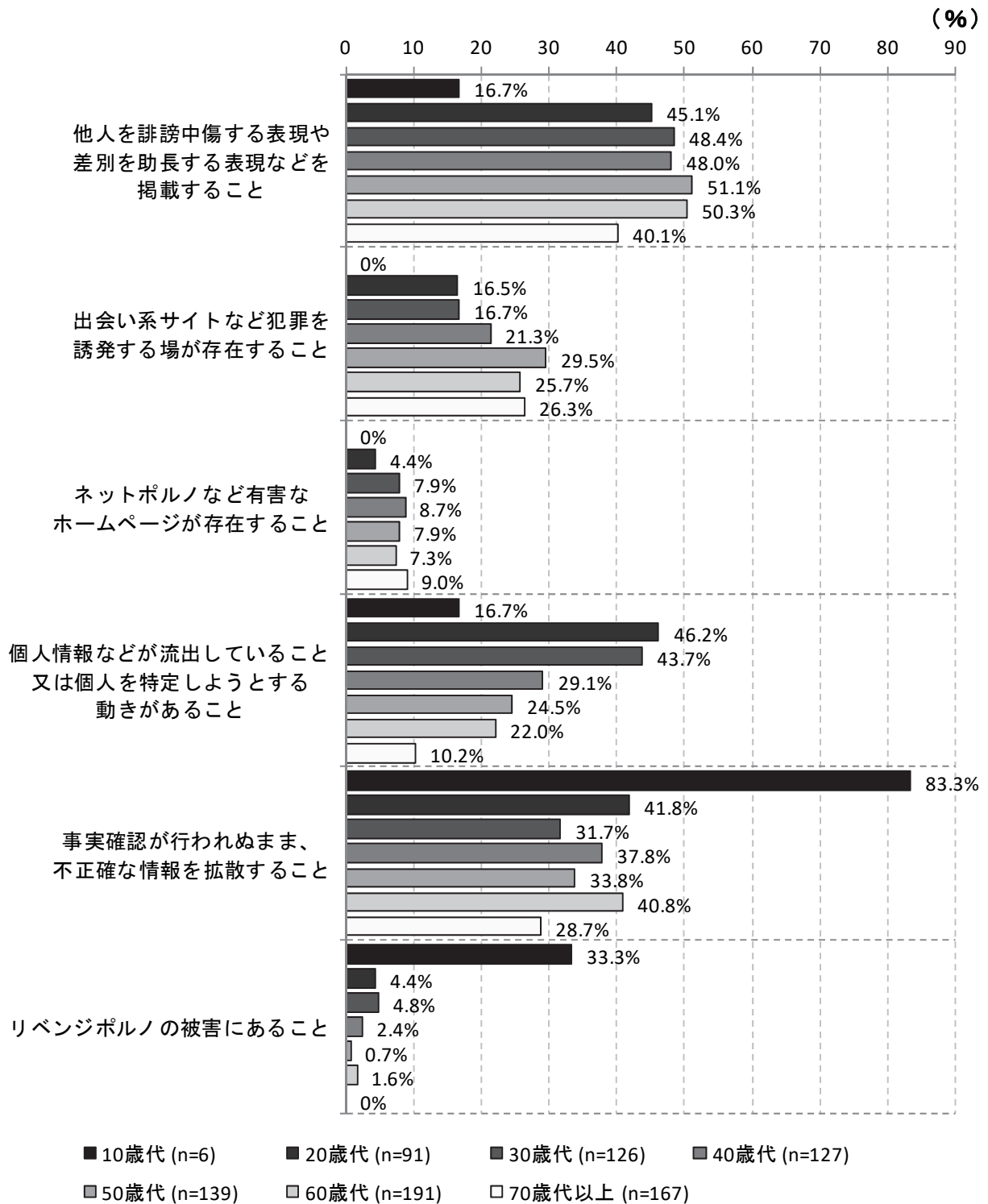


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では「事実確認が行われぬまま、不正確な情報を拡散すること」、20歳代では「個人情報などが流出していること又は個人を特定しようとする動きがあること」、30歳代以上の年代では「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などを掲載すること」が最も高くなっている。

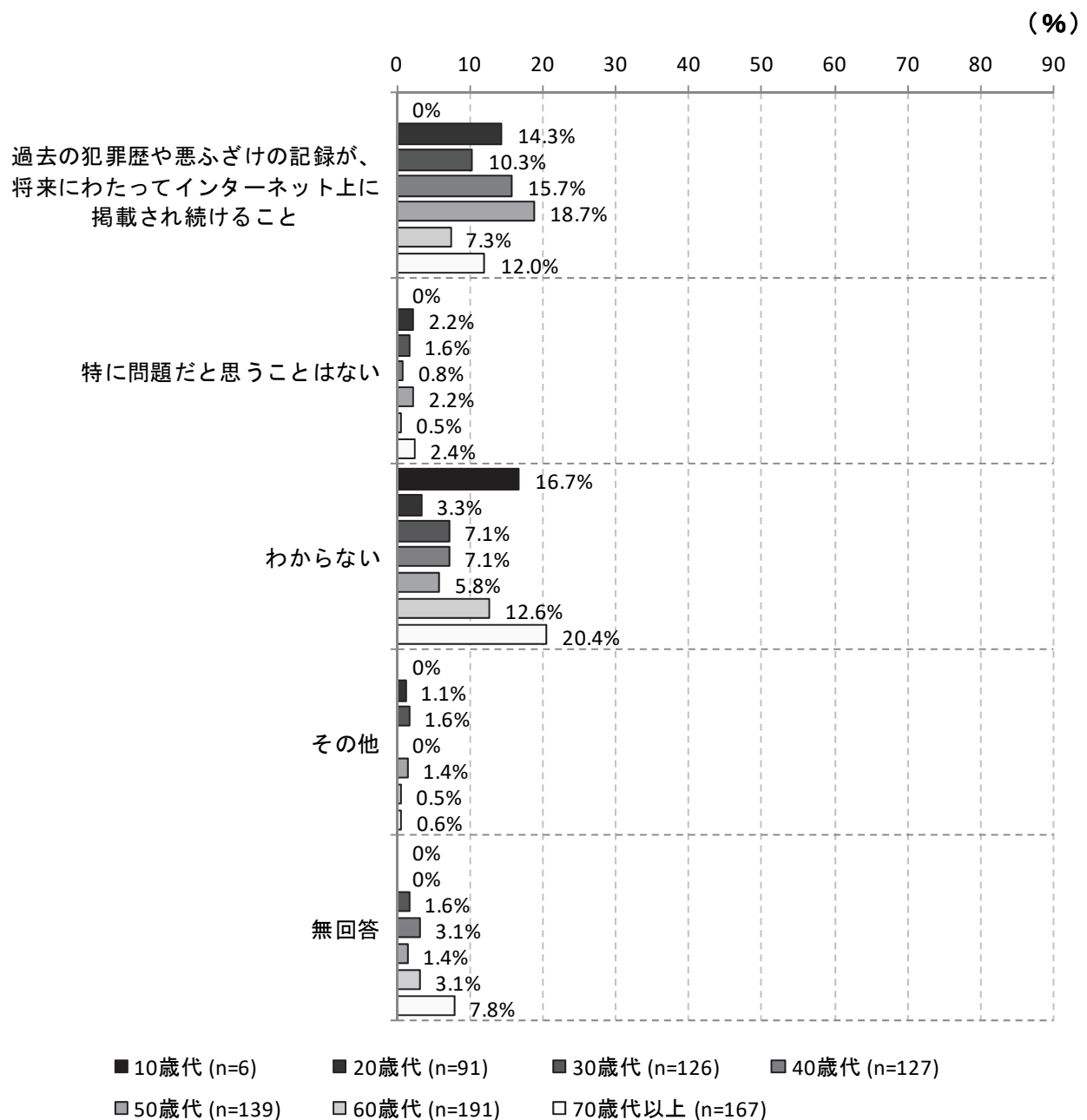
回答者数: 853
総回答数: 1,460

インターネットによる人権侵害について特に問題があると思うこと【年代別】



回答者数: 853
総回答数: 1,460

インターネットによる人権侵害について特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・（選択肢） 1～7の全部
- ・子供（特に小中学生）が使用できること
- ・賢く、正しく安全に使う以外にないと思う
- ・使う人間の良心 等

13-2 インターネットによる人権侵害を解決するために必要なこと

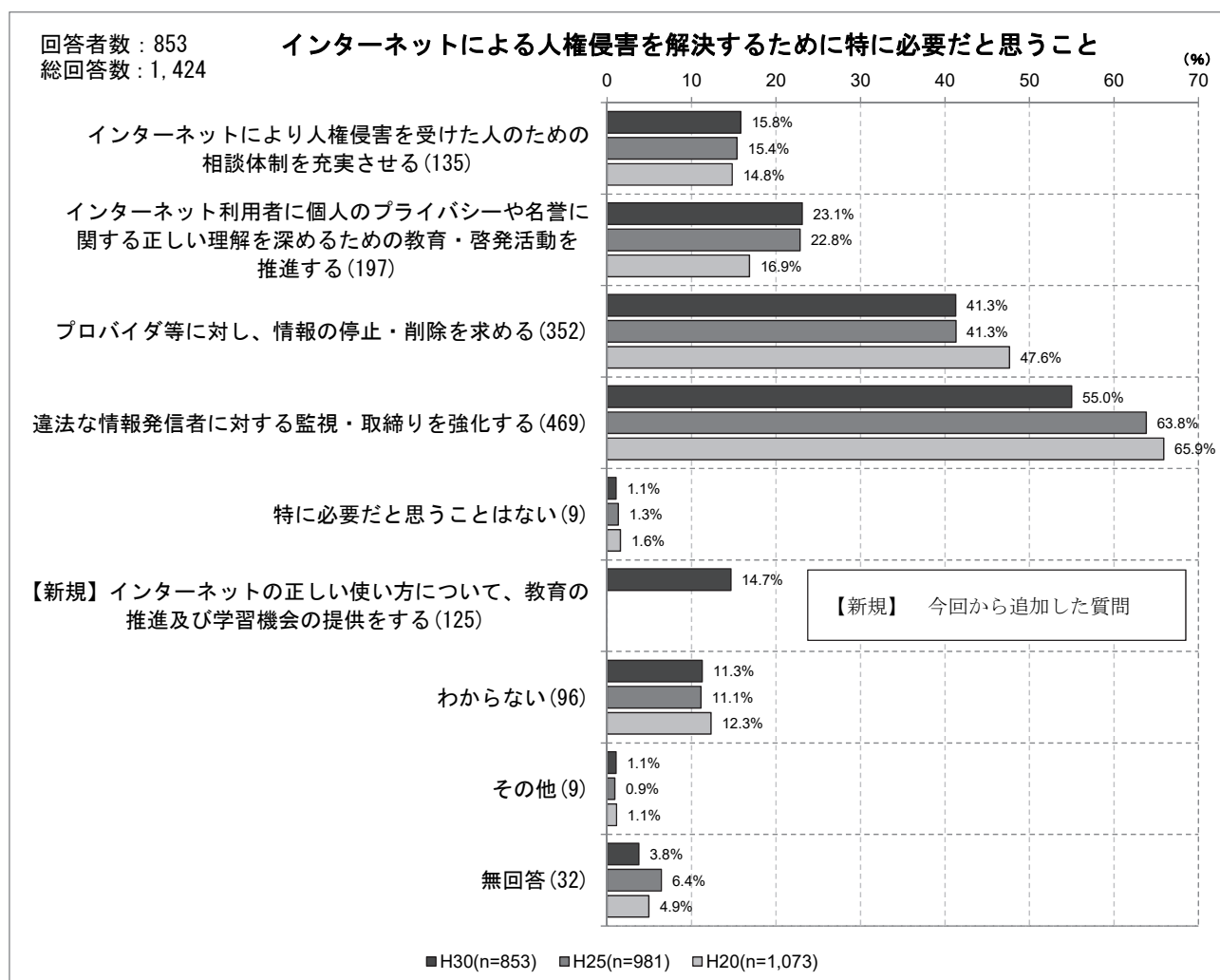
問36 インターネットによる人権侵害を解決するために、特にどのようなことが必要だと思いますか。
(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が55.0%で最も高く、次いで「プロバイダ等に対し、情報の停止・削除を求める」が41.3%、「インターネット利用者に個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」が23.1%の順になっている。

【前回・前々回との差】

- ◆ 「インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実させる」が前回より0.4ポイント、「インターネット利用者に個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」が前々回より6.2ポイント増加している。また「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が前回より8.8ポイント、前々回より10.9ポイント減少している。

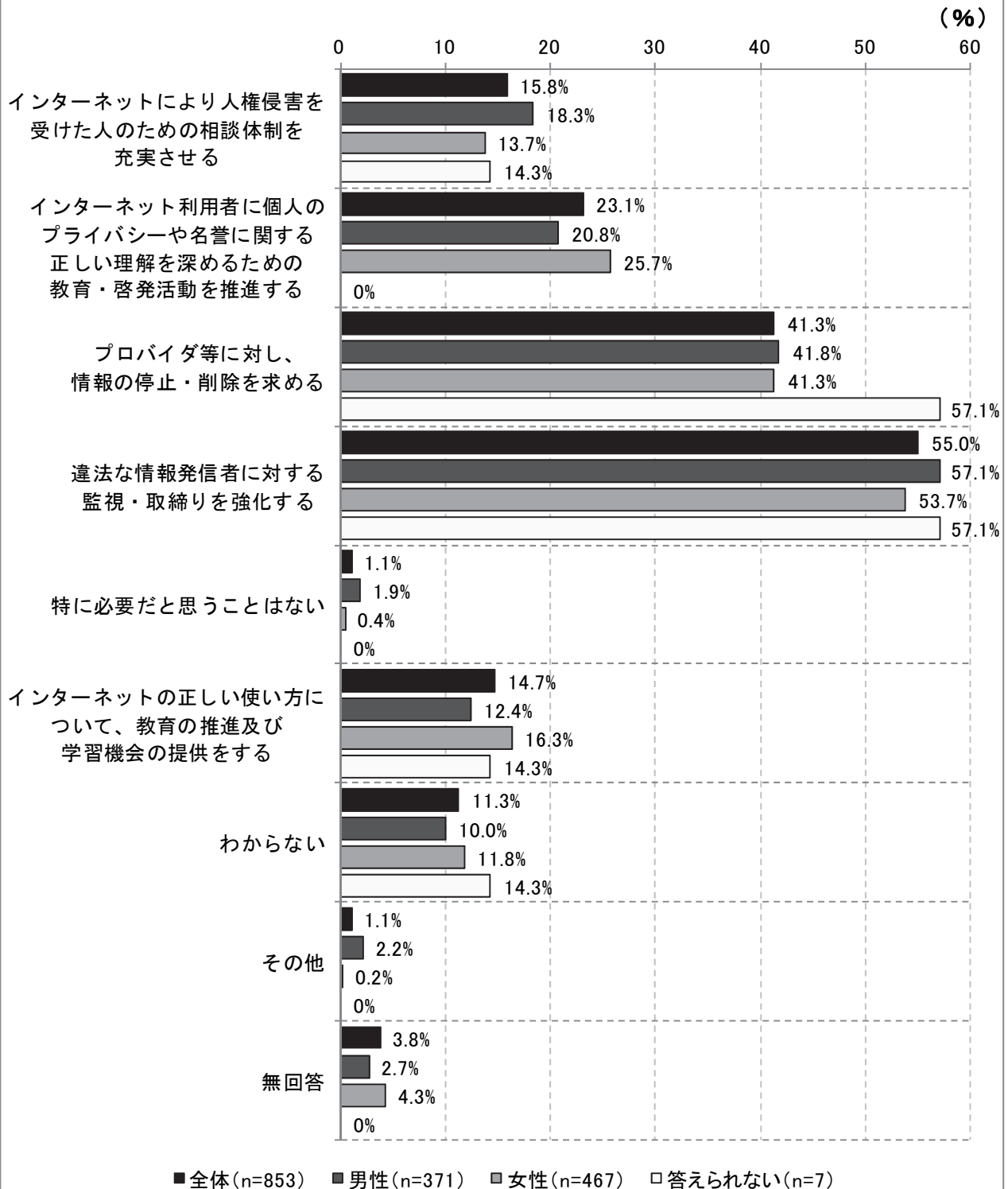


【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」は男性が 57.1%、女性が 53.7%と男女ともに最も高くなっている。「インターネット利用者に個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」は男性より女性が 4.9 ポイント高くなっている。

回答者数: 853
総回答数: 1,424

インターネットによる人権侵害を解決するために特に必要だと思うこと【男女別】

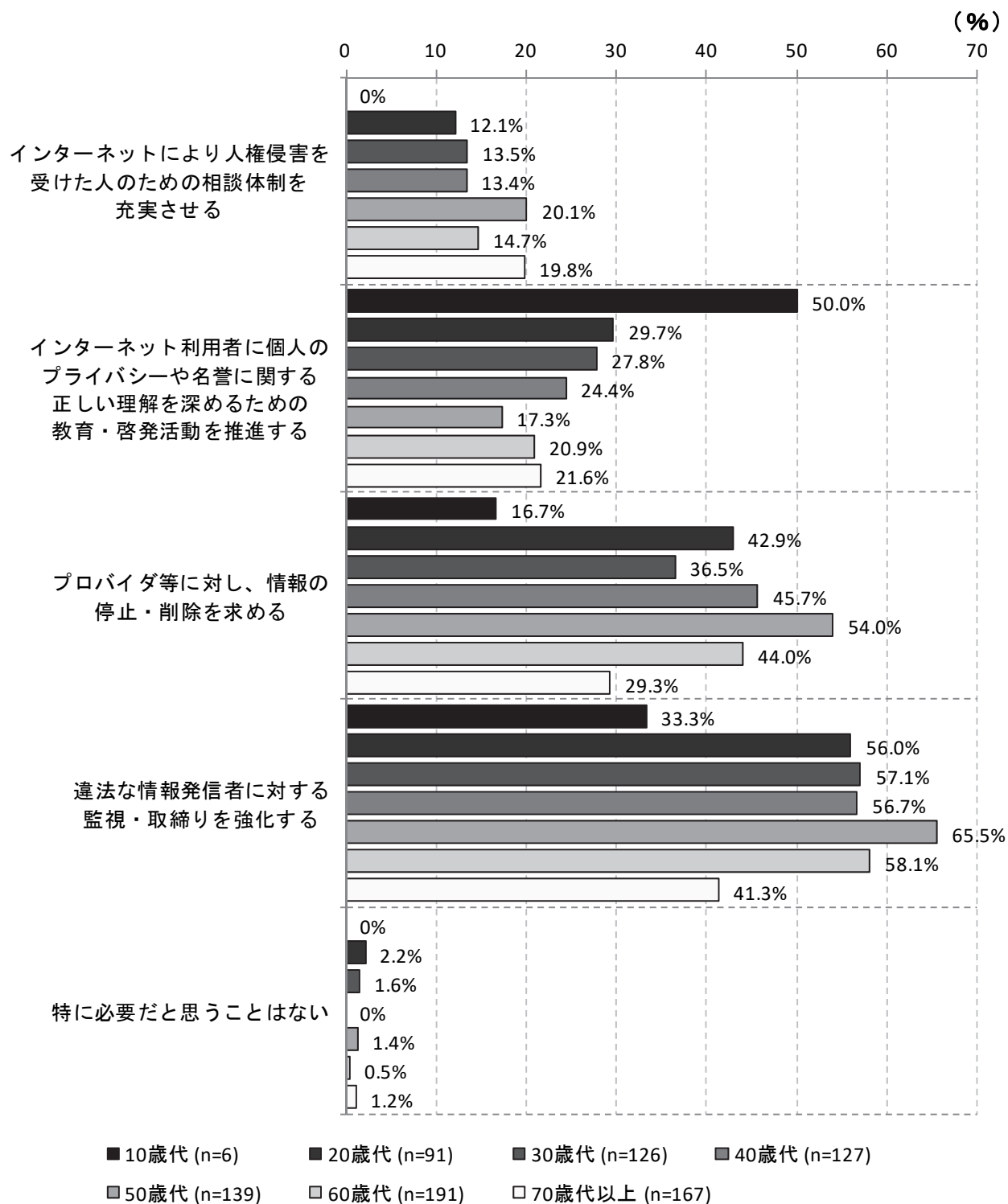


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では「インターネット利用者に個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」が最も高く、20歳代以上の年代では「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が最も高くなっている。

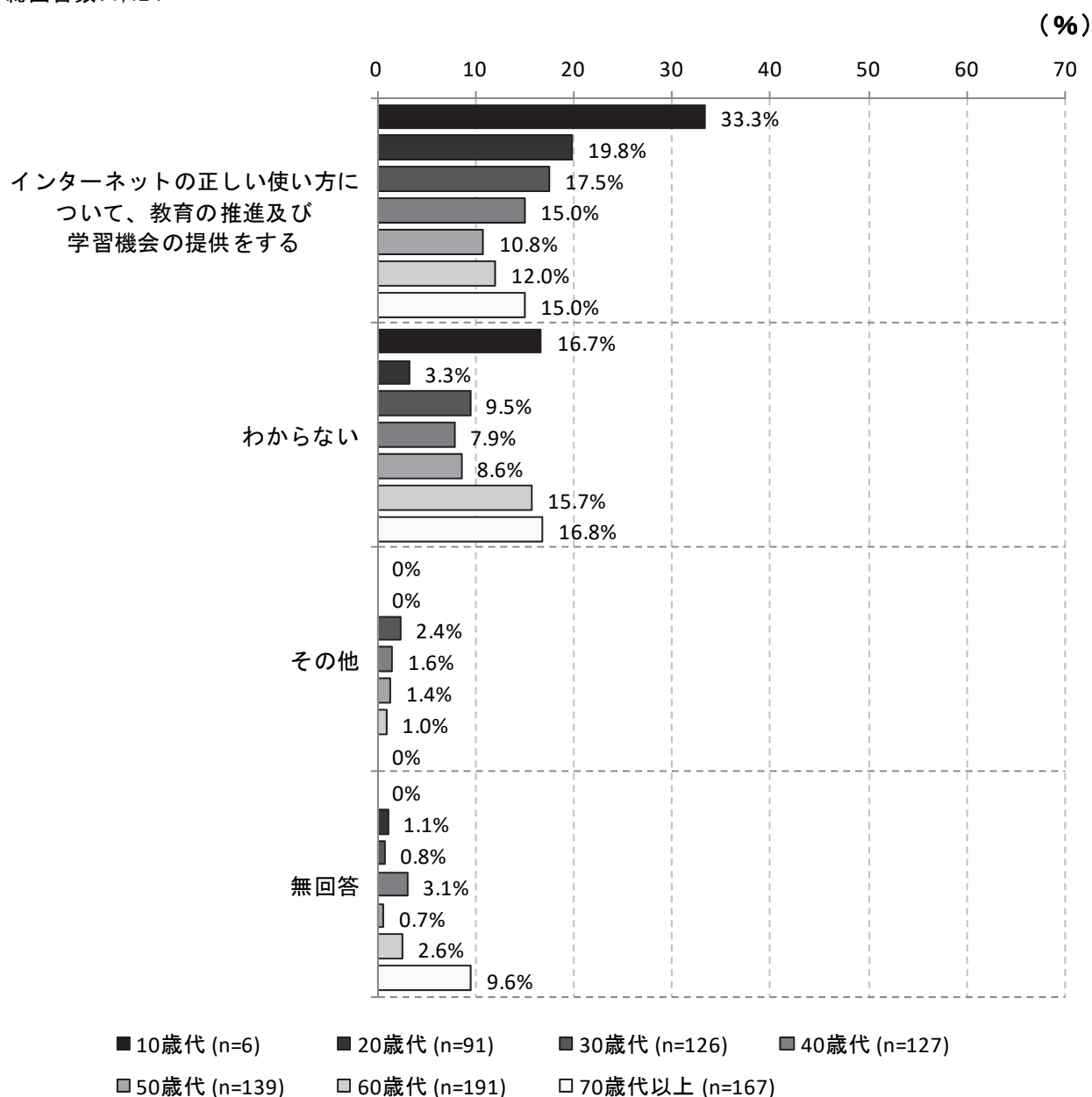
回答者数: 853
総回答数: 1,424

インターネットによる人権侵害を解決するために特に必要だと思うこと【年代別】



回答者数:853
総回答数:1,424

インターネットによる人権侵害を解決するために特に必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・すべて情報発信は、実名制とする
- ・物や道具を扱う人の資質の問題だと思う
- ・本人に落ち度がない場合以外は、結果責任をとらせる事も必要だと思う
- ・子供（特に小中学生）に規制をかける（ゲームハード、スマートフォンなども）
- ・刑罰を重く 等

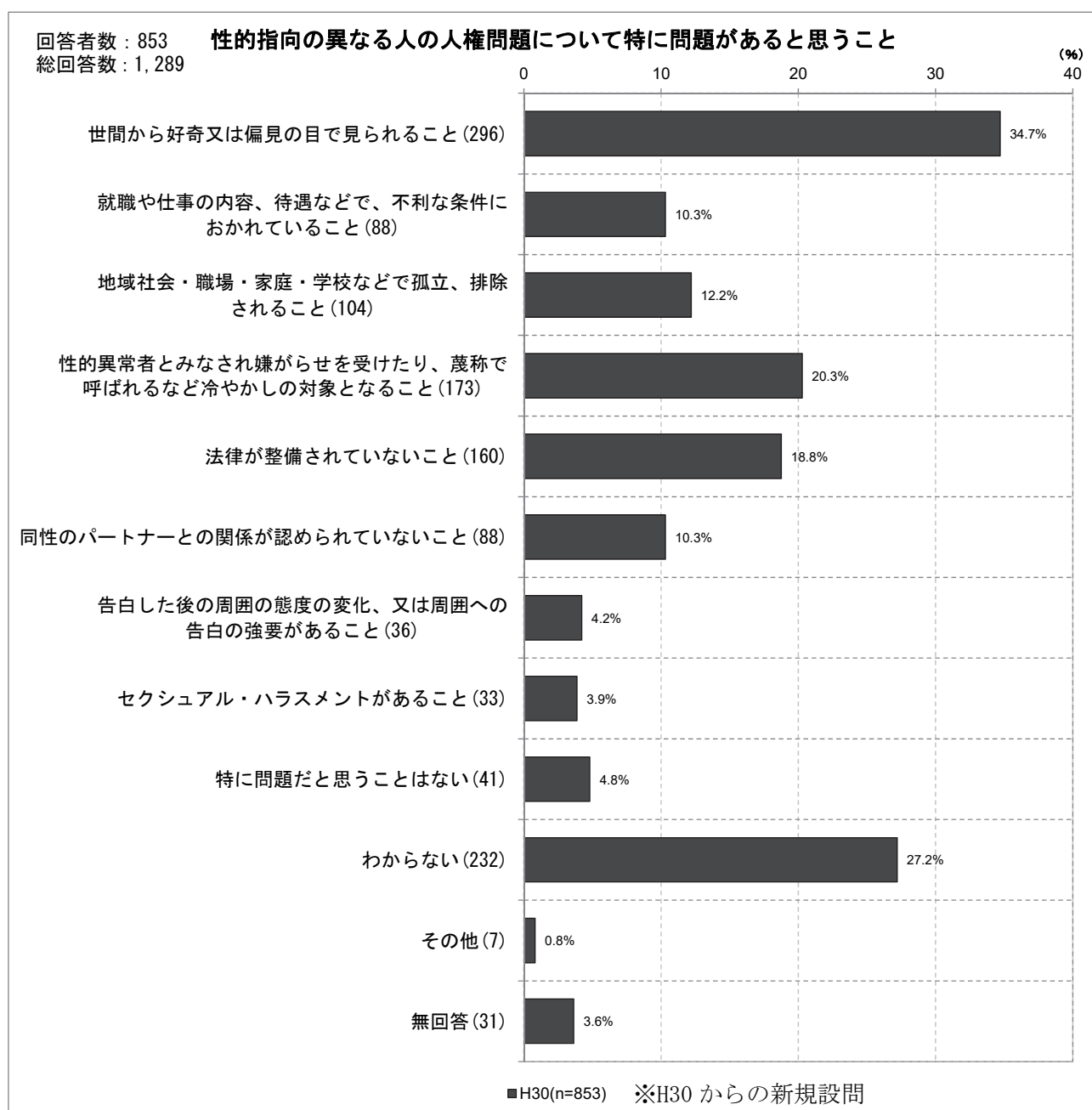
14 性的指向を理由とする人権問題について

14-1 性的指向の異なる人の人権問題について特に問題だと思うこと

問37 性的指向の異なる人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は2つまで)

【全体】

- ◆ 「世間から好奇又は偏見の目で見られること」が34.7%で最も高く、次いで「わからない」が27.2%、「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が20.3%の順になっている。

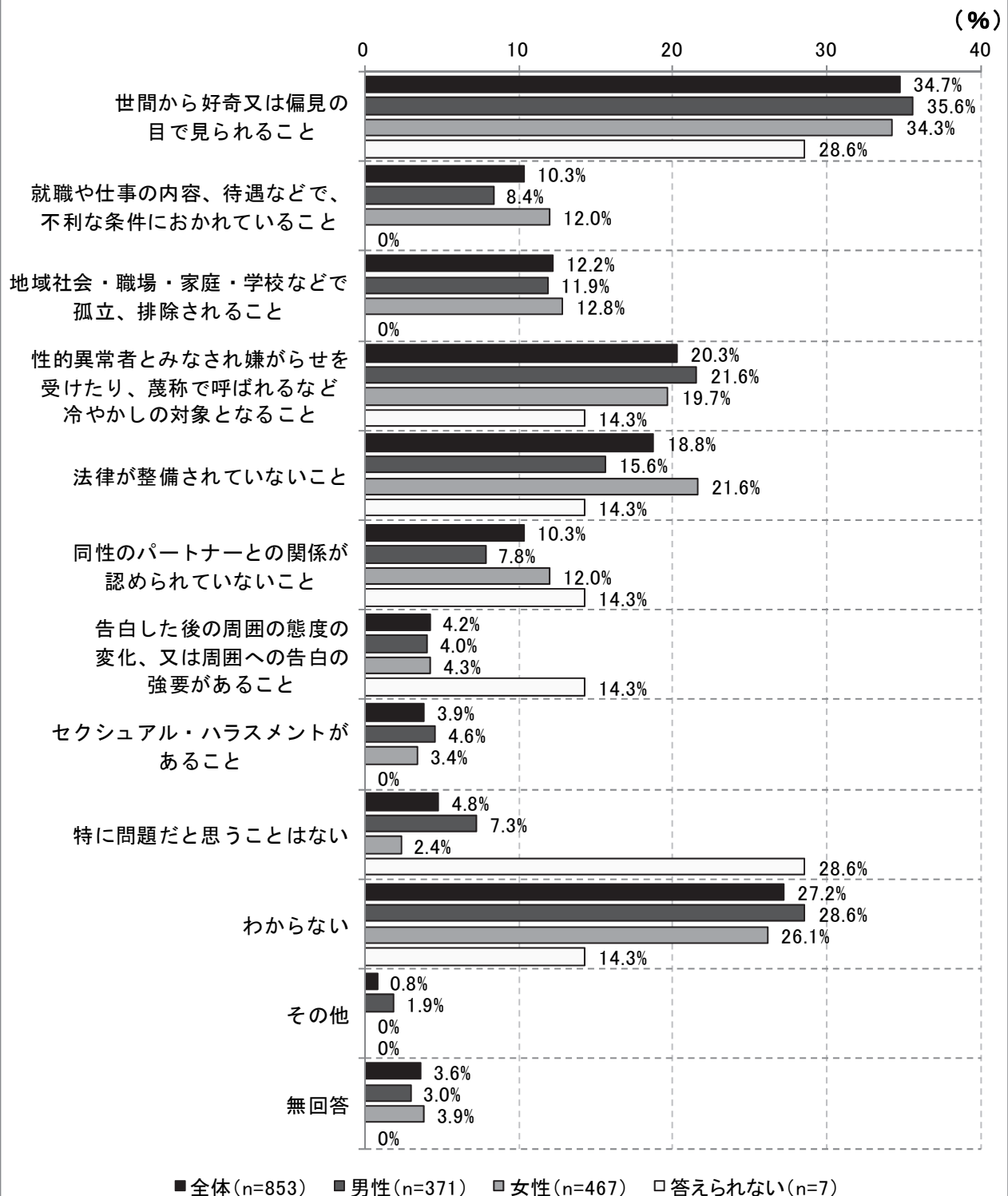


【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「世間から好奇又は偏見の目で見られること」は男性が 35.6%、女性が 34.3%と男女ともに最も高くなっている。「法律が整備されていないこと」は男性より女性が 6.0 ポイント高くなっている。

回答者数: 853
総回答数: 1,289

性的指向の異なる人の人権問題について特に問題があると思うこと【男女別】

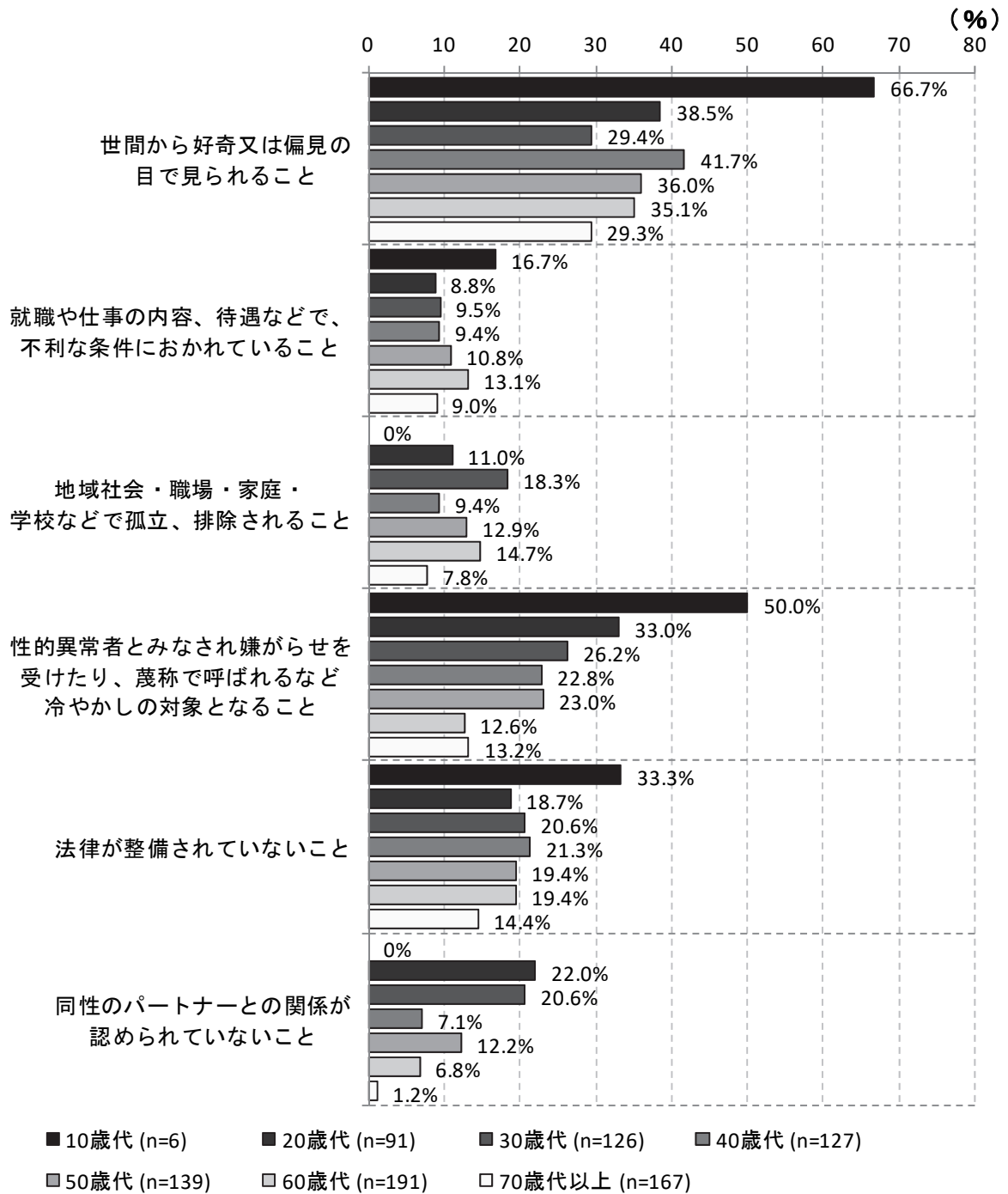


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代から 60 歳代の年代では「世間から好奇又は偏見の目で見られること」、70 歳代以上では「わからない」が最も高くなっている。

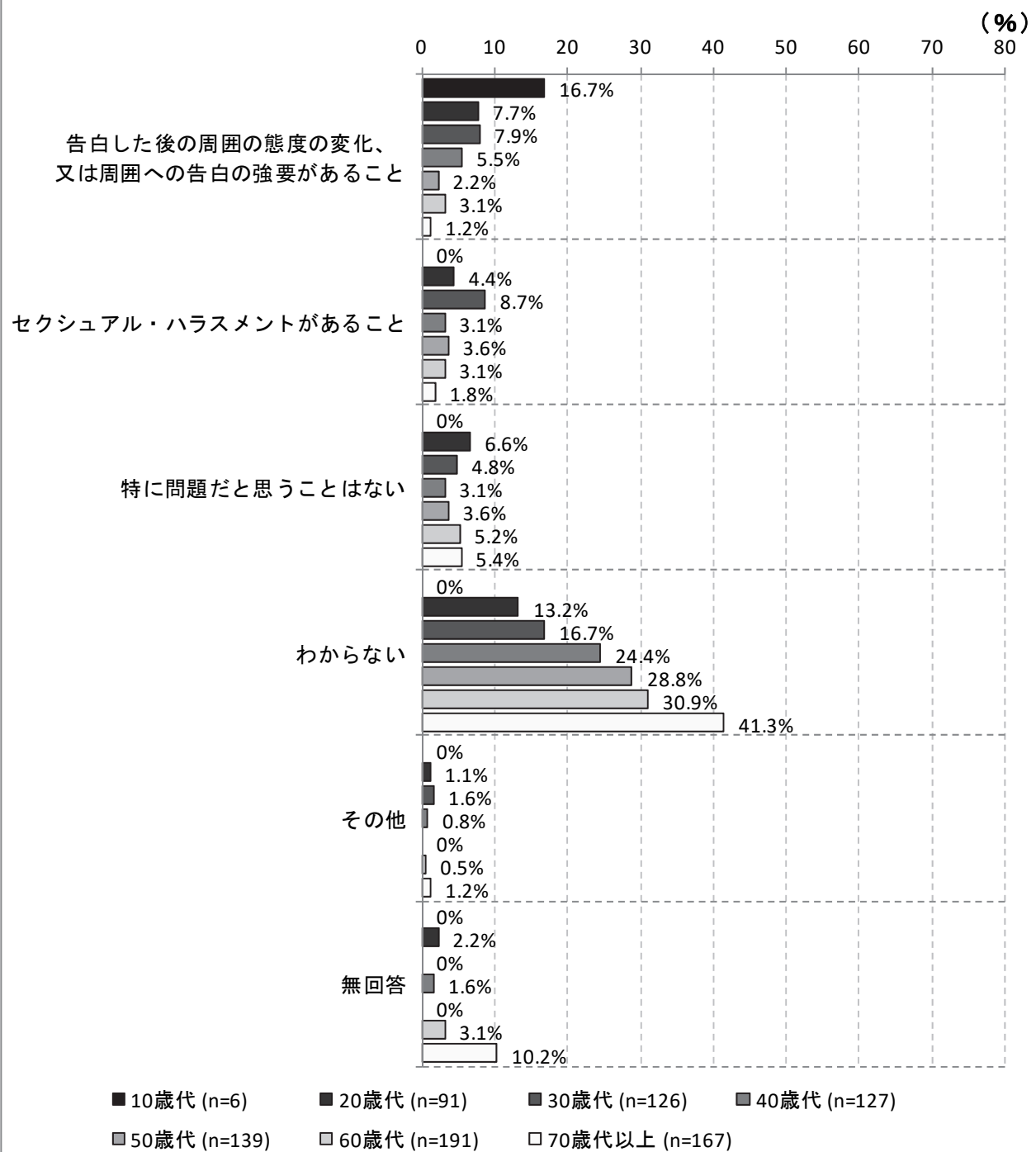
回答者数:853
総回答数:1,289

性的指向の異なる人の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



回答者数:853
総回答数:1,289

性的指向の異なる人の人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

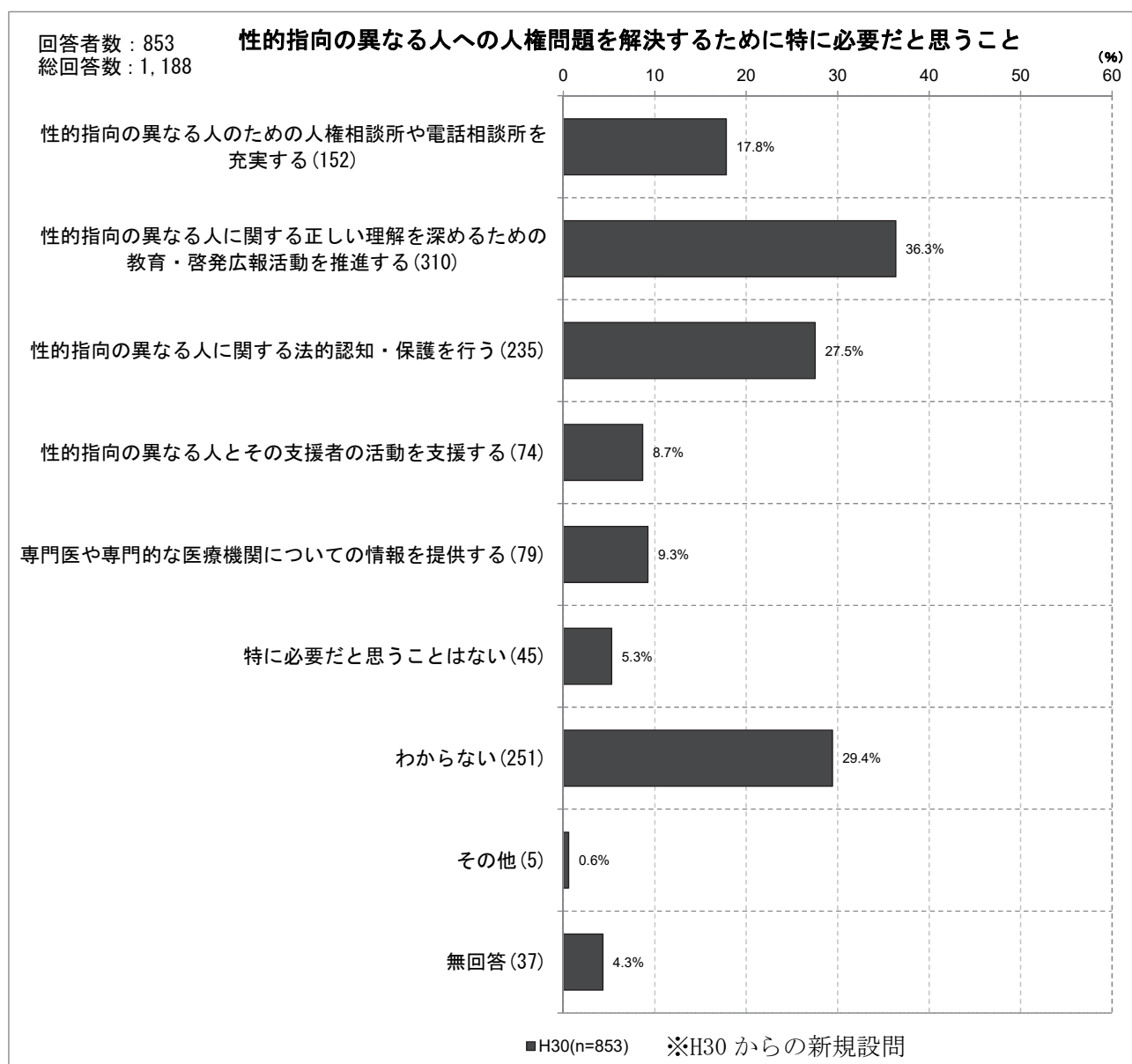
- ・興味がない
- ・性的指向の異なる人への人権問題を知らない
- ・環境の整備（トイレや更衣室など） 等

14-2 性的指向の異なる人への人権問題を解決するために必要なこと

問38 性的指向の異なる人への人権問題を解決するには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
(〇は2つまで)

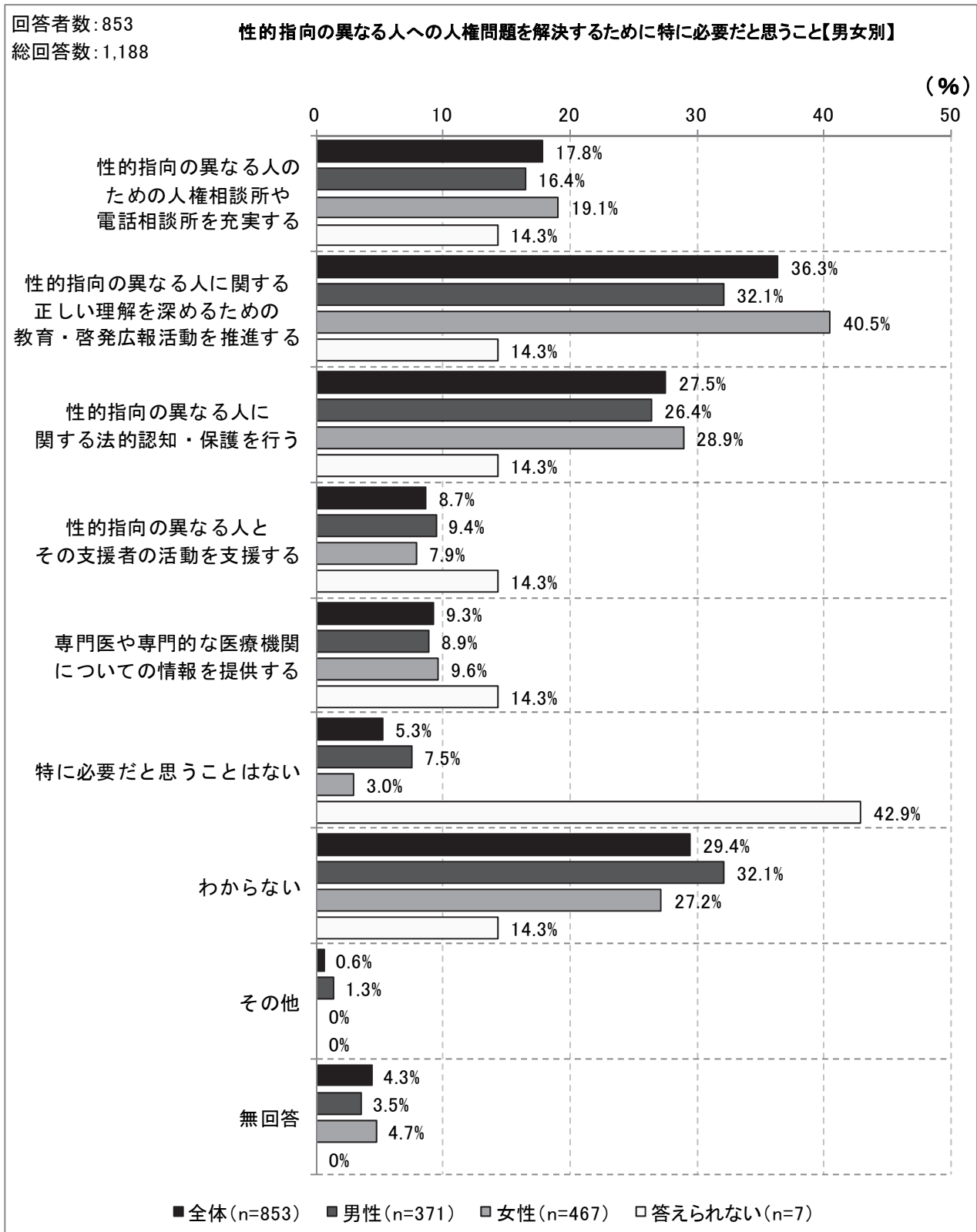
【全体】

- ◆ 「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が36.3%で最も高く、次いで「わからない」が29.4%、「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」が27.5%の順になっている。



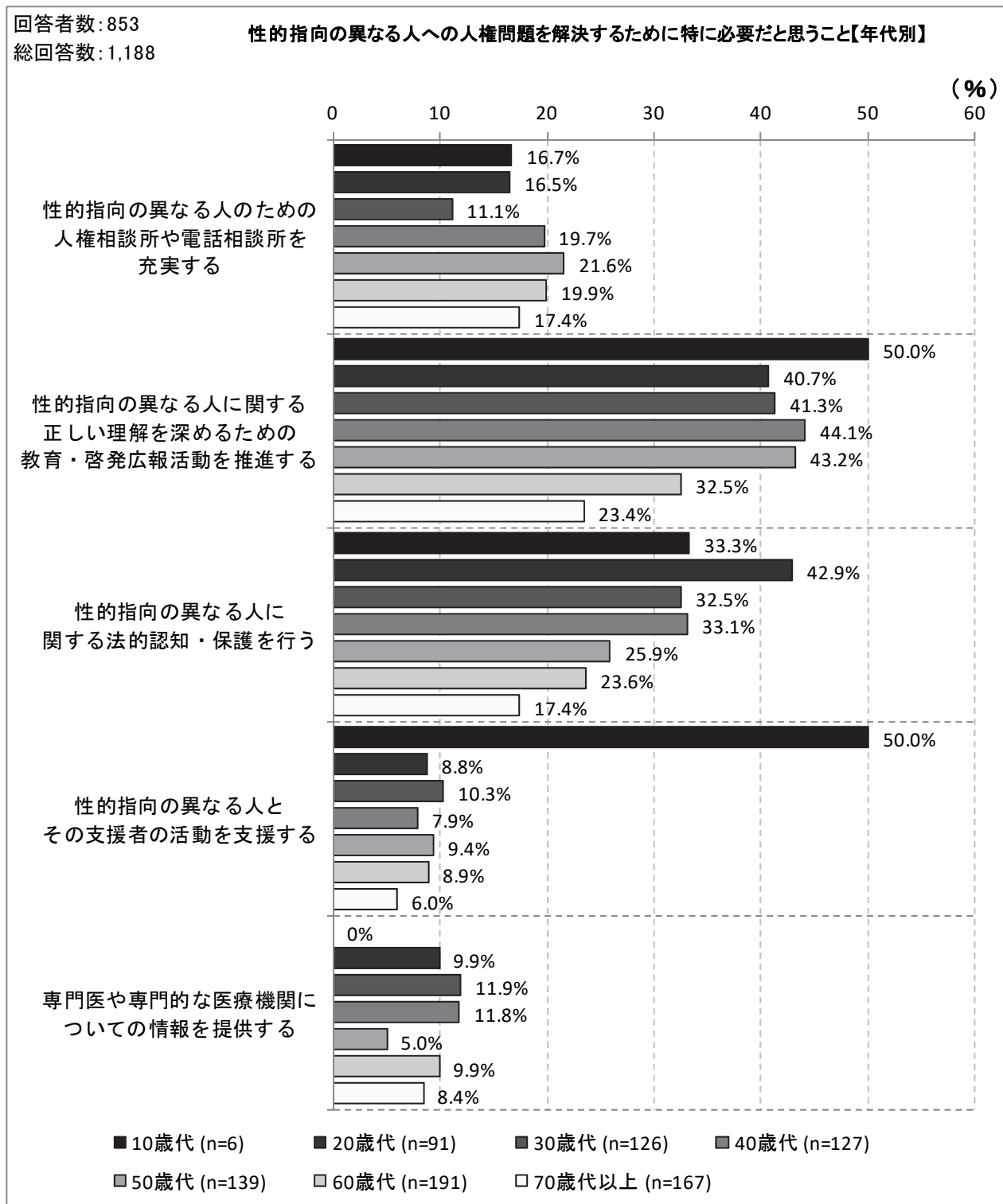
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」は男性が 32.1%、女性が 40.5%と男女ともに最も高く、男性より女性が 8.4 ポイント高くなっている。



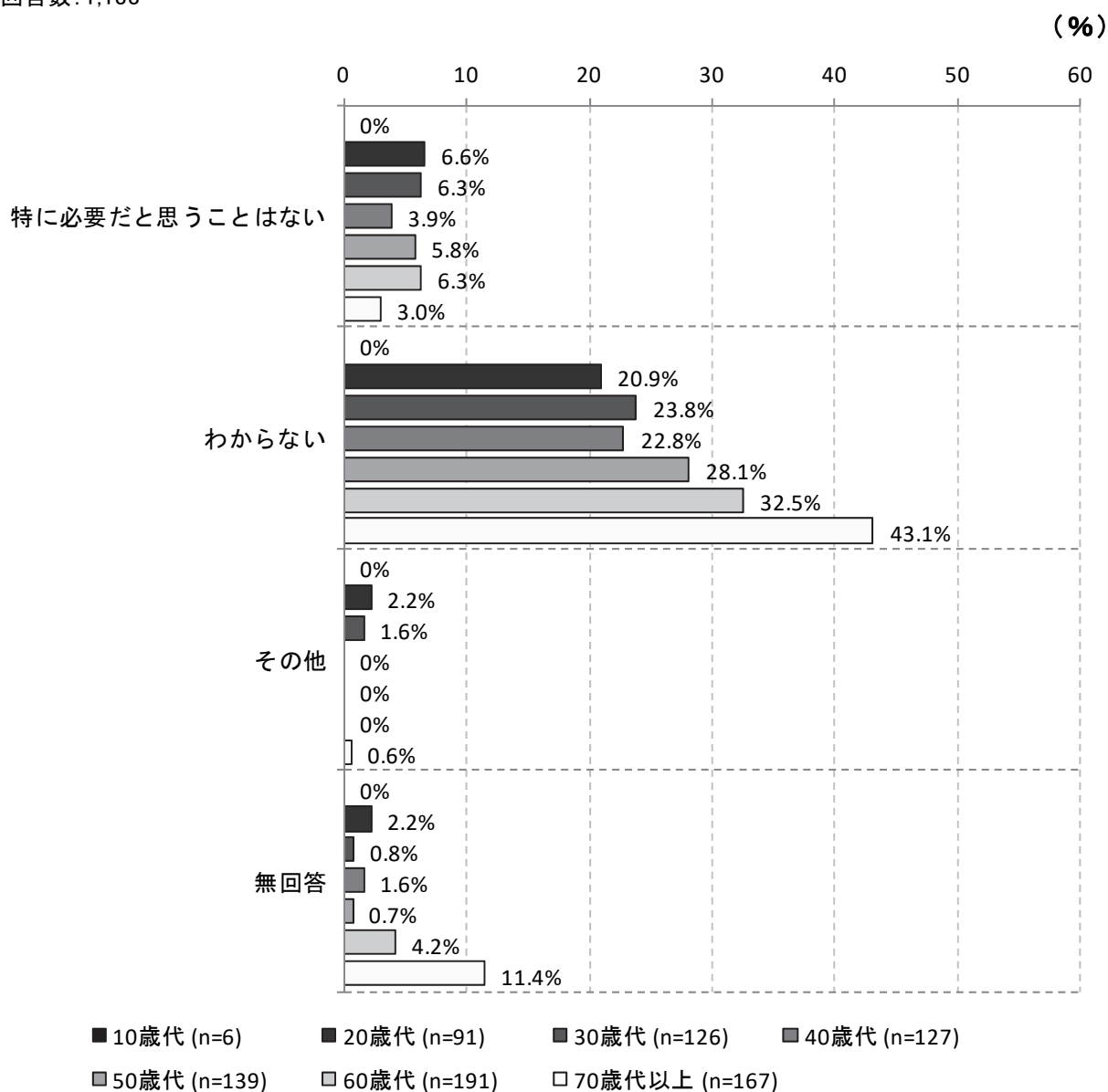
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」と「性的指向の異なる人とその支援者の活動を支援する」が同率で高く、20 歳代では「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」、30 歳代から 50 歳代の年代では「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」、60 歳代では「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」と「わからない」が同率で高く、70 歳代以上では「わからない」が最も高くなっている。



回答者数: 853
総回答数: 1,188

性的指向の異なる人への人権問題を解決するために特に必要だと思うこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・同性パートナー条例の制定、及び制度の充実
- ・告白しなくても、出会えるようにそういった場を作る
- ・性的指向の異なる人への人権問題を知らない
- ・義務教育から、性の違いを認識する機会を多くする事 等

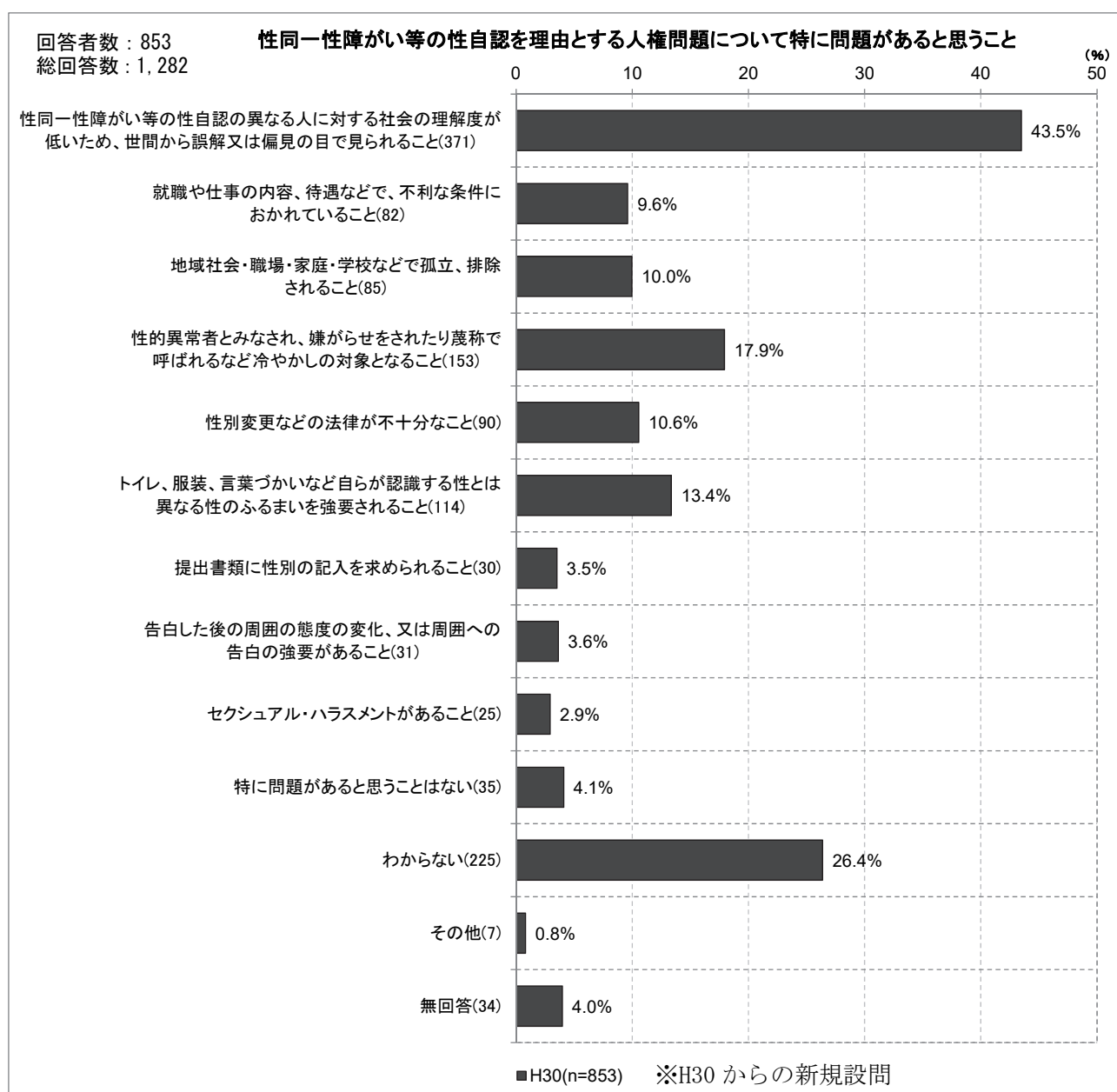
15 性自認を理由とする人権問題について

15-1 性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題について特に問題だと思うこと

問39 性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「性同一性障がい等の性自認の異なる人に対する社会の理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」が 43.5%で最も高く、次いで「わからない」が 26.4%、「性的異常者とみなされ、嫌がらせをされたり蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が 17.9%の順になっている。

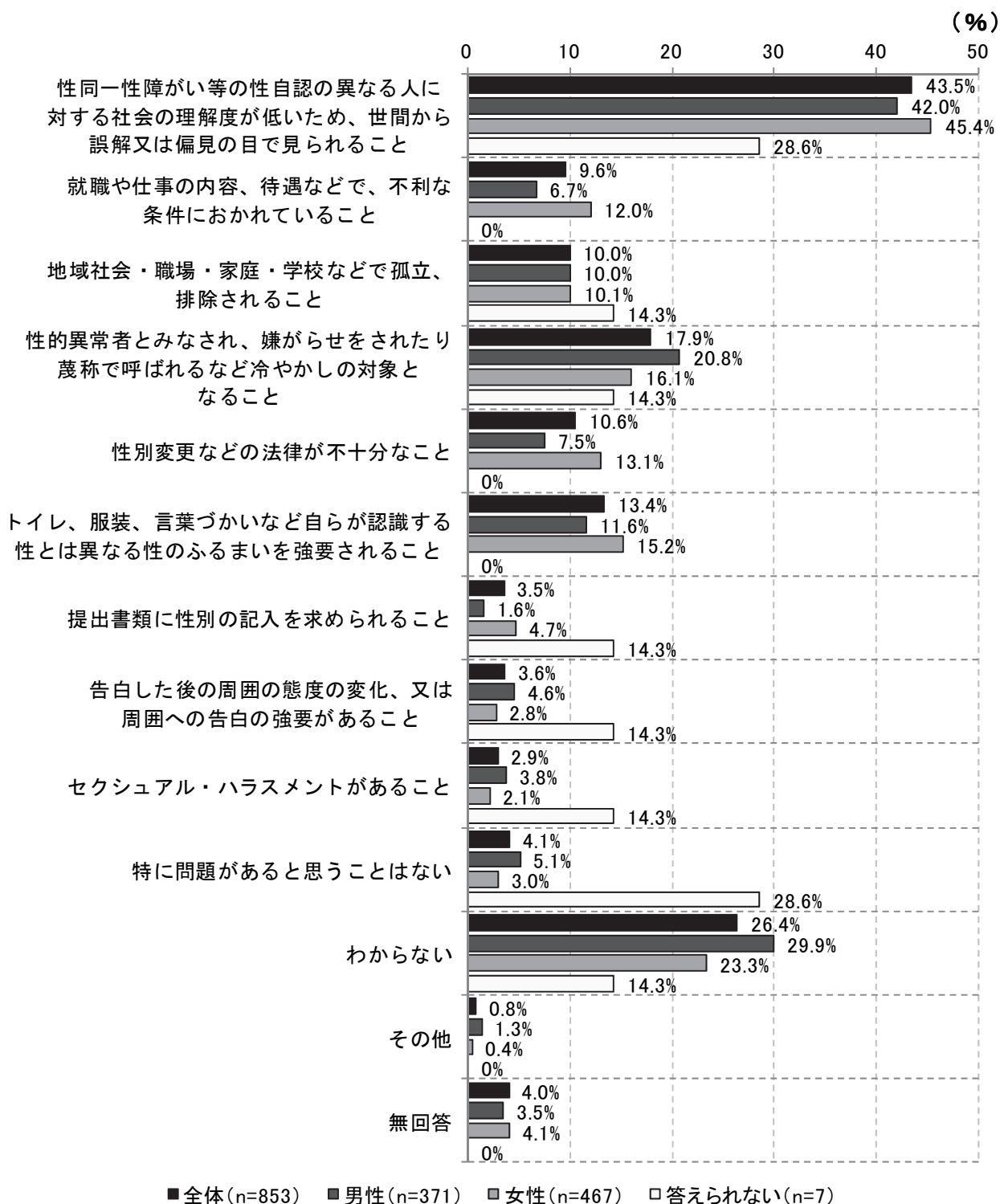


【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「性同一性障がい等の性自認の異なる人に対する社会の理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」は男性が 42.0%、女性が 45.4%と男女ともに最も高くなっている。「わからない」は女性より男性が 6.6 ポイント高くなっている。

回答者数: 853
総回答数: 1,282

性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題について特に問題があると思うこと【男女別】

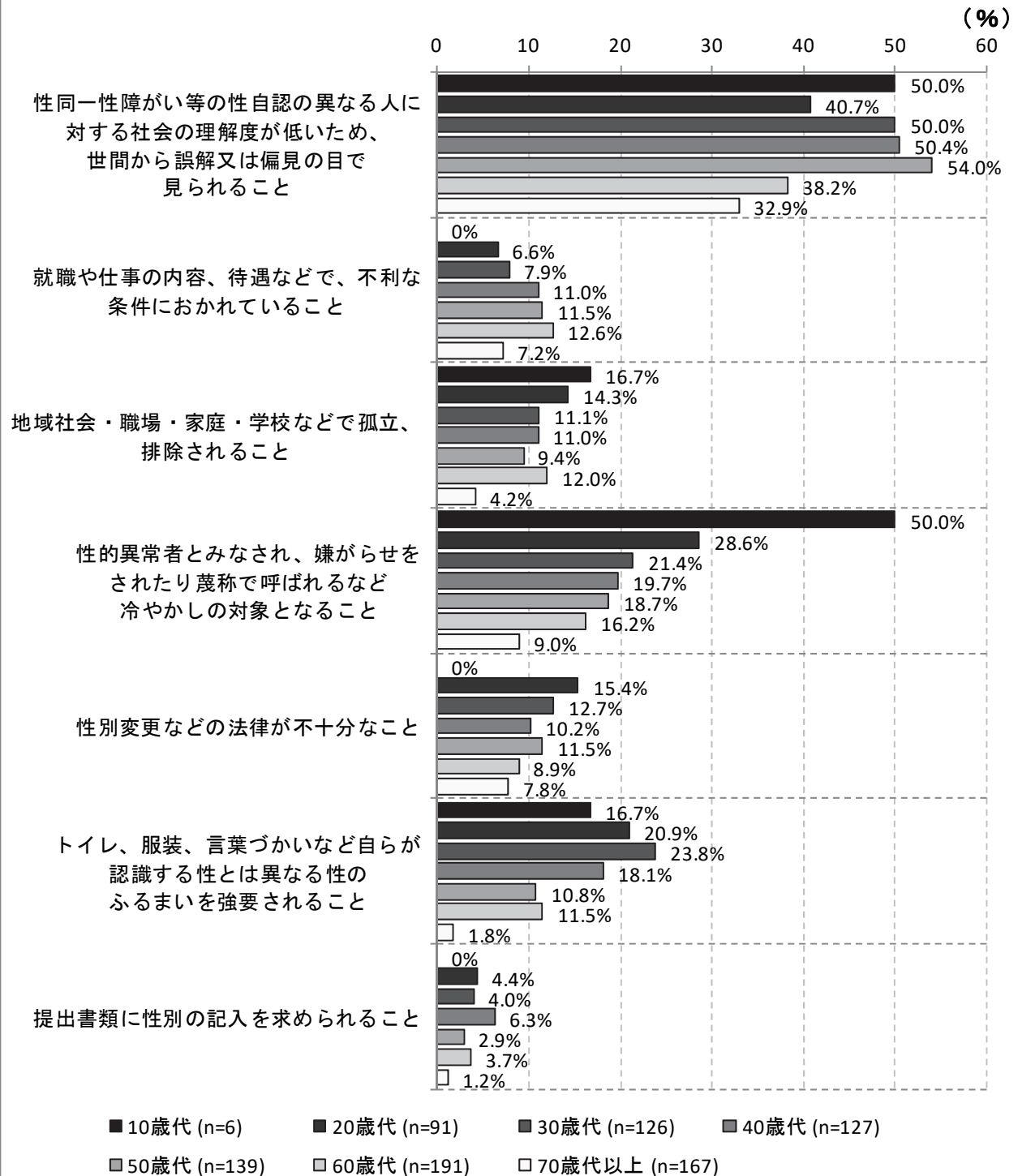


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代から 60 歳代では「性同一性障がい等の性自認の異なる人に対する社会の理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」、加えて 10 歳代では「性的異常者とみなされ、嫌がらせをされたり蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」も同率で高くなっている。70 歳代以上では「わからない」が最も高くなっている。

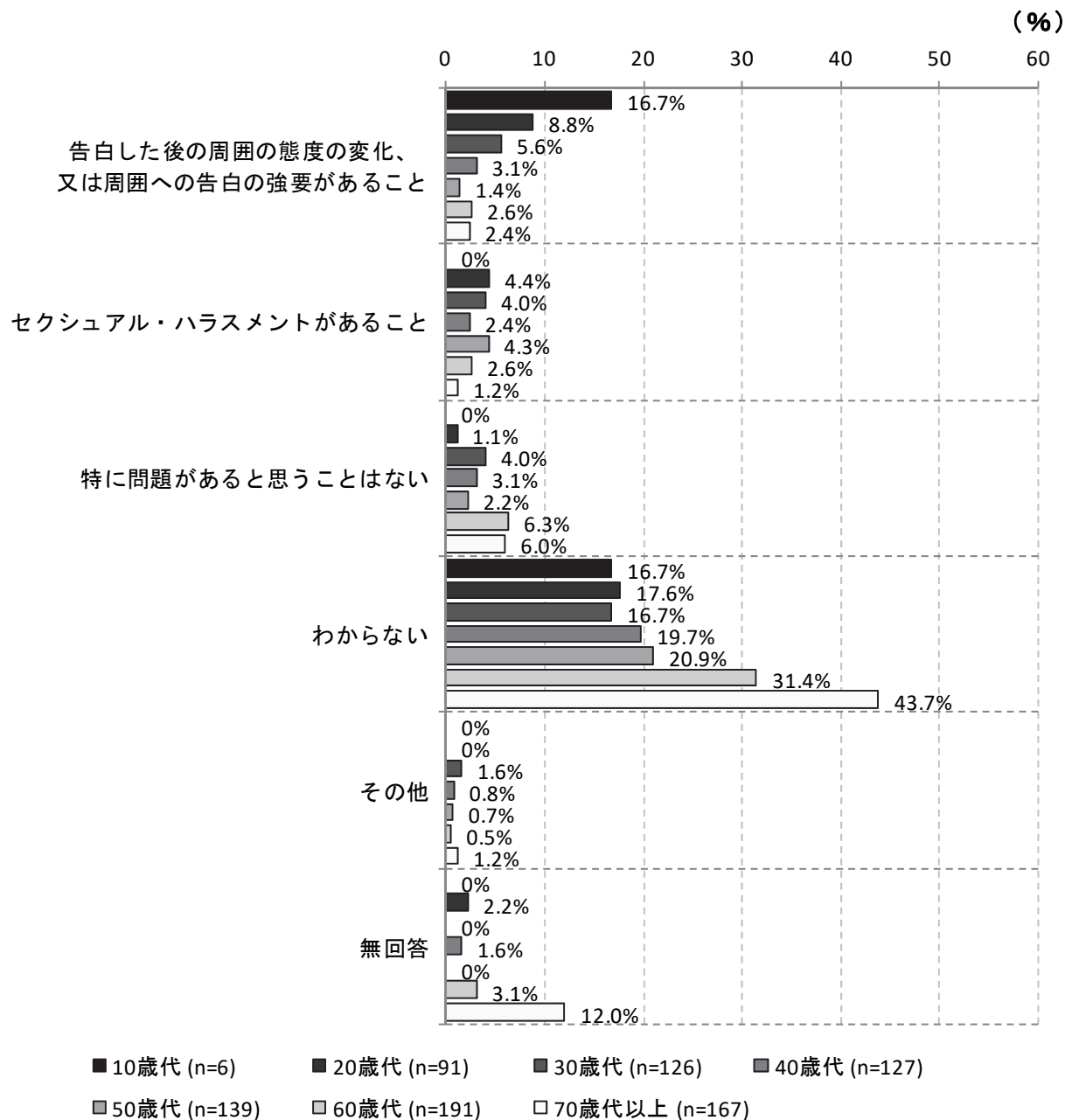
回答者数: 853
総回答数: 1,282

性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



回答者数: 853
 総回答数: 1,282

性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題について特に問題があると思うこと【年代別】



【その他の回答】

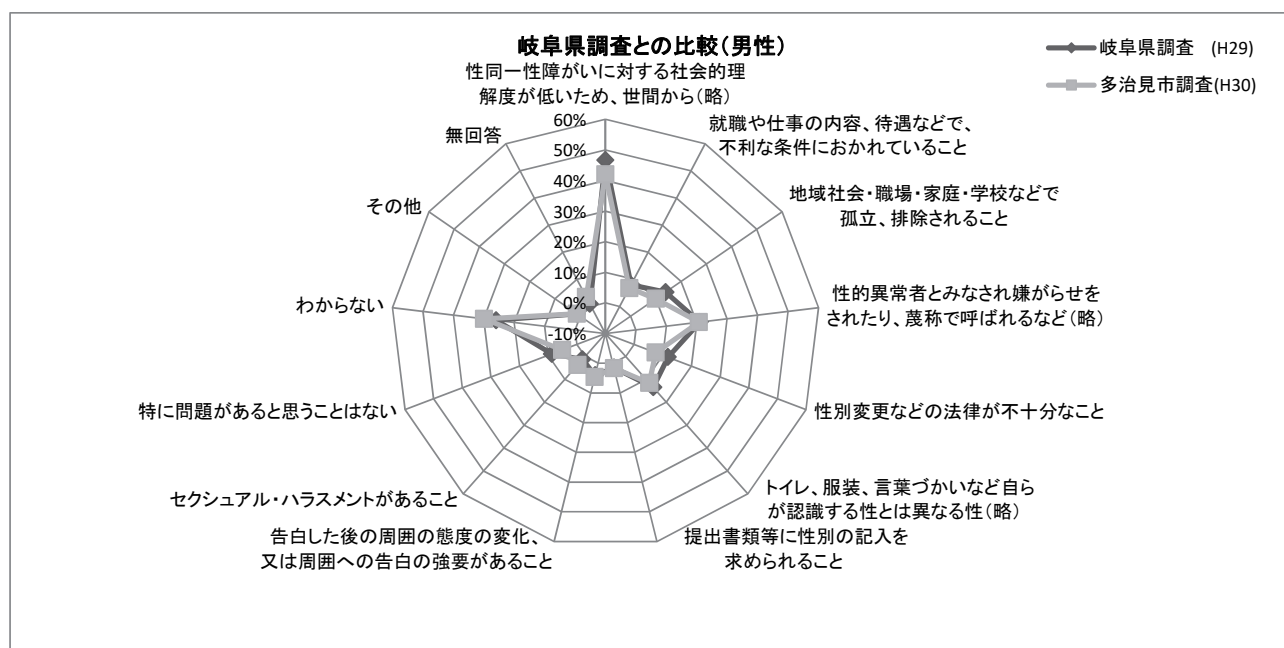
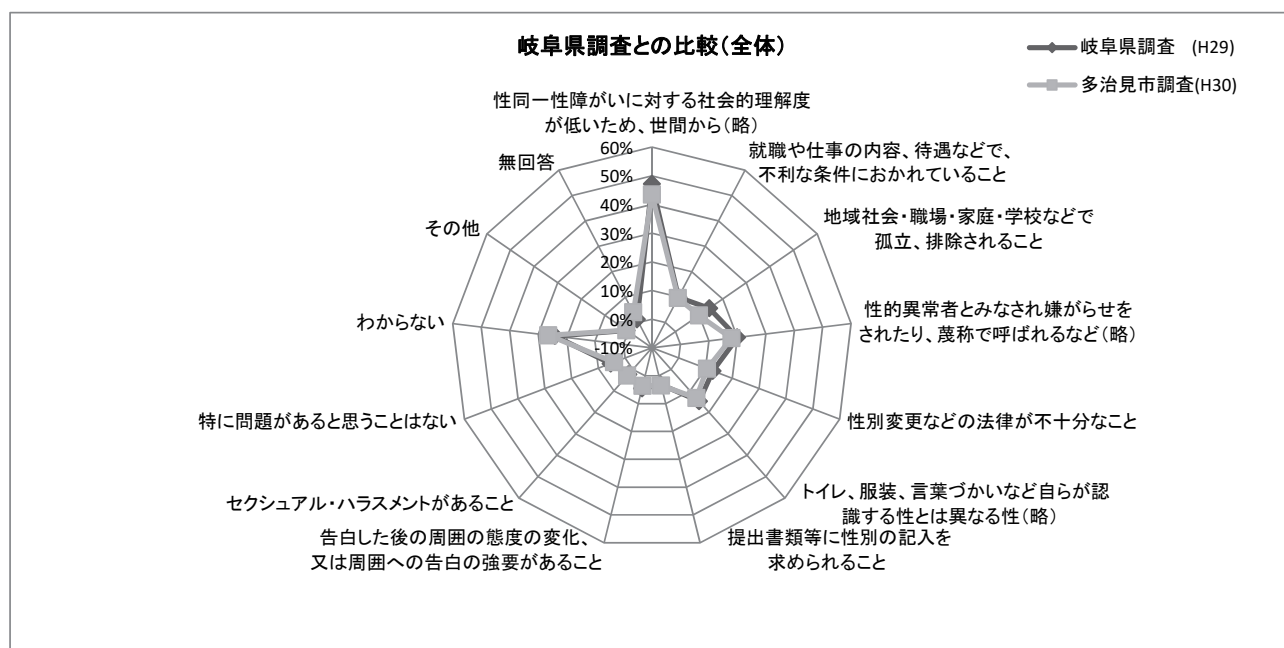
その他の回答の主たるものは以下の通りである。

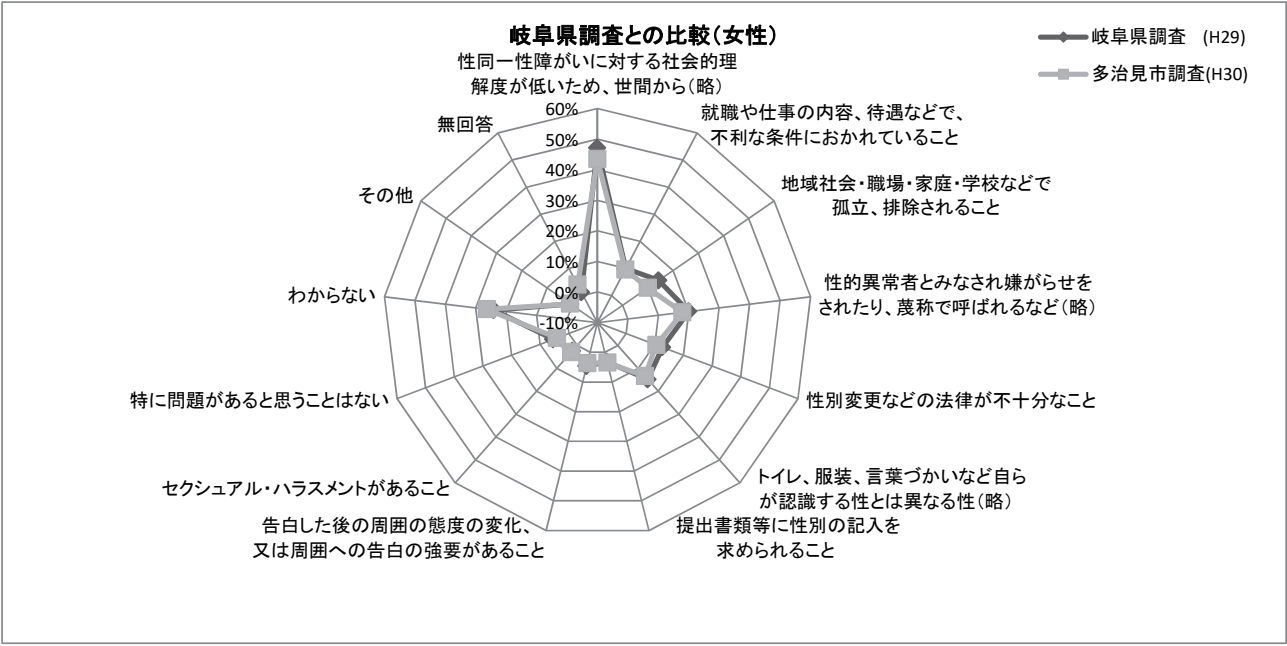
- ・身近にないので解らない
- ・難しい
- ・性自認を理由とする人への人権問題を知らない 等

15-2 参考：岐阜県調査との比較（性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題について）

【岐阜県調査との比較】

岐阜県調査と比較すると、項目別には多少の差はあるが、全体的に同じ傾向にある。



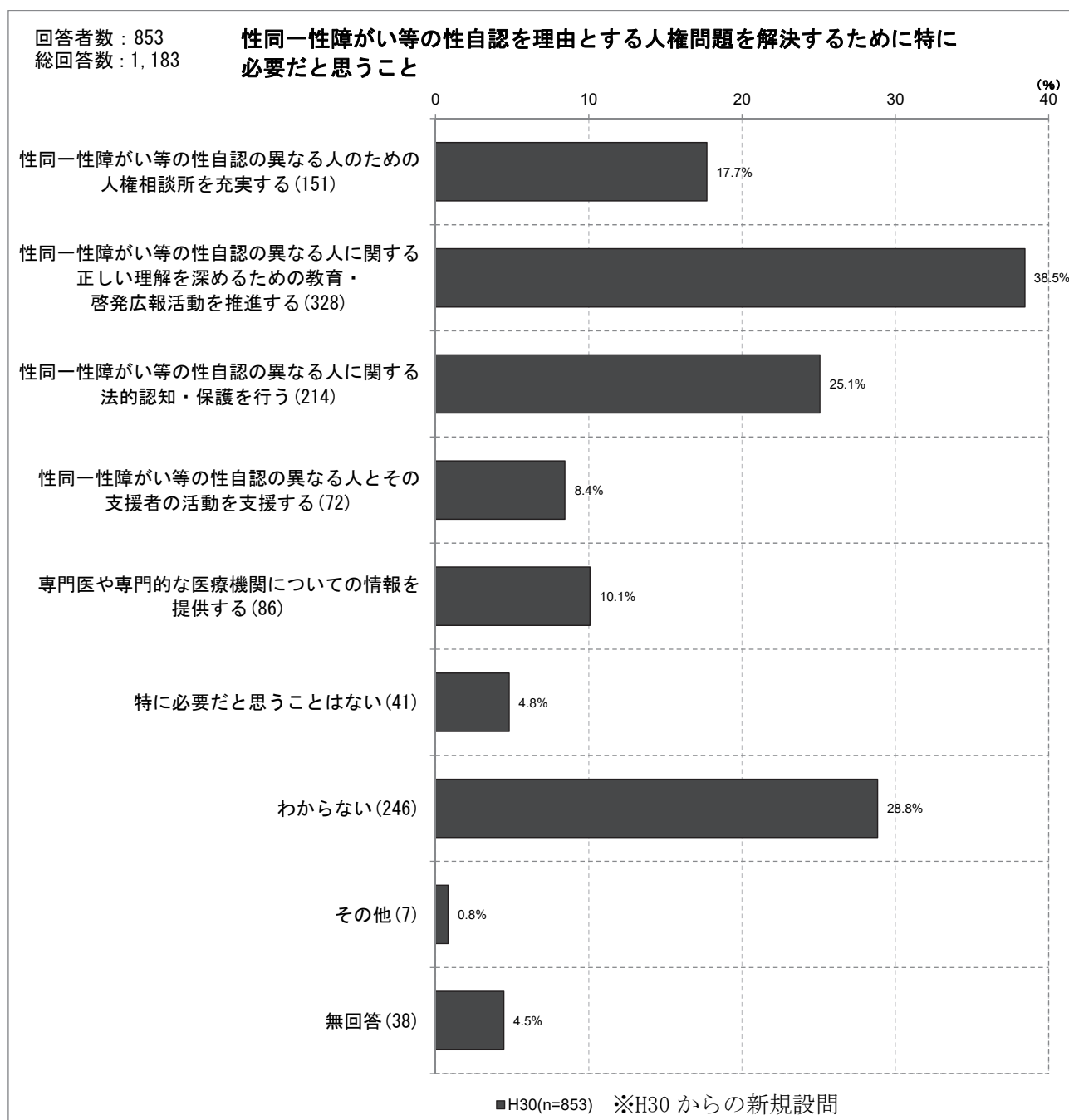


15-3 性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題を解決するために必要なこと

問40 性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

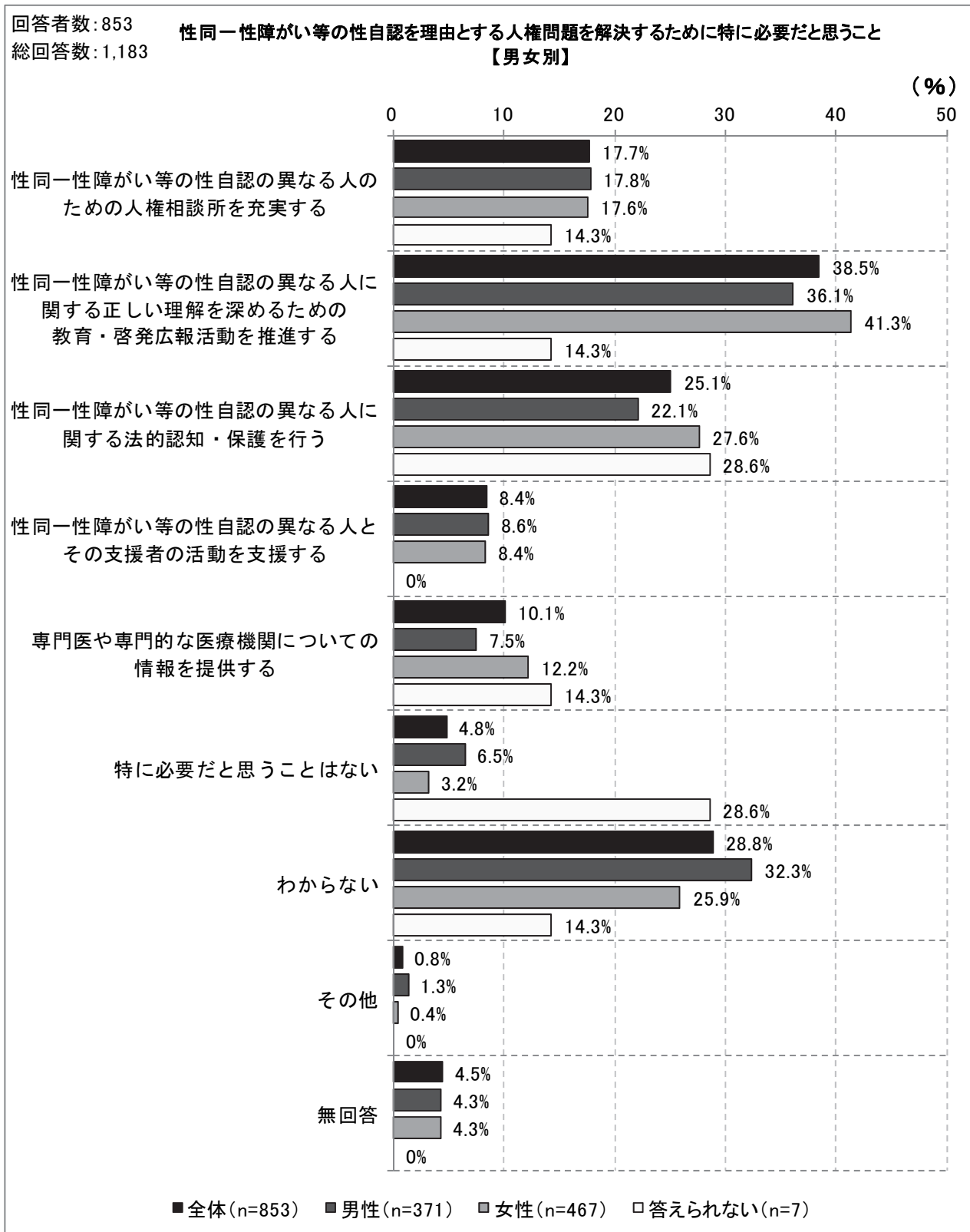
【全体】

- ◆ 「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が38.5%で最も高く、次いで「わからない」が28.8%、「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する法的認知・保護を行う」が25.1%の順になっている。



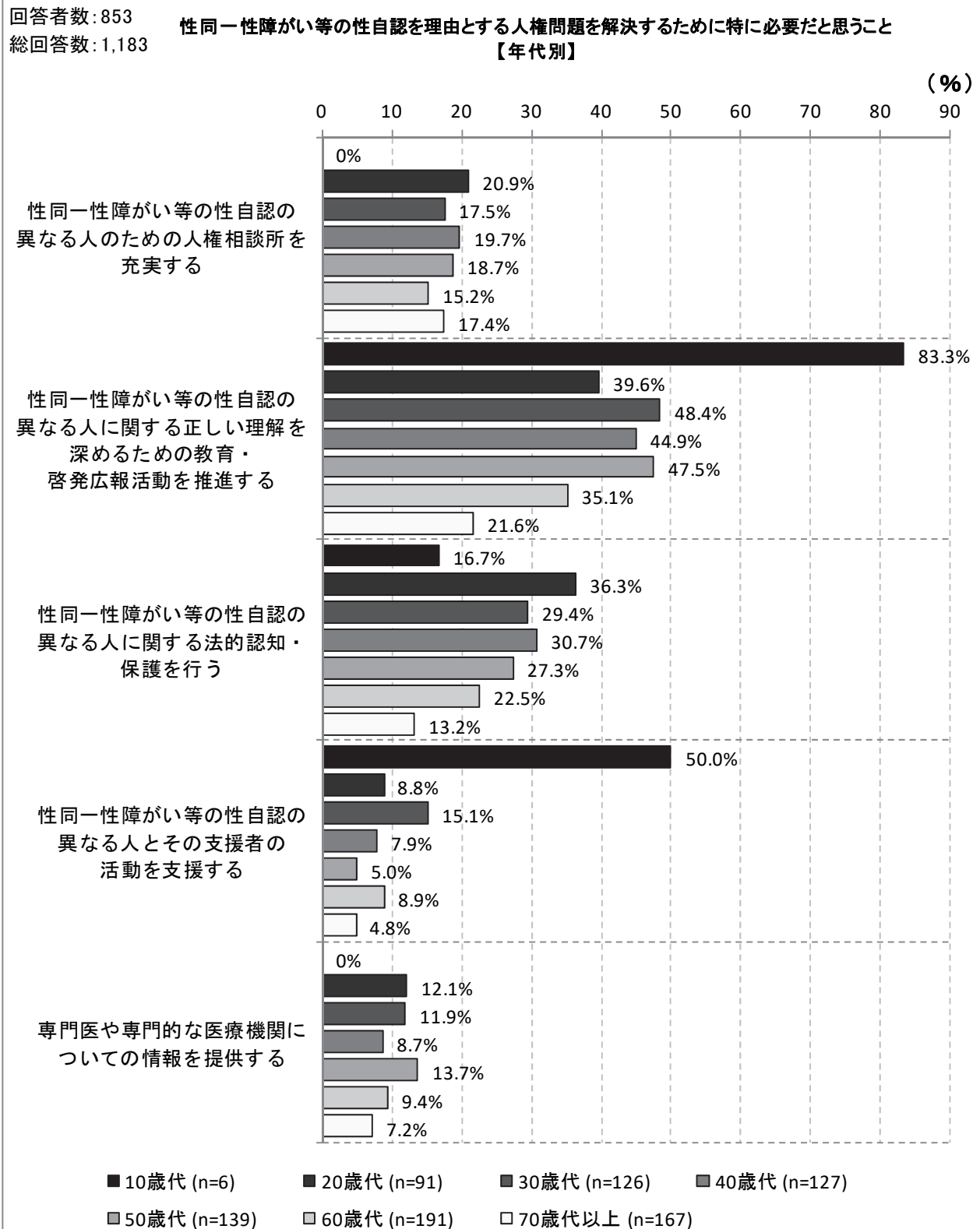
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」は男性が 36.1%、女性が 41.3%と男女ともに最も高くなっている。「わからない」は女性より男性が 6.4 ポイント高くなっている。



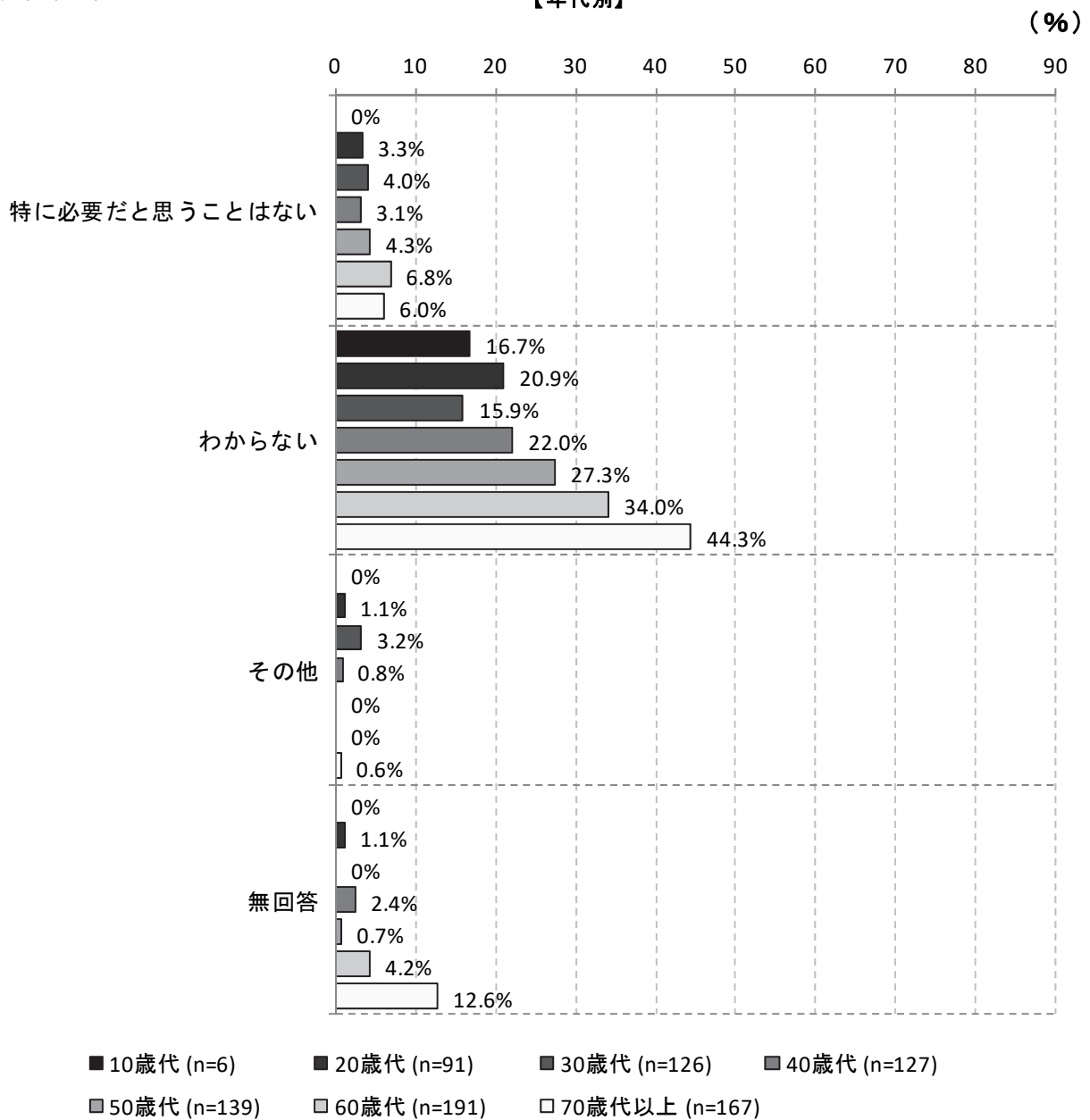
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代から 60 歳代の年代では「性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」、70 歳代以上では「わからない」が最も高くなっている。



回答者数:853
総回答数:1,183

性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題を解決するために特に必要だと思うこと
【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・ 学校関係者、特に教師の理解を深めること
- ・ 知識
- ・ 性同一性障がい等の性自認を理由とする人への人権問題を知らない
- ・ 書類は戸籍や医療、防災、安全に関わるもの以外は男女の記載は法律で禁止する 等

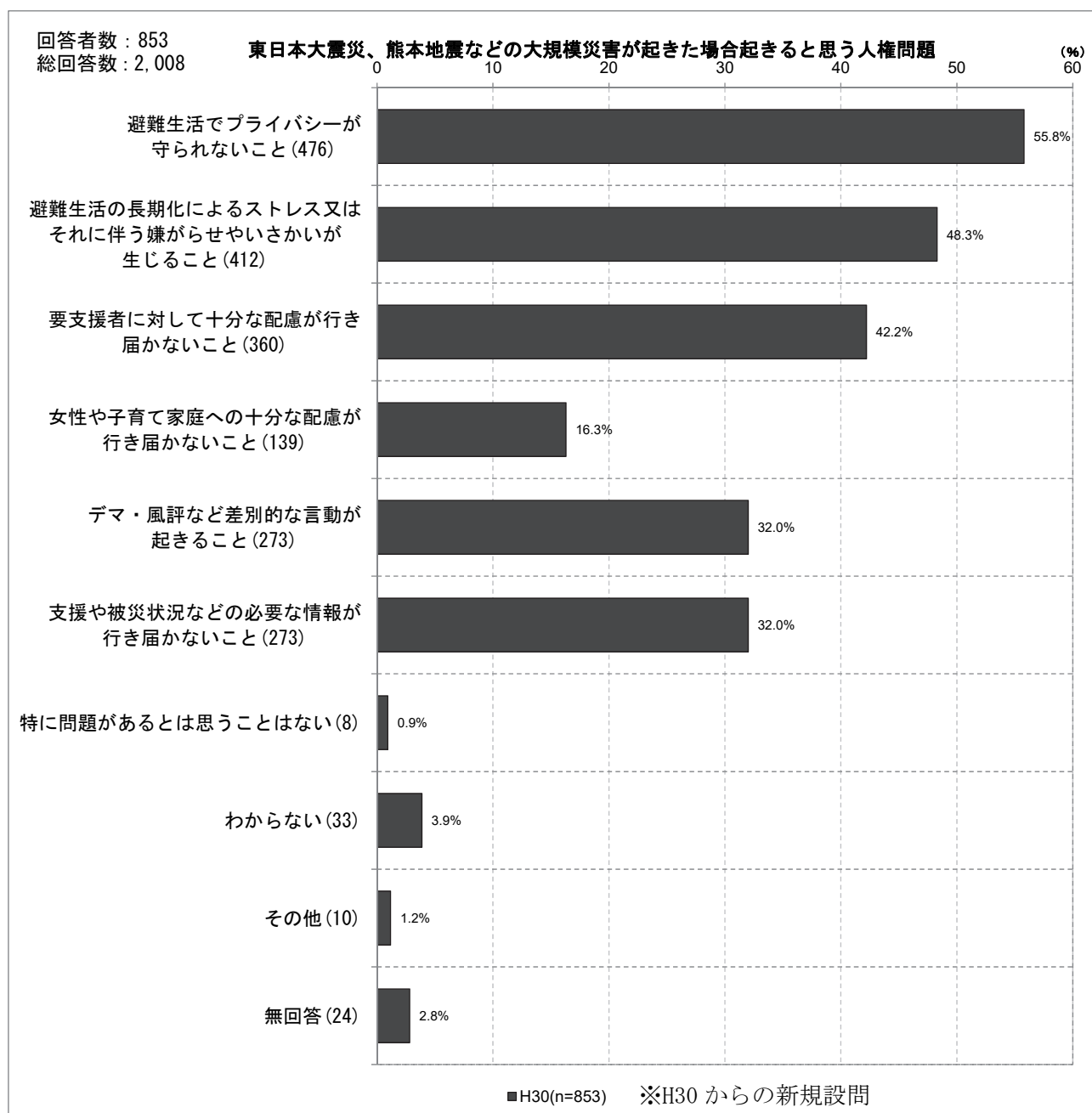
16 東日本大震災等に起因する人権問題について

16-1 大規模災害による人権問題について

問41 東日本大震災、熊本地震などの大規模災害が起きた場合、どのような人権問題が起きると思いますか。(〇は3つまで)

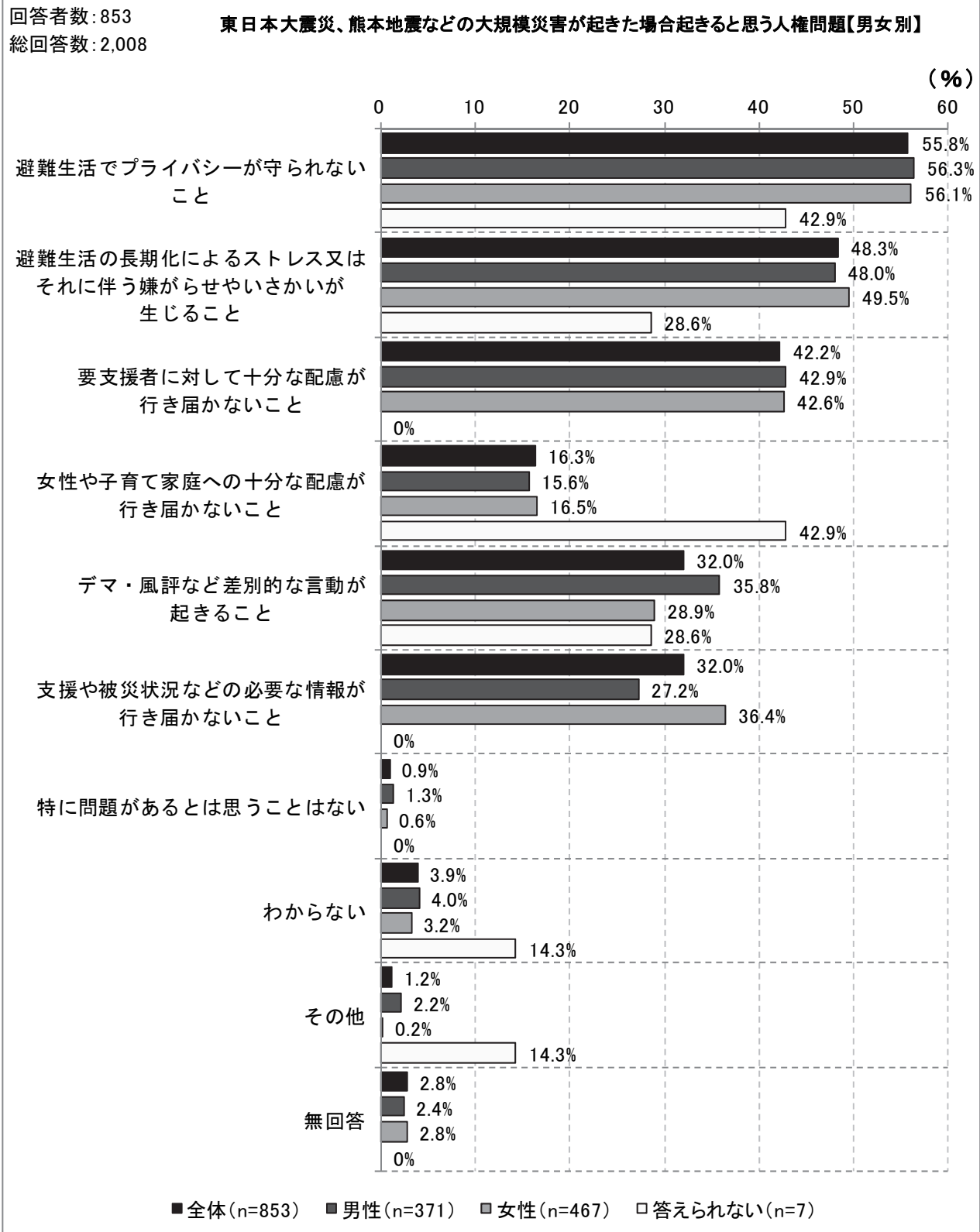
【全体】

- ◆ 「避難生活でプライバシーが守られないこと」が 55.8%で最も高く、次いで「避難生活の長期化によるストレス又はそれに伴う嫌がらせやいさかいが生じること」が 48.3%、「要支援者に対して十分な配慮が行き届かないこと」が 42.2%の順になっている。



【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「避難生活でプライバシーが守られないこと」は男性が 56.3%、女性が 56.1%と男女ともに最も高くなっている。「支援や被災状況などの必要な情報が行き届かないこと」は男性より女性が 9.2 ポイント高くなっている。

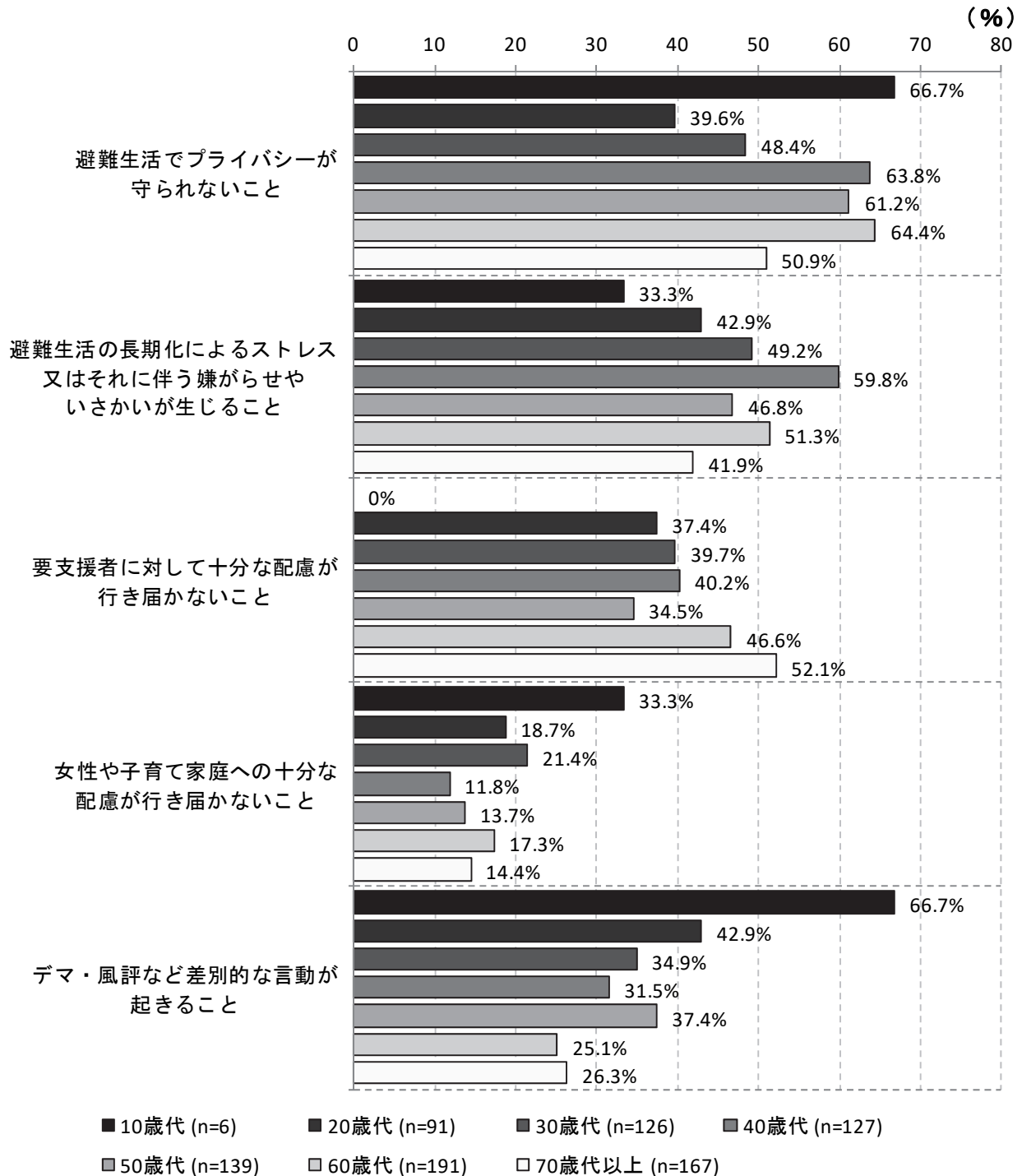


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「避難生活でプライバシーが守られないこと」と「デマ・風評など差別的な言動が起きること」が同率で高くなっている。20 歳代では「支援や被災状況などの必要な情報が行き届かないこと」、30 歳代から 60 歳代の年代では「避難生活でプライバシーが守られないこと」、70 歳代以上は「要支援者に対して十分な配慮が行き届かないこと」が最も高くなっている。

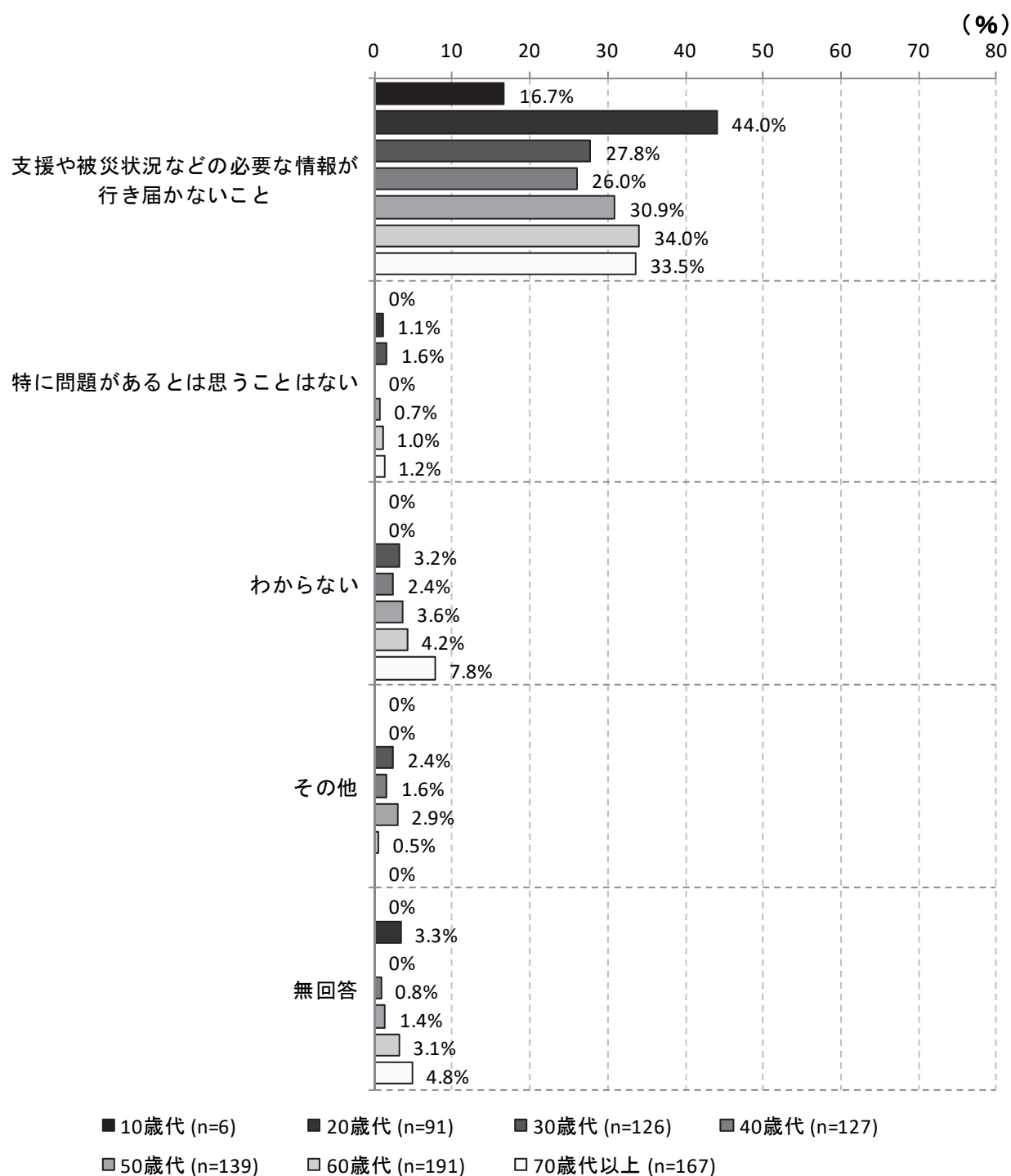
回答者数:853
総回答数:2,008

東日本大震災、熊本地震などの大規模災害が起きた場合起きると思う人権問題【年代別】



回答者数:853
総回答数:2,008

東日本大震災、熊本地震などの大規模災害が起きた場合起きると思う人権問題【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・非道い回答になるが、自分の身におこらないと理解できない
- ・支援（量・質・速さ）の度合いが地域によって異なる
- ・被災地によって復旧に差があること 等

17 人権教育・人権啓発の方法について

17-1 人権問題についての理解を深め、人権意識を高める取組み

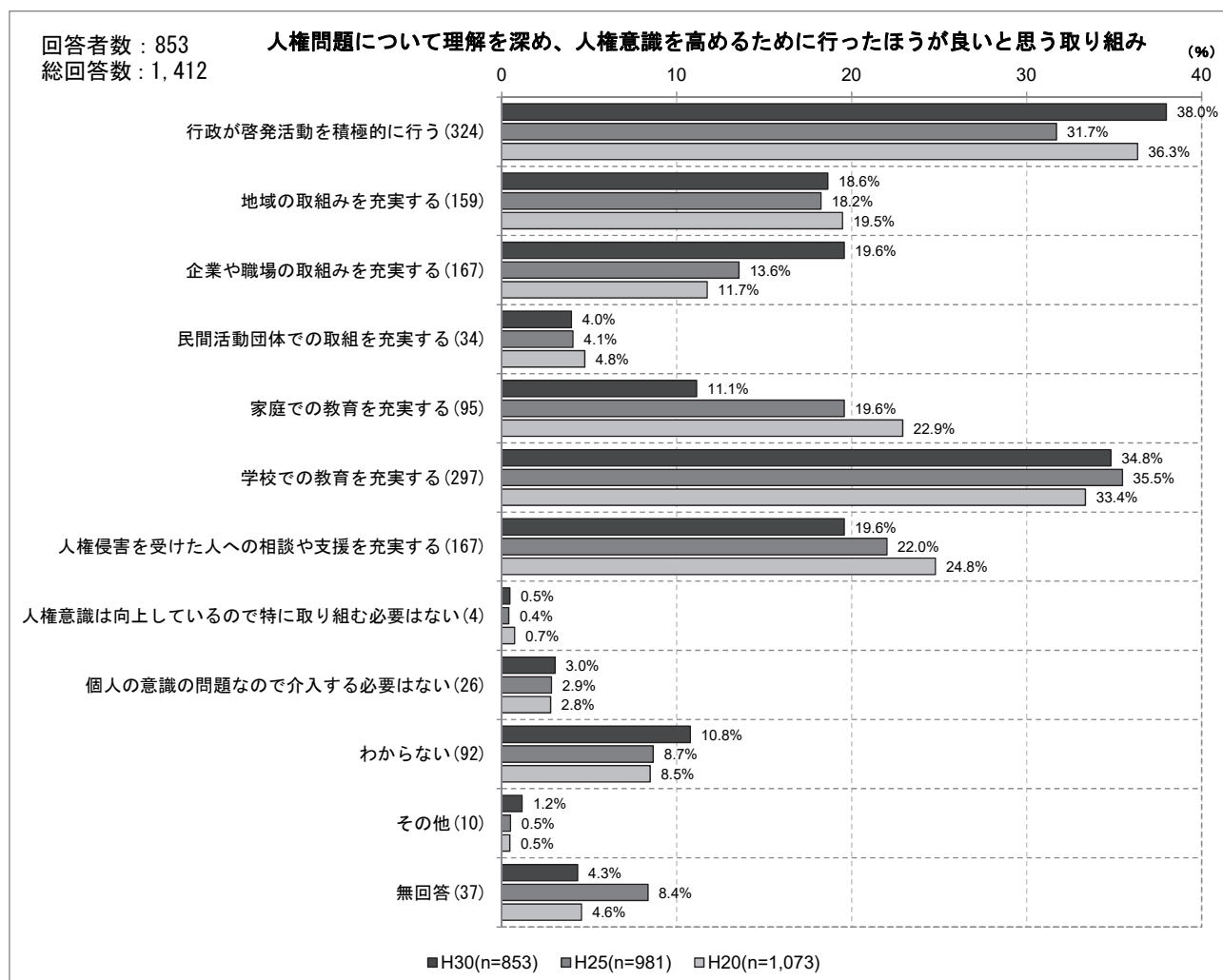
問42 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取組みを行えばよいと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「行政が啓発活動を積極的に行う」が38.0%で最も高く、次いで「学校での教育を充実する」が34.8%、「企業や職場の取組みを充実する」、「人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する」が同率の19.6%となっている。

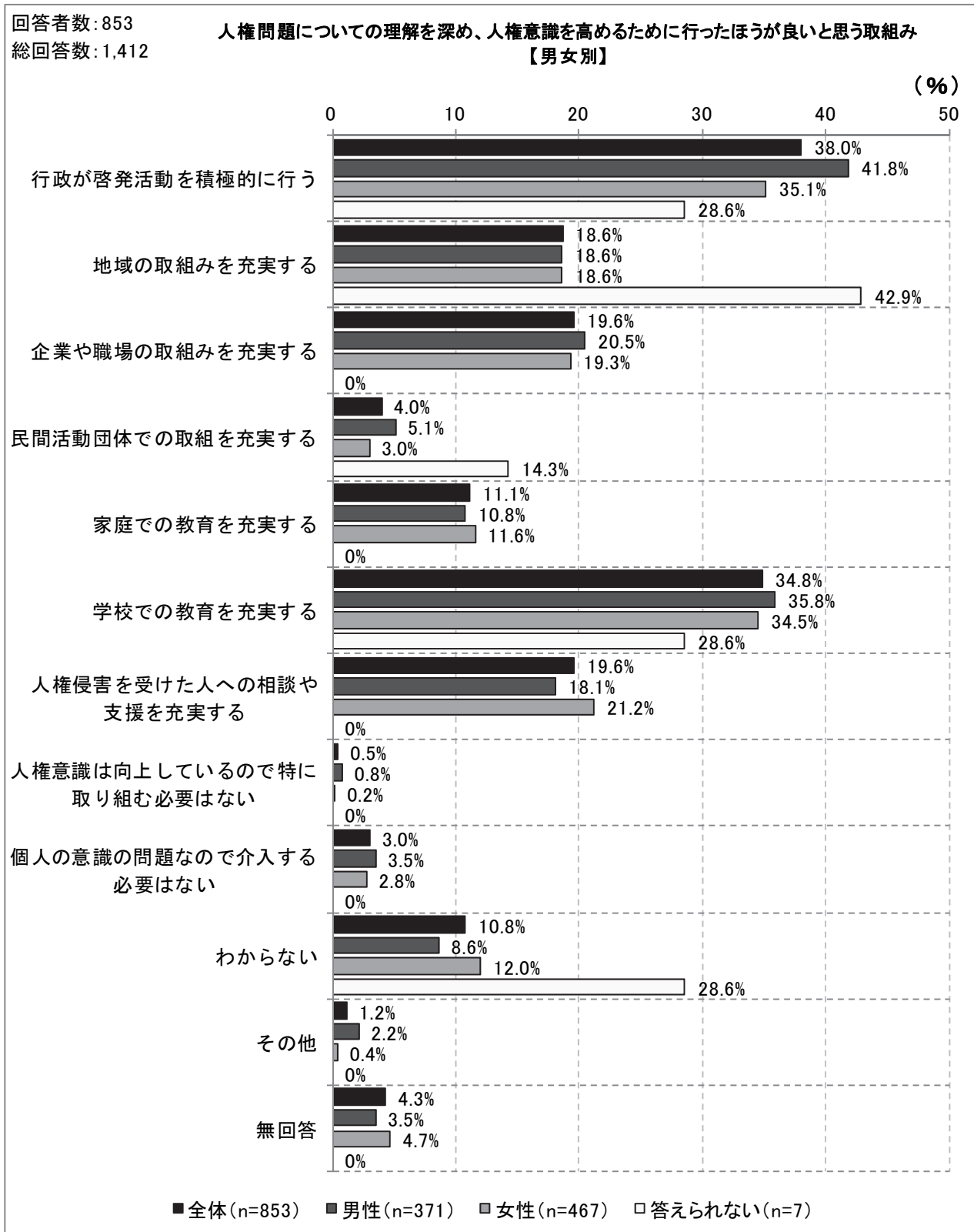
【前回・前々回との差】

- ◆ 「行政が啓発活動を積極的に行う」が前回より6.3ポイント、「企業や職場の取組みを充実する」が前々回より7.9ポイント増加している。また「家庭での教育を充実する」が前回より8.5ポイント、前々回より11.8ポイント減少している。



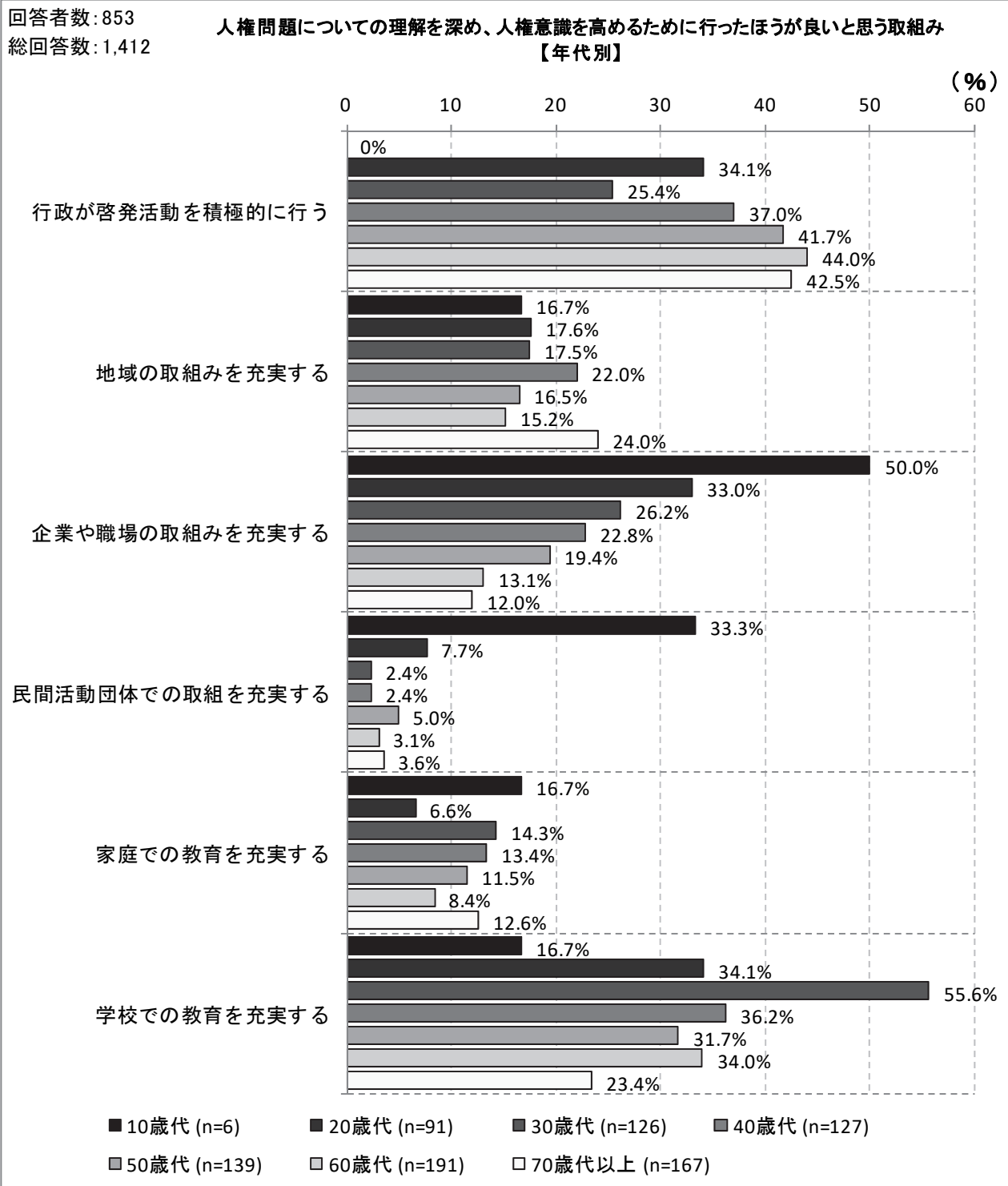
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「行政が啓発活動を積極的に行う」は男性が 41.8%、女性が 35.1%と男女ともに最も高く、女性より男性が 6.7 ポイント高くなっている。



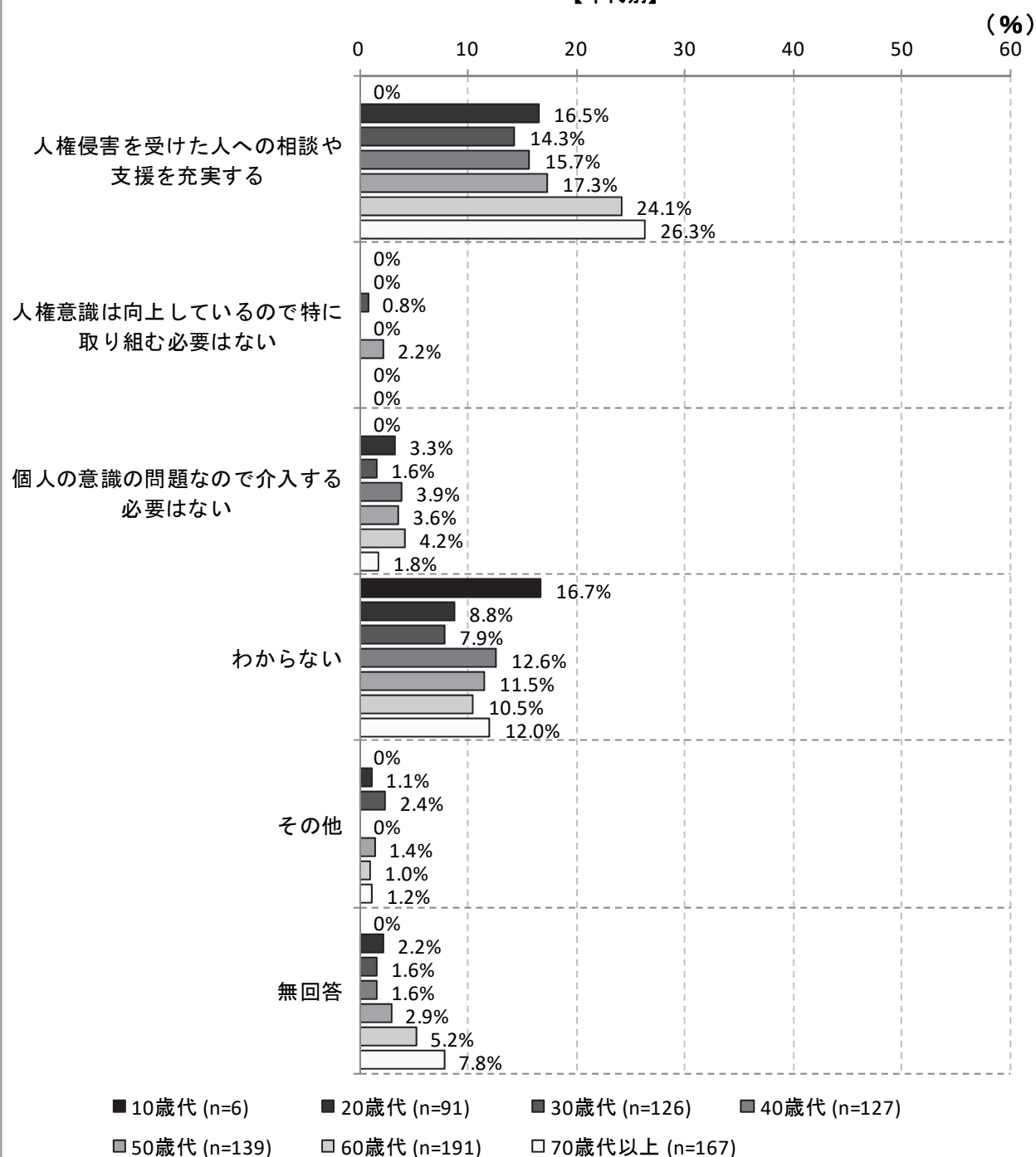
【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代では「企業や職場の取組みを充実する」、20 歳代から 30 歳代の年代では「学校での教育を充実する」、40 歳代から 70 歳代以上の年代では「行政が啓発活動を積極的に行う」が最も高くなっている。



回答者数:853
総回答数:1,412

人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために行ったほうが良いと思う取り組み
【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・行政は概ね勘違い対応をするので早急に動くべきではない
- ・行政が利権を求めずに、知識・知恵で制度を構築すること
- ・（人権問題）と（民事上の罰・刑事上の罰）の関連があるならそれを周知させる
- ・法律、条例で規制する 等

17-2 人権を尊重しあうための今後の市民の取組みについて

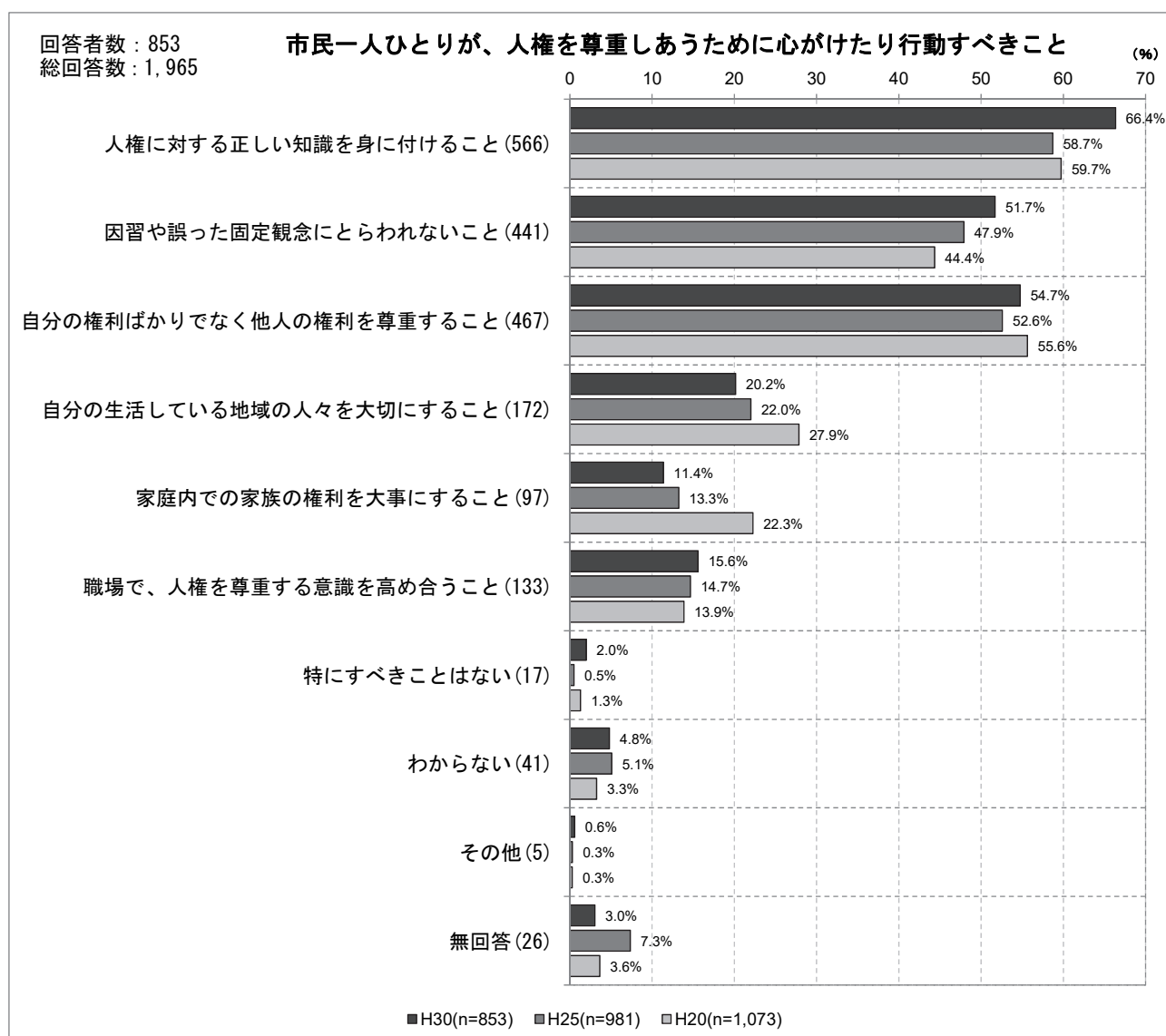
問43 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり行動すべきことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

- ◆ 「人権に対する正しい知識を身に付けること」が66.4%で最も高く、次いで「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」が54.7%、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」が51.7%の順になっている。

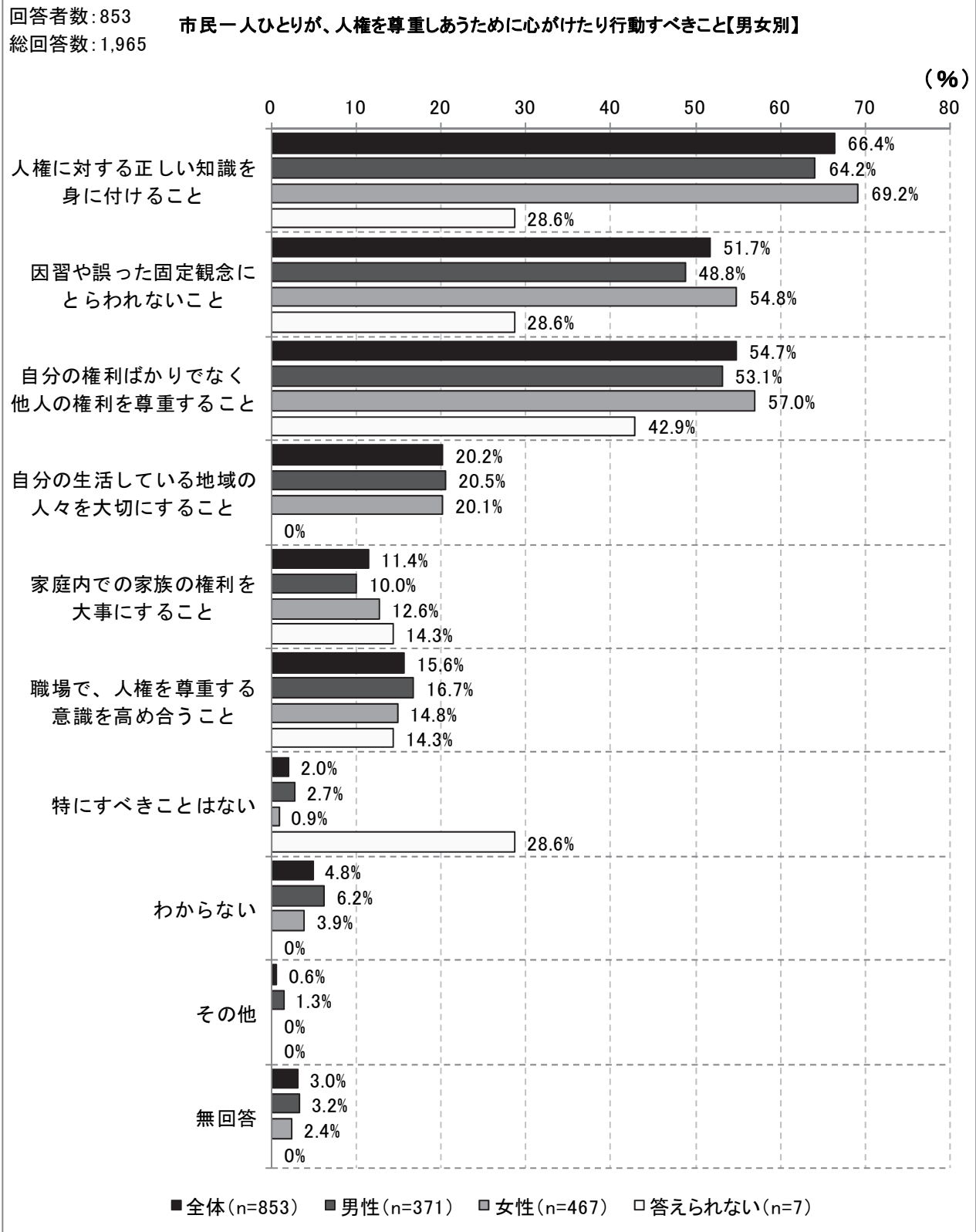
【前回・前々回との差】

- ◆ 「人権に対する正しい知識を身に付けること」が前回より7.7ポイント、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」が前々回より7.3ポイント増加している。また「家庭内での家族の権利を大事にすること」が前々回より10.9ポイント減少している。



【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「人権に対する正しい知識を身に付けること」は男性が 64.2%、女性が 69.2%と男女ともに最も高くなっている。「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」は男性より女性が 6.0 ポイント高くなっている。

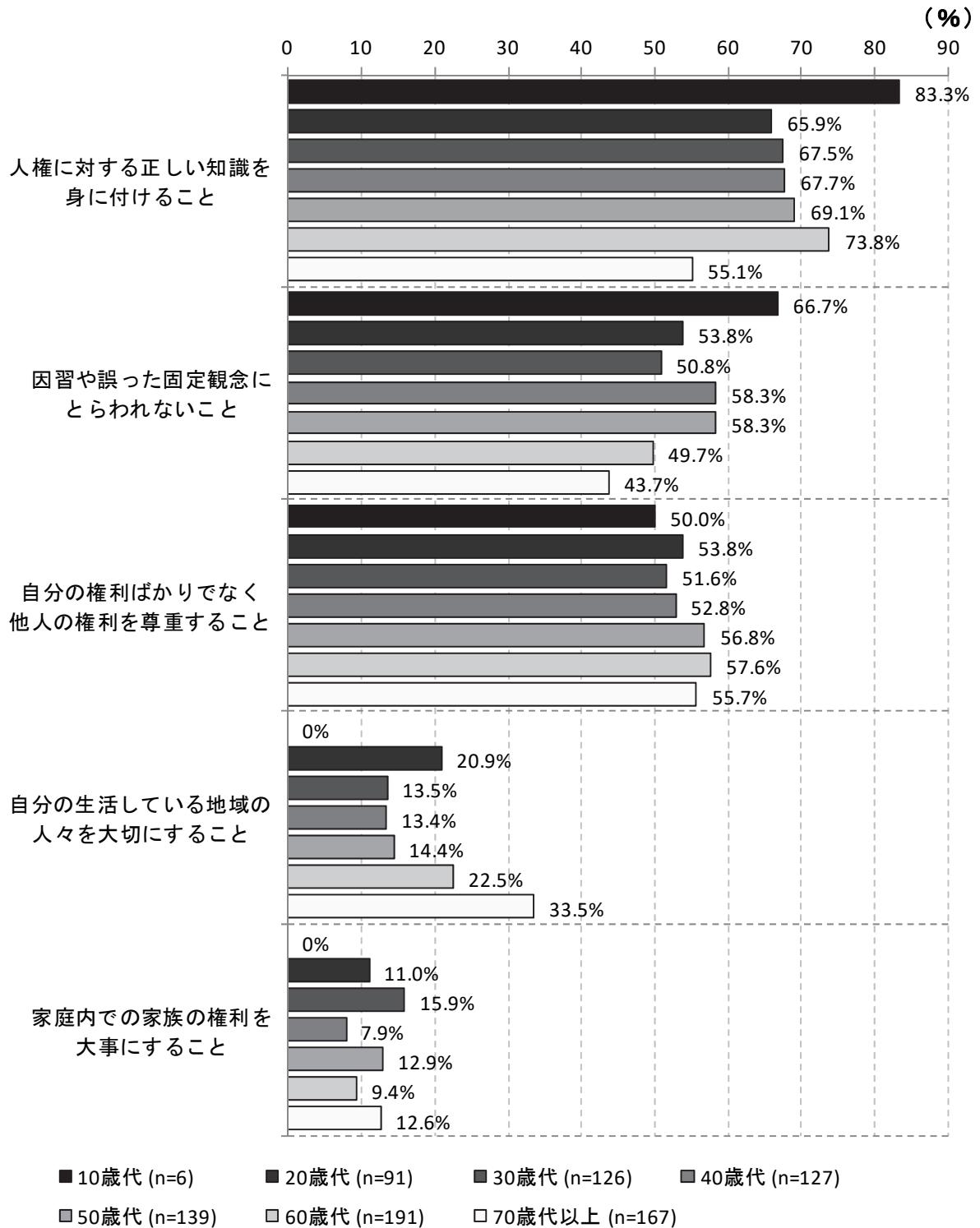


【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10 歳代から 60 歳代の年代では「人権に対する正しい知識を身に付けること」、70 歳代以上は「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」が最も高くなっている。

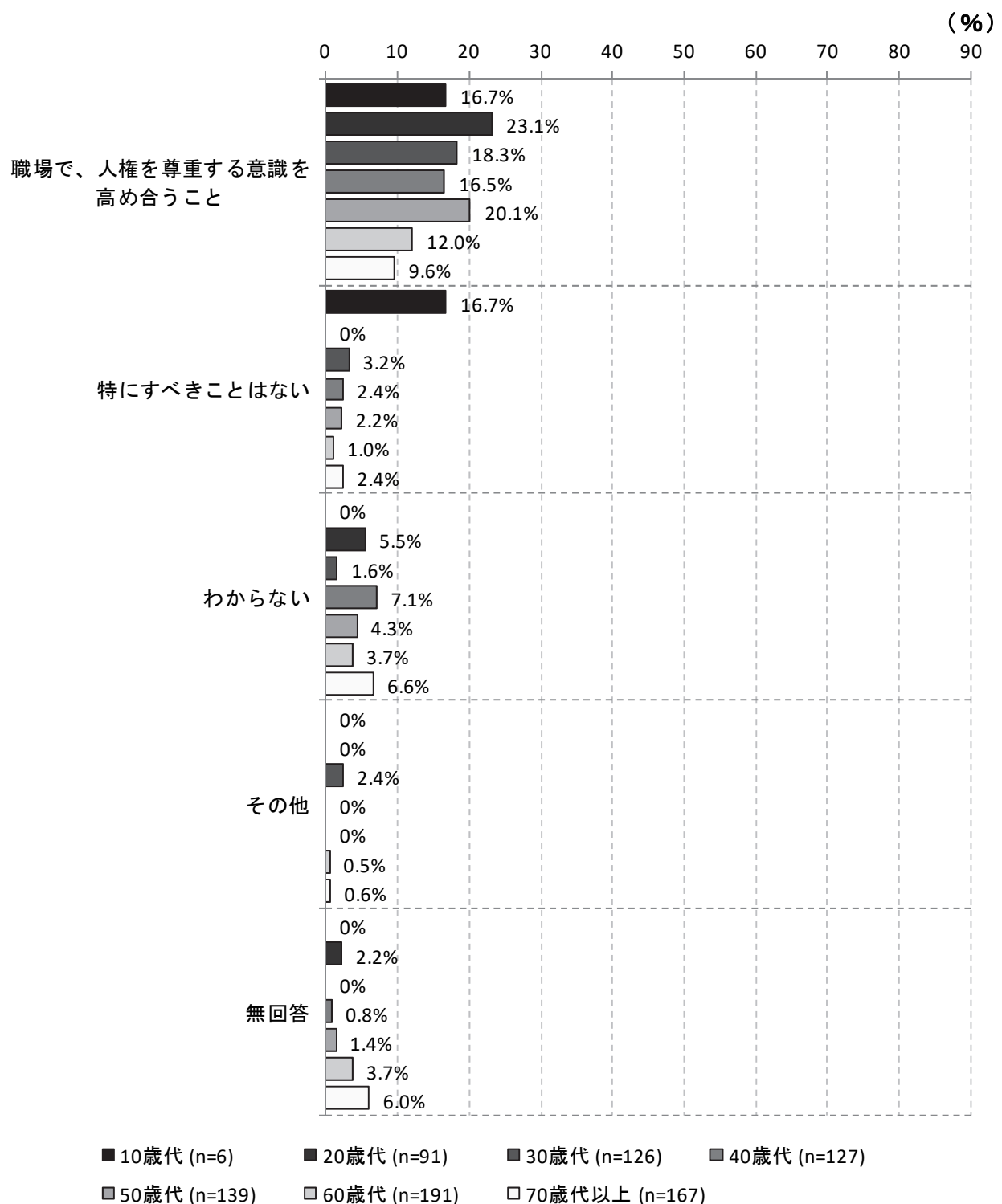
回答者数: 853
総回答数: 1,965

市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり行動すべきこと【年代別】



回答者数:853
総回答数:1,965

市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり行動すべきこと【年代別】



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・人の短所でなく長所を知ろうとする心がけ、また長所を知ってもらおうとする心がけをする
- ・相手の話をきける精神的かつ経済的余裕をもつこと
- ・まず歴史を正しく知って下さい 等

17-3 人権侵害に対する相談や救済について必要なこと

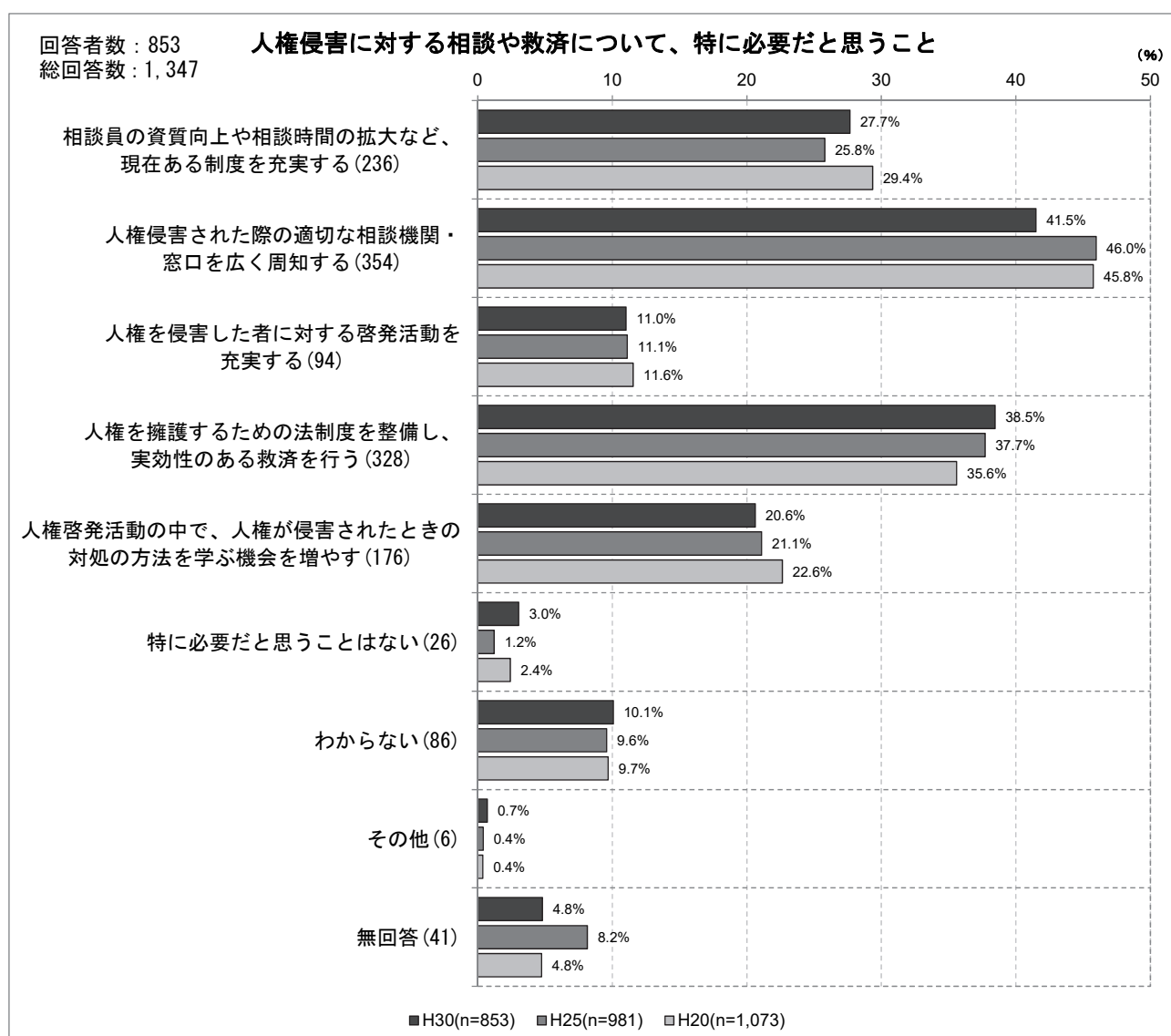
問44 人権侵害に対する相談や救済について、どのようなことが特に必要だと思いますか。
(〇は2つまで)

【全体】

- ◆ 「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」が41.5%で最も高く、次いで「人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う」が38.5%、「相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する」が27.7%の順になっている。

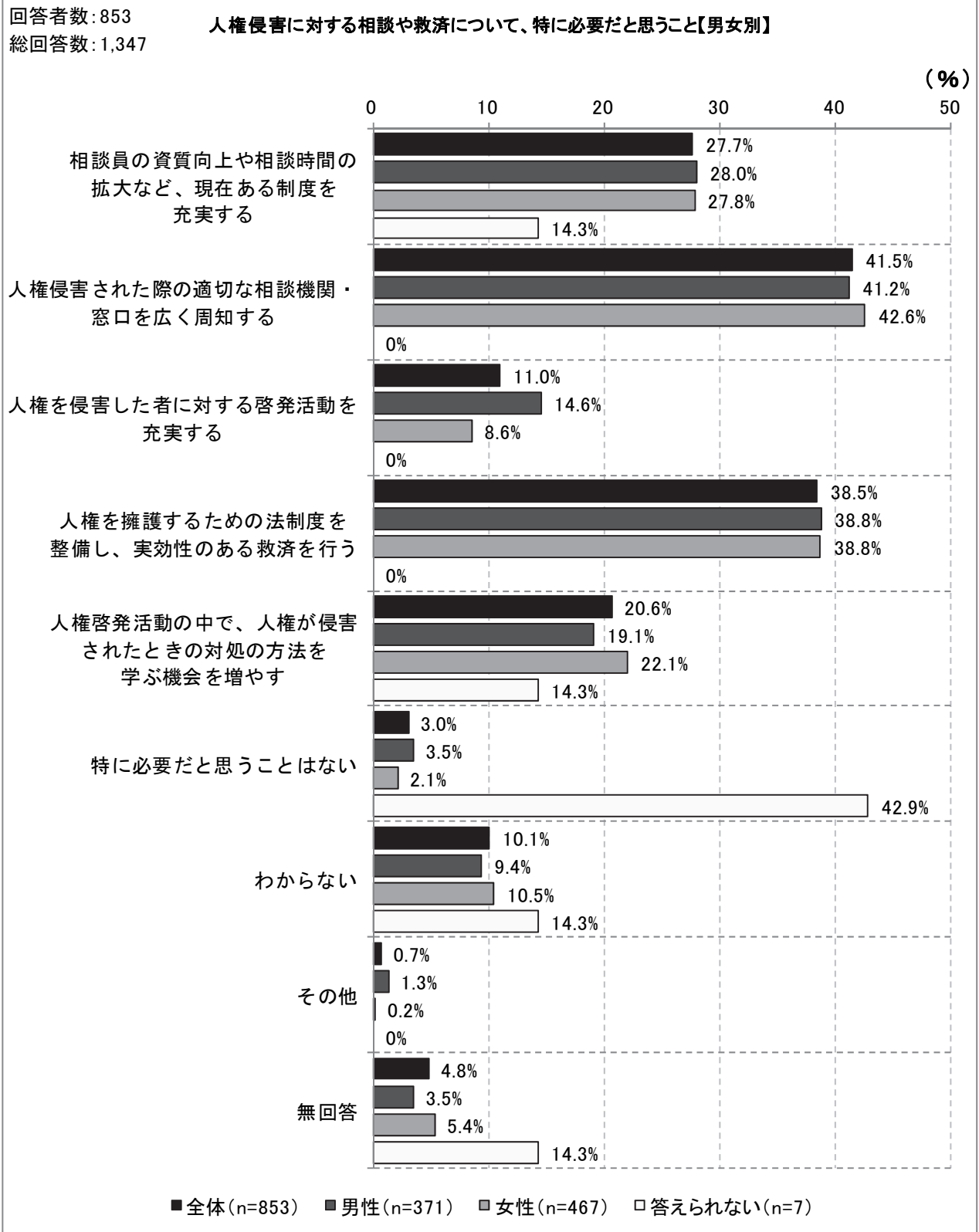
【前回・前々回との差】

- ◆ 「相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する」が前回より1.9ポイント、「人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う」が前々回より2.9ポイント増加している。また「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」が前回より4.5ポイント、前々回より4.3ポイント減少している。



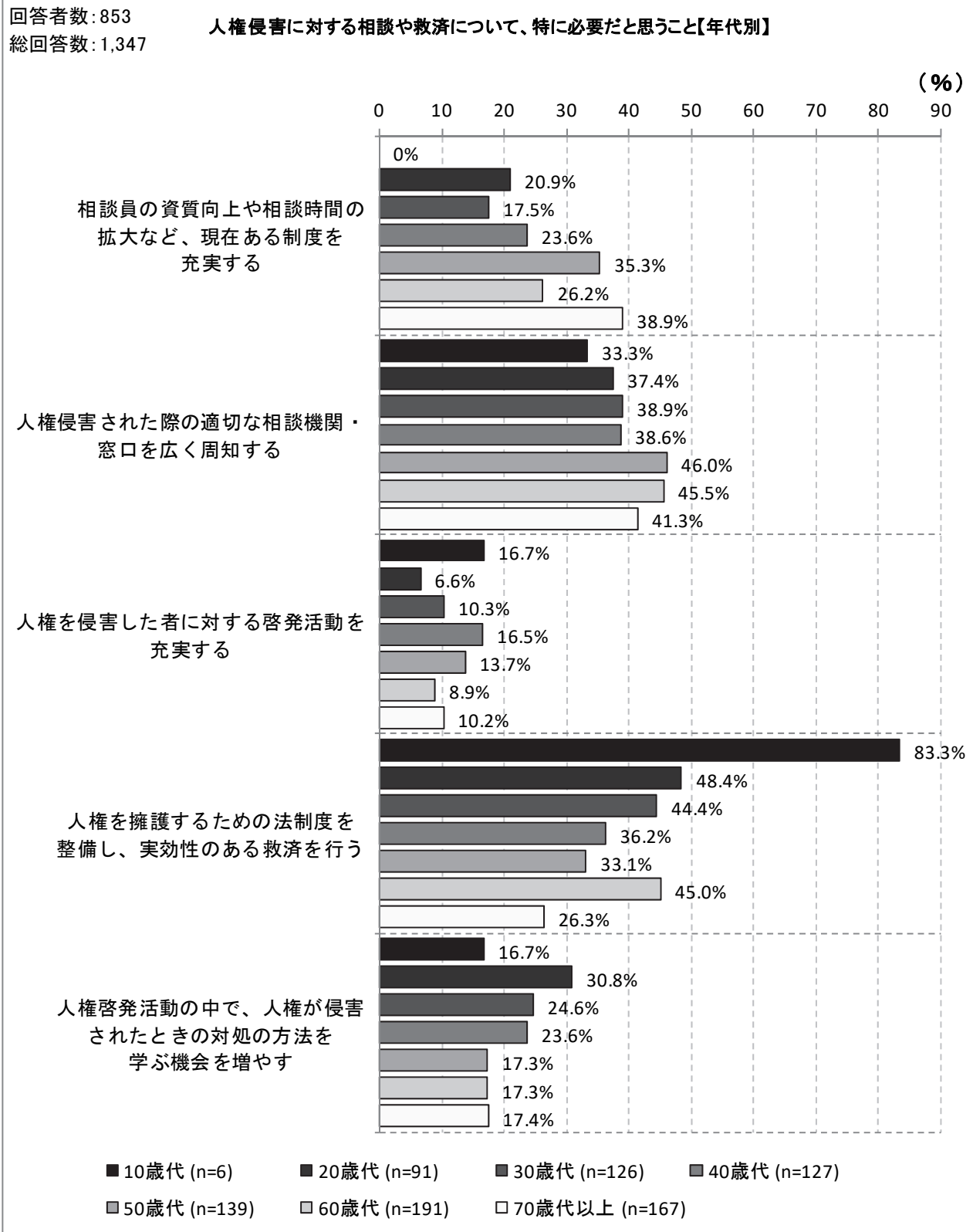
【男女別】

- ◆ 男女別でみると、「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」は男性が41.2%、女性が42.6%と男女ともに最も高くなっている。「人権を侵害した者に対する啓発活動を充実する」は女性より男性が6.0ポイント高くなっている。



【年代別】

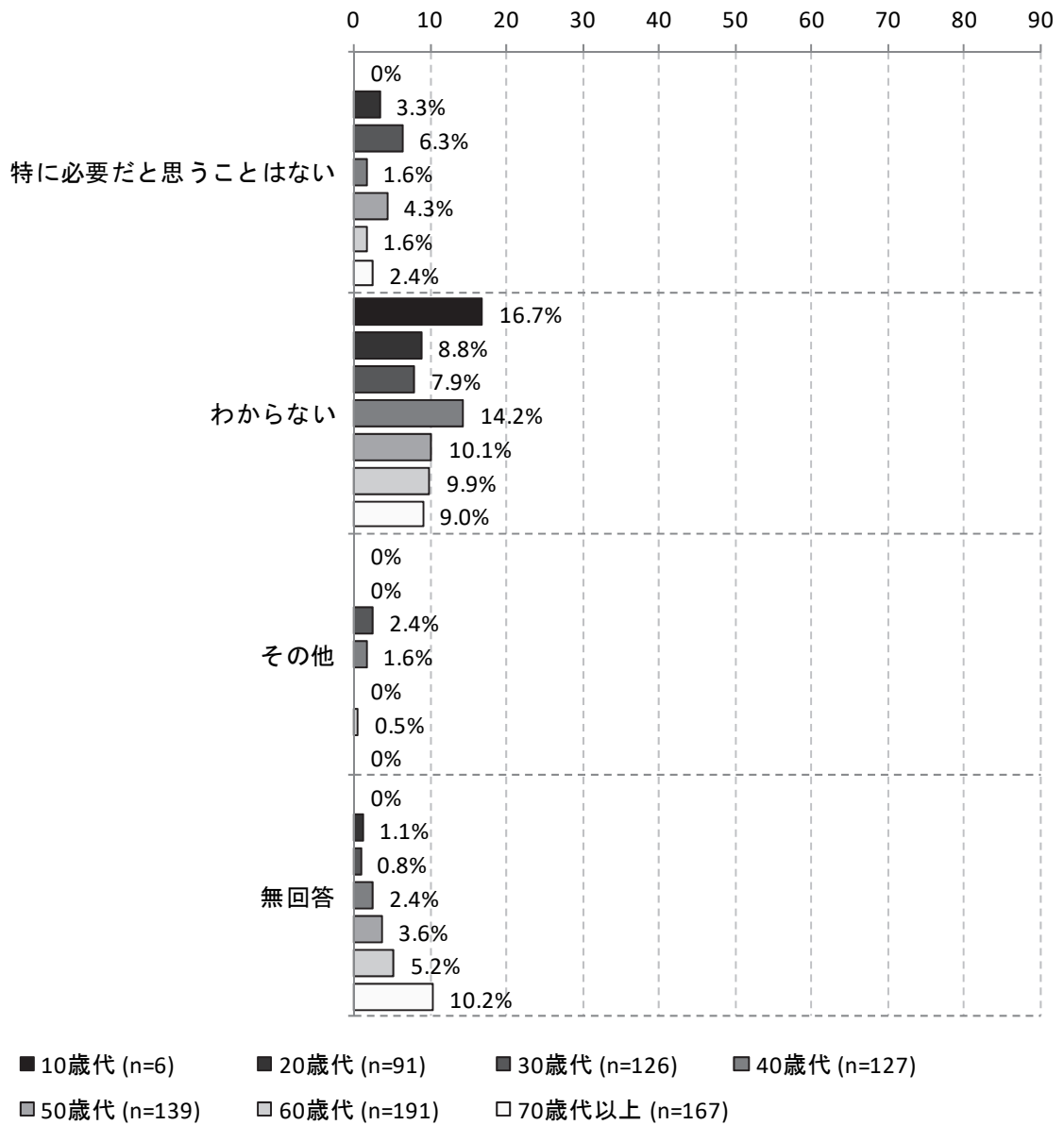
- ◆ 年代別でみると、10 歳代から 30 歳代の年代では「人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う」、40 歳代以上の年代では「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」が最も高くなっている。



回答者数: 853
 総回答数: 1,347

人権侵害に対する相談や救済について、特に必要だと思うこと【年代別】

(%)



【その他の回答】

その他の回答の主たるものは以下の通りである。

- ・ 人権侵害に限らずあらゆる相談などの窓口を一元管理し、そこを110番や119くらい広く周知させそこから分岐して案内できるようにする
- ・ 人権侵害をされた人が、そのされた環境から離れることができるようなシステムをもっと増やす
- ・ 相談のあった内容を検討し、教育、法制度へ迅速にフィードバックし整備する
- ・ 相談員の権限の拡大と質の向上
- ・ 人権侵害をした者を取締る機関がはっきりしない、あっても権限がない 等

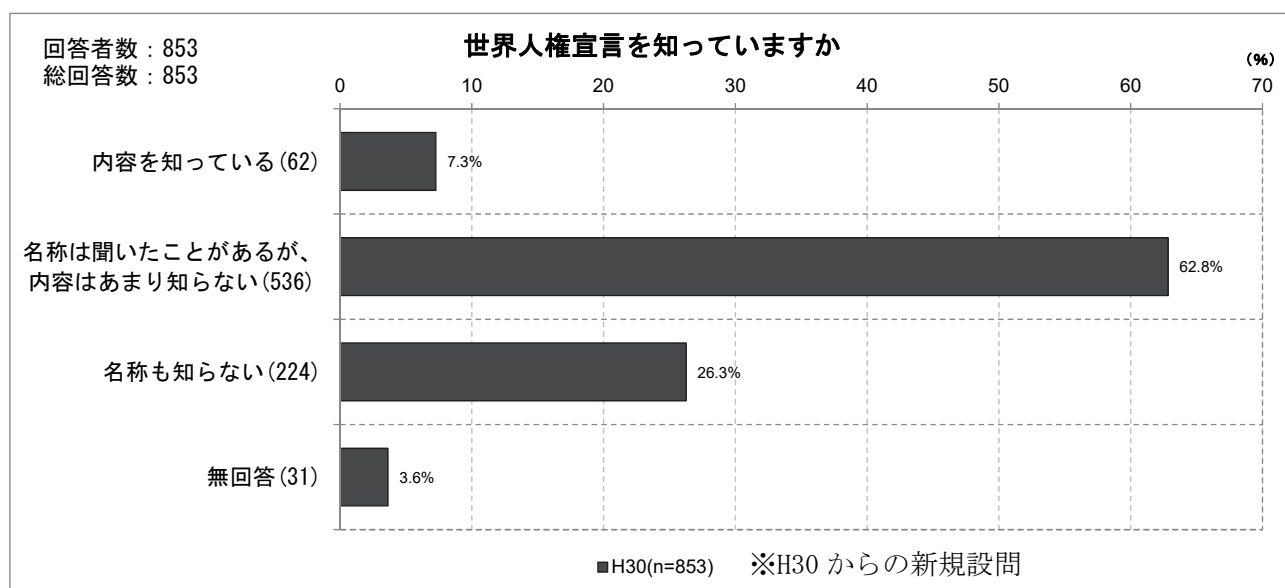
18 国連で採択されてから 70 周年を迎える世界人権宣言について

18－1 世界人権宣言について

問45 世界人権宣言は、世界中のすべての人々、すべての国が達成すべき共通の人権基準を示した国連（国際連合）の宣言です。この宣言について知っていますか。（○は1つ）

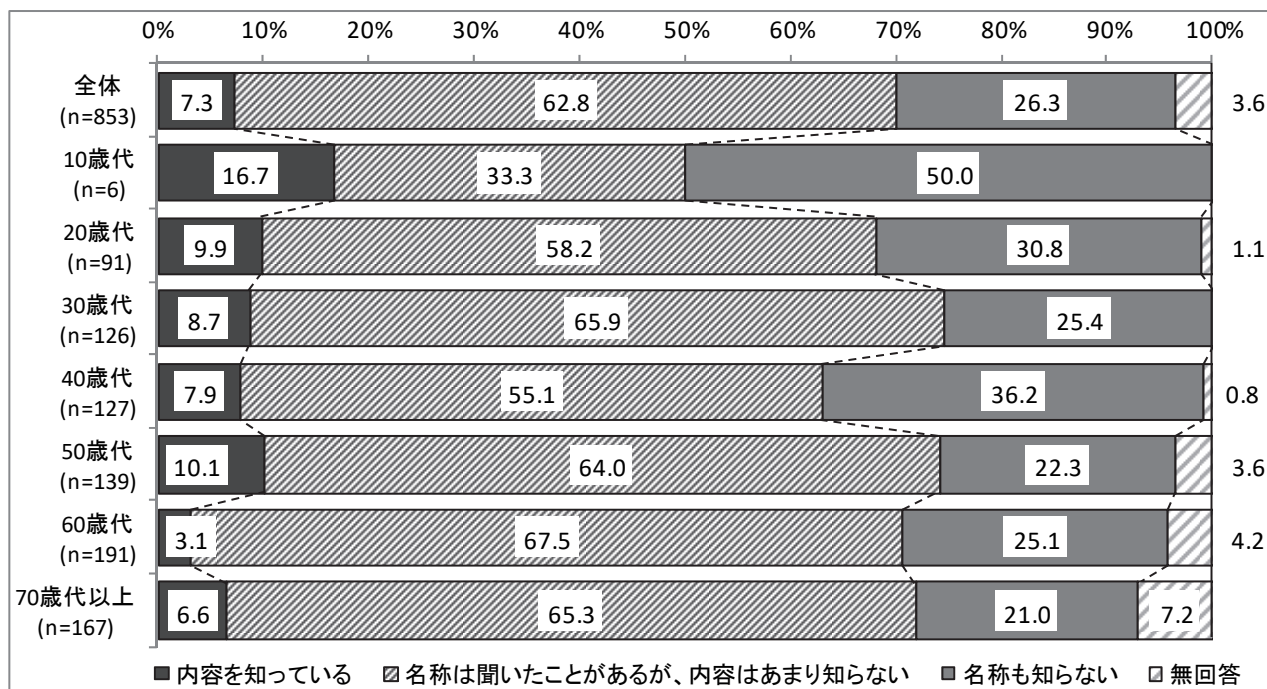
【全体】

- ◆ 「名称は聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が 62.8%で最も高く、次いで「名称も知らない」が 26.3%となっている。



【年代別】

- ◆ 年代別でみると、10歳代では、「名称も知らない」、他の年代では「名称は聞いたことがあるが、内容はあまり知らない」が最も高くなっている。



【数表】 18-1 世界人権宣言を知っているか

[上段: 件、下段: %]

項目	区分	内容を知っている	あが名 まあ りるは 知が聞 ら、い ない内 容たこ はと	名称も 知らない	無 回 答	総 回 答
全体 (n=853)	回答数	62	536	224	31	853
	回答率	7.3%	62.8%	26.3%	3.6%	100.0%
男性 (n=371)	回答数	33	222	104	12	371
	回答率	8.9%	59.8%	28.0%	3.2%	99.9%
女性 (n=467)	回答数	29	308	113	17	467
	回答率	6.2%	66.0%	24.2%	3.6%	100.0%
答えられない (n=7)	回答数	0	3	4	0	7
	回答率	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%	100.0%
10歳代 (n=6)	回答数	1	2	3	0	6
	回答率	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	100.0%
20歳代 (n=91)	回答数	9	53	28	1	91
	回答率	9.9%	58.2%	30.8%	1.1%	100.0%
30歳代 (n=126)	回答数	11	83	32	0	126
	回答率	8.7%	65.9%	25.4%	0.0%	100.0%
40歳代 (n=127)	回答数	10	70	46	1	127
	回答率	7.9%	55.1%	36.2%	0.8%	100.0%
50歳代 (n=139)	回答数	14	89	31	5	139
	回答率	10.1%	64.0%	22.3%	3.6%	100.0%
60歳代 (n=191)	回答数	6	129	48	8	191
	回答率	3.1%	67.5%	25.1%	4.2%	99.9%
70歳代以上 (n=167)	回答数	11	109	35	12	167
	回答率	6.6%	65.3%	21.0%	7.2%	100.1%

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

第IV章 自由意見の要約

アンケート調査票の自由回答に記された意見を項目ごとに取りまとめた。尚、本調査の内容にそぐわない意見を除き、できる限りすべての意見を掲載している。主な意見内容は以下のとおりである。

人権全般について
・ 1人1人の人権を大切に扱うこと。
・ 人権を主張するあまりプライバシーを守りすぎ、規則づくめの世の中に進展することが心配。
・ 人権侵害に付いては、罰則を強化し、広く適応する。但し、刑はボランティア活動をする。
・ 人は皆平等であります。
・ 人の悪口を言わない。他人は出来ず自分は出来る事を他人におしつけない人それぞれ出来る事と出来ないことが有る事を認識する事。
・ 教育の場、職場などでいじめが発生しているという事をNewsや新聞でよく見かけます。教育の場や職場などの対応がよくなかったことで、いじめにあった人が自殺をする、自殺未遂といったことも見かけます。だから、教育の場や職場の対応がいじめがあった所以外も含めて見直し、人と人が完全に理解し合えなくてもいじめの実態を理解する事が大切だと思います。いじめに関する法的処置も考えた方がよいと考えます。(親と子両方に対しての) 私自身いじめに合っていた事があるので、いじめに関してはしっかり対策をとってほしいと思います。
・ 人には、それぞれ個性があり、他人を尊重することが大切であり、その心があれば大丈夫。ただそれを失なうと偏見の目で見ることになるので、正しい目を持つ道徳を。
・ 1. 障がい者の人権作業・清掃等等働く場があっても収入がとても少ない。収入の問題ではなく、これらの人権の問題意識をもって、大きく改善を望む2. 子どもを生み、育てていく女性・その家族と、結婚しない、子どもを生まないという人生がある。子どもを生み育て家族への家事・PTAなど、親の介護等「人権」に直接関係なく思われがちである。現実には家庭内外の重労働や家族の人数と収入のバランスが大きく違うと思う。精神的重圧のある人ない人の差もある。「人権」だけを考えず、“人が生きていく上で、どんなに不平等や苦しみがあるか、「人権」や「福祉」等々を区切らず、今より一人一人の苦しい思いの改善策を望む。
・ なんでも皆平等にではなくて、それぞれの向き不向きを活かして動き、それが総合的に平等な活動量になったりするような社会になって欲しい。どうしても男の人の方が女の人より体力がある人が多かったり、女の人にしか出産できなかったり母乳が出なかったり、性別的役割を変えることはできないのでそれを全て平等にすることは不可能なのは明確。だったら会社や社会において男性だから(性別的、身体的に)出来ること、女性だから出来ることを役割として最初からわかる。もちろん、女性自身が男性の役割ができると申告するならOKする。その方、がよっぽど平等の意に沿う気がする。
・ 人権に対するいろいろな対策が取られるのはとても良い事だと思うのですが、その制度を悪用する人もでてくる気がするので、切り分けが難しいと思います。
・ 社会全体に対して、頭の回転の遅い人間への配慮が足り無いと思います。就労の問題だけでなく、人間としての尊厳も傷付けられます。競争が苦手な人間も居ますし、身近な友人が競争を苦に亡くなったので生き難い社会なのだな、と改めて痛感させられました。無理をしなくても、自分の出来る範囲で役に立ち、自立出来るような事業があれば、と思います。営利会社としては成立しないかも知れませんが、公的な事業なら出来る部分もあるかも知れません。御検討宜しく御願い致します。
・ 人権は守らなければならない、人の悪口、いじめはいけないという気持はあります。が、権利を守る法律を具体的に説明できるかという、今回のアンケートで説明できないと実感できないと実感しました。
・ 弱者の救済、困った人への援助
・ 自分の権利ばかり主張するのではなく業務も果たすようにしてほしい
・ よくわかりませんが、可能なら当事者が、どうしてほしいかを話す。一番わかりやすいと思いました。
・ 個人情報をしっかり守ること
・ 私にとってむづかしい問題で具体的な事業まではわからないですが社会全体というより家庭内でのしつけまでとは言わないですが子供達とのコミュニケーション会話の中で話題にしていけたらなと思います。

人権全般について
保護される人々への積極的な救済と活動が必要 机の上での話ではなく外に出ての活動をしてほしい。助けが必要でも声も出せずにいる人は多数います。
直近の世界情勢から見ても、(アメリカ・中国・ロシア・北朝鮮間の武力闘争)と(平和)は大きく乖離しており、国内の日本を代表する民間企業でも利益のためには会社全体で数と品質の不正を行なっていて、人権問題についても最初からこれの救済に取り込んでも、進歩はきわめて遅く微々たるものと思われる。国民は勤労と納税の義務があり、ひとまず勤労する場所と賃金を支給する(民間企業ではない) 非営利事業団体を設立し、そこで、人権問題を受けている女性・高齢者・障がい者・同和関係者・アイヌの人々・外国人・感染症患者・刑を終えて出所した人・犯罪被害者・インターネットによる被害者・ホームレス・性的指向を理由とする人・性自認を理由とする人・大震災に起因する人ほかを雇用し、まず生活を自立させた後で、人権問題の向上に取り組んだ方がよいように思います。(ところで、刑事罰を受けた人が出所後、職を得られない場合、再犯が多いようですが生活保護は受けられますか)
新聞の記事より、障がいを持つ子供の前途を悲観して高齢の父、母が我が子を殺し、自分も自ら命を絶つ。又児童虐待で義父が妻の連れ子を暴行死させるなど、身につまさせられる事件が後を絶ちません。民生委員、福祉委員など民間の一般人では対応が無理なので市・行政の専門機関がなんらかの方法で手を差しのべられたら、尊い命を救うことができると思います。ネットワークが確立していない、又、親の収入の格差で子供の貧困が大人になってもつきまとい、負のスパイラルがくり返されている日本社会。子供の大学授業料が重く、やがては子供の少子化がもっと進み、未婚に繋がっていくと思います。
平等なルール作りをして欲しい。例えばセクハラだったら「〇〇さんに言われたらOK」「××さんに言われたらNG」とかいう恣意的な判断がなされる事がない様にして欲しい。また、人権弱者が逆に自分の権利を主張しすぎて、普通の人の不利益を被ることがない様にしてもらいたい。
人権は大切です。ゆえにそれを悪用する者は最悪です。人権ヤクザに負けない行政のしっかりした対応を希望します。くさい物にフタをせずはつきりとNoと言える様に。
人権問題で市の大切な予算をあまり使って欲しくないです
“人権”に関してどんな“事業”が成り立つのか、アイデアは思いつきません。ただ、日常的に、大切にすべきことで、生きていく上で重要なことは(考えは)、ベースに人権は誰もが持っていて、人間同士、(例え、相手が幼児、子供でも。もちろん老人であっても) 尊重されるべきであり、出来ない人間はヒトとして最低であることを、皆が認識してくれたら、世の中に傷つけられてつらい人や、虐待で亡くなる子供・老人が無くなるのでは、とあたり前のことを、地域で再認識する(させる)機会があればよいかと思います。虐待が起きない地域作りをお願いします。時間がかかることですが、積み重ねていけば、市民同士守られている強固な地域がつかれるのではないのでしょうか。
人権問題は深いと思います。様々な場所で共通して行っている問題。先ず、この問題を取り上げている役所がいかに現状を知るかだと思います。アンケートを取る時点で現状を解っていない所が一番問題。

女性について
子どもの教育から、開放された主婦の再就職先の門戸開放事業など。
世帯主(男)が亡くなったとたんに、近所の人たちの(男女とも)態度が変わる。残された家族をバカにする傾向がある。女性世帯主への周囲の意識が低すぎる。
独身女性(未婚、子なし)の人権について子どもを産まないと選択した女性が生きやすい国になって欲しいです。各それぞれの人がいろんな事情で決めたことなので、社会の中で批判や差別、暴言などをなくしていきたいと思いました。
女性の人権、子どもの人権に特に力を入れてほしい。子育てしやすい環境作りにも。次世代を築いてくれる子どもたちに、正しいルールを身につけて育ってもらえるように。

子どもについて
子どものSOSボックスの設置学校だと入れにくいと思うので、公民館などに設置し、学校に報告する等、子どもが悩んでいる事を発見できる様な場が身近にあるとよいと思う。
子供が育てられない精神的に追いつめられている無理、殺しそうそんな親を早期に発見して、助けるシステム・施設。・子を殺しちゃいそうなくらい悩んでいる親を助ける、見つける子供も保護する。(親も) かわいそうな子供殺される前に、助かる方法を。
子ども達が心身共に健康で元気な町にしてほしい。(クーラー導入、カウンセリング室を作る、地域の人との交流、内科けんしんをていき的に行う) 等
幼な子に対する親の虐待がなかなか減りません。いつも事件になってからの対応で何故もっと早く対応出来なかったのか〜ともどかしさを痛感しています。もっと積極的に保護者に対処出来る施策をとっていただきたいと思っています。
子どもの『いじめ問題』に対して、私の小4の子どもは、1年生から2年生1学期まで、いじめにあっていました。(一人の男の子から) その時の影響から、摂食障害になってしまい、『食べてはトイレ』っというのを今でもなおりません。その子は、いじめに対してもうしないと言ったのですが、ターゲットを代えて他の子をずっといじめています。その子の親さんはしりません。なので、いじめに合った子も、いじめた子も、カウンセリングをしっかりして、子どもたちの心に残っている思い出や、やってしまった子の心の思いを聞いて、被害が出ないようにしてほしいです。
子供の人権：なぜエアコンがないのか(学校に)
暑い多治見。小中学校・保育園幼稚園のエアコン設置も子供の人権を守る為にも必要だと思います。(役所の大人はエアコン入れて仕事していますよね。)
お金がないという理由で、能力があるのに学校に行けないのはおかしいし、将来をつぶしている。授業料を安くしたり、母子家庭に対する支援をもっと積極的に行うべき。
小、中学校にクーラーを設置することは子供の人権を守ることに繋がらないでしょうか。
虐待されている子供は保護出来る事業にとりくんで欲しいです
ニュースで子供の虐待を目に耳にすると、心が苦しくなります。多治見でもニュースにならなくても、不幸な子供がいると思うので、未来のある子供にやさしい、多治見市であって欲しい。全ての人権問題を取り組むのはたいへんなので、多治見市は他の市より県より特に子供を大切にするやさしい街でありつづけて欲しい。子供が安心して外で遊んだり、楽しく学校に通えたりできる様、子供に特に税金を使って欲しい。若い方が多治見で子供を産もうと思う様なサービスをドンドンやって頂きたい。
託児所、学童保育の充実。シルバー人材や高齢者のボランティアに協力してもらい、利用料を抑える。
子どもたちの権利は守られているのでしょうか。小さな子どもが犠牲になるケースも多々ある中、私達が見えない所で、子どもが傷つき、知らなかったでは、済まされない。政治的な策でもなんとか18才までは、子どもたちが個々夢をもてる様な、教育、生活を保証される、もっと子どもを守ることを希望したい。今やらないと、もう遅い、大切な子どもたちです。
こんなアンケートより、子育てに力を入れて下さい。老人に金を使うのもどうかと思います。
人権とは多少異なるかもしれませんが、学校の教室にエアコンを設置してあげて下さい。子ども達の教育を受ける権利という意味では、快適な教育環境を整えてあげられるといいと思います。暑さ対策日本一を掲げる多治見市の学校が、この高気温の中授業をしていて、不思議に思います。今の季節、命に関わる高温になる日も多く、子供たちが心配です。多治見市の今後の事業に期待しています。

高齢者について
私は両親の介護を経験した者です。認知症などになると入院時、家族が不在の場合、どんな事をされているのか確かめようもありません。とても不愉快な思いを何度もいたしました。全ての病院関係者を疑うわけではありませんし、プライバシーの問題はあると思いますが、自分で意思表示出来ない患者の部屋には監視カメラなど設置してほしいと強く感じます。宜しくお願い致します。
高齢者が増えた町内で今までの、町内役員の役割が出来なくなる人が出て来ました。順番だと役を回されても、80才以上になり、班長や、体育委員ましてや町内四役は務まりません断れば、近所

高齢者について
づきあいも、うまくいかなくなります。これも、人権問題の一つだと思われます
- 高齢者の人権について。運転免許証の返納に伴い、生活困難者となっている方も多くみえます。市のバスもありますが、実際旭ヶ丘の市営に住んでみえる方は高齢の方が多く、近くに買い物できる場所もなく、バスも近くを通らないため、本当に困ってみえます。市のバスなら、市内平等に乗車できる様、配備してほしいです。今一度バスの路線の見直しをご検討して下さい。 - 高齢者（60 歳以上）の犯罪者が多いことに、もっと注目すべき。暴言・暴力を行っているのは、近年この年代の人達である。この方達は地域の集まりや病院に行く機会が多いので、もっと、市の人が話をすべきと思う。また、暴言の中には、女性への差別も多く含まれ、近所同士で悪口をささやく人も多い。市のごみ当番を皆、嫌がるのもこういうことが原因なのもある。

障がい者について
- 障がい者の人権について、身体、知的、精神、色々あります。人権、守られるべきだと思います。が、たとえば近所に知的や精神の方がみえた場合、大声を出される、徘徊等がある。自分も困る。そんな場合、どうしたら良いのでしょうか。理解したいが不安もある。今まで接してきた事ありませんので、特にわかりません。 - 私は障がい者です。人口もどんどんへります。（これから）私たちにできる仕事があると思うので、それをさせて下さい。行政から、民間の方にも仕事が障がい者でもできるよう少しアレンジして提供して下さいよう支援して下さい。 - 精神疾患の障がいの理解 - 警察も障がい者に優しくない。 - 精神障がい者の就労支援をお願いします。身体障がい者の方に比べて、精神障がい者を受け入れて下さる就職先がなかなかないと思います。精神障がい者に対する理解がえられないのが現実なのかもしれません。 - 障がい者の入所施設より、グループホームをつくれるように、地域住民の理解が得にくい社会なので改善できたらいい。 - 障がい者に対して、本当によい支援がされているのかわからない - 障がい者に対する過保護は逆差別になりかねない。年収 2 5 0 万円位の健常者が税金を払って、障がい者は実質（タクシー補助、障がい者年金、割引、e t c）で年収 1 0 0 0 万に等しい事もめずらしくない。障がい者保護のあり方を検とうする必要がある。 - 障がい者の働けるところをもっと増やして欲しいです。私はアスペルガーと強迫性障がいと軽度のうつを持つ障がい者です。見た目は普通の人とかわらないのですが、目に見えない障がいというのはなかなか相手にわかってもらえません。最近、ヘルプマークが少しずつ認知されるようになってきたみたいですね。嬉しく思います。このまま多くの人にもっと認知してもらえたらいいなと思います。多治見がもっと良い町になるといいなって願ってます。

同和問題について
- まだこんな問題のあることが不思議です - 考え方の違いなんで仕方ない - 同和問題のくわしいことがわからない昔学校で習った位 7 0 歳代の私でも「同和」を良く知らないのに公にすることに疑問をもちます - 同和（差別）がどういうものか知らない

外国人について
多治見市は外国人の義務教育において優秀だと思います。うちの嫁は外国人ですが、子供も通訳の先生をつけて頂いて現在東京の大学に行っています。ありがとうございました。

外国人について

- ・ 人口減に対処する為の外国人の増加問題、単なる低賃金労働者として又も遇すると、今後大変なことになる。(西欧を参考にして) 社会の一員となるべく長いスパンで考えていかなければならない。一世、二世、三世として社会に定着していくからだ。
- ・ 外国人に対する日本人としての教育の義務化。外国の国籍に対する加税。

犯罪被害者とその家族について

- ・ 犯罪被害者の差別の実態がわからない。

インターネットについて

- ・ インターネットの使い方講座。匿名性の高いネットの世界の使い方。一度書き込んだら、2度と消えない事をおしえてほしい。ネットの書き込み情報が全て正しいわけではない。多勢の人が書き込んでいる様に見えるが、実際は、1人、2人で書いていることもある。スマホのおかげで使い方がよりひどくなったと感じる。

性的指向について

- ・ L G B Tフレンドリー宣言・パートナーシップ証明(同姓婚)・小、中、高校生への性教育を通じた、人権教育
- ・ 国内の一部では同性パートナーシップ条例が制定されています。とはいえ、内容を見ても満足のものではありません。確かに同性愛は少数派ではありますが、権利はあるはずです。まずはL G B Tに対する制度の実施→充実へとつなげてほしいです。各自治体でそういう取り組みが増え、条例も制定され、生活しやすい世の中になることを切に願っています。
- ・ L G B Tの理解
- ・ 性的指向者の差別の実態がわからない。
- ・ 「無知の知」障がい者などのマイノリティについて、知らないことは罪ではないと思いますが、知ろうとしないこと、誤った認識下で物事を判断することは問題があると思います。たまたま、私の友人に性同一性障がいがかかえ、タイへ行き性自認と同様の体になるための手術をし、性別も変更した人がいますので、それについての知識や理解はある方だと思います。でも、身近にそういった友人がいたから私は知ることができましたが、家族や友人などに当事者、関係者がいなければ、正しい知識を得ることはできなかったでしょう。事実を知って生理的に受け入れられないと言った別の友人もいます。でも、それはそれでいいと思います。正しい知識の下、判断した結果ですから。実際に、当事者、関係者とふれあうことが、最も理解をすすめる方法だと私は考えます。受け入れられるかどうかは、その後ではないでしょうか。そして、マイノリティの人は本当に受け入れてほしいのでしょうか。マイノリティ、マジョリティ関係なく、個々人のことを知ろうする機会があればと思います。

東日本大震災等について

- ・ 大規模な災害が発生した際の避難生活で、プライバシーや生活空間の快適性が保たれるような提案、計画、行動を行ってほしいです。(多治見市内で避難生活をする必要が生じた場合を想定しています。)

人権教育・人権啓発について

- ・ 他人を尊重する事を幼い内に生活の中でおしえる。(個人で) 人と人との絆、人と人の和を教育で教える。(社会全体で)
- ・ 「うながっぱ」のように「多治見人権宣言」と作ってあまりムズカしくない程度に広めていくのも良いかもしれません。

人権教育・人権啓発について
この様な問題は、直接的な表現で発信するではなく、文化事業で特にお願いしたいのは、質の高い、芸術的事業をと思います。がそれでは市民もむづかしいので、やはり音楽や絵画などの鑑賞会を毎年つづけることが、自然と人権問題の意識につながると考えます。（質の高い文化事業の推進）
ヘルプマークの周知。（学校、駅←特に平日の朝などでの講演）→学校での講演会→大人よりも素直に情報を取り込んでくれる→として、子どもが大人に教える→大人が手本を示せるように。ポスターでは意味なし。→興味関心のある人しか絶対にみない。一番知ってほしいのは、困ってる本人と、マークの存在を知らない人。ポスターで100万円使うなら、足を使って情報を広め、その100万円で、点字ブロックや遊具を増やしてください。一方的な情報の発信は何の意味もない。
「現状を知らない」上で述べます。・現在、多治見の義務教育で“人権”について、考える授業はどのくらいあるのでしょうか。子供の頃からの「考え方」についての学習が必要だと思います。・現在、日本の移民の受け入れの状況は島国根性から抜けられない、日本の根本的な性格も一因としてあると思います。次の政治家になる人の“考え方”を変える事をしないと日本はどんどん貧しい国になってしまうのではないかと危惧しています。
役所で定期的に相談会など市民の意見を聞く場を設けるなどの工夫をすれば良いと思います。学校などで出張受援をすれば良いと思います。
認知すること。広めること。その為に何をするかですね。楽しく学ぶ（子どもには）こと。ことあるごとに広報。目にすることを当たり前にする。人権の日の認知と、家族での相談の日を作るなど推奨する。
学校で起こるいじめに関して、被害者の子が相談（カウンセリング）をするというのはよくありますが、加害者側もしっかりカウンセリングをしてほしいと思います。問15にも書きましたが、被害者が辛い思いをするだけでなく、加害者に立ち向かい、加害者に反省を促すことができる教育をしてほしいです。
毎日の生活が大切な中、他人を批判するような事より日常生活の大切さ当り前のゴミを捨てない。他人を他人としてでなくもし自分だったらと考える相手を想う気持ちを勉強以外に子供たち（親）に教育しなければ問題は起きます。教育者の教育、上に立つ人の教育を直すべきです。もし自分だったら他人からどうして欲しいか考える人間作り。困った人を放っておかない人間作りが基本じゃないですか、皆さんできていますか。この調査本当に役に立ってますか。
私自身、人権侵害を受けたことがないので人権についてあまり考えたことがありません。人権の条例があることも知らないことが多いので、興味のない人も興味を持てるよう啓発活動をもっと行ってほしいです。
そもそも人権問題について考える機会が普段はないため、まずそういった機会をつくっていくことから始めた方が良いと思う。（任意では難しいので、強制力があるような形で）
難しい言葉ではなく、わかりやすい表現で広報など目にしやすい所で、説明していただけるとありがたいと思います。
マスコミによる過剰報道で被害を受けた方の講演会
同和問題や障がい者教育の実施。但し、健常者を基準として、「〇〇ができない」「〇〇が難しい」という否定的な言葉を使わずに実施
人権問題を題材としたシンポジウムを行いその後、ライブ（音楽、映画等）で、災害に遭われた方に対し募金活動を行う
子ども同士のいじめ、教員による体罰や差別扱い問題が多いので、自治体をもっと学校教育の中で活動に取り組まなければいけないと思います。
色々な人権に関する問題が出ていましたが、広い認識は必要だと思いますが、親や教育者など正しい判断が出来る様になるには、かなり細やかな教育が、必要だと思います。相手の方の状況や性格などにより異なる対応は、判断もむづかしいし、理解するには、ある程度相互の接触もないと分からないと思います。
人権について、正しい知識を得るセミナーや行政が、啓発活動を、積極的に行なって欲しい。特に、自分以外の人の人権についての啓発活動を行なって欲しい。
相談員の資質能力や向上につとめなければならないのではと感じます。
教育を充実させる（小・中学校）
意識が低く、判っている様で判らない人権については、市で①侵害の具体例や②侵害された時の対

人権教育・人権啓発について
応③現状についての判り易い簡単“人権セミナー”等を、自治会等を通じて開催してもらおうと、自覚が出来て進んでいくのではないのでしょうか。お出かけセミナー、お届けセミナー等のメニューでどんどんアプローチしてもらおうと、だんだん変わって行くのではないのでしょうか。（保健センターさんや、福祉センターさん、包括支援センターさんもよくやっていますので、考えてみて下さい）
人権の前に、親の職業を通じて社会の仕組みを体験出きるようにしてほしい。職業体験は一つの一環だが、大人と子供がもっと交わる社会にしてほしい。例えばボランティアで、児童ようごしせつで一日大人が沢山いって色々な事情を話す。大人の話の中でネガティブな事を教えつつ、子供が考えていける体験を増やす事。ひいては、人権の重要性をもっと仕事をしている大人が話をする時間をたくさん与える事。
広報等を使い人権に関する事をアピールしていただき、意識を高める活動をお願いします。学校等で行われている授業を知ることで、子供から親へと質問を上げることで、親子間や大人が意識を高めることができるのではないかと。
地域の中での人権のレベルは低いです。自分には、人権は有るが、他人にはないと思ってる人が多い。ポップを立てるとか、人権の日を作るとか、誰でも目で見て簡単に感じられるアピールも、必要ではないかと思ひます。
実際に差別を受けた人でないと、他人事である気がする。具体的な被害事例を紹介すれば、知らず知らず差別してしまっている事に気づいたり、意識が高まるのではないかと思う。広報誌等、多くの人が見るものに掲載してほしい。
どの人権問題も他人事でない事を全ての人に理解してもらおう機会を作る。
ようちえんから、性教育をはじめる。

相談・支援体制について
子供、お年寄り、障がい者の見守り、各家族の事とせず、積極的に介入して、各機関連携して解決してほしいです。結果を各機関報告しあってほしい。人手が足りない所があれば、人事も変えて下さい。
こども食堂も広がりを見せて、たのもしきことです。福祉センターに行けば参加できて、ありがたいことです。皆がその輪に入り、自己主張が自由にのびやかに表現できたらいいなと思ひます。迷いやいろいろなしがらみやらあり、むづかしいですね。エゴではなく、他の人もうまくやさしく輪に入って、共に生きていきたいですね。
保育園、幼稚園、小学校等、子どもが病気になるでも親が仕事を早退しなくてもよいような教育（保育）と医療が連けいた仕組。
地域ぐるみで子供を育てることが出来る事業。子ども自身の人権を地域住民で守る活動。
屋内プール、屋内競技場があるといい。駅前に市役所の一部があるのだから、地のりを利用して子ども食堂があるといい。食事を提供するのみではなく、子供が調理できるシンプルな料理教室があるといいです。私立大学の「100円朝食」的なものがあるといいです。

アンケートについて
多治見市には、現在人権侵害を受け、困っている人が、どれくらいの割合でいるのですか。アンケートを送ってくる時には、できれば現状を、いっしょにおしえていただけたら、もう少し、よく考えられると思ひます。普段から、人権について考えているわけではないので、突然質問されても、自分の本当の意見をのべられているかどうかわかりません。
94才ではムリです。あまりに人選がいいかげんです。もう少ししっかりした調査をお願いします。
90才の私にとっては大変難しい項目ばかりで解答に苦しみましたが初めて知ることばかりで大変勉強になりました。
内容が大きすぎて老人の私には把握できませんでした
※設問内容が重複しているように感じました。

アンケートについて
『人権』すごく重い言葉ですね。人として生まれてきて、権利があるということ。世界人類は皆同じ人間ということですね。税金を使っていろいろ調査されて改善して行って下さい。私としては、どうしたらいいとかそういう事より、今の生活が、このまま一生続けばいいと思っています。調査、お疲れ様でした。
男性の人権問題はどうでも良いのか。高齢者の年金問題をもう少し考えて下さい。同じような問が多すぎる。考えてアンケートをして下さい。人権問題だけでなく違う問題もあると思う。〇は幾つでも良いのではないのでしょうか。もう少し、コンパクトにしてほしい。日数があるのに請求の手紙はムダ遣いではないか。
無い。こういったアンケートを出すこと自体が差別ではないのかと思う。→特に女性の権利を声高に聞かれるが、昨今は女性の権利を主張する事により、男性の権利が侵害されている事もある。
人権について、むずかしいテーマなので対応がよくわからない内容である。普段、考えたことなので返答ができなかった。
嫌な思いをした時の事を思い出してしまい、アンケートを読むのが辛くなりましたので、今回の協力はお許し下さい。

その他
こけい用水公園や暑い日のミストなど体力のない人にとっては体を休める休けい場所になります。ベンチひとつ、木かげひとつで高れい者、妊婦などずいぶん助かります。大がかりでなくていいので、市内にオアシスになるスポットをふやしてほしい。特に、J R南北をつなぐ通路には、南に1か所しかベンチがないので、もっとふやしてほしい。
町籍簿の作成が拒否される世帯がある（プライバシーの侵害等の理由で）市役所の方でたとえば名前、住所、TEL等のさしさわりのない程度の記載例の町籍簿の用紙の作成か又は指針の例を示してほしい。災害時、緊急時での人数のはあくが出来なくて困っている。
住みやすい多治見にして下さい。
市にいろいろ相談しても何も解決につながりません。なので興味もありません
ことこうもくにたいしてふあんがいっぱいです
介護施設での職員による介護者への虐待についても職員の働き方改革など行い過重労働をなくし、仕事に見合った報酬も見直したりして、今後どんどん介護老人が増えていく中、早急に対応して頂きたいと思っています。
駅南地区再開発で「ふれあいサロンほっとふる」がこわれてますが是非、駅近くに継続店舗を作ってほしいと思います。よろしくお願いします。
今ある事業を、真摯に取り組めば事業を増やす必要は無いと思います。行政は、無駄な事業が多すぎる（無駄な税金使いすぎ）。
毎日が平和。ご苦労様です。
とても難しい問題だと思いますので、残念ながらご提案できません。無知で無力だとふがないです。
「男性の人権」特に必要
わからない。
議会で採決する事になる様であればそれ以前に年数回ある議会で議員は1回以上しっかりと発言をして欲しいそうでないとその議員は何をやっているのかわからない発言せず何をしているの。
御苦労です。困難な件も多々ありましようが頑張ってください。
市の土手に何年も花をさかし草かりもしてきました。その土手を市がかりとってしまいました。これもいままで花をさかしていた人にたいする人権ではないのでしょうか。土手は、奥川町です。
特に何をしてほしいのか、又、自分自身が人権に関する事で困る事があるのか、あったのかより分からない為、行って欲しい事業などが分からない。何でも良いので住みやすい様にしてほしい。又、老人でもよく分かる様な知らせ方をしてほしい。余り先がないので早くしてほしい。
拉致の話は多治見は無関係でってことですか。
生活保護について。働かない人が日本は多すぎる。税金の無駄使い。

資料 調査票

多治見市人権に関する市民意識調査

あなた自身についておたずねします

問1. あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

1 男性	2 女性	3 答えられない
------	------	----------

問2. あなたの年齢はどれですか。(〇は1つ)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳代	7 70歳代以上	

問3. あなたの家族構成はどれですか。(〇は1つ)

1 ひとり暮らし	2 一世帯世帯(夫婦のみ)	3 二世帯世帯(親とその子ども)
4 三世帯世帯(祖父・祖母と親とその子ども)	5 その他	

問4. あなたの職業等は何ですか。(〇は1つ)

1 自営業・経営者(農林水産業・商工・サービス業・自由業等個人事業主と家族従業員、会社経営者など)		
2 正規の職員・従業員(会社員・公務員などの正規の雇用者)		
3 パート・アルバイト(内職含む)、期間契約社員、派遣労働者などの非正規の雇用者		
4 学生	5 無職	6 その他

人権全般についておたずねします

問5. 以下にあげた各人権問題の中で、あなたが関心をもっている問題は何ですか。(〇は3つまで)

1 女性の人権問題	2 子どもの人権問題	3 高齢者の人権問題
4 障がい者の人権問題	5 ※1 同和問題	6 アイヌの人々の人権問題
7 外国人の人権問題		
8 感染症患者等(エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病元患者)の人権問題		
9 刑を終えて出所した人の人権問題	10 犯罪被害者等の人権問題	
11 インターネットによる人権問題	12 北朝鮮によって拉致された被害者の人権問題	
13 ホームレス状態にある人の人権問題		
14 ※2 性的指向を理由とする人権問題	15 ※3 性自認を理由とする人権問題	
16 人身取引(性的搾取、強制労働を目的とするものなど)		

※1 同和問題とは、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の上で様々な差別を受けるなど、我が国固有の人権問題。

※2 性的指向とは、同性愛、両性愛などを言います。

※3 性自認とは、「からだの性」と「こころの性」が一致しないことを言います。

問6. 問5の各人権問題への関心は、どの程度ありますか。(それぞれの人権問題について、○は1つ)

		かなりある	どちらかといえはある	どちらかといえはない	まったくない
1	女性の人権問題				
2	子どもの人権問題				
3	高齢者の人権問題				
4	障がい者の人権問題				
5	同和問題				
6	アイヌの人々の人権問題				
7	外国人の人権問題				
8	感染症患者等の人権問題				
9	刑を終えて出所した人の人権問題				
10	犯罪被害者とその家族の人権問題				
11	インターネットによる人権問題				
12	北朝鮮当局による拉致問題				
13	ホームレスの状態にある人の人権問題				
14	性的指向を理由とする人権問題				
15	性自認を理由とする人権問題				
16	人身取引				
17	東日本大震災等に起因する人権問題				

問7. あなたはこれまでに以下の人権侵害を受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 事実と異なる噂や他人からの悪口、陰口	2 名誉・信用のき損、侮辱
3 暴力、脅迫、強要(※4を含む)	4 プライバシーの侵害
5 職場における差別待遇	6 いじめ、虐待
7 セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせなど)	8 ストーカー行為
9 人権侵害を感じたことがない	10 その他()

※4 DVとは、ドメスティック・バイオレンスの略語で、配偶者やパートナーなどから、振るわれる暴力のことです。

問8. あなたは差別をされたと思ったことはありますか。ある場合は、それはこういった内容のものでしたか。

(○は3つまで)

1 年齢	2 学歴・出身校	3 職業	4 収入・財産
5 家柄	6 母子・父子家庭、両親なし		7 心身障がい・疾病
8 性別	9 容姿	10 部落差別	11 人種・民族・国籍
12 思想・信条	13 宗教	14 差別をされたことはない	
15 その他(具体的に:			)

問9. もし、人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。(あてはまるものすべてに○)

1 黙って我慢をする	2 相手に抗議する
3 家族に相談をする	4 友人に相談をする
5 所属する団体やサークルに相談をする	6 民生委員・児童委員等に相談をする
7 弁護士に相談をする	8 法務局や人権擁護委員に相談をする
9 県や市など公的機関に相談する	10 警察に相談する
11 その他(	)

女性の人権についておたずねします

問10. あなたは、多治見市が「男女共同参画推進条例」を制定していることを知っていますか。

(○は1つ)

1 内容を知っている	2 内容はある程度知っている
3 名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない	
4 名称も知らない	

問11. 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(○は2つまで)

1 「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること	
2 職場において、採用や昇進・昇格などで男女の待遇に差があること	
3 地域社会において、慣習やしきたりに女性の参加制限があること	
4 家事・育児や介護などを男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと	
5 商品の広告などで、伝えたい内容に関係なく女性の水着姿・裸体などをむやみに使用していること	
6 政策や方針を決定する過程に女性が十分参画をしていない、または参画できないこと	
7 職場においてセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせなど)やマタニティ・ハラスメント(妊娠・出産・育児をきっかけとした嫌がらせなど)を受けること	
8 家庭内や恋愛関係においてドメスティック・バイオレンス(DV)(配偶者やパートナーからの暴力)を受けること	
9 強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)があること	
10 特に問題があると思うことはない	
11 わからない	12 その他(
	)

問 12. 女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- | |
|--|
| 1 男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する |
| 2 職場において、採用や昇進・昇格などの男女の待遇の差をなくす |
| 3 家庭・地域において、慣習、しきたりや性別による固定的な役割分担意識を男女平等の観点から見直す |
| 4 家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る |
| 5 学校教育や生涯学習の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる |
| 6 女性が被害者となる犯罪の取り締まりを強化する |
| 7 女性の人権に関する相談体制を充実させる |
| 8 特に必要だと思うことはない |
| 9 わからない |
| 10 その他 () |

子どもの人権についておたずねします

問 13. あなたは、多治見市が「子どもの権利に関する条例」を制定していることを知っていますか。

(〇は1つ)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 内容を知っている | 2 内容はある程度知っている |
| 3 名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない | |
| 4 名称も知らない | |

問 14. 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 子ども同士のいじめ（携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む） |
| 2 親による子どもへの暴力や虐待 |
| 3 子どもの進路の選択などで、子ども自身の意思を無視すること |
| 4 子どもを成績や学歴だけで判断すること |
| 5 学校での教員による体罰や差別的な扱い |
| 6 売春・児童買春・援助交際があること |
| 7 特に問題だと思うことはない |
| 8 わからない |
| 9 その他 () |

問 15. 子どもの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 子どもの人権に関する相談体制を充実させる
- 2 子どもの人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる
- 4 親の家庭でのしつけや教育力を向上する
- 5 教員など指導する立場にある人の資質を高める
- 6 家庭・学校・地域の連携意識を高め、三者が連携して活動に取り組む
- 7 インターネットや携帯電話の利用を制限する
- 8 特に必要だと思うことはない
- 9 わからない
- 10 その他 ()

高齢者の人権についておたずねします

問 16. 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 経済的に自立が困難なこと | 2 働ける能力を発揮する機会が少ないこと |
| 3 悪徳商法の被害が多いこと(特殊詐欺を含む) | 4 病院や介護施設での扱いが悪いこと |
| 5 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること | 6 高齢者に対する虐待が増えていること |
| 7 高齢者の意見や行動を尊重しないこと | 8 特に問題だと思うことはない |
| 9 わからない | |
| 10 その他 () | |

問 17. 高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する
- 2 高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する
- 3 高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる
- 4 高齢者の人権を守るための啓発活動を推進する
- 5 高齢者の人権に関する相談体制を充実させる
- 6 高齢者和其他の世代との交流を促進する
- 7 高齢者が知識を生かして活躍できるよう、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす
- 8 特に必要だと思うことはない
- 9 わからない
- 10 その他 ()

障がい者の人権についておたずねします

問 18. 平成 28 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されたことを知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 内容を知っている | 2 内容はある程度知っている |
| 3 名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない | |
| 4 名称も知らない | |

問 19. 障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は2つまで)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること |
| 2 就労の機会が少ないこと |
| 3 障がい者の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと |
| 4 スポーツ活動や文化活動などに気軽に参加できないこと |
| 5 障がい者の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと |
| 6 差別的な発言や行動を受けること |
| 7 近隣や地域の人とのふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと |
| 8 特に問題だとは思うことはない |
| 9 わからない |
| 10 その他 () |

問 20. 障がい者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する |
| 2 障がい者の就労機会を確保する |
| 3 障がい者が必要とする福祉サービスの拡充や入所施設を整備する |
| 4 障がい者がスポーツ活動や文化活動に参加しやすい環境を整備する |
| 5 障がい者の人権を守るための啓発活動を推進する |
| 6 障がい者がある人とない人との交流を促進する |
| 7 障がい者の人権に関する相談体制を充実させる |
| 8 特に必要だとは思うことはない |
| 9 わからない |
| 10 その他 () |

同和問題についておたずねします

問 21. 平成 28 年 12 月に「部落差別解消の推進に関する法律」が施行されたことを知っていますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 内容を知っている | 2 内容はある程度知っている |
| 3 名称を聞いたことがあるが、内容はあまり知らない | |
| 4 名称も知らない | |

問 22. 同和問題に関して、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(○は2つまで)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 差別的な言動（インターネットを悪用した差別的な書き込みを含む） | |
| 2 就職・職場での差別・不利な扱い | 3 結婚問題での周囲の反対 |
| 4 身元調査を実施すること | 5 地域の付き合いでの差別・不利な扱い |
| 6 同和地区への居住の敬遠 | 7 同和問題についての理解や認識が十分でないこと |
| 8 えせ同和行為（同和問題を口実にして会社や官公庁などに不当な要求をする行為） | |
| 9 特に問題だと思うことはない | 10 わからない |
| 11 その他（ | ） |

問 23. あなたのお子さんが（いらっしゃる場合は、いると仮定して考えてください。）、同和地区出身の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 同和地区の人であるかないかは関係なく祝福する | |
| 2 こだわりはあるが、子どもの意思を尊重する | 3 家族・親戚などの反対があれば認めない |
| 4 絶対に結婚を認めない | 5 わからない |
| 6 その他（ | ） |

問 24. 同和問題を解決するために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- | |
|--|
| 1 同和地区の生活環境をよくする |
| 2 同和地区の人々の収入の安定向上を図る |
| 3 同和地区の人々の教育水準を高め、生活力を向上する |
| 4 同和地区に関わる人権の相談体制を充実させる |
| 5 同和問題に関する意識を高め、積極的に地域の交流を図る |
| 6 学校教育、生涯学習を通じて人権を大切にする教室・啓発活動を積極的に行う |
| 7 同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる |
| 8 特に必要だと思うことはない |
| 9 わからない |
| 10 その他（ |

アイヌの人々の人権についておたずねします

問 25. アイヌの人々の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は2つまで)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1 差別的な言動（インターネットを悪用した差別的な書き込みを含む） | |
| 2 就職・職場での差別・不利な扱い | 3 結婚問題での周囲の反対 |
| 4 住宅、生活環境など生活水準が低い | 5 独自の文化や保存、伝承が図られていない |
| 6 アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと | |
| 7 特に問題だと思うことはない | |
| 8 わからない | |
| 9 その他（ | ） |

問 26. アイヌの人々の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|--|---|
| 1 アイヌの人々の人権に関する相談体制を充実させる | |
| 2 アイヌの人々の独自の文化や伝統について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する | |
| 3 アイヌの人々の就職の機会を確保する | |
| 4 アイヌの人々の収入の安定向上を図る | |
| 5 特に必要だと思うことはない | |
| 6 わからない | |
| 7 その他（ | ） |

外国人の人権についておたずねします

問 27. 外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(○は2つまで)

- | | |
|--|---|
| 1 差別的な言動（インターネットを悪用した差別的な書き込みを含む） | |
| 2 就職・職場での差別・不利な扱い | |
| 3 結婚問題での周囲の反対 | |
| 4 住宅を容易に借りることができない | |
| 5 宗教や慣習が違ふことで、地域社会に受け入れられにくいこと | |
| 6 外国人の子どもが十分な教育を受けられないこと（自国の言葉での教育を含む） | |
| 7 日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと | |
| 8 特に問題だと思うことはない | |
| 9 わからない | |
| 10 その他（ | ） |

問 28. 外国人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- 1 外国人に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する
- 2 外国人のための適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する
- 3 外国人との結婚に対する偏見をなくす
- 4 外国人の住宅の確保に際し、不利な取扱いをしない
- 5 外国人の子どもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する
- 6 外国人のための相談体制を充実させる
- 7 外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する
- 8 特に必要だと思うことはない
- 9 わからない
- 10 その他 ()

感染症患者等（エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病患者等）の人権についておたずねします

問 29. 感染症患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は2つまで)

- 1 差別的な言動（インターネットを悪用した差別的な書き込みを含む）
- 2 感染症患者等であるというだけで世間から好奇または偏見の目で見られること
- 3 エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病患者等についての理解や認識が十分でないこと
- 4 社会復帰が困難であることや就職や職場などにおいて不利な扱いを受けること
- 5 病院での治療や入院を断られること
- 6 特に問題だと思うことはない
- 7 わからない
- 8 その他 ()

問 30. 感染症患者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- 1 感染症に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する
- 2 感染症患者等が社会復帰しやすい環境づくりを確保する
- 3 感染症患者等の就職の機会を確保する
- 4 感染症患者等の生活支援や治療費を援助する
- 5 医療関係者に対する人権研修を推進する
- 6 感染症患者等のための相談体制を充実させる
- 7 特に必要だと思うことはない
- 8 わからない
- 9 その他 ()

刑を終えて出所した人の人権についておたずねします

問 31. 日頃から親しく付き合っている職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、どうしますか。(〇は1つ)

- 1 これまでと同じように親しく付き合っていく
- 2 付き合いは変わらないが、いろいろ気をつけて付き合う
- 3 表面上は付き合うが、できるだけ付き合いを避けていく
- 4 付き合いをやめてしまう
- 5 わからない
- 6 その他 ()

問 32. 刑を終えて出所した人の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(〇は2つまで)

- 1 刑を終えて出所した人に対する理解や認識を深めるための教育・啓発活動を推進する
- 2 刑を終えて出所した人が社会復帰しやすい環境づくりを確保する
- 3 刑を終えて出所した人の就職の機会を確保する
- 4 刑を終えて出所した人のための相談体制を充実させる
- 5 犯罪の種類や刑の重さによって違うので、何とも言えない
- 6 特に必要だと思うことはない
- 7 わからない
- 8 その他 ()

犯罪被害者とその家族の人権についておたずねします

問 33. 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(〇は2つまで)

- 1 犯罪被害によって精神的なショックを受けること
- 2 犯罪被害によって経済的な負担を受けること
- 3 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること
- 4 事件のことを周囲に噂されること
- 5 警察に相談しても期待どおりの結果が得られにくいこと
- 6 刑事裁判で必ずしも被害者の声が十分に反映されるわけではないこと
- 7 特に問題だと思うことはない
- 8 わからない
- 9 その他 ()

問 34. 犯罪被害者とその家族の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は2つまで)

- 1 精神的被害に対応するカウンセリングを行う
- 2 犯罪被害者とその家族のために経済的支援を行う
- 3 犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う
- 4 犯罪被害者とその家族のための人権を守るための教育・啓発活動を推進する
- 5 犯罪被害者とその家族のための相談体制を充実させる
- 6 捜査や刑事裁判において犯罪被害者とその家族に配慮した施策を講じる
- 7 特に必要だと思うことはない
- 8 わからない
- 9 その他 ()

インターネットによる人権侵害についておたずねします

問 35. インターネットによる人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は2つまで)

- 1 他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などを掲載すること
- 2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場が存在すること
- 3 ネットポルノなど有害なホームページが存在すること
- 4 個人情報などが流出していること又は個人を特定しようとする動きがあること
- 5 事実確認が行われぬまま、不正確な情報を拡散すること
- 6 リベンジポルノの被害にあうこと
- 7 過去の犯罪歴や悪ふざけの記録が、将来にわたってインターネット上に掲載され続けること
- 8 特に問題だと思うことはない
- 9 わからない
- 10 その他 ()

問 36. インターネットによる人権侵害を解決するために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は2つまで)

- 1 インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実させる
- 2 インターネット利用者に個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する
- 3 プロバイダ等に対し、情報の停止・削除を求める
- 4 違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する
- 5 特に必要だと思うことはない
- 6 インターネットの正しい使い方について、教育の推進及び学習機会の提供をする
- 7 わからない
- 8 その他 ()

性的指向を理由とする人権問題についておたずねします

問 37. 性的指向の異なる人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は2つまで)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 世間から好奇又は偏見の目で見られること2 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること3 地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること4 性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること5 法律が整備されていないこと6 同性のパートナーとの関係が認められていないこと7 告白した後の周囲の態度の変化、又は周囲への告白の強要があること8 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせなど）があること9 特に問題があると思うことはない10 わからない11 その他（ |) |
|--|---|

問 38. 性的指向の異なる人への人権問題を解決するには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は2つまで)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 性的指向の異なる人のための人権相談所や電話相談所を充実する2 性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する3 性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う4 性的指向の異なる人とその支援者の活動を支援する5 専門医や専門的な医療機関についての情報を提供する6 特に必要だと思うことはない7 わからない8 その他（ |) |
|---|---|

性自認を理由とする人権問題についておたずねします

問 39. 性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

- 1 性同一性障がい等の性自認の異なる人に対する社会の理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること
- 2 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること
- 3 地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること
- 4 性的異常者とみなされ、嫌がらせをされたり蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること
- 5 性別変更などの法律が不十分なこと
- 6 トイレ、服装、言葉づかいなど自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されること
- 7 提出書類に性別の記入を求められること
- 8 告白した後の周囲の態度の変化、又は周囲への告白の強要があること
- 9 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせなど）があること
- 10 特に問題があると思うことはない
- 11 わからない
- 12 その他（ ）

問 40. 性同一性障がい等の性自認を理由とする人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 性同一性障がい等の性自認の異なる人のための人権相談所を充実する
- 2 性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する
- 3 性同一性障がい等の性自認の異なる人に関する法的措置・保護を行う
- 4 性同一性障がい等の性自認の異なる人とその支援者の活動を支援する
- 5 専門医や専門的な医療機関についての情報を提供する
- 6 特に必要だと思うことはない
- 7 わからない
- 8 その他（ ）

東日本大震災等に起因する人権問題についておたずねします

問 41. 東日本大震災、熊本地震などの大規模災害が起きた場合、どのような人権問題が起きると思いますか。

(0は3つまで)

- 1 避難生活でプライバシーが守られないこと
- 2 避難生活の長期化によるストレス又はそれに伴う嫌がらせやいさかいが生じること
- 3 要支援者（障がい者、高齢者、乳幼児、妊産婦、外国人等）に対して十分な配慮が行き届かないこと
- 4 女性や子育て家庭への十分な配慮が行き届かないこと
- 5 デマ・風評など差別的な言動が起きること
- 6 支援や被災状況などの必要な情報が行き届かないこと
- 7 特に問題があるとは思わない
- 8 わからない
- 9 その他（ ）

人権教育・人権啓発の方法についておたずねします

問 42. 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取組みを行えばよいと思いますか。(〇は2つまで)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 行政が啓発活動を積極的に行う | 2 地域の取組みを充実する |
| 3 企業や職場の取組みを充実する | 4 民間活動団体での取組みを充実する |
| 5 家庭での教育を充実する | 6 学校での教育を充実する |
| 7 人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する | |
| 8 人権意識は向上しているので特に取り組む必要はない | |
| 9 個人の意識の問題なので介入する必要はない | |
| 10 わからない | |
| 11 その他（ | ） |

問 43. 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり行動すべきことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 人権に対する正しい知識を身に付けること 2 因習や誤った固定観念にとらわれないこと
3 自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること
4 自分の生活している地域の人々を大切にすること
5 家庭内での家族の権利を大事にすること 6 職場で、人権を尊重する意識を高め合うこと
7 特にすべきことはない 8 わからない
9 その他（ ）

問 44. 人権侵害に対する相談や救済について、どのようなことが特に必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する
- 2 人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する
- 3 人権を侵害した者に対する啓発活動を充実する
- 4 人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う
- 5 人権啓発活動の中で、人権が侵害されたときの対処の方法を学ぶ機会を増やす
- 6 特に必要だと思うことはない
- 7 わからない
- 8 その他 ()

世界人権宣言が国連で採択されて 70 周年を迎えるにあたり、おたずねします

問 45. 世界人権宣言は、世界中のすべての人々、すべての国が達成すべき共通の人権基準を示した国連（国際連合）の宣言です。この宣言について知っていますか。(〇は1つ)

- 1 内容を知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが、内容はあまり知らない
- 3 名称も知らない

問 46. 人権に関する事業で、ぜひ行って欲しい事業がありましたらご提案ください。

市民の皆さまにとって有益で実現可能なものについては、積極的に検討していきます！





調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒で7月27日までにポストへご投函ください。

(切手は不要です)

多治見市人権に関する市民意識調査
報 告 書

平成 31(2019)年 1 月

多治見市役所 環境文化部くらし人権課

〒507-8703 多治見市日ノ出町 2 丁目 15 番地
T E L : 0572-22-1111 (内線 1152)
F A X : 0572-25-7233



本報告書は古紙パルプを含む再生紙及び植物油インキを使用しております。